

エト4H-92.

337  
80

# 最近南米事情



明治四十五年四月十五日

日本雜貨米利加協會發刊



# CAFE PAULISTA

## 日本に始めて生れた生粹なコーヒー店

本店はカフエーパウリスタと申し南米ブラジル國サンパウロ州政府專屬のコーヒー發賣店であります。此のパウリスタと申すのはサンパウロ州民と云ふ意味であります。諸君御承知の如く世界のコーヒー國と云へば南米ブラジル國の事である。このコーヒーは全世界の産額の四分の三を占め、同國サンパウロ州の産出は其七割に當り、結局サンパウロ州の産額は世界の三分の二を占めて居るので、サンパウロ州は世界に於けるコーヒー國中のコーヒー本場であり、本店は其コーヒー本場の産品を日本支那を始め、東洋諸國に賣り擴める爲めに生たのであります。近頃東京市内に開店されたるコーヒー店も一二ある様ですが、本店は右の如く世界のコーヒー本場より直ちに其産品を取り寄せて生粹のコーヒーを諸君の前に提供するもので、之が日本に始めて生れたる生粹のコーヒー店と申すべきものであります。

### 本店の特色

- (一) 本店の焙煎場に据付の機械は米國製最新式にして一日一千斤を焙煎粉砕致します。
- (二) 本店は右の如き設備により如何程の大なる需用にも應ずると同時に又輕便に一杯の御需めにも應じます。
- (三) 本店はコーヒー煎器を備へ付け、絶へず熱湯中に温めて御來客を待ち上げます。
- (四) 本店のコーヒーは品質の良好なる上に焙じ方磨き方煎じ方等凡てブラジル本場式でありますから一度御飲みになれば其美味は永久御忘すれなる事は出来ません。
- (五) 本店の使用する食器具は凡て美麗なる白色硬質陶器にて新調し其洗拭には最も注意し、又テーブルは大石にて清潔に致してあります。
- (六) 本店は室内を階上階下に別け、階上は「プレイベート」の御用に供し、階下は公開し公私兩面の御用に供します。
- (七) 本店の室内は最も新なる裝飾を施し、一度室内に入れば八面玲瓏の快感に打たれます。假令如何なる紳士淑女が御出になりましても不快の感を感じられる様な事は決してありません。
- (八) 本店は輕便質素を旨とし、一杯五錢の外は御祝儀御心付等は一切申受けません。
- (九) 本店は御進物用として特製「コーヒー罐入(半斤、一斤)」を低價に差上げます。

京橋區南鍋町二丁目十三番地

## カフエーパウリスタ

電話特長 新橋二六七五番

## 南米事情第二目次

- 墨國博覽會ニ就テ……………一頁
- 南米所見……………八頁
- 南米經濟事情……………二〇頁
- 南米航路……………二七頁

### 論評講話

### 調査報告

- 墨國漁業調査會……………二九頁
- 墨國事情……………三〇頁
- 南米ニ於ケル商工業……………三六頁
- 南米ニ於ケル燐寸……………四四頁
- パナマ運河通行税問題……………五〇頁
- 米國船巴奈馬運河通航税免除ノ議……………五〇頁
- パナマ運河工事進行現狀……………五五頁
- パナマ及テハンテペツク兩地峽ノ米國東西兩海岸貿易並ニ世界通商ニ對スル距離ノ比……………

### 較……………五八頁

- 世界ノコ、ア……………五九頁
- 對伯國本邦重要輸出品ノ販路擴張ニ就テ查見……………
- 伯國サンパウロ州の米作發展……………八六頁
- 伯國珈琲情況……………八七頁
- 亞爾然丁共和國……………九〇頁
- 秘露國產棉事情……………九三頁
- アリカラパス間鐵道……………一〇頁

### 各國時事

- メキシコ……………一二三頁
- サルバドル……………一二三頁
- ハイチ……………一二三頁
- ホンヅラス……………一二三頁
- コスタリカ……………一二四頁
- パナマ……………一二五頁
- コロムビーヤ……………一二五頁
- エクスアドール……………一二六頁
- ペルー……………一二七頁
- チレ……………一二八頁
- ブラジル……………一二〇頁
- ウルグアイ……………一二二頁
- パラグアイ……………一二二頁
- ボリビヤ……………一二二頁
- アルヘンチナ……………一二三頁

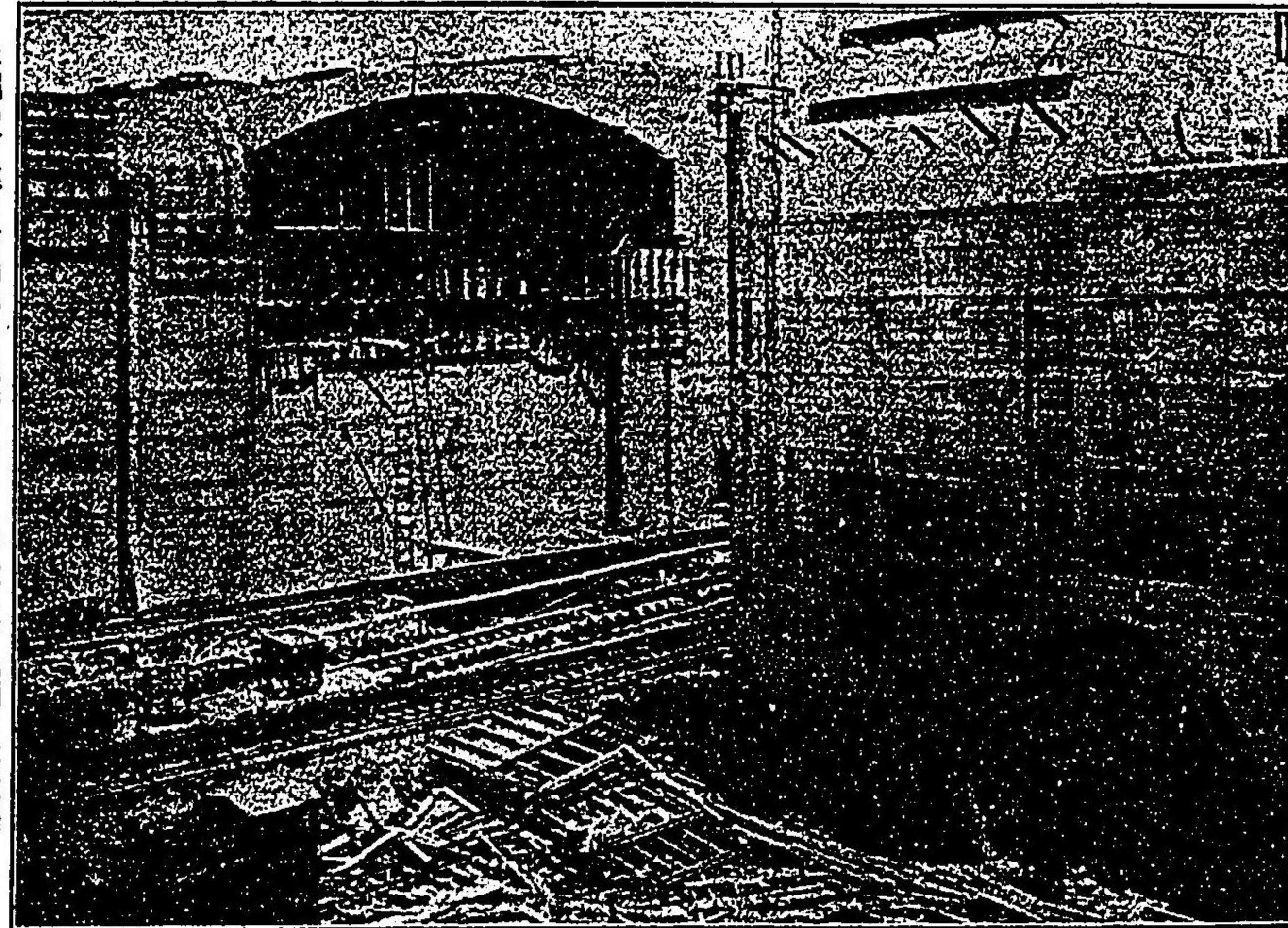
### 協會記事

昭和 45. 4. 22  
内交

337-80



(河運マナバ) 部下の側東開水ルエグミロドベ



水開の下部は勿論水中に浸るゝものなるが此圖は其建築の模様を示す。此水開が大平洋より入る最初のものなり。

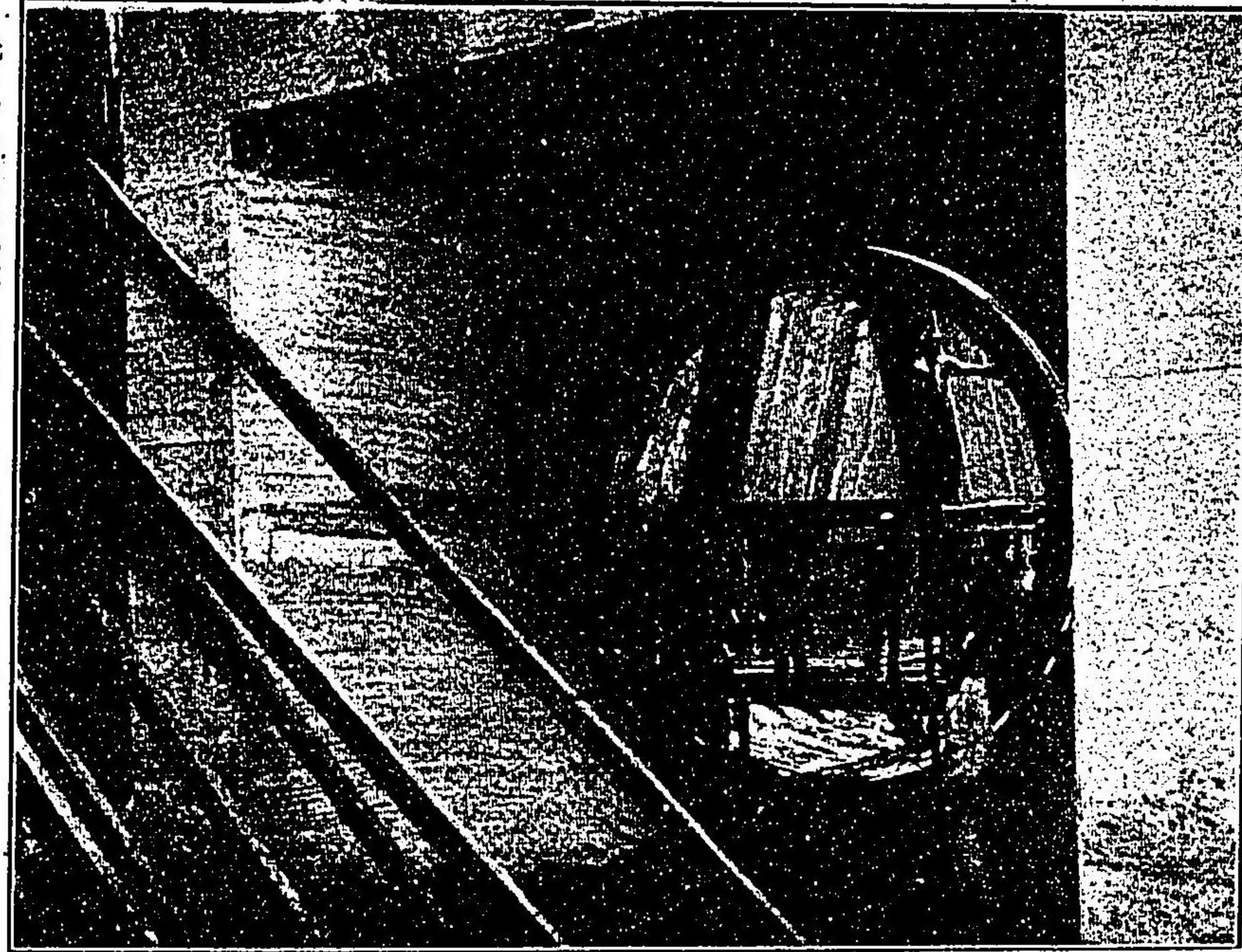
(河運マナバ) 房西の開水ルエグミロドベ



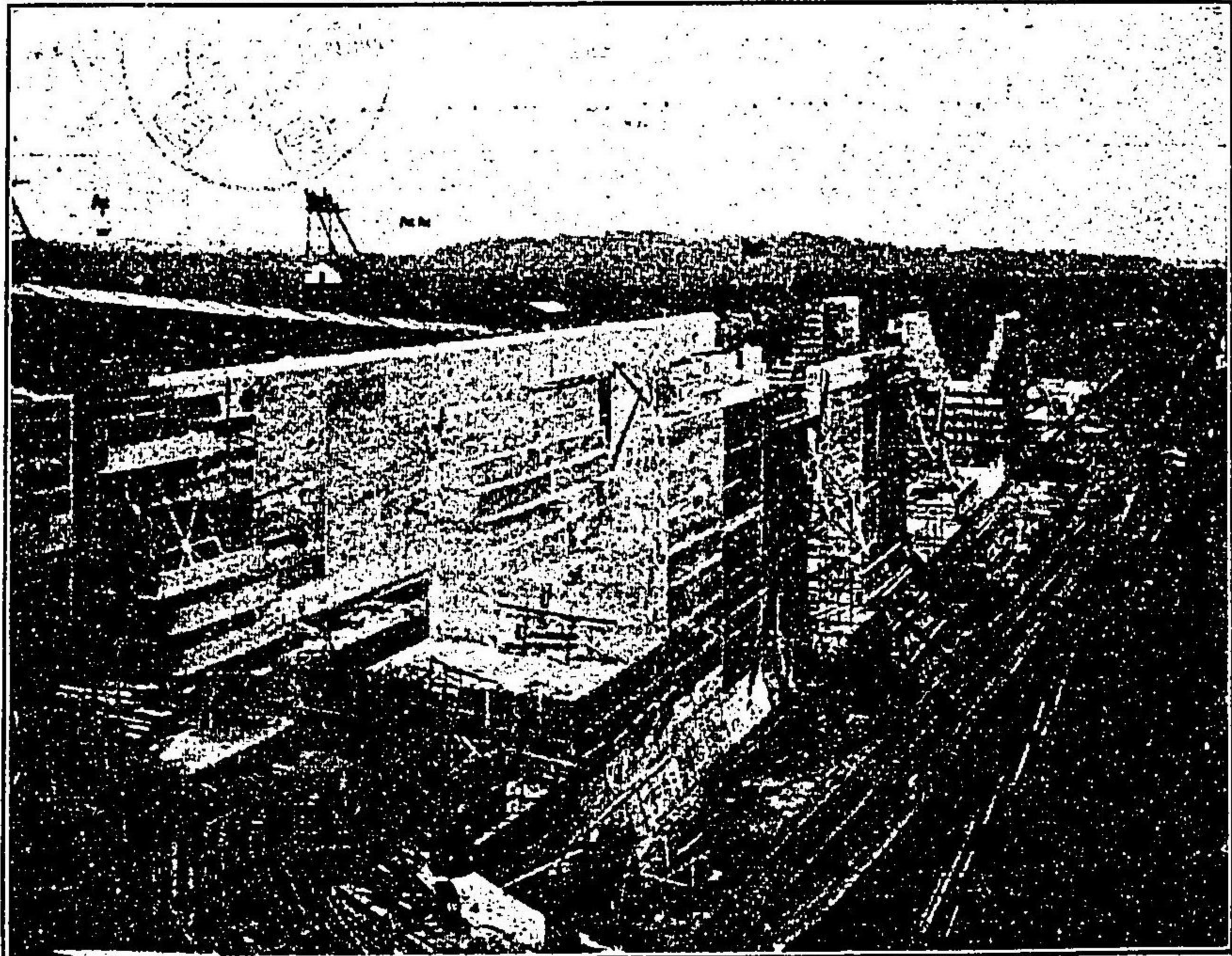
此の廣大なる事最大の汽船オリエンティック號を容るゝに足る



(河運マナバ) 穹水排の閘水ンタガ



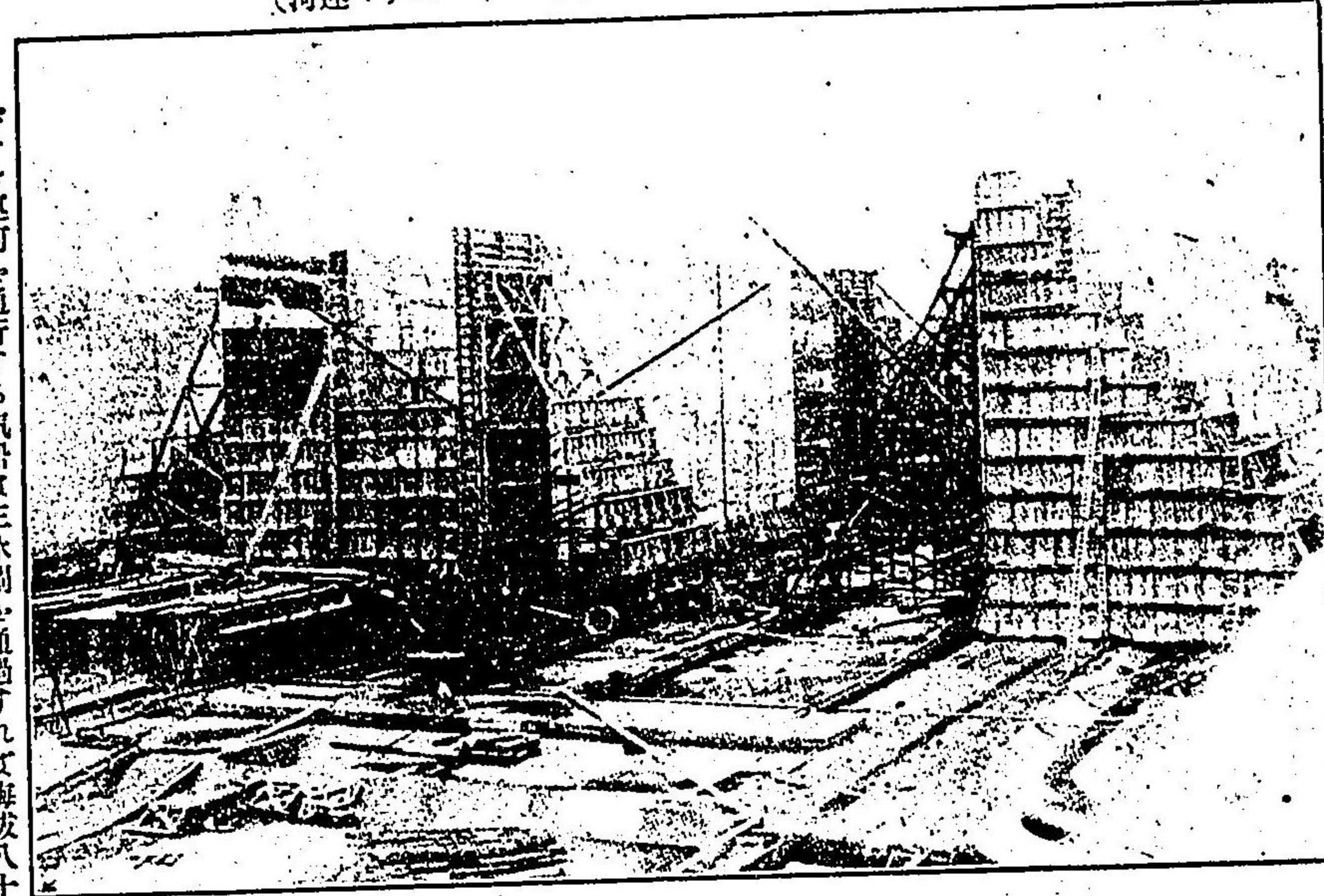
此トンネルは直径十八尺にして掛水閘の下を通過する數多の  
小水道に連絡す、昔瞬間に水閘を充たし又干かす爲に使用せ  
らるゝものなり



ガタン水閘は夥多の房に分かれたるが一房の大き十一萬平方尺  
ありて水閘は一對づゝ設計さる而して兩側の壁の厚さは其根底  
四十五尺乃至五十尺中央の壁の高さ八十一尺廣さ六十尺あり

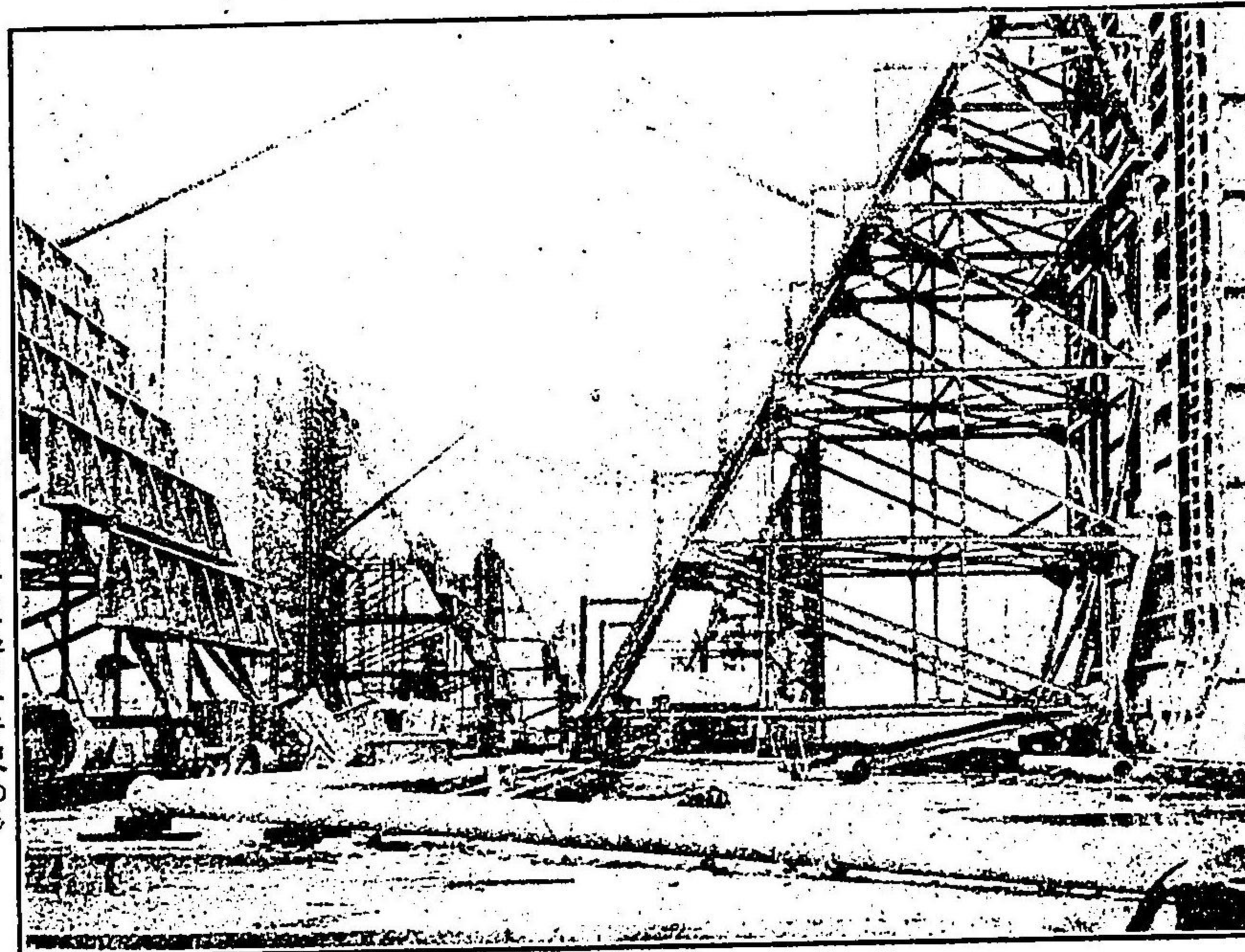
(河運マナバ) 閘水中央のンタガ

(河運マナバ (一其) 閘水の堰ムツガ



パナマ運河を通行する汽船は三水閘を通過すれば海拔八十五尺の高に上る、此の如き水閘は二重となり廣さ一百十尺長さ一千尺ある  
を普通とし主として鋼鐵とセメントにて築かる。

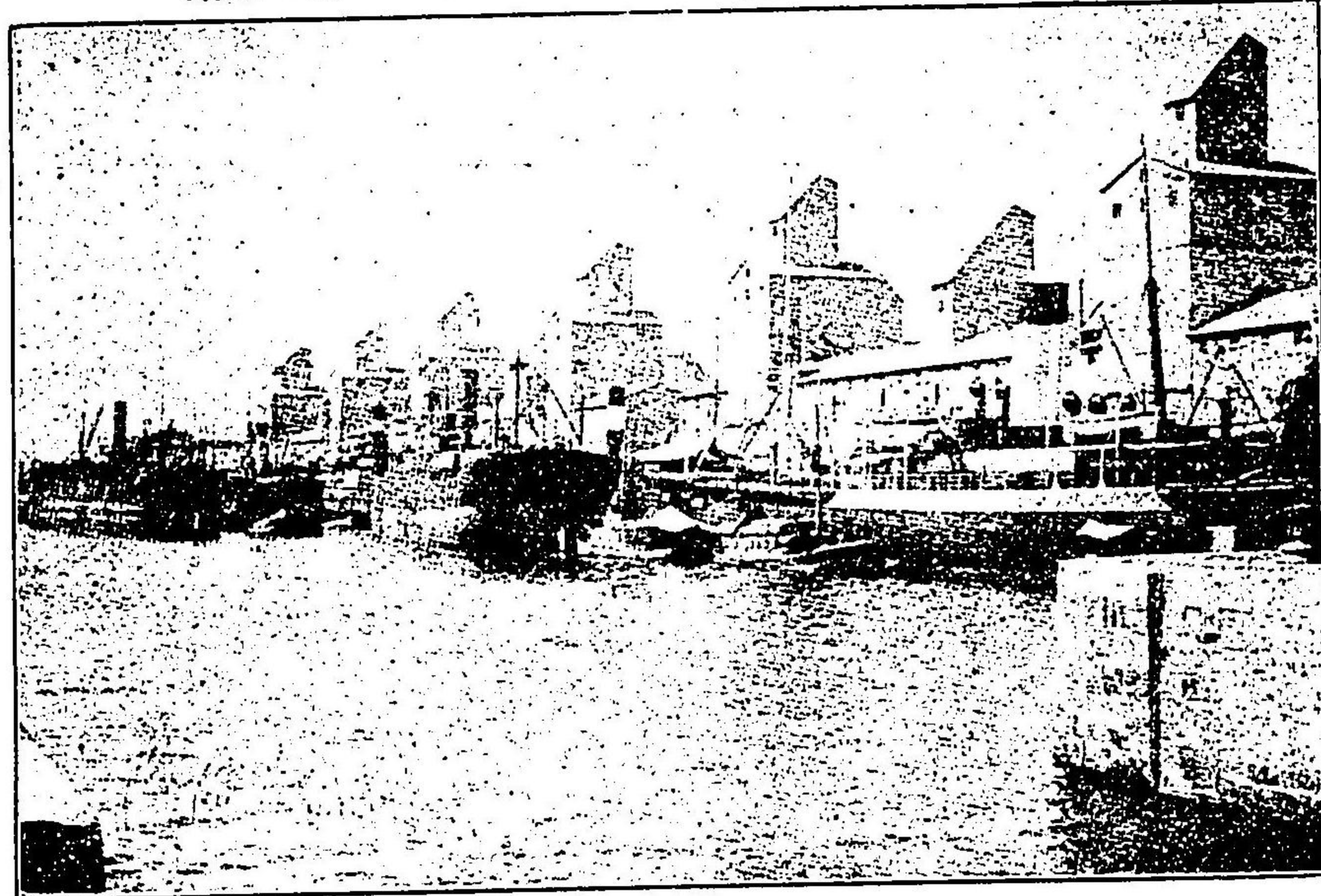
(二 其)



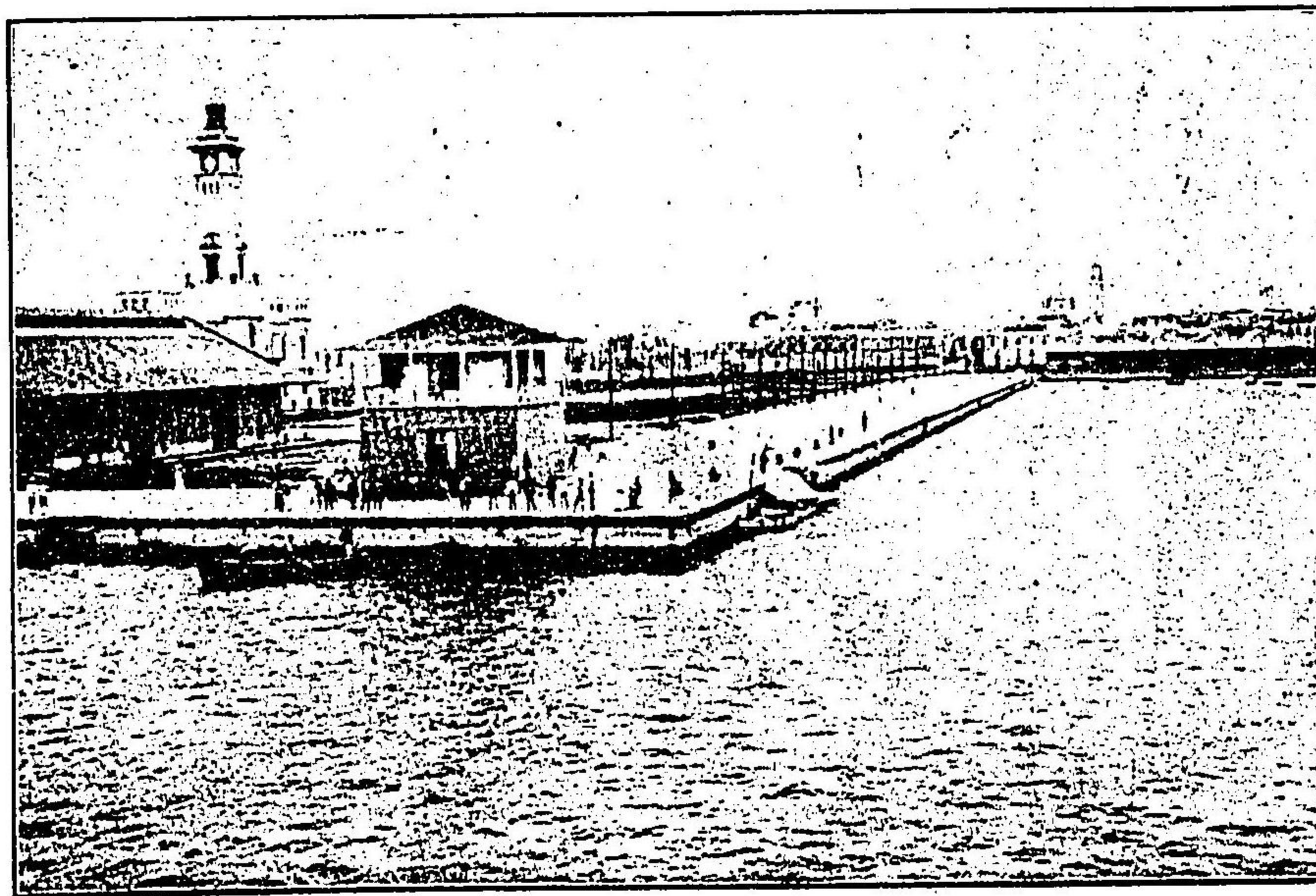
パナマ運河を通行する汽船は三水閘を通過すれば海拔八十五尺の高に上る、此の如き水閘は二重となり廣さ一百十尺長さ一千尺ある  
を普通とし主として鋼鐵とセメントにて築かる。



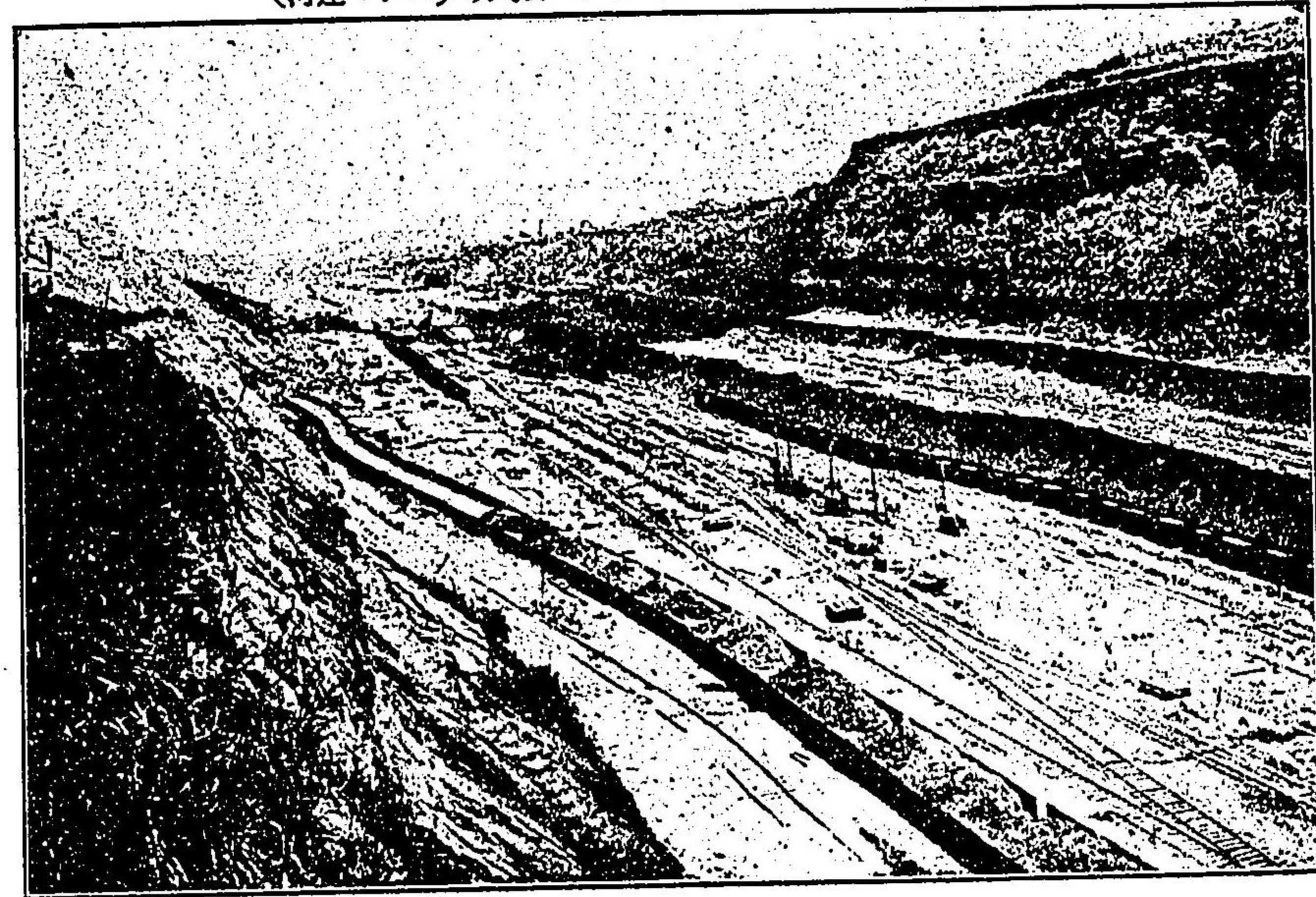
渠船の港スライアスノエブるな盛繁も最の國丁然爾亞



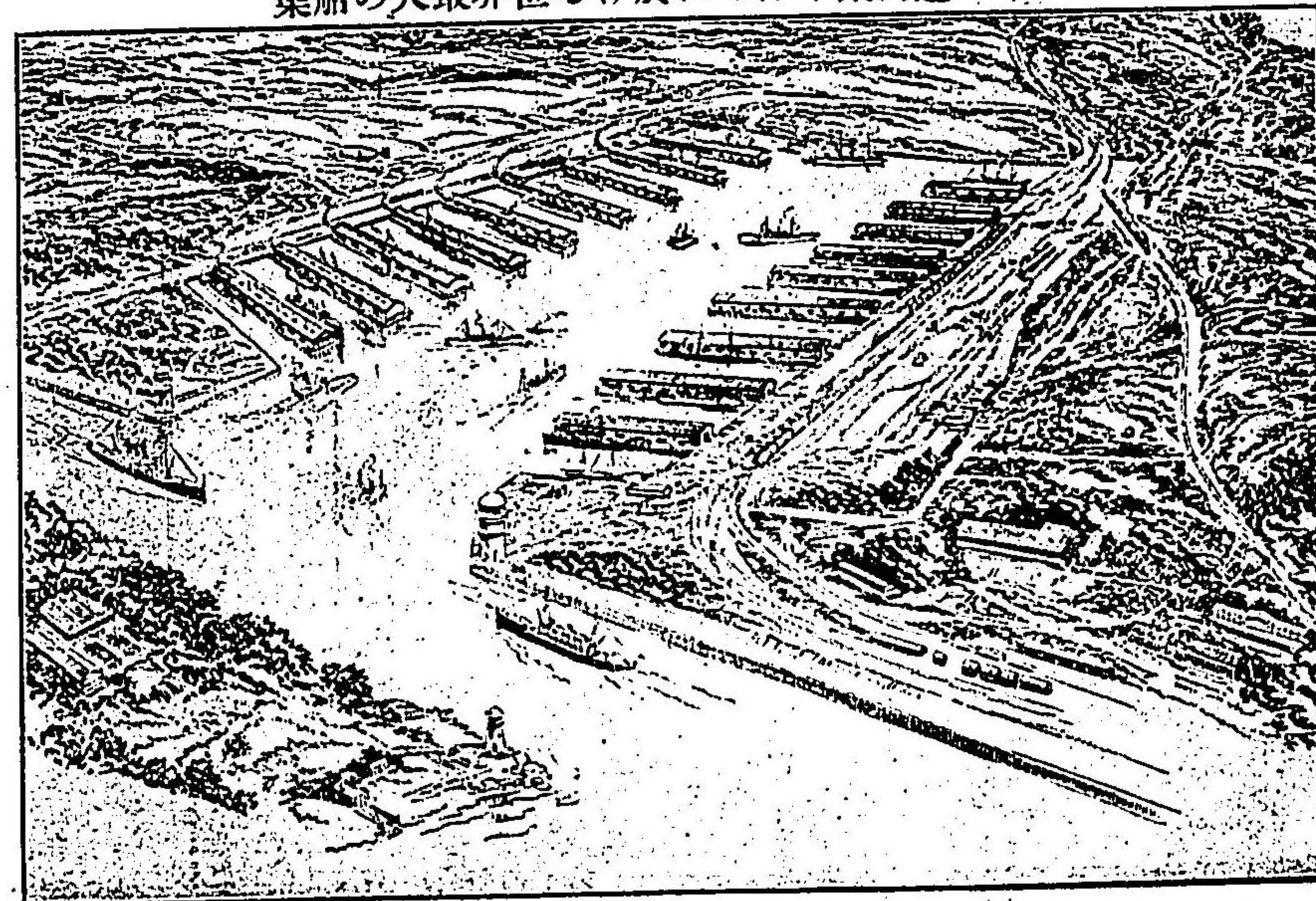
橋棧の港スールクラベ國墨



(河運マナバ)切掘のラブレク事工難大最

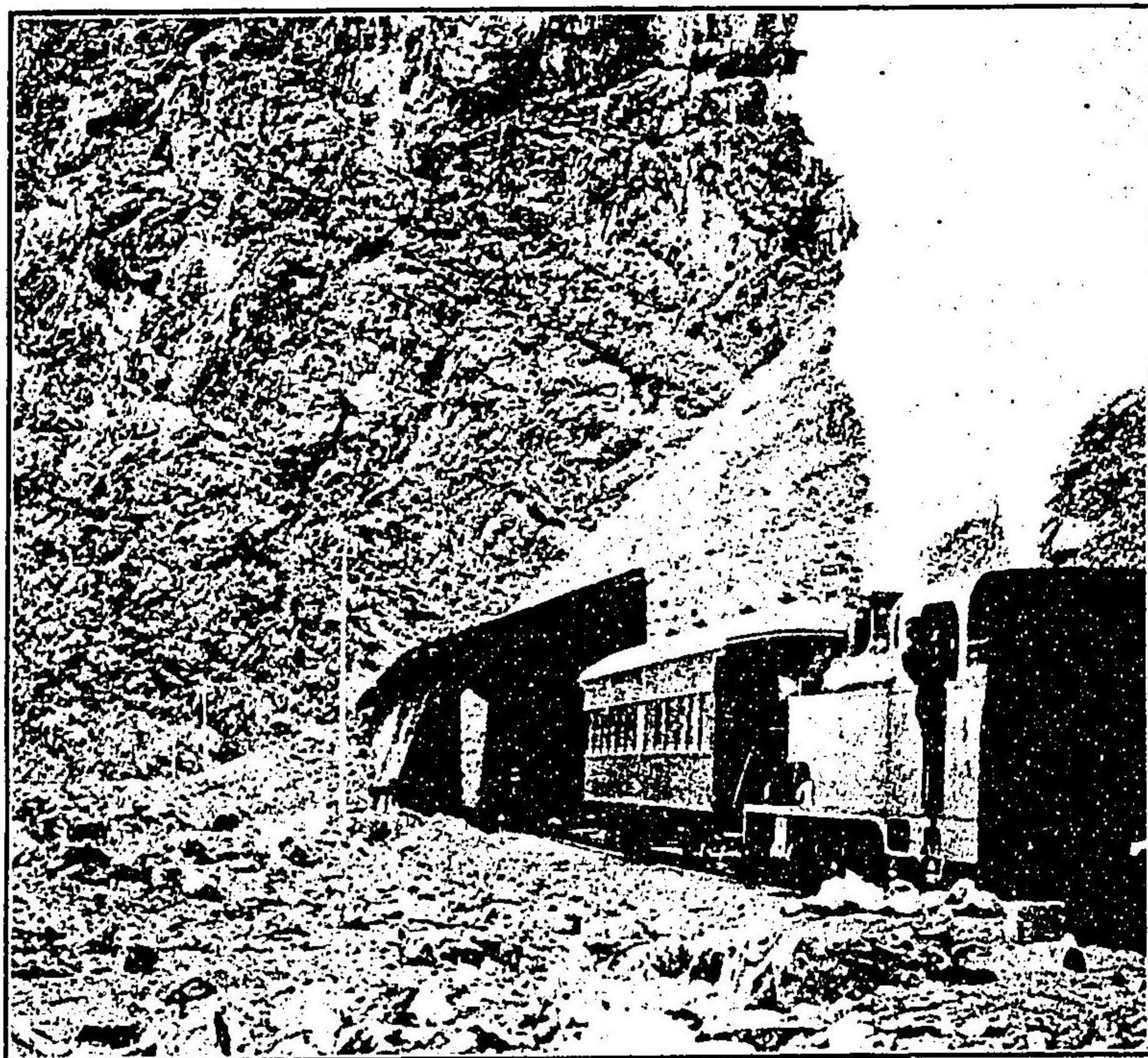


渠船の大最界世るけ於に岸洋平太河運マナバ





屋小崩防の道鐵斷横山スデンア



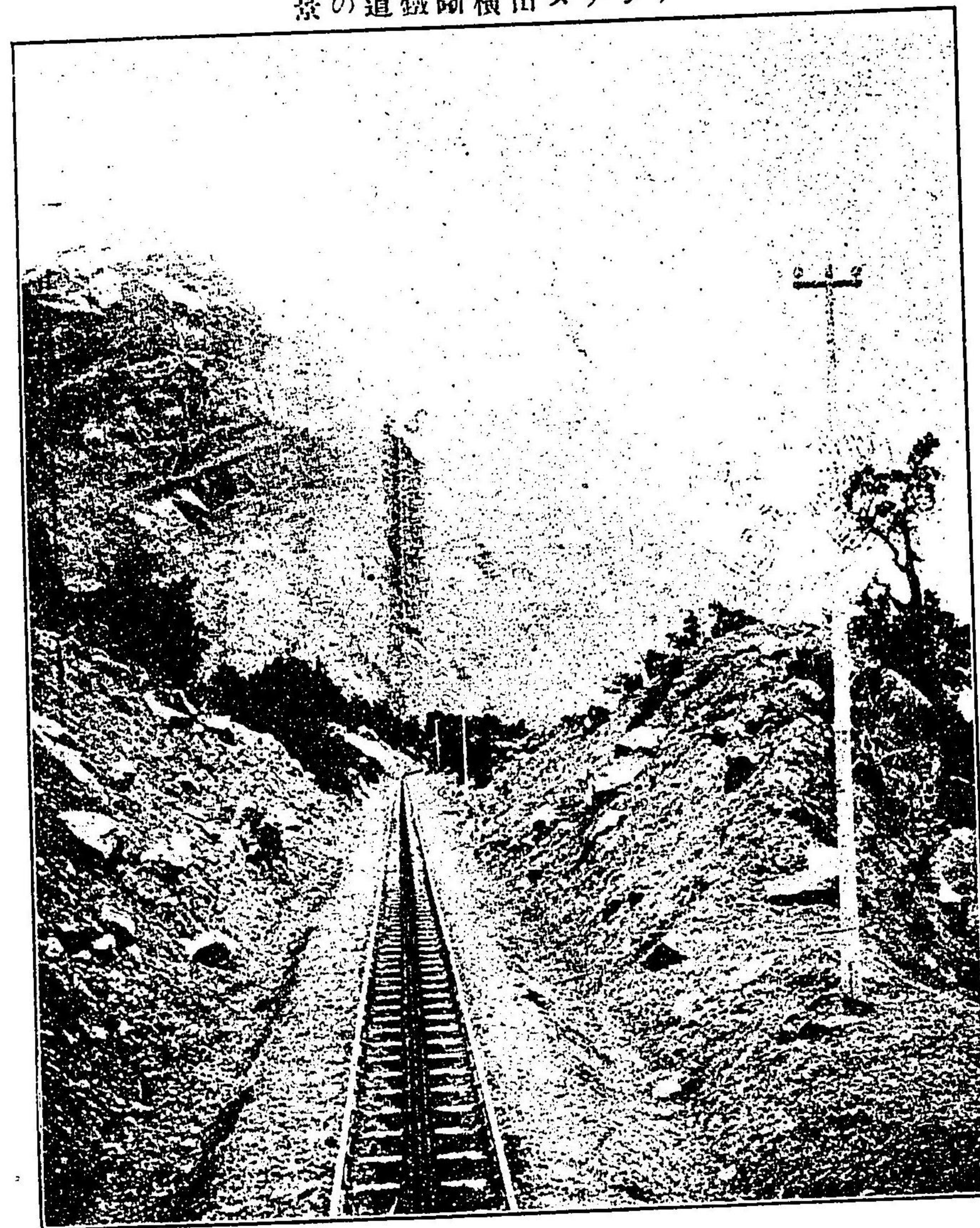
アンデス山の高峯にありては雪崩又は土崩の爲に鐵道線路埋没する故に之を防ぐ爲に崖に依つて小屋を設く



秘露國首府里馬市よりアンデス山中の有名なるセルロデバスコ金山に至る山腹の鐵道

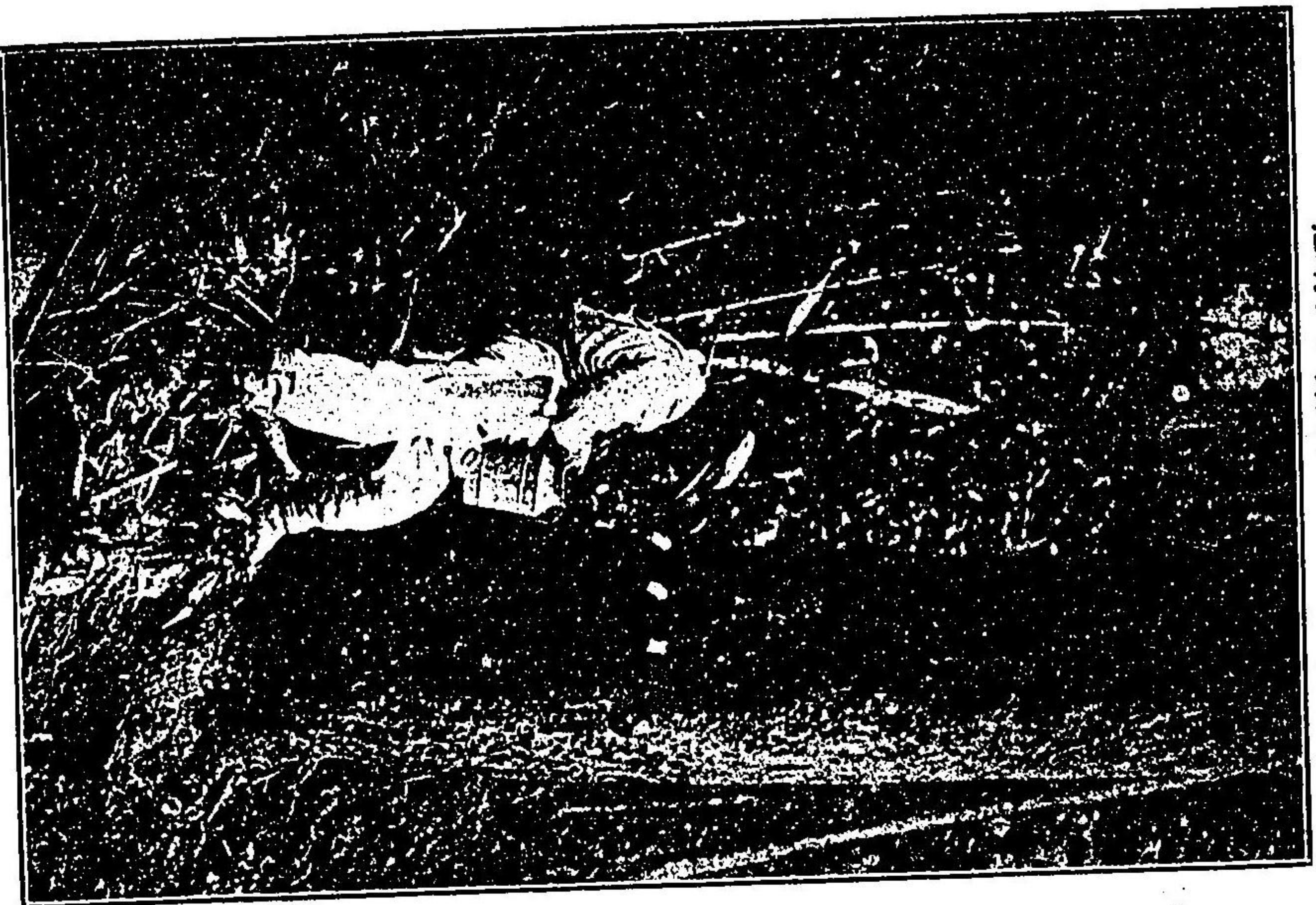
景の道鐵ヤロオ國露秘

景の道鐵斷横山スデンア





野生コノハの採集状態



野生は十四尺より十八尺に達するものも採りたるものは收穫の便宜は上六尺位に止む。葉の色は最初緑にして後オリーブとなり生熟す。

コノハの實

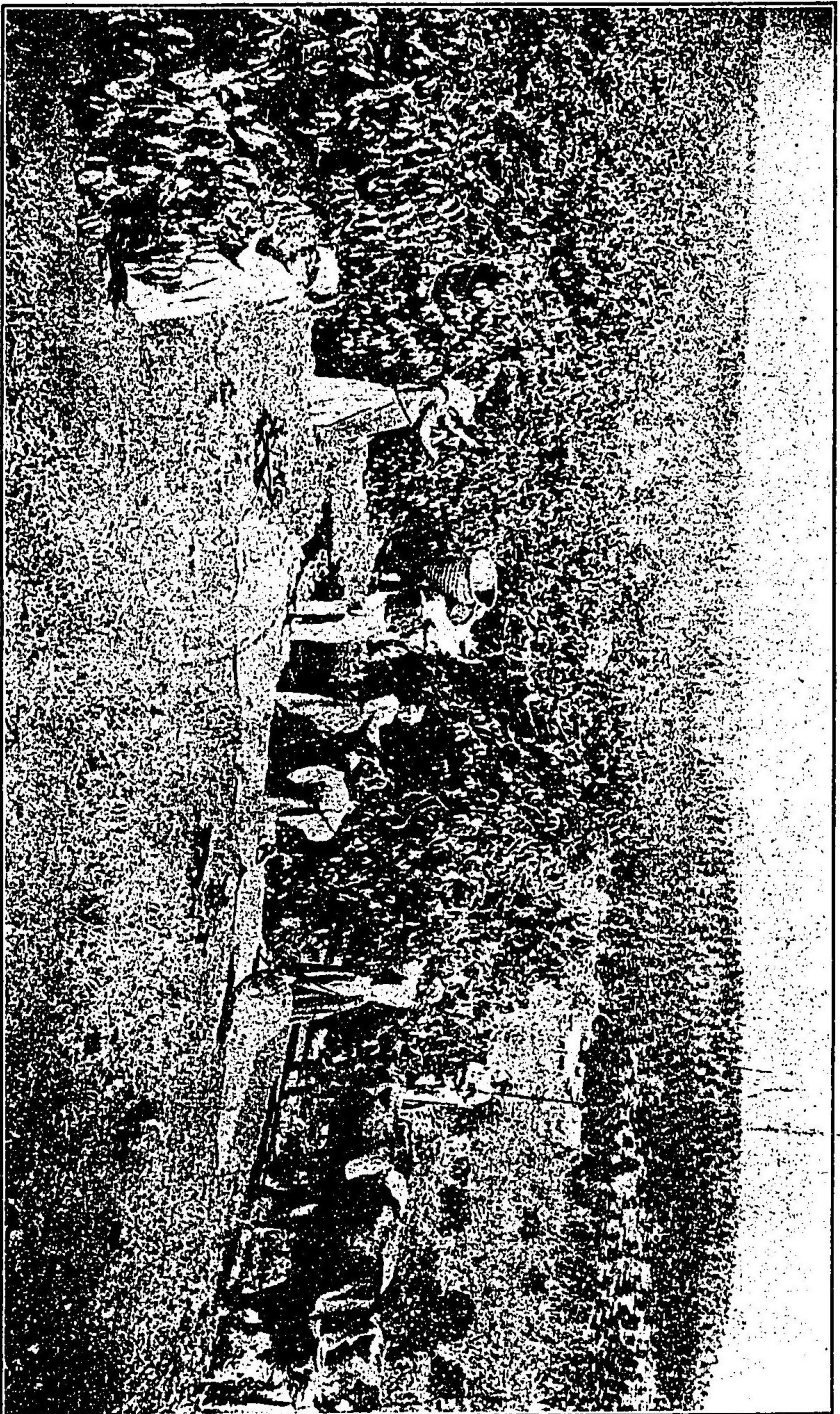


伯羅干バカロのヨヒト園にては一萬本より平均三萬二千本を收穫すと云ふ。

メキシコの園ルシラ



コノハの收穫の景



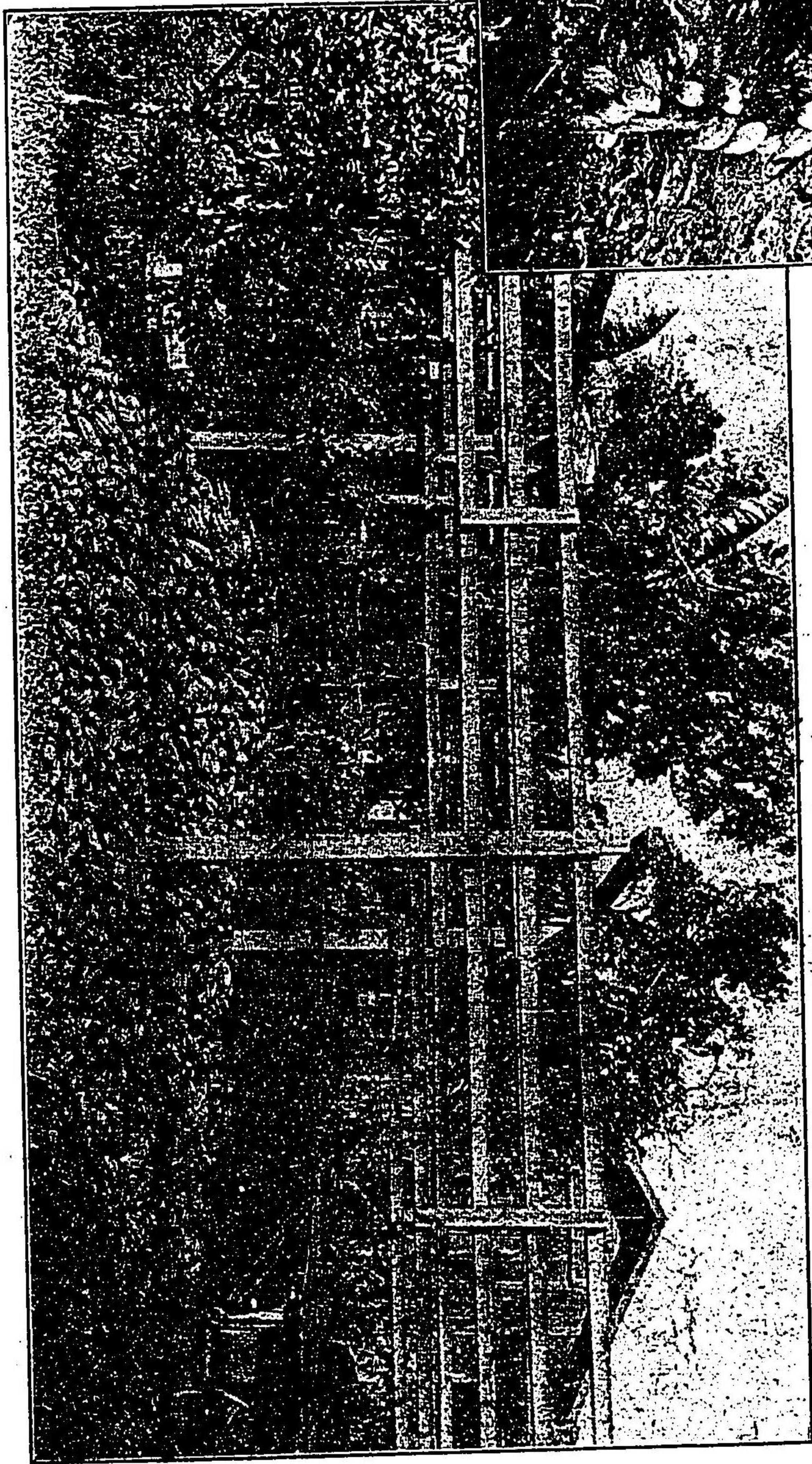


(一 其)



木のアココるたし養培分充 一 其)  
圖るす燥乾積堆に日天てし穫收をアココ 三 其)

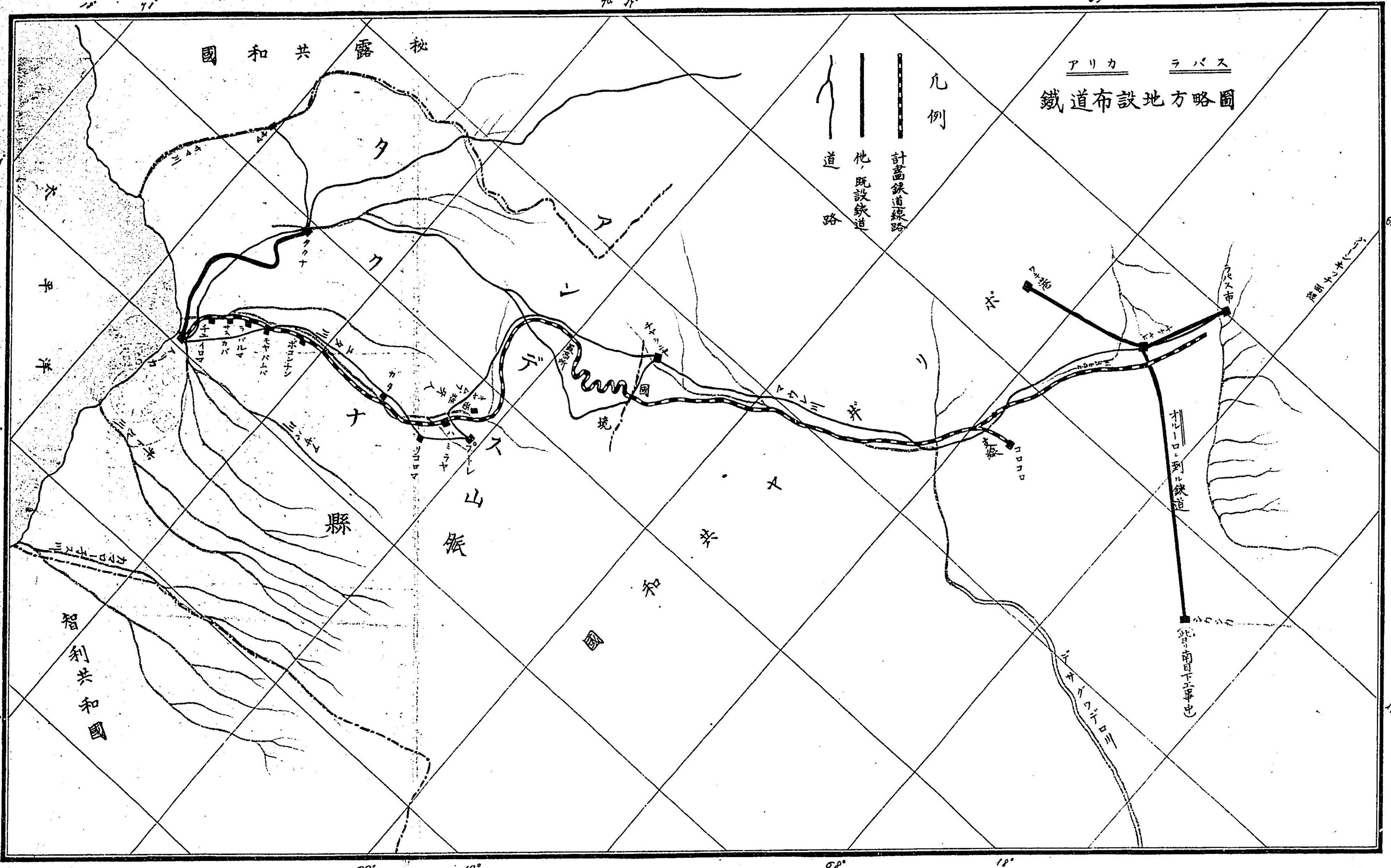
(二 其)





アリカ ラパス  
鐵道布設地方略圖

凡例  
 計畫鐵道線路  
 他、既設鐵道  
 道路



智利共和國

秘魯共和國

ボリビア共和國

縣

山脈

湖

チリコ列島鐵道

プノ南門下車站

プノ

アレイキパ

ラパス

高麗山脈

アンデス山脈

太平洋

70° 11'

69°

09°

19°

08°

18°

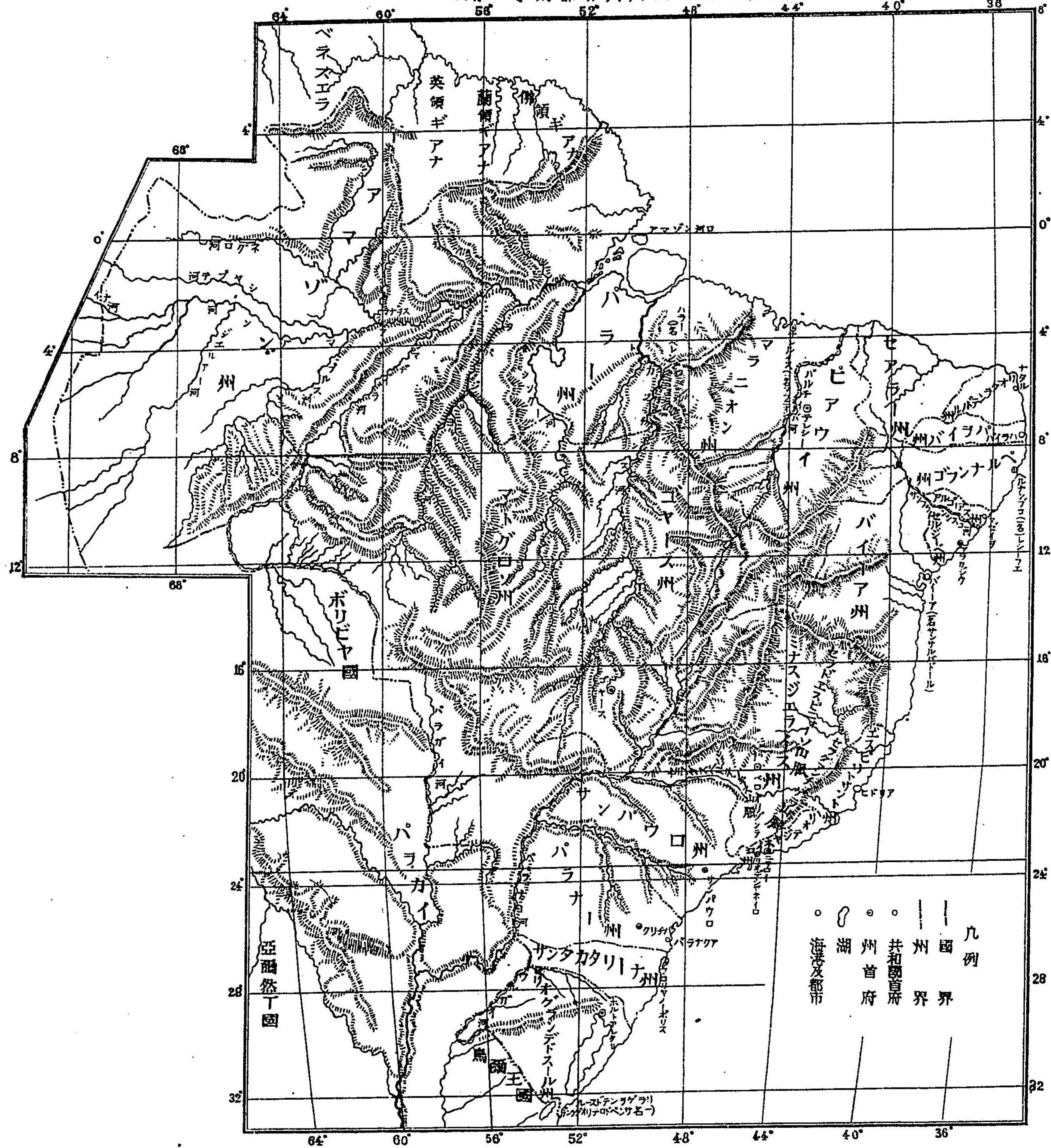




**北米。** 墨西哥。  
**中米。** グアテマラ。ホンズラス。サルバドル。ニカラグワ。コスタリカ。パナマ。  
**南米。** 西印度。ハイチ。キューバ。サントドミンゴ。コロムビア。エクアドール。秘露。智利。亜爾然丁。ウルグワイ。パラグワイ。伯刺西。バネズエラ。

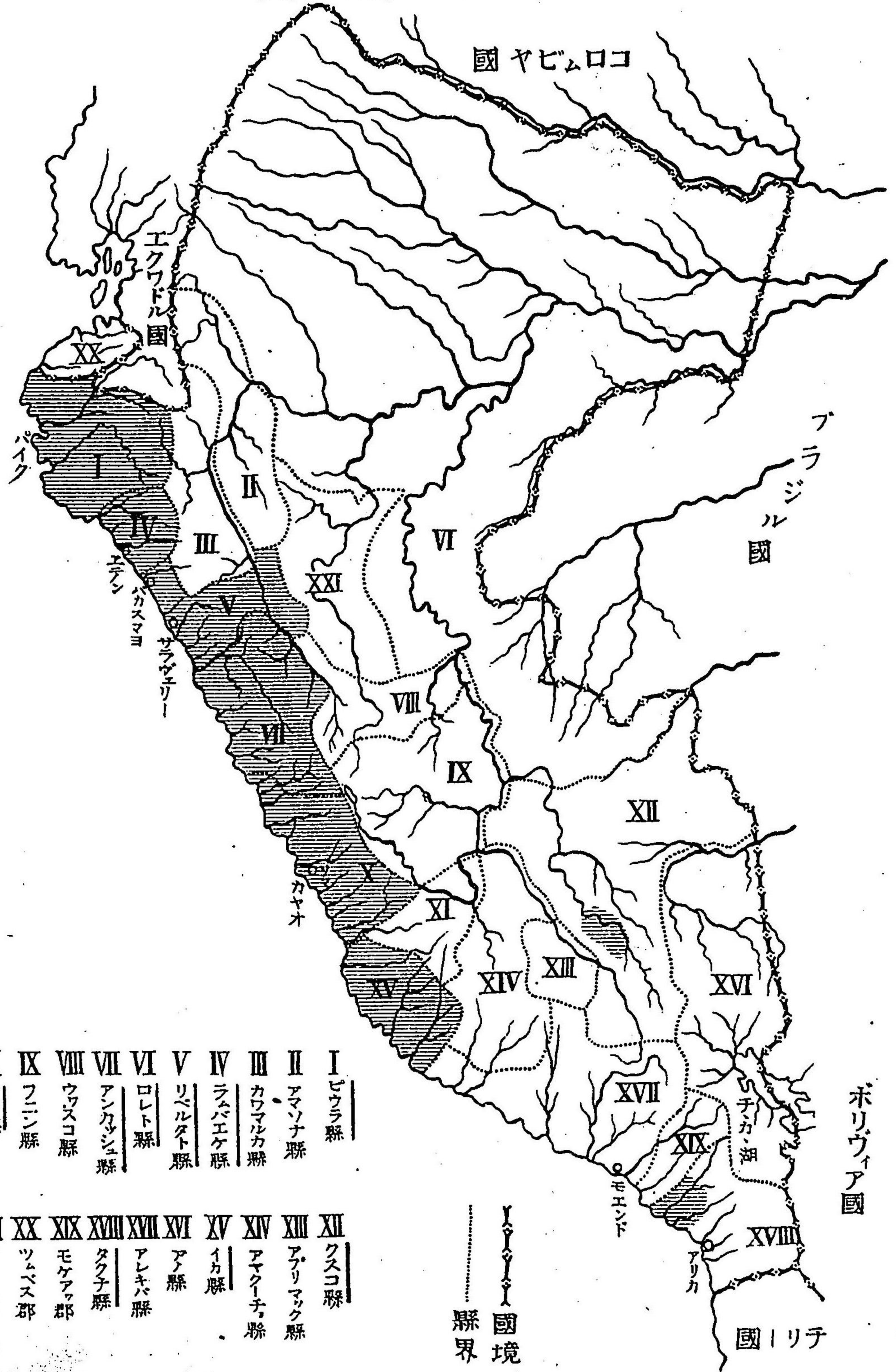


ス示ヲ等府都界州川山國爾西刺伯



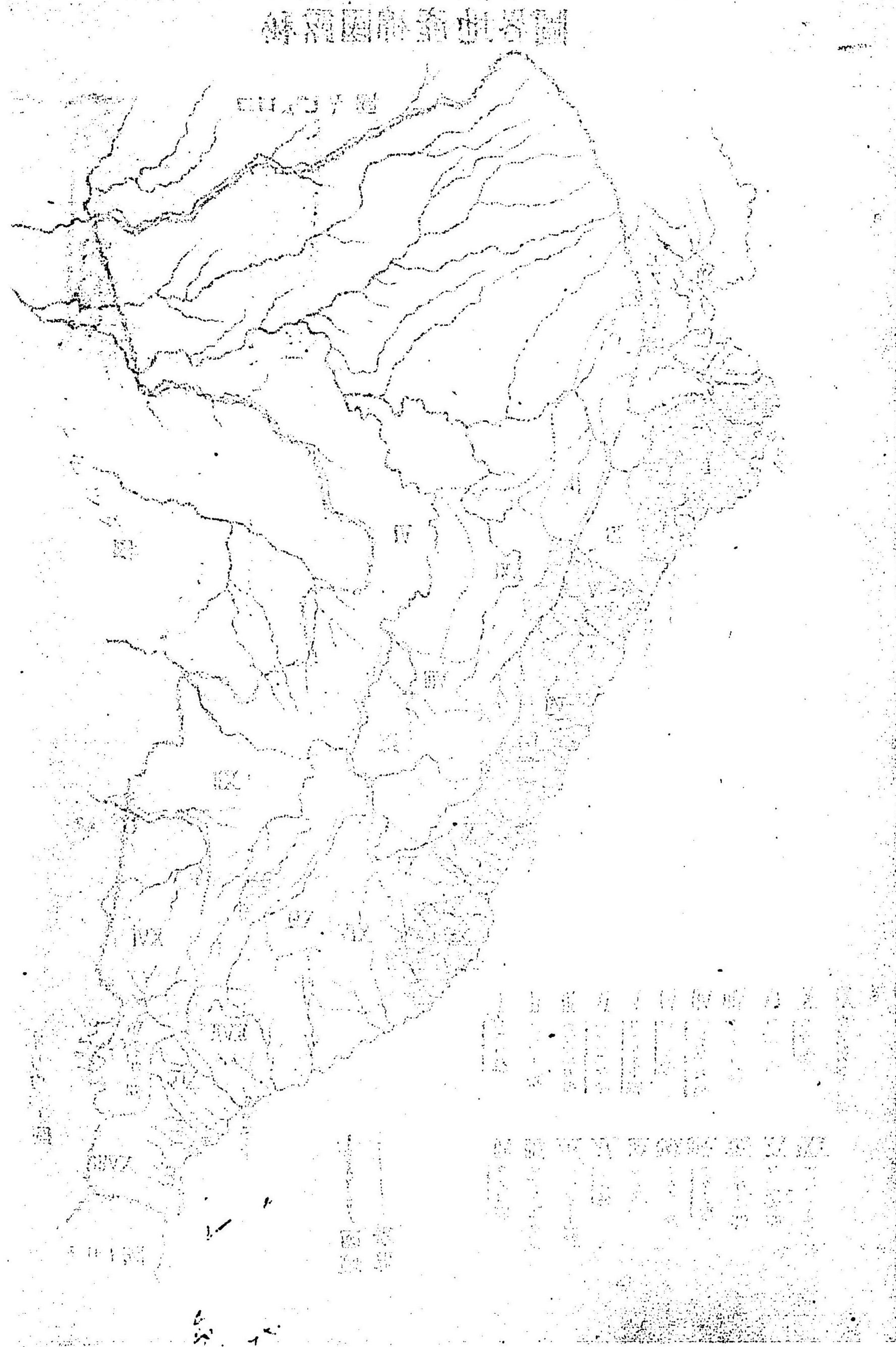


# 秘露國棉產地畧圖



- |          |       |      |       |       |      |        |        |        |       |      |
|----------|-------|------|-------|-------|------|--------|--------|--------|-------|------|
| XI       | X     | IX   | VIII  | VII   | VI   | V      | IV     | III    | II    | I    |
| ウァンカベリカ縣 | リマ縣   | フニン縣 | ウラスコ縣 | アシカシ縣 | ロレト縣 | リメルタト縣 | ラムバエケ縣 | カワマルカ縣 | アマソナ縣 | ピウラ縣 |
| XXI      | XX    | XIX  | XVIII | XVII  | XVI  | XV     | XIV    | XIII   | XII   | XI   |
| サンマルチン縣  | ツムベス郡 | モケア郡 | タクチ縣  | アレキバ縣 | アア縣  | イカ縣    | アマキチ縣  | アフリマク縣 | クスコ縣  | クスク  |





# 南米事情第二

## 論説講話

### ○墨國博覽會ニ就テ

(協會ニ於テ星野錫氏演説)

閣下並ニ諸君私ハ只白石君ノ紹介ヲ得マシタ星野デゴザ  
イマズ昨年十月墨西博覽會ニ於テ我國ノ製産品即チ美術工藝品若  
クハ雜貨等ノ博覽會ヲ開催シタノニ就マシテ夫等ノ事ヲ今夕  
オ話ヲスルヤウニト白石君ノオ話ガアリマシタノデ悦ンデオ  
請ヲシタ次第デアリマス、併シ私ハ至ツテ訥辯デアリマシテ  
殊ニ演説トカ講話トカ順序ヲ立テ、オ話ヲスルコトハ極ク不  
馴デ加フルニ日墨博覽會ノ事ハ偶々關係ハ致シタコトデゴザ  
イマスガ自カラ任シテ事ニ當ツテ仕事ヲシタ事ハナイノデ自  
然オ話ヲ申上ゲル事柄ガ順序ヲ誤リハシナイカト思ヒマス、  
又極メテオ聞苦シイ事モアリオ聞取悪イコトモアリマセウガ  
幸ヒニ今夕ハ本會ノ會員タル諸君ノ御集リデ申サバ内々デモ  
アリ又先刻白石君ノオ話ニ今晚ハ人ハ妙イガ極メテ一粒撰デ  
アルト云フコトデ私ノ拙イオ話モオ聽上手ニ聞カセラル、コ  
ト、存ジマスカラ前後不揃ノコトハ豫ジメ承認ヲ冀フ次第デ  
アリマス併シ決シテ嘘ハ申上マセン、事實ヲ有ノ儘ニ申上ル

積デアリマス海外ノ博覽會ト申シマスト多クハ萬國博覽會ト  
云フ事デアリマスガ此墨西哥博覽會ハ極メテ稀有ノ事デ今迄  
外國ニアツタ萬國博覽會ヲ比例ニシテオ話スルコトハ出來  
ス、一種特別ノ博覽會デアツタト云フコト丈ハ確ク信ジテ疑  
ハナイノデアリマス、  
夫ハ今迄海外博覽會ノ：夫カラ海外ニ於テ我國ノ製作品  
ヲ以テ單獨ニ博覽會ヲ我國ノ者ガ開キ殊ニ其國ノ政府ノ保護  
ノ下ニ博覽會ヲ開催スル事ハ決シテナカッタノデアリマスサ  
ウ云フ變態ヲ以テ此博覽會ヲ開催致シマシタノト唯今白石君  
ノ紹介ノ如ク大ニ見ルヘキ効果ヲ收メテ終リヲ告ゲタノデア  
リマス、此ノ博覽會ノ抑モノ發端カラ申上ゲルト長クナリマ  
スカラ可成簡單ニ要領ダケヲ申上ゲマス此事ヲ始メマシタノ  
ハ昨年ノ四月頃デアリマスガ、東洋汽船會社ノ今ノ横濱ノ支  
店長ノ森本君ガ社命ヲ帶ビテ墨西哥ヘ參イラレタ時ニ博覽會  
問題ガ持上ツタノデアリマス、此ノ建議ガ容レラレテ其結果  
：今茲ニ御出席ノ大川君ヤ白石君ナドガ是非墨西哥博覽會  
ヲ開催スルガ宜イ是非此事ニ當ツテ行ツテ吳レト云フ事ニ殆



ンド壓迫的ニ談示ヲ受ケタノデアリマス之ガ抑モ博覽會ノ起  
源デアルト申シテモ宜イノデ：然ルニ其當時ニ於テハ何等  
墨西哥國ガ如何ナル國デアツテ商業ノ關係ガドウ云フ風ニナ  
ツテ居ルカ又將來如何云フ風ニ貿易ガ出來ルカ殆ンド分リマ  
センノデアリマシタ、トコロデ本會ニ御出席ノ淺田君ヤ大町  
君ナドヨリモ色々勸メモアリ其後又タ墨西哥其者ニ就テノ  
御講話ナドモ屢々聞カシテ下スツタ結果我々モ多少覺ルトコ  
ロモアリ、又前申ス兩君ノ極メテ熱誠ナル御勸誘モアツタノ  
デ茲ニ奮然トシテ博覽會ヲ開ク事ニ決心致シタノデゴザイマ  
ス、夫デ先刻申シ上グル通り海外博覽會トシテハ誠ニ稀有ノ  
モノデアルト云フ事ハ申ス迄モナク海外博覽會ト云ヘバ國家  
カラ金ガ出ルカ若クハ一地方ノ市役所邊リトカ縣廳邊リデ補  
助シテ博覽會ヲ開催シタコトハ兩三度私モ關係シタ事デアリ  
マシタガ今度ノハ何等稱云フ世話ハ一ツモ受ケンノデアリマ  
ス即チ之カ稀有ノ仕事トシテ短縮セル時日ノ下ニ墨西哥博覽  
會ノ開會ヲ爲シ遂ゲタト云フコトハ或ハ我田引水ノデアルガ  
大ニ威張ツテモ宜イコトデアリナイカト思フ次第デアアル尤モ勸  
誘者ノ切實ナル御助力ニナツタコトハ本會トシテモ大ニ記録  
ニ載セテモ宜イコト、思ヒマス、出品人其他ノ事ニ就テモ亦  
一種特別ナル援助ガアツタノデアリマス他ナシ東洋汽船會社  
ノ格外ナル保護ノ上ニ此事ヲ企テ唯今申上グル如ク本會ノ有  
力ナル所ノ御援助ニ預ツタ爲メニ我々ガ猛進一番シテ此事ニ

ルコトヲ得ザル次第ハ先刻申上ゲタル通デアアルガ此勸誘ニ當  
テハ稀有ノ援助ヲ賜リ特ニ提書記官ヲ同行サセテ下サイマシ  
テ到ル處私ガ勸誘スル演說ニ對シ保證的ノ言葉ヲ以テ私ノ勸  
誘上ニ力ヲ添ヘテ吳レタノデアリマスノミナラズ各地トモ農  
商務省カラモ通知ガアツタモノト見エ區役所ヤ市役所へ出品  
人ヲ集メラレテ夫レノ勸誘上ニ力ヲ注ガレタ爲メニ大分便  
宜ヲ得タノデアリマス、夫ガ恰カモ六月ノ十三日デ飛脚的ニ  
豫定ノ個所ヲ漸次ニ勉メタノデアリマシテ又東洋汽船會社モ  
墨西哥獨立百年祭ガアルノデ其航路ニ對スル相應ノ貨物ヲ集  
積スル見込デ又墨西哥市ニ店ヲ有ツテ居ラル、人達ガ此ノ大  
祭ヲ當込ミニ大分貨物ヲ積込ミタレバ意外ニ船ニ貨物ガアル  
ヤウニ承ツテゴザイマシタ故ニ博覽會ノ爲ニ全部ノ積載力ヲ  
貸スト云フコトハ許ルサヌノデ即チ三百噸ト云フ制限ヲ置カ  
レタノデアリマス：茲ニ加ヘテ申上ゲテ置マスノハ東洋汽  
船會社ガ如何ナル方面ニ援助シタカト云フト申ス迄モナク出  
品物及ビ博覽會ニ必要ナ人員ハ無償デ乗セルシ又賣殘ツタ品  
物ニ對シテハ矢張り無償デ積戻シテ吳レルト云フヤウナ事ガ  
最モ我々ヲシテ奮起セシメタ次第デ最良ナル援助デアツタノ  
デアリマスル、其上ニ又資金ノ缺乏ニ付テハ大ニ困難ヲ感ジ  
テ居ツタノデ此等ヲ告白シ甚ダ無理ナコトデアリマシタガ有體  
ニ其事實ヲ告ゲテ其援助ヲ乞フタ所ガ快ク容レテ吳レタ爲メ  
ニ凡テノ事ガ完全ニ設備ガ出來タノデアリマス其外積込ノ上

當ルト云フコトノ決心ヲ持チマシタノデ恐ク汽船會社トシ  
テ此ノ先サウ屢々アルコトデナイト云フ御先見モアツタデセ  
ウガ御商賣柄トハ言ヒナガラ實ニ我々ハ此本會ヲ離レテ一個  
ノ商賣人トシマシテ此ノ會若クハ東洋汽船會社ノ御援助ニ就  
テハ永ク紀念トスベキコト、感ジテ居リマス、此等ノ援助ノ  
爲メニ我々共ハ此企畫ノ成立ニ決心ヲ致シマシタノハ實ニ昨  
年ノ五月六日デゴザイマス尋デ同志者ガ集ツテ五月八日ニ墨  
國日本品博覽會協會ト云フ會ヲ組織シマシテ初メテ仕事ニカ  
カルコトニナリマシタ併シナガラ前申ス如ク墨西哥ノ國情ヲ  
十分ニ理解シテ居ナイ爲メニ多少迷ヒノ間ニ相應ノ日子ヲ費  
シタコトデアリマシタカ兎モ角五月八日以後七月十二日香港  
九ニ出品物ヲ積載シテ橫濱ヲ解纜致サセマシタ其間實ニ六十  
五日ノ日子ヲ要シマシタ次第デ此間ニ於ケル消息ヲ申上クレ  
バ中々長イ時間ヲ要シマスカラ此レハ省略シテ申陳ベマセン  
此開催ニ關シ内務省へ出願致シタ事柄ニ就マシテハ當局ニ於  
テモ大ニ同情ハシテ下サイマシタガ願望ハ徹底スルコトハ出  
來マセンデシタ、爲メニ其當時ハ隨分失望スルヤウナコトガ  
アリマシタガ其失望ヲ補ヒ否寧ロ打消シテ猛進スルコトニナツ  
メニ我々ガ其失望ヲ補ヒ否寧ロ打消シテ猛進スルコトニナツ  
タ次第デアリマス、時日切迫ノ爲メ廣ク内地ヲ勸誘スル餘地  
ガナイノデ横濱名古屋京都大阪神戸並ニ東京ノ六ヶ所ニ對シ  
勸誘ヲ致シマシタガ農商務省ニ於テハ或ル希望ニ關シテ達ス

ヤ又向フカラ積替ノ上送り返ストカ種々ノ方面ニ向ツテ多大  
ノ援助ヲ得タノハ最モ愉快ニ又タ力強クオ話スルコトヲ得ル  
次第デゴザイマス、其所デ七月十二日出帆ノ香港九ニ積込ト  
云フノデ迅速ニ勸誘シマシタガ其間僅々タル日子デアツテ到  
底外國ニ於テ博覽會ヲスルト云フヤウナ事ハ殆ンドオ話ニナ  
ラヌト云フ位ナ日數シカナカッタノデスガ幸ヒニモ此勸誘ガ  
功ヲ奏シマシテ各地トモ非常ニ之ニ就テハ格別ノ同情ヲ以テ  
皆出品スルコトニ決心サレタノデアリマスガ出品人ニ取ツテ  
ハ如何ニ此博覽會ガ成リ行クカ出品ハドンナ事ニスルノカ殆  
ンド五里霧中デアツタラウト思フ、唯心配シタノハサウ云フ  
稀有ノ仕事デアアルシ若シ約束通りノ費用デ納ラヌ時ハ如何ナ  
ル結果ヲ呈露スルデアラウカ種々オ話ヲシタ爲メニ漸ク理解  
サレタ一ハ即チ此新ラシイ得意ヲ墨西哥ニ求ムルト斯ウ云フ  
事ガ最モ力アル話トシテ一種ノ國家的觀念ヲ以テ同情サレタ  
即チ其東洋汽船會社ガ多大ナル援助ヲサレタ事ガ基礎ニナツ  
テ我々一同モ同様ノ觀念ヲ以テ之ニ當リ出品人全體モ又サウ  
云フ考ヘヲ以テ進ンデ出品サレタノデアリマスガ唯困ツタ事  
ハ三百噸ト云フ制限ノ貨物ガ百噸カ二百噸カ或ハ反對ニ五六  
百噸ニ昇ル様ナ事ハアリハセヌカト夫ガ非常ニ心配デアツタ  
ノデシタガ幸ニ其貨物ガ制限高ヨリ僅ニ二三噸殖ヘタ丈ケデ  
誠ニ都合デアツタノデス夫カラ又其噸數ト云フモノガ恰度  
墨西哥政府ガ貸シテ吳レル場所ニ適シタ品數デアリマシテ之



等モ又圖ラザル幸福デ一ノ天佑ト申シテ宜イ位デアリマス故ニ汽船會社ノ貨物ノ上ニ就テハ毫モ迷惑ヲ懸ケズ又貨物ガ渺ナクモナク殆ント約束ヲ立派ニ履行シタト云ツテモ宜カラウト思ヒマス、其處デ博覽會ヲ彼地ニ於テ致シタノハ九月ノ二日ニ開會シテ十月ノ廿三日ニ閉會シタデアリマスガ開會式當日前ノ大統領ガ臨席サレテ極メテ嚴肅ニシテ盛大ナル式典ヲ舉ゲタ夫デ同日ノ午後三時ニナツテ始メテ公衆ノ觀覽ヲ許シマシタトコロガ實ニ非常ナ盛會デアツテ殆ンド場内ヘ這入切レヌ有様デアツタト云フコト、側ラカラ即賣品ガ非常ニ賣レテ殆ンド金ヲ受授スル上ニ就テ非常ナ大間諷付ヲ起シタ要スルニ之ニ從事スルトコロノ賣子其他ガ不馴ノ爲メニ此ノ大間諷附ヲ見タノデ不得已其翌日ヨリ三日間整理ノ爲メニ休業シテ再ビ開會シタデアリマスガ引續キ開會何等ノ不都合ナク十月廿三日無事閉會シタ次第デアリマシタ、此博覽會ガ如何ナル盛況デアツタカト云フコトニ就テハ當時ノ報告書ニモ詳シク記載シテアリマスカラ省クコトニ致マスルガ只々如何ニ盛況デアツタカト云フノ一事ハ此博覽會ノ入場料ヲドウスルカト云フコトガ當時ノ問題デアリマシタガ段々汽船會社邊リニモ相談シタ末ニ一人前二十錢ガ相當デアラウト恠ウ云フコトデ二十錢ニ極メタ然ルニ開會シマスト前ノヤウナ有様デ到底人ヲ入レルコトモ又物品ヲ賣ルコトモ買フコトモ出來ス、ト云フ始末ニ至ツタ爲メニ彼地ノ政府ノ注意ニヨリ又有

クナイコトデアラウシ賣約シタモノカラ云ツテモサウ云フ際デアアルカラ一種特別ニ即賣ニ重ヲ置テ行ツテ見ヤウト云フ話モ出タノデ外務省ヲ經由シテ墨西哥政府ヘ照會シテ賣ツタ其照會ニハ凡テノモノヲ即賣スルノデナクツテ一品キリシカナイ美術品トカ云フヤウナモノハ閉會迄置キ第一ニらんぶノはやトカ傘トカ懸替ノアルモノハ悉ク即賣シテサウシテ側カラ補填シテ置ク空棚ノ出來ヌ様ニ注意シテ置キ又博覽會ハ幸ニモ今迄ノ博覽會デハ博覽會其者ニ出ス品物ノミヲ吟味シテ金牌デモ得ルト云フコトニ汲々乎トシテヤツタノデ其弊ガ仕樣ガナカツタ博覽會デ賞牌ヲ取ツタ後デハ遠ツタ品物ヲ賣ルト云フヤウナ弊ヲ往々耳ニスルノデスガ、サウ云フコトヲ打破スルト云フ目的ヲ達スルコトガ出來タ、サウ云フ風ナコトデ即賣ニ重ヲ置テ政府ヘ懸合ツタトコロガ先方ノ答ヘニ即賣ハ差間ナイガ何卒空棚ノ出來ヌヤウニシテ賞ヒタイト云フコトデ博覽會ノ閉會迄ニハ大半空棚ガ出來ルト想像スルカラ夫ニ就テ充分注意シテ下スツタナラバ宜イト云フコトデ外務省ヘ向フノ政府カラ答ガアツタノデ之モ我々ノ目的ヲ達スルコトガ出來タ、即賣ニ力ヲ致シタ爲メニ入場者ニ最モ一種ノ満足若クハ歡興ヲ與ヘタヤウニ考ヘテ居リマスソナコトデスカラ出品人モ手廻シノ好イ人ハ二回若クハ三回迄汽船會社ノ船ニヨツテ博覽會ノ開會中即賣品ヲ賣ツタヤウナコトデ全ク即賣ト云フコトニ就テハ十二分ノ目的ヲ達シタヤウデゴザイマ

力者、實業家ニモ相談シタ結果此入場料ヲ俄ニ一圓ニ改メシタ、換言セバ一ノ入場禁止稅ヲ課シタ有様デゴザイマシタ、此入場料一圓ニシタ爲メニ家族ノ入場ガ減ツタ爲メニ幾干カ此場内ガ混雜ヲ避ケ得ラレルヤウニナツタデアリマス金満家ガ來テ欲シイ品ヲ買フニモ實際ニ品物ヲ調ベテ買フコトニナツタデアアルガ夫レ迄ハ押返サレヌ混雜デ到底品ヲ買フナント云フコトハ出來ヌ、斯ノ如キ有様デアリマシタカラ二十錢ノ入場料ヲ一圓ニ引上ゲタ次第デアリマス、何卒之ヲ以テ如何ニ博覽會ガ盛ンデアツタカラオ察シテ願ヒタイ、其所デ即賣ト云フコトニ就キマシテオ話ヲ致シマスルガ是迄ノ博覽會ハ往々此即賣ガ極ク喧シク遂ニ遠方カラ來タオ客ハ買ツテモ直グ持ツテ歸ルコトガ出來ヌ即チ閉場後始メテ郵便ニ托シテ送ルト云フヤウナコトデ見物人ハ誠ニ其歡樂ヲ表示スル所ノ土産物ヲ買ツテモ直グ持ツテ行ケスト云フ一種ノ不自由ヲ持ツテ居ツタ、サウ云フ苦情ヲ往々聞キマシタノデス开ハ一等トカ二等トカ其審査ノ結果ヲ公衆ニ示シテ獎勵ノ目的ヲ達ルカ爲メニ即賣シテ品物ヲ直ク持ツテ歸スコトガ出來ヌノデアツタガ、此墨西哥博覽會ハ我々ガ我々ノ造ツタトコロノ品物ヲ持ツテ行ツテ夫ニ我々ノ審査ヲシテ夫々我々ガ又褒賞トカめたるトカ與ヘタトコロガ何等ノ趣味モナイカラ一層省クコトニシヤウ又品物ハ早ク渡シテ掴マセ夫ヲ以テ樂マセルノハ最モ必要ナコトデアラウト……唯見テ歸ルコトモ面白

ス幸ヒニモンソナコトデ十月廿三日芽出度閉會ヲ告ゲルコトニナリマシタ、此博覽會ニ對シテ如何ニ此墨西哥政府ガ悦バシタカ大統領ガ如何ニ満足セラレタカト云フコトヲ申上ゲテ置ク必要ガアル即チ四十二年十一月十八日附ヲ以テ農務大臣ヨリ同國外務大臣ヲ經テ堀口代理公使ヘ大統領ノ賞詞カ移牒ガアツテ夫ガ外務省ヘ其通達ガ參リマシタチヨット夫ヲ讀ンテ見マセウ

以書翰啓上致候陳者本月七日附第一四〇五〇號貴翰ヲ以テ御申越ノ趣キハ委曲大統領ニ具陳致置候本官ハ大統領ノ裁可ヲ得テ墨西哥政府ハ我獨立百年祭ノ佳節ニ際シ墨西哥市ニ開催セラレタル日本品博覽會ガ其總裁星野錫氏及ビ理事太田衛加藤平次郎ノ兩氏ノ非常ナル盡力ニ依リ大成功ヲ遂ゲタルハ其深ク悦ブ處ナル事ヲ茲ニ貴官ニ通報スルノ光榮ヲ有シ候

實ニ日本博覽會ノ開催ハ今ヤ日墨兩國民間ニ存在スル親和ノ表彰ニシテ大統領モ此事實ハ將來兩國ノ商業關係ヲ發達セシムルガ爲メ有力ナル効果ヲ與フルモノタルヲ確信セラレ又之レヲ冀望セラレ居リ候  
博覽會總裁及ビ理事諸員ハ當タニ此博覽會ヲ完全ニ組織セシノミナラズ尙ホ日本國產各種ノ工藝品ニ對シ我一般社會ニ向テ深キ趣味ヲ喚起セシ事ノ如キハ確カニ兩國商業關係ノ發達ニ有力ナル効果ヲ與ヘタルモノト存候



大統領ハ貴官ヨリ右ノ趣キ日本國代理公使ニ御移牒相成候  
様希望被致居候仍テ此段申進メ候

本官ハ此機ニ際シ貴官ニ向ツテ重ネテ敬意ヲ表シ候

敬 具

斯ウ云フ手翰ガ外務大臣へ參ツテ外務大臣カラ本會へ通達  
ガ參ツタノデアリマス、此ノ博覽會ニ對シテ大統領ノ満足セ  
ラレタルコトハ之ヲ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙此所ニ  
此博覽會ノ結果トシテドウ云フ影響ガアツカト云フ事ヲ申  
上ゲテ置タイト思フソコデ東洋汽船會社ガ先刻津田サンノオ  
話ノ如ク一ノ達觀ヲ以テ淺野サンガ此ノ航路ニ當ラレタコト  
ハ津田サンノオ説ノ如ク此博覽會ヲ行ツテ益々淺野君ノ先見  
ノ明アルコトヲ感謝シテ居ルノデアリマス、此汽船會社ガ此  
航路ヲ開イタ以來博覽會開會前後夫カラ閉會後如何ナル狀況  
ヲ以テ貨物ノ墨西哥へ向ツテ送ラル、カト云フコトヲ申上ゲ  
テ其効果ヲ推斷スルコトガ出來ルト思フ、昨年七月十二日香  
港丸ガ横濱ヲ出タノハ即チ總計三百五十九噸ト云フモノガ墨  
西哥へ參ツタノデアリマス、之ハ即チ出品物モアリマスシ其  
内三百噸ハ博覽會ノモノ五十噸若クハ四十八噸ハ其時ノ注文  
：：百年祭ニ就テ商賣人ガ注文サレタモノデアラウト思フ、  
其次ガ紀洋丸ガ九月五日ニ横濱ヲ出タ時ガ三十八噸其前ニ博  
覽會以前ニ同様紀洋丸ガ五月十四日ニ出テ居ル其時ニハ二十  
三噸其前ニ紀洋丸ガ三月十五日之ハ四噸：：三月十五日ニ紀

其後墨西哥市ニ於テ既ニ店ヲ開イテル人、又博覽會後店ヲ開  
カレタ人ヤ又店ヲ大ニ擴張サレタコト二三申上ゲマス、第一  
ニ墨西哥ニ商賣ノ見世ヲ持ツテ居ルノハ先刻申シタ理事トシ  
テ同行サレタ加藤平次郎君：：此人ノ加藤商店之ハ博覽會後  
約三倍以上ニ擴張致シタノデアリマス、即チ家モ隣家ニ軒ヲ  
潰シテ恐ラク三倍以上ニ擴張サレタ擴張サレタ計リデナク物  
品ノ賣レ方モ非常ナクデ夫カラ小澤商店ノ擴張之レ又著シイ  
モノデ絹物製品ノ卸取引ヲシテ居リマスガ其輸出商ハ非常ニ  
増加シタ、夫カラ小野寺商店之レ又多ノ發展ヲシタサウド  
アリマス、此ノ人ハ沖繩絹製品ヲ主トシテ其他雜貨モ販賣セ  
ラレテ居リマス即チ此ノ店ハ此博覽會以後出來タ店デ相當ノ  
成績ヲ舉ゲテ居リマス夫カラ日本貿易合資會社ト云フモノモ  
出來タ之ハ東洋移民會社ノ淺田君關河田君ナドガ御盡力ニ  
ナツタヤウニ聞マシタ其他神谷等ノオ店ガ出來テ之マタ結果  
ガ良イサウデゴザイマス、サウシテ今後尙大ニ發展スル見込  
デアルト云フコトデゴザイマス、サウ云フコトデ即チ商賣ニ  
於マシテハ實ニ發展スル途ハアルサウデ何レモ三四倍ニ擴張  
スル計畫ダサウデ之等モ又博覽會ノ力與ツテ大ナリト申シテ  
宜カラウト思ヒマス夫カラ之等ハ店舗ヲ持ツタ例デゴザイマ  
スガ此博覽會ノ見物ナリ觀光ナリテ行カレタ結果トシテ新シ  
イ事業ヲ見出シタト云フコトデゴザイマス、又事業ニ就テ彼  
ノ政府ト約束シタコトモアリマス之等ハ全ク博覽會ノアツタ

洋丸ガ四噸ヲ積ンデ其次ニ五月十四日ガ二十三噸夫カラ香港  
丸ガ七月十二日ニ唯今申シタ博覽會ノ品物ヲ合セテ三百五十  
九噸夫カラ其次ニ紀洋丸ガ九月五日ニ出タ之ガ即チ三十九噸  
デ夫カラ其次ニ之ガ此博覽會以前デ夫カラ博覽會開會中若ク  
ハ閉會後デアリマスガ紀洋丸ガ十一月五日即チ博覽會閉會後  
ニナリマスガ之ガ三十九噸香港丸ガ一月六日ニ十七噸夫カラ  
紀洋丸ガ三月九日之ハ本年デス：：百卅九噸其次ガ百卅一噸  
其他ニ六十三噸夫カラ二百廿九噸夫カラ百卅一噸最近十月卅  
日紀洋丸ガ行マシタガサウ云フ風デ之ヲ閉會後七航海ノ噸數  
ヲ平均シテ見マスルト百二十噸内外ニナツテ居タノデアリマ  
ス、先ヅ貨物ノ殖ヘ方カラ見マシテモ博覽會ガ如何ニ墨西哥  
ニ向ツテハ効果ヲ舉ゲタト云フコトヲ申上ゲテ宜カラウト思  
ヒマス、尙博覽會ノチヨット今荷物ニ就テ話マシタガ乘客ニ  
就テハ、細カイ事ハ何ンデスガ乘客ノ方ハ博覽會ノ内ハ多數  
ノ人ハ參リマシタガ其後ハ著シク貨物ノ如クニ殖ヘテハ居リ  
マセヌ、併シ博覽會トシマシテ墨西哥其モノヲ多クノ人ガ知  
リ從ツテ夫ガ夫レノ轉傳シテ行ク人モ殖ヘテ行クコトニナ  
ルデアラウシ又ナリツ、アルト思フ：：オ客様モ見ヘタヤウ  
デスカラ之等ハ汽船會社ノ船ニ向ツテノ効果トシテオ話ヲス  
ルノデアリマス、尙博覽會ノ爲メニ觀光團ガ組織サレテ行キ  
マスシ即チ今夜此所ニ御出席ノ佐々木君ガ彼地ニ行カレタノ  
デアリマス要スルニ本會ノ御獎勵ニナツタコト、思ヒマス、

爲ダト云ツテ宜カラウト思ヒマス其重ナルモノヲ申シマス  
即チ此所ニ御出席ノ鈴木君ガ觀光團ヲ率ヒテ彼ノ地ヘ行ツテ  
彼地ヲ親シク視察シタ結果一ノ陶器ヲ彼地デ燒クトコロヲ造  
ラヘタラ宜カラウト云フヤウナコトデ即チ陶器製造ヲ墨西哥  
ニ開クト云フコトニ就マシテハ即チ淺野サン横山サン平山サ  
ンナドガ投資者ノ一人トナツテ陶器事業ヲ開始スルコトニナ  
リ既ニ繪圖等モ先日送ツタト云フコトデアリマス、彼地ニ於  
テ充分勝利ヲ得ラレルコトデアリマセウ、斯ノ如ク文物ヲ着  
々：：仕事ヲ進メルコトニ就マシテハ即チ日本らてん協會ト  
シマシテハ、博覽會協會ト致マシテモ實ニ深く感謝シマス  
コロデ尙進ンデハ即チ彼地ニアル外國人等ノ家具製造等ニ就  
マシテモ或ハ墨西哥人トモ提携シテ商店ヤ工業ヲ起スコトニ  
モナルデアリマセウ、サウ云フコトモ又博覽會ノ爲デ之等ハ  
大ニ賀スベキコト、思ヒマス夫デ尙進ンデハ墨西哥ノ沿岸ノ  
即チ此外ニモ種々山ナリ川ナリ原野ナリニ種々ナル天産物モ  
ゴザイマシテ：：ト云フコトハ先刻津田サンノオ話ニモアリ  
マシタガ海ニモ又多ナル利益ガアルサウデゴザイマス、既  
ニ沿岸ノ漁業權ニ就マシテハ佐々木君モ政府ト交渉シテ之  
就マシテハ此所ニ出席ノ方モ發起人ヤ何カニ任シテ彼ノ博覽  
會ニ行カレタ方ガ財源ヲ見出シタ、之又博覽會ノ効果ノ一ト  
見テ宜カラウト思ヒマス尙私ハ一ツ落シマシタガ其後博覽會  
後如何云フ品物ガ多ク行クヤウニナツタカト云フト其重ナル



モノ二三ヲ舉ゲマスルト云フト絹物製品陶磁器漆器竹細工ト云フヤウナモノデ又美術品ハサウ迄進歩シテハ居リマセヌヤウデス畢竟未ダ日本ノ雜貨ノ趣味ガ彼ノ地ノ國民ニ多少了解シタ位デ未ダ美術ト云フコトニ就マシテハ恐ラク未ダ趣味ガ起ランダラウト思ヒマス斯ウ云フコトガ發展スルト同時ニ需用ガ殖ヘテ來ルト云フ時機モサウ遠クハナイト思フ要スルニサウ云フヤウナコトデ博覽會ノ結果トシマシテハ唯此博覽會ガオ祭的ノ墨西哥百年祭ニオ手傳シテ歸ツテ來タト云フコトデナクシテ其結果トシテ着々仕事モ舉ラレテ居ルヤウデアリマス東洋汽船會社ノ大々的奮發ト本會ガ東京ノ實業家若クハ横濱ノ實業家ニ向ツテ墨西哥其者ノ國狀等ニ就マシテ具サニ屢々講話ヲセラレテ皆ノ頭ニ印象サレタコトガ大ニ與ツテ力アルコトデアアルデアリマス茲ニ南米ラてん協會トシマシテ此事柄ニ對シテハ確カニ御心配ノ結果ガアツタト一同悦ンデ宜イト思ヒマス、最後ニ於テ私ハ一言諸君ニ願ヒタイノハ私モ不肖ナガラ此事業ニ當ツテ博覽會ヲ芽出度終結ヲ告ゲマシタガ其後今日ハ前申マス有様ヲ以テ進ンデ居リマスノデ何等心配ハナイ、ヤウナモノデアリマスガ羨移リ物變ツテ又他ノ方面ニ向ツテ好イ得意モ出來ルカモ知レス、前刻津田君ノオ話ノ如ク墨西哥博覽會ハ南米全體ニ向ツテハ充分ノ働ガナイ唯一番近イトコロノ墨西哥ニ向ツテ此端緒ヲ開イタノデ益々此結果トシテ膨大セシムルコトハ本會々員タルモノノ責任デア

### ○南米所見

(協會ニ於テ津田氏演説)

諸君私ハ唯今白石サンカラ御話ノアリマシタ通り三井物産會社ヲ代表シテ昨年ノ十月ニ此地ヲ立ツタノデ、要務ヲ申セバ唯茫然南米ノ視察ト云フノデ、此七月ニ歸ツタノデゴザイマス、此事ニ就テ白石君カラ此間能々御出ニナツテ何カ南米ノ話ヲシロト云フコトデゴザイマスガ兎ニ角何モ別ニ議論モナニモナイコトデ、唯自分ノ歩イテ來タ事及ビ夫ニ就テノ感想ヲ皆様方御先輩ノ前デ御話スルコトノ機會ヲ與ヘラレマシタ事ハ私ノ大變光榮トスルコトデゴザイマス、夫ニ就キマシテ一概ニ南米ト申マス、此所ニ掲ゲマシタ圖ニモ御覽ノ通りニ氣ノ遠クナル程、恁ンナ茫漠タル所ヲ、斯ンナ小サイ身體デ、限リアル日數ヲ以テ歩ルイテ見タ丈ノコトデゴザイマスカラ、中々二十分ヤ三十分間ニ於テ其概念スラモ、皆様ニ成程南米ト云フ所ハ、爾ウ云フ所カト思ハシムル程詳シク御話スルコトハ中々六ヶ敷事デゴザイマス唯一班ニ涉ツテノ御話ヲシマス、又私ノ考ヘマシタ事モ夫ヲ言ハシテ頂キマス前ニ私ノ歩キマシタ順路ヲ話ノ順序トシマシテ申上ルコトニ願トウゴザイマス

リ又義務デアルト云フコトノオ覺悟ヲ願ヒタイ協會ノ幹旋勸誘宜シキヲ得タ結果茲ニ博覽會ヲ開催スルコト、ナリ其効果ヲ收メタノデアリマス、其効果ヲシテ益々増大セシムルト云フコトハ其緣因カラ確カニ辭スコトノ出來ナイコト、斷定シテ差關ナイト思ヒマス私ガ博覽會ニブツ付カレト云フ協會ノ勸告ヲ受ケタ協會ノ言葉ニ對シテモサウ云フコトヲ考ヘマス、幸ヒニ有力ナル諸君ノ尙最後ニ東洋汽船會社ガ此博覽會ノ爲メニ若クハ日本ラてん協會ノ發意ヲ汲マレテ多大ノ援助ヲ下スツタコトハ私ガ今日協會員トシテ此ノ講話ヲスル時機ニ於テ會員ノ一人トシテ衷心ヨリ謝スルトコロデアリマス、茲ニ終リニ臨ンデ東洋汽船會社ニ厚ク御禮ヲ申上グル次第デアリマスガ大變長クナリマシタガ唯今津田サンノオ話中ニ最モ非常ナ悦ビヲ以テ愉快ニ伺ツタノハ商賣ヲ措テ他ニナイト斯ウ云フコトデアリマス即チ商賣ノ端緒ヲ開ク爲メニ博覽會ヲヤツタノデアリマスカラ我々ガ之ガ爲メニ應分ノ苦心ヲシタコトハ津田サンノ前刻御講話ヲ承ツテ一層力ヲ得タト喜ブコトデアリマス申迄モナク益々商賣ヲ發展スルコトハ協會ノ責務デアルト云フコトヲオ覺悟ヲ繰返シ切望スルデアリマス、大變長クナリマシタガ之デ御免ヲ蒙リマス

等ニ制限サル、ト思ヒマシテ故意ト他ノ線路ヲ通ツテ登リマシタ、夫ハ先ヅ「ホノル、」横濱カラ「ホノル、」桑港ニ渡ツテ彼カラ鐵路段々南ニ下ツテ恰度墨西哥ノ騒動ガ起リマスル少シ以前ニ四晝夜ヲ經テ墨西哥市ニ參リマシタガ此地圖ニ現ハレテ居ル首府ニ參ツテ夫カラ東洋汽船會社ガ船ヲ寄セル一ノ港ノ「サリナクルーズ」ト云フ所ニ參リマシタ此「サリナクルーズ」ト云フ所ハ何等ノ產物モアリマセンケレドモ最モ必要ナ鐵道ガ大西洋沿岸ト繋ギ附ケテ居ルトコロノ鐵道ガ馳ツテ居ル重要點デアリマス、元來墨西哥カラ南ノ方ヘ下ルコト：即チ南米ニ這入ルノニハドウシテモ甚麽シテモ先ヅ「バナマ」ヘ出ナケレバナラス、乍併墨西哥ヘ這入ツタ以上ハ中「バナマ」ヘ行ク航路ト云フモノハナイデアリマス、東洋汽船會社ガ六十日目ニ一回「サリナクルーズ」ト云フ墨西哥ノ港カラ一遍秘露ニアルダケテ其外ハ先ヅ今日ノ所ナイト云ツテモ宜イデアリマス、併ナガラ墨西哥カラ「バナマ」ヘ出マサルニハドウシテモ一番近イ所ハ矢張亞米利加デ、墨西哥灣ヲ通ツテ「ニューオリエンズ」ニ入り、或ハ紐育ニ參ツテ其所カラ更ニ船ニ乗ツテ「バナマ」ニ行カネバナラスト云フノガ先ヅ普通ノ順序デアリマス、所ガ恰度私ノ昨年十月ニ此方ヲ出マス以前ニ始メテ日本ノ艦隊：練習艦隊ガ淺間笠置ト云フモノガ士官候補生ヲ載セマシテ「ホノル、」桑港其他ノ港々ヲ經テ「バナマ」ヲ終點トシテ參ツタ練習艦隊ガアリマシタコト



ヲ豫期シテ居リマシテ、海軍省へ前以テ御願ヲシテ此練習艦隊ナルモノガ前刻オ話ヲシタ「サリナクルーズ」へ寄ルノヲ見越シテ：其所デ私ハ其練習艦隊へ便乗シテ「バナマ」へ行ツタノデアリマス、サウデナイト桑港カラ「バナマ」へ行マスガ之ハ太平洋汽船會社ノ荷物船ナリ且ツ客船ノ甚ダ古ビタ覺東ナイ船ニ乗ラナケレバナラナイカラ、其軍艦ニ便乗致マシタ爲ニ大變私ノ旅行スルコトヲ早メマシタ、夫カラ此所ガ「バナマ」ノ地帯ナンデス：墨西哥ヲズツト下ツテ此所へ來テ夫カラ沿岸線ノ此沿岸ヲズツト定期ニ歩イテ居ル船ガアリマス、其定期船ノ一ニ乗ツテ秘露ニ參リマシテ秘露ノ「カリヤオ」ト云フ港ニ著マシタ、夫カラ此所ニハ電車モ通ツテ居リマスルシ又電車ナラバ約一時間、汽車ナラバ三十分カ四十分位要リマス、恰度横濱ト東京ヨリハモツト近イ距離ニ於テ「リマ」ト云フ首府ガアリマス、「ペルー」ノ其首府へ暫ク滞在シテ夫カラ砂糖畑等へモ參リマシタ、其次ハ智利ノ「イケイケ」ト云フ所へ、此ノ「カリヤオ」カラ出テ智利ノ「イケイケ」ト申ス所：矢張り東洋汽船會社ノ船ノ寄リマス所デアリマスガ其所ニハ硝石ガ出來マス、其硝石地帯ヲ歩イテ段々ト下ツテ「バルバライオン」港ニ來マシタ夫カラ獨逸ノ殖民地ト見做シテ可イ此邊マデ四十度マデ下ツタノデアリマス、一體ナラバ此「バルバライオン」カラ向フ側へ行クニハ「マゼラン」海峡ヲ通ツテ「ブエノスアイレス」、即チ亞爾然丁ノ首府へ出ルノガ當リ前

球ノ産出スル所へ參リマシテ夫カラ鐵道デ二時間バカリ懸ツテ「サンボロー」ト云フ市ガアリマス、夫カラ又鐵道デ「リオデジャネーロ」へ出テ夫カラ歐羅巴ニ渡ツテ大陸及英吉利ノ方ヲ見テ七月ニ歸朝シタノデアリマス、順路ハサウ云フ譯デ歩イタ所ハミンナ鐵道モ通ツテ居リマスルシ、汽船ノ便モアル所バカリ私ハ歩イタノデ、更ニ其非常ナルコロノ「アマゾン」ノ此ノ流域ハ此方ノ北部ノ方ト云フモノハ一切私ハ歩ルキマセン、併ナガラ先ヅ此ノ位ノ所大體南米ト云フモノハ何ウ云フ所デアアルカト云フダケノ頭腦ダケハ拵ヘテ歸ツタ心算ナノデゴザイマス、一々之ヲ國別ニシテオ話ヲスルト、或ハ鐵道ノコト、云ヒ或ハ金融、教育、兵備、財政等種々ナ點ニ涉リマスガ私ノ歩イタノハ陸軍ノ參謀本部ナリ、或ハ東洋汽船ノ如キ航海業者トカ又ハ外務省邊リニ歩イタ方モアルト聞マシタガ結局ハ移民航路其他ニ就テ重ニ取調ラレタヤウニ拜聽シテ居リマス：ガ私ハ一切サウ云フコトハ眼中ニ置カズ唯日本ノ商賣ト云フコトヲ頭ニ置テ來マシタノデ、今日茲ニオ話ヲ致シマシタ後ニ未ダ種々ナ御質問ガゴザイマセウカラ私モ又出來得ルダケオ答ヲ致シタイト思ヒマス、從ツテ私ノオ話スルコトモ商賣上ニ涉ツタ事ガ多イノデアリマス私ガ此度南米旅行ニツキ著感シマシタ事ヲ日本ノ社會デ私ガ皆様ノ前デ斯ク申マス事ハ誠ニ口幅ツタイヤウデゴザイマスガ先ヅ陸海軍ガ最モ商工上其他ニ比シテ進歩シテ居ルモ

ノ順序デアリマス然ルニ昨年ノ七月カラ智利ノ首府「サンチアゴ」ヲ通ツテ「ブエノスアイレス」へ行ク橫斷鐵道ガ出來タノデアリマシテ、之ハ餘リ南米ノコトニ注意ニナツテ居ナイ御方ニハサウ云フモノガアルカナイカ解ラント云フ程ノ鐵道デアリマスガ兎ニ角鐵道ノアル、一ノ大洋カラ他ノ大洋ヲ結ビ附ケル鐵道トシテハ先ヅ亞米利加ノ橫斷鐵道ハ別トシテ西比利亞鐵道ノ如キモノ、其次ハ墨西哥ニアル「テハンテベツク」鐵道、夫カラ先ヅ此太平洋カラ大西洋ヲ横切ツテ居ル此鐵道ハ世界ノ鐵道トシテ兩方ノ海洋ヲ結ビ附ケテ居ル中々有名ナ鐵道デアリマス、サウシテ此所ニ見エマス「アンデス」山ナドハ中々ノ難工事デアリマシテ鐵道ノ隧道ナド幾ツモ通ツテ居ル鐵道ナノデアリマス之ハ僅ニ四十時間デ此所ニ參ルノデアリマス即チ私ハ海路ヲ經ズシテ鐵路ニヨツテ亞爾然丁ノ都府ノ「ブエノスアイレス」ニ入ツテ此所ヲ起點トシテ牧畜山林其他亞爾然丁ノ近傍ノ所ヲ跋渉シテ、夫カラ此亞爾然丁ノ所謂富ヲ爲シテ居ル「ラブラタ」河ヲ遡ツテ大分與マデ參ツタノデアリマス「バヒヤブランカ」ト云フ所モアリマス、此所ハ海軍港デモアリ又商港デモアルノデ此所へモ參リマシタ、昨年亞爾然丁ノ獨立百年祭ヲ執行致シマシタ時ニ日本ノ生駒ガ參ツタノモ矢張り此「バヒヤブランカ」ト云フ所デアリマシタ夫カラ亞爾然丁ヲ出テ「ウルガイ」ト云フ國ノ「モンデビデオ」ト云フ港カラ船ニ乗ツテ「ブラジル」ノ「サントス」ト云フ盛ニ珈

ノト豫テ思ツテ居リマシタガ前刻オ話申シタ「バヒヤブランカ」ト云フ所ニ獨立百年祭ノアリマシタ時我軍艦ノ生駒ガ參リマシタガ海軍省ノ如キハ最モ凡テノ事ニ御精通ノコトデモアリマスカラ：事實ハ：眞偽ハヨク存ジマセンガ「バヒヤブランカ」ト云フ港ハ何ウ云フ港デアアルカト云フコトハ種々詮索シテ水ノ深淺ナドヲ書イタモノガアルサウデスガ、「ブエノスアイレス」港ニ這入ルニハ歐洲各國ノ商船モ大概ニ十五六尺位ノ船シカ入港シテ居リマセン「シンガポール」ヲ出タ我軍艦モ港内ガ淺イノデ我軍艦ハ軍港ノ中へ這入ルドコロデハナイ、側へモ寄り附ケス、其所デ海軍省へ何デモ電信ヲ以テドウシテモ這入レヌガ何ウシタモノカト問合セタラ出タナラバ出テ仕舞ヒト云フノデ港へハ這入レズ百年祭ノ詰局列ニハ加ハツタガ餘程沖ノ方ニ居ツタト云フコトヲ聞マシタ果シテ爾ウデアツタカドウカバ存ジマセンガ最モ世界ノ事情ニ通ジテ居ラレルト私共ノ思ツテ居ツタ海軍省デモ斯カルコトガアツタト云フコトハ甚ダ遺憾ト思ヒマス況ヤ一度モ見タコトモ無論ナイト申サル、御方ガ澤山デゴザイマスカラ、サウ云フ御方ニ南米ト云フ所ハ何ウ云フ所デアアルカト云フコトヲオ話シ申シテモ誠ニ欠呻ノ出ルコトデアリマスト思ヒマスガ、斯ウ云フ協會ノ出來テ居リマスル以上ハ斯ウ云フヤウナ間遠ノアル考ノナイヤウニ南米ノコトニ就テノ智識ヲ一般ニ擴ムルト同時ニ彼地トノ交通及ビ平和狀態上ノ交リヲ厚クシヤウ



ト云フコトデコウ云フ會ガ出來タノデアラウト存ジマスカラ  
私ガ甚ダ皆サンノ前デオ話スルコトハオ聞苦シイコト、存ジ  
マスガ私ノ歩イテ來タコトヲ聞イテヤラウト云フ御精神ヲ私  
ハ光榮ト存ジマス譯デアリマス、先ヅ日本人ノコトヲ話シマ  
スガ私ノ一番最初ニ參ツタ墨西哥ト云フ所ニハ非常ニ支那人  
ガ這入ツテ居リマス支那人ノ數ハヨクハ分リマセスガドウシ  
テモ七八萬人ハ各州ニ蔓ツテ居リマス、殊ニ「バナマ」ニ至ル  
マデ非常ナ支那人ノ數デゴザイマス、之ハヨク歴史のニハ知  
リマセンガ詰リ墨西哥ト云フモノガ比律賓群島ニ這入ッ  
テ、今日デモ支那ノ開港場デハ墨西哥弗ハ殆ンド我々ノ通貨  
ニナツテ居ル、之ハ矢張墨西哥ヲ經テ斯ウ云フコトニナツタ  
ノデアラウト私ハ考ヘテ居リマス、サウ云フヤウニ交通上ノ  
昔カラ羅馬トノ仲繼トナツテ支那人ガ種々這入ツテ居ルノダ  
ト思ヒマス、彼所ノ土人ハ殆ンド各種ノ勞役ニモ從事ハシテ  
居リマスガ先ヅ商賣ト云フテモ小賣商ト云フモノハ皆支那人  
ノ手ノ裡ニアリト申シテモ宜シウゴザイマス、夫ニ反シテ日  
本人ノ這入ツテ居リマスルノハ甚ダ少ナイノデ或ハ二千トモ  
謂ヒ三千トモ申シマスガ事實日本人ヲシイ日本人ハ先ヅ墨西  
哥ニハ公使館ノ方々ヲ除イテハ：サウ申スト先ヅ無イト申  
シテモ宜イノデアリマス、其他「ペルー」ニ行キマシテモ其他  
何ノ國ヘ行キマシテモ私ノ歩イタ南米各地トモ日本人ハ居リ  
マスガ所謂我々ノ云フ日本人ト云フ人ハ甚ダ少ナイノデアリ

共ノ勤メテ居ル會社ノ人デモ亞非利加ヘデモ行クヤウニ思ツ  
テ君今度虎ノ皮ヲ持ツテ來テ吳レトカ蛇ノ皮ノ煙草入ガ良イ  
トカ頼マレタコトモアリマシタガ其時分ハ私モ宜敷ゴザイマ  
スト答ヒタガ今度歸ツテ見ルト一向サウ云フ蛇ダノヘビダノ  
鱈ダノソソナモノハ出來マセンガ先ヅ世間一帯ノ考ト云フモ  
ノガ亞非利加ヘデモ行クヤウニ金デモ採ルトカ所謂濫手デ粟  
ヲ摘ムヤウナコトヲ言ツテ居ル、斯ウ思フテ居ル人ガ隨分中  
ニハアルダラウシ又移民デ行ツタ人モ食事ハ彼地デ食ベサセ  
ラレルトシテモ日ニ五六圓モ取レルト云フ口實ノ下ニ實際ハ  
日ニ僅ニ一圓五十錢位シカ取レヌトカ種々ノ事ノ爲ニ金ハナ  
シ仕方ナシニ勞力ヲ犠牲ニスルト云フコトデ行ツタ人ガ多イ  
ノト思ヒマス、移民ト云フコトニ就テハ外務省其他御關係ノ  
方々モ深ク私共ヨリハオ考ニナツテ居ルコト、思ヒマスガ唯  
私ノ見タ所デハ何シロ墨西哥カラ南米一圓富ハアリマスガ少  
シモ勞働ニ從事シナイ爲メニ：：勞働ヲシナイノミナラズ假  
令勞働シテモ少シモ信賴スベカラザル勞働者デアリマスカ  
ラ、ドウト支那人モ種々入レテ見タガ支那人ハ移民トシテ其  
所ニ落付ク民デアリマセス、小金ガ出來ルト商賣ヲ始メテ小  
商人ニナリ支那人ガ日本ノ提灯ナリ或ハ日傘ヲ賣ツテ居ル、  
夫ハ皆勞働者カラ成リ上ツタモノデアリマス、夫ハ即チ勞働  
者トシテヨリモ商賣人ノ方ガ支那人ハ適シテ居ル、又種々ヤ  
ツテ見タガ日本人ノ方ハ歐羅巴人ヨリモ割合ニ色ガ黒クツテ

マス「ペルー」ノ如キハ護謨ノ栽培ナリ砂糖ノ採取其他ノ事業  
ニ當ツテ居ルモノガアリマスガ之ハ移民會社ノ手ニヨツテ參  
ツタモノバカリデゴザリマシテ、ヨクハ存ジマセンガ先ヅ七  
八千人ハ「ペルー」ニハ居ルカト思ヒマス其他纏ツタ州ニ居リ  
マスノハ「ブラジル」ノ前刻オ話申マシタ所カラ内地ヘ這入ッ  
テ珈琲ノ栽培ヲスル所ノモノ或ハ其他ノモノデ千人位アルカ  
ト存シマス、此人數ナドハ詳ク私ハ調ベマセスガ纏ツタコロ  
ロハ先ヅ移民トシテ行ツテ居ル「ペルー」夫カラ「ブラジル」等  
ニ過ナイノデアリマス、商賣ト云フモノハ何ウ云フモノカト  
云ヘバ矢張リ提灯トカ傘トカ扇子トカ珈琲茶碗ト云フヤウナ  
モノヲ僅ニ賣ツテ居ル位デ別ニ纏ツタ商法ヲシテ居ルヤウニ  
ハ見受マセン、此中ニハ相當ニヤツテ居ル人モアリマスガ之  
等ハ或ル移民ノ澤山居ル地方ナドハ即チ移民ガ勞働シテ金ヲ  
貯メル其金ヲ日本ヘ送ルノニハ政府モ危イシ郵便モ危イト云  
フトコロカラ日本人ノ即チ口利ノ少シク文字ノ了解スル人ガ  
之ヲ預ツテ金ヲ送ツテヤル或ハ高イ利子ヲ附シテ其資本ヲ：  
或ハ之ハ想像カモ知レマセンガ日本トノ商賣ヲシテ居ルト  
云フ位ナコトデ、確實ニ資金ヲ融通シテ商賣ト云フモノヲ行  
ツテ居ル人ハナイノデアリマス、其所デ我々日本人ノシツカ  
リシタモノガナイト申マスコトハ甚ダ耻カシイ話デアリマス  
ガ之ハ種々ノ誤解カラ起ツタコトモアルダラウト思ヒマス、  
夫ハ南米ト云フトコロガ餘リ人ニ知ラレテ居ナイ爲ニ：：私

使ヒヤスクモアリ士人ヨリモ良イト云フ考デ歐羅巴人ガ歴フ  
ノダラウト思ヒマス、聞ク所ニヨリマスレバ今迄ノ日本ノ勞  
働者ハサウ云フ資本主トノ契約ニヨツテ、詰リ移民トシテ送  
ラレ或ハ其政府トノ契約モアリマスガ私ノ最モ面白イト思ツ  
テ居リマスコトハ此所ノ「ブラジル」ノ港ノ「サントス」港ト云  
フ所カラ未ダ南ニ寄ツテ「イグアツベ」ト云フ所ガアリマス  
ガ、其所ニ關係ノアルオ方モ此ノ中ニオ出ニナツテ居ルカド  
ウカ知リマセンガ其所ニ日本人某サント云フ人ガ彼地ヘ參ッ  
テ居リマシタガ此方ノ地面ノ十五萬町ト云フモノハ此ノ州カ  
ラ無代デ拂下ヲ受ケテ其所ニ日本ノ殖民ヲスルト云フ計畫デ  
其所ニ一萬五千人許リ送ト云フ計畫ノヤウニ内聞シテ居リマ  
シタガ之ガ果シテ御成功ニナレバ先ヅ私ハ今迄日本ノ人間ガ  
「ペルー」ダノ「ブラジル」ノ珈琲ダノ砂糖ダノヲ取リニ行ツタ  
ヨリモ餘程良イコトデ我々國民ハ大ニ援助モシ又成功ヲサセ  
タイト思ツタコトデゴザイマス、其他ニ至ツテハ移民上ニ就  
テハ成功ヲシテ居ルト云フコトハ認メテ歸朝シテハ居リマセ  
ンノデス、即チ日本ノ在移民及ビ都ニ出テ居ル在留民トシタ  
ナラバ甚麽モ感服ハシマセン、又或ル所ニヨリマスト語學ノ  
練習ト云フヤウナ名義ノ下ニ若イ方ヲ遣ツテオ出デノ所モア  
リマスシマスガ唯言語サヘ解レバ宜イト云フオ考ヘデ唯茫  
然造ツテオ出ニナル人モアリマスガ私ノ見マシタ所デハ之ハ  
我々全體ノ爲カラ事ヲシテ申マムレバ即チ國語練習生ト云フ



人ガ年齢ノ若イ爲ニ：南米一帯非常ニ先ヅ：何處ノ國デモ爾ウデスガ、此國ハ一般ニ酷ク酒色ニ耽ルコトガ多イノデアリマス、夫ガ爲メニ種々ノ刺激ヲ受クル：夫ニ接觸スル機會ガ多イノデ若イ語學ノ研究生ガ餘リ好イ結果ヲ今日マデ來タシテ居リマセヌヤウニ私ハ思フノデアリマス從ツテ交ル人カ甚ダ下等デアリマスカラ其間クコトモ真相ヲ得ズシテ僅ニ新聞ノ切抜ナリ或ハ其ヲ譯シテ寄スノデアリマスカラ農業ナリ工業ナリ其他種々ノ事業ノ目的ヲ以テ派遣サセテモ本當ノ報告ガ本國ニハ達シテ居ランヤウニ思フノデアリマス、之ハ私ガ出發前ニ種々見習生トカ研究生ノ方ノ報告ヲ船中ナリ汽車中ナリテ讀ンデ參リマシタガ事實自分ガ行ツテ見マスト甚ダ迂遠ノコトガ多イヤウデアリマス、今後同ジ給料ヲヤリ、同ジ飯ヲ食ハセ、同ジ運賃ヲ拂ツテ手當ヲシテ遣ルナラバ餘程シツカリシタ人ヲ派遣スルコトガ必要デ餘計ナコトデゴザイマスガ私ハ氣付イタ儘ヲ遠慮ナク申上ゲル次第デアリマス、其所デ此南米ト云フ所ニハドウ云フ詰リ人間ヲ遣ツタナラバ宜イカト云フト詰局彼ノ人間ハ既ニ對手ニスベキ程ノ智識モナシ我々ヨリハ人種ガ下等デアリマスガ土地其物例ヘバ山林トカ或ハ漁業トカ其富豐ナル或ハ鑛山其他我々ノ手ニ負ヘンコトガ多フゴザイマスガ土地其物ニ就テハ非常ニ天然ノ富ト云フモノガ存在シテ居リマスノデ謂ハハ土地ニ金ガアリ銀ガアリ銅ガアリ牧畜ガ出來ルト云フ天カラ賦與サレタトコ

利加ノ人モ同意シテ詰局ハ亞米利加ノ人モ徒ラニ自分ノ國ヲ開發スルノミナラズ南米ト云フモノニ非常ナル眼ヲ注イデ中學校ノ生徒ナドニモ殆ンド強制的ニ西班牙語ヲ教ヘテ居ルト云フコトヲ聞マシタガ之ハ事實カドウカ分リマセンガ夫位マデ今日ノ南米ノコトハ世界各國デ眼ヲ注イデ居ルノデアリマス、以前ハ支那貿易ニ對シテ度々ノ戰爭モシ殊ニ英吉利ニモ戰爭ノ血ヲ流シテマデ印度及支那貿易ニ就テハ眼ヲ注マシタガ今日血ヲ流サズシテ最モ收穫ノ多キヲ占メテ甘イ汁ヲ吸ツテ居ルノハ歐米各國デ殆ンド南米カラデアルト私ハ言ツテモ宜イト思フノデゴザイマス、其所デ話ガ少シ餘計ニナリマスガ若シ南米ト云フトコロニ日本人ガ大仕掛ニ、何カ確カデサウシテ利益アル商賣カ或ハ企業ヲスルト云フコトナラバドウシテモ濡手デ粟ヲ掴ムト云フコトヲ望マナイデ、サウ云ウコトヲ先ヅ頭ニ置ナイデ先ヅ相當ノ資本ヲ第一ニ入レテサウシテ南米ノ人間ハ凡テらてん人種ナル西班牙、葡萄牙ノ子孫デアリマスカラ凡テ佛蘭西風：伊太利風ノコトガ文物習慣ニ多イノデアリマスドモ東洋的ノ商賣ヲシヤウト云フコトハ中々六ヶ敷ノデアリマス、矢張り歐米ノ市場デ商賣ノ經驗モアリ其素養ヲ以テ極ク秩序的ニ進歩的ニ行クト云フコトガ一番肝心ダラウト思フ、其次ニ之ハ南米ニオ出ニナル方ニ何誰ニデモ申スコトデアリマスガ先刻申マシタ通り語學練習生ハ若イ人デナク充分ニサウ云フ智識ガアツテ、斯ウ云フ人ニ

ロノ非常ナ富ガアル、又一方カラ土民ガ働ノデゴザイマス、歐洲人ノシテ居ルコトハ其土地ニ惚レテ金ヲ其所ニ投資スルコトニナル投資スル資本ト云ヘバ重ニ英吉利デアリマス、其英吉利ノ資本家ガ殆ンド七割ハ這入ツテ居ルノデアリマス、之ニ就テ墨西哥ノ如キハ亞米利加ノ資本ガ大部分這入ツテ居リマス唯今申マシタ七割カ八割カト申マスモノハ南米全體ニ就テハ硝石其他牧畜山林鑛山ニ對スルモノデ其次ニ獨逸其外佛蘭西ナド中々盛ンニ金ガ這入ツテ居リマス、夫カラ歐洲ノ西部即チ地中海ニ瀕シテ居ルモノハ伊太利西班牙國ナドハ勞働ヲ以テ此ノ南米ノ金ヲ取ニ行ツテ居ル、而シテ見マスルト我々ガ今日若シ南米ニ着手スルトスレバドウ云フコトデアアルカト云ヘバ先ヅ私丈ノ見タトコロデハドウシテモ資本ノ點ニ於テ英吉利或ハ亞米利加等ニハ勝テヌ、夫ナレバ勞力ヲ以テ彼地ニ行ツテ働クカト申マスノニ先刻オ話申シタ通り之モ必ラズ成功トハ認ラレナイノデアアル、其所デ我々ノ南米ニ對スルコトハ先ヅドウシテモ商賣ト云フコトヲ措イテハ他ニナイノデアリマス、之ハ或ル獨逸ノ學者ガ申マシタガ世界ニ對シテ自分ノ國ノ獨逸ト云フ國ハ金ハ勿論ナイ人種モ澤山アルガ此二十年來殆ンド獨逸人ハ移民人種トシテ世界ニ知レテ居ツタモノガ近來ハ皆悉ク獨逸内地ニ吸收シテ外ニ出サナイデ内地ノ製造工業ニ從事サセテ居ルガ併シ競争ノ渺ナイ南米ニ於テ從事サセルヨリ仕方ガナイト云ヒマシタガ、夫ニ亞米

ハ充分ナル給料ヲヤツテモ差間ナイノデ、爾ウ云フ人ハ日本デモ少ナフゴザイマスガ先ヅ土地ト云フモノニ非常ナ富ガアルノデアリマスカラ大概其所ノ人間ハ上流社會ハ何ニモ仕事ナンゾシナイデ俱樂部トカへ行ツテシーガーデモ喫カシテ居ルト云フ人ガ多イ、競馬トカ何トカへ行ツタリ其ヲ英吉利人ナドガ捕ヘテ話ヲシテ借地權ヲ買フトカシテ居ル、今迄行ツテ居ル日本人ハ金モ儲カラスシ人物モ先刻申マシタヤウナ人デアリマスカラ上流ノ人ニ出入モ出來ス、其ノ出來ル人デナケレバ商賣モ出來ナイヤウニ思フノデアリマス、夫カラ我々ハ西班牙：南米デ一番必要ナノハ西班牙語デアリマス「ブラジル」丈ハ葡萄牙語デアリマスガ西班牙語ヲ知ツテ居レバ差間ナイト思ヒマス、兎ニ魚佛蘭西語デモ知ツテ居レバ大變宜イト私ハ思ヒマシタガ英語ハ何等ノ役ニ立タナカツタヤウニ思ヒマシタ夫カラ彼地ノ商賣ニ從事スルニハドウシテモ語學ト云フ西班牙語カ若クハ佛蘭西語ヲ充分研究スル必要ガアルト思ヒマス、之ハ皆サン御承知ノコト思ヒマスガ向フへ行ツテ居ル移民及ビ日本人ト云フモノヲ私ガ見マス上ニ自分ノ唯判斷丈ヲ申上ルダケデゴザイマスガ「バナマ」ニ私ガ參ツタ時分ニ此工事ニモ往復シテ親シク歩イテ技師ノ説明モ聞キ又實地ヲ見テ參リマシタガ此「バナマ」ノ工事及其他ノオ話ヲスルコトハ甚ダ別ノコトニナリマスガ今日ハ省イテ此「バナマ」運河ト云フモノガ此所デ若シ切ラレテ交通ガ出來ルヤウニナツ



タナラバ果シテ日本ノ商賣上ニ何ウ云フ影響ガアルカト云フ  
 コトハ昨今度々我々ノ雜誌ヤ新聞ニヨク見受ケマスガ要スル  
 ニ之ガアル爲メニ兩方分レテ居リマスガ此方ノ大西洋側ハ結  
 局歐洲トノ交通ガ頻繁デアリマスガ「アルゼンチン」ノ「ブエ  
 ノスアイレス」ノ如キハ實ニ盛ナル發達ヲシテ居ルニ比シテ  
 此太平洋側ハ餘程時勢遲レテ先ヅ片方ガ二十世紀ノ空氣ヲ吸  
 ヲテ居レバ此方ハ確カニ十五世紀カ十六世紀先ヅ我々ノ明治  
 十五六年位デアナイカト思フ點ガアリマス之ハ畢竟交通ノ  
 不便カラ來ツタコトト思フデアリマス、若シ「パナマ」運河  
 ガ開ケタナラバ何ウ云フヤウニナルカ、前刻話シタ墨西哥ノ  
 鐵道ナドモ夫ガ開ケテ居ルノニ對シテ「パナマ」運河ガ或ハ鐵  
 道ニドウ云フ影響ヲ被ルノデアアルカト云フコトヲ見マスト其  
 形勢上亞米利加ノ紐育邊リカラ出テ來ル荷物ハ即チ「テク  
 テベック」鐵道ニ據ツテ運バレテ又々太平洋沿岸ノ桑港ヨリ  
 「シャイトル」ニ廻ツテ居ルト同時ニ此ノ鐵道ガ開ケテモ歐洲  
 及ビ亞米利加ノ品物ト云フモノモ「コロンビヤ」、「エクワルド」  
 或ハ「ベル」ナドガ未ダ文化ノ及ンデ居ナイ所ニアル夫カラ  
 「ブラジル」及「ニューギニー」ノ沿岸ハ直接歐洲ノ文明ガヨリ  
 多ク及ボシマスガ尙同時ニ太平洋沿岸ノ亞米利加ノ側ノ文明  
 ガ此方ノ方ニ非常ニ殖ヘルダラウト思ヒマス、即チ圖ニ書イ  
 テ見マスト恰度文明ガ「パナマ」ヲ起點トシテXノ形ニナルヤ  
 ウニ此方ノ文明ガ斯ウ云フ風ニ流レ又此方ノ文明ガ斯ウ云フ

ヤウニ流レテ恰モXノヤウニナル「パナマ」ノ運河ガ開ケテ非  
 常ニ影響ヲ及ボスノハ先ヅ私ノ考ヘデハ智利ノ「イケイケ」港  
 邊リマデハ此方ノ貨物ハ運バレマスガ既ニ「バルパライソ」カ  
 ラ南部：：此ノ邊ニ至レバ歐洲ノ貨物ヲ運フニハ「パナマ」ガ  
 開ケテモ矢張從前ノ航路ヲ通ツテ此方マデ來ルダラウト思  
 フ私ノ考ヘデハドウモ「パナマ」ノ運河ガ開ケタカラト云ツテ  
 南米トノ交通上必ラズドウモ非常ニ至大ノ影響ハアルマイト  
 思ヒマス、又歐洲トシテモ之ハ獨リ歐洲トシテモ「パナマ」運  
 河ノ噸稅如何ニヨツテ今デハ「スエズ」ノ噸稅ガ確カヨク記憶  
 シテハ居リマセンガ：：又「パナマ」ノ噸稅ト云フモノガ假リ  
 ニ一噸一弗トシテモ左程ニ大差ガナイヤウニ思フデアリマ  
 スガ歐洲ノ貨物ガ「パナマ」運河ヲ通ツテ直接日本ニ來ルト云  
 フコトハ種々石炭地ノ供給地荷物ノ集散ノ都合モアリマスガ  
 ラ汽船會社ノ眼カラ見テ唯徒ラニ航路ガ近クナツタカラト云  
 ツテモ夫ハ算盤上引合フモノデアリマセンカラ歐洲ノ貨物  
 ノ大部分ハ「スエズ」ヲ通ツテ日本ニ來ルコト、思フデアリ  
 マス、現ニ紐育ノ貨物ト云ヒ必ラズ「パナマ」運河ヲ通シテ最  
 モ東洋デ距離ノ近イ支那ヨリハ運河ノ影響ヲ受ケル日本ノ方  
 ガ酷イデアリマスカラ夫ヨリハ「パナマ」ヲ通ツテ「ホノル  
 ル」位デ石炭ノ仲繼ヲシテ來ルト云フコトハ餘程之ハ疑問ダ  
 ト私丈ハ思ツテ居ルノデアリマス、  
 「パナマ」運河ハ見マシタ  
 トコロデハ技師モ必ラズ千九百十五年ノ一月ニハ出來ルト云

ツテ居リマスガ近頃ノ新聞ニヨレハモツト以前ニ出來ルト云  
 ツテ居ル、之ハ疑ナク私モ其以前ニ出來ルカモ知レント思ヒ  
 マスガ、彼地デモ最モ心配シ居ルノハ水溜トカ地ヲ鑿ルトカ  
 云フ工事ハ盛ンニ豫定通り進行スルサウデゴザイマスガ地滑  
 リト云フコトニ就テ非常ニ心配シテ居ルノデアリマス、此ノ  
 上ニ就テ彼所ノ技師ヤ陸軍省ナドデ非常ニ心配シテ大統領ノ  
 教書ナドニモ「測リ得ザル災害ナカツセバ」千九百十五年ニ  
 ハ出來ルト云フテ居ル其地滑リノコトデゴザイマスガ此所ニ  
 日本ノ大學ヲ出タ技師デ青山サンガ陸軍省ニ雇ハレテ働イテ  
 居リマスガ日本人デ從事シテ居ルノハ此ノ人ダケデゴザイマ  
 ス、此ノ方ニ就テ技術上ノコトモ聞マシタガ先ヅ今運河トカ  
 何トカ斯カル大規模ノコトガアルナラバ青山サンハ餘程ノ經  
 験ヲ得ラレテ居ルコト、思ヒマス、

ニスレバ割合ニ近所ノ亞米利加モ露西亞モ濠洲モ控ヘテ居ル  
 毛ヲ採ルナラバ濠洲カラモ取レル又支那ニモアル何チカラモ  
 採レルト云フコトニナツテ居リマス、先ヅ大西洋沿岸ハ開ケ  
 テハ居リマスガ私ノ考ヘデハドウモ獨逸ノ製品ガアリマスガ  
 ラ餘程競争ガ仕惡クカラウト思ヒマス、若シ貿易ト云フモノ  
 ガ所謂粗雜ナルモノ或ハ天然ノ礦石其他ノモノ丈ヲ以テハ貿  
 易ト云フモノハ出來ナイダラウト云フ事ハ向フニモ米モ出來  
 ルシ又日本ニモ出來ルカラ同ジ出來ルト云フコトデナクシテ  
 日本ハ米ノ國デアリナガラ毎年外國米ヲ輸入スルデアリナイ  
 カト云フカモ知レント夫ハ相場ノ問題デ片方カラ言ヘバ世界  
 ニ出來ナイ智利ノ硝石ヲ輸入シ日本カラハ他ノ國ニ出來ナイ  
 樟腦ト云フモノヲ輸出シ或ハ生絲ニシロ銅ニシロ石炭ニシロ  
 其他重要ナル茶ニシロ輸出品ト云ヘバ先ヅ今日ノ所本當ニ其  
 「フイニツシ」シタ品物デアリヤウニ私ハ考ヘルノデアアル、其  
 所デ南米カラ出ルモノハ矢張リ麥トカ羊毛トカ其他礦石トカ  
 天然ノモノナリ粗製ノモノガ多イデアリマス、ドウモ貿易  
 ト云フ眞意カラ云ヘバ直接ニ日本ト商賣ヲ左程スルモノガド  
 ウモナイヤウニ考ヘラレマスノデアリマス、其所デ唯統計上人口  
 ニ人口ハ甚タ僅少ナルモノデアリマス、其所デ唯統計上人口  
 ノ數ガ多イ様ニ見エテモ之ハ或ハ「バナ」、「ヲ食」或ハ椰子ノ  
 實ヲ喫シルト云フヤウナ私共ノ言葉デ云フ詰リ商賣ニ充分ナ  
 ル購買力ヲ有シテ居ナイ人士ノ方ガ先ヅ總人口ノ四分ノ三ハ

日本ノ船ガ南米ノ太平洋沿岸ニ參ルコトニ着手セラレタノ  
 ハ非常ニ先見デアツタト云フコトヲ私ハ申シテ憚ランノデア  
 リマス其所デ若シ「パナマ」運河ノ交通後ハ唯今デスラ獨逸ノ  
 製品ハ盛ンニ日本ノ物ヲ模造シテ南米各地ニ參ツテ居リマス  
 ガ若シ一朝「パナマ」運河ガ開ケタ後ニハ尙一層獨逸製品ガ蔓  
 ヲテ太平洋沿岸ニハ無論私共ガ近イト思ツテ居ル場所ニ盛ン  
 ナルコトヲヤルダラウト思ヒマスノデ大西洋側ハ最モ富モア  
 ルシ開ケテ居リマスガ我々商賣人トシテ見タ所デハ或ハ土地  
 ノ產物羊毛ト云ヒ小麥牛馬其他ノモノガ出來マスガ先ヅ小麥

ニシテ居ルコト、思ヒマス、



占メテ居ルト云ツテモ宜イノデアリマスカラ國ノ大キナ割合ニ實際ノ消費力ハ餘程少ナイト云ツテモ宜イノデアリマス、或ル人ノ説ニ人口ハ少ナイガ物品ヲ買フ事ハ非常ニ買フ即チ金ガ高イノデアリマス、例ヘバ亞米利加ヲ土臺トシテ申マスト亞米利加ノ國ガ日本ニ對シテ幾干ノ品物ヲ賣ツテ居ルカト云ヘバ先ヅ五十六仙位ノ割合デ人口ニ對シテ賣ツテ居ルト假定スルト南米一圓ニ對シテハ高イ機械ノ運賃、鐵道ノ如キモノガアル爲ニ一人前一弗六七十仙ニナルト云フコトヲ書イテアルコトヲ見マシタガ物價ノ高キ金ヲ拂フ點ニ就テハ莫大ノ吸收力ヲ持ツテ居ルノデアリマス、モウ十分間許リ拜借シテオ話シタイノハ此度私ノ歩イテ最モ不自由ヲ感シタノハ之ゾト云フ所ニ日本ノ公使館ナリ領事館ナリノ甚ダ少ナイ點ヲ感シタノデアリマス、又ハ墨西哥ニモ公使館ガアリマス、「ベル」ニハ藤田代理公使ガ居リマスガ此ノ「アルゼンチン」ニハ一人モ居ラスノデ之ハ名譽領事ガアル筈デスガ恰度日本へ來テ居ラス、私ノ考ヘデハ南米ノ天地ト日本ト云フモノガ外交官ナリ領事館ハ外交上ノ手腕ヲ揮フ機會ガ少ナイノ遺憾ナガラ甚タ手應ノナイコト、御本人モオ思ヒニナルコトデアラウト思フ若シ今後彼地ニ人ヲ遣ルコトガアルナラバ充分其所等ノ點ヲ斟酌シテ商賣上ナリ經濟上ノ智識アルモノヲオ遣ニナル

距離ニハ政府ハ國民ノ義務トシテ補助金ハヤラシムモ我々ハ算盤珠ニ乗ルト思フ今後發展スベキ、或地點マデ延長スルト云フヤウナ方へ補助金ヲ増シタラ如何カト云フ考ヲ私ガ報告シタ位デゴザイマス、之ハ東洋汽船カラ言ハレテ申ス譯デアリマセンガ南米航路ヲモウ少シ力ヲ入レテ貫ヒタイト思フノデアリマス、例ヘバ先刻オ話申マシタ墨西哥ノ「サリナクルーズ」或ハ「ベル」ノ「カリヤオ」ナドハ直接ノ航路ノナイ爲メニ非常ニ客ガアルノデアアルガ一方ハ亞米利加九ト云フ立派ナ船ガ來テ二百人ヨリ三百人ノ人員ヲ載セテ行ツタカラ今後ハ三十人以上ハ載レヌト云フコトデ割合ニ其船ノ事ニ就テ感シノ薄イ南米ノオ客様ハ一遍ニ失望シテ取レル客モ取レント云フ有様デ船ガ今デハチグハグノ船ガ馳ツテ居ル、夫ハ此會社デモ御精神デハナイト思ヒマスガ船ヲ改造スルト云フコトモ必要ナコトデ補助ナリ援護ナリ與ヘラレル義務ガアルダラウト思フ爾ウ私ハ考ヘタノデアリマス、夫デモウ少シ附加シマスガ前刻鳥渡申シタ通りニドウモ日本カラ出ル輸出品ハ甚ダ粗雜ナルモノ計リデ、今日ノ所夫ガ多イノデアリマスガ今後ハ南米ト云ヒ或ハ支那ト云ヒドウシラモ我々ノ輸出スルモノハ加製品、製造品デナケレバナランノデアリマス殊ニ南米ナドノ輸入ヲ見テモ種々不思議ナ礦物ガアリマス、石炭ハナイガ、其次ニ多イノハ矢張り鐵道トカ軌道トカ機關車其他金物及ビ其他ノ製作品ニナルノデアリマ

コトヲ私ハ皆様方ヲ經テ希望ヲ致シマス同時ニ或ハ紐育ト云ヒ倫敦ト云ヒ香港上海ノ如キ商賣上ノ途ノ附イタ所ナドニハ商務官ナド、云フモノハ、ナド、云フノハ甚ダ失禮カモ知レマセンガ斯ウ云フ所ニ金ヲ費フノハ其割合ニ利スル所ハ少ナカラウト思ヒマス、其代リニ斯ル餘リ人ノ參リマセン南米ノ如キ土地ニハ政府ガ喜ンデ金ヲ出シテ我々ノ爲メニ御報告ナリ何ナリシテ頂キタイト思ヒマス、現ニ私自身ニシテモ此度歸朝シテ會社ノ爲メニ事實ヲ報告スル、確カニ云ヘバ實際算盤珠ニヨツテハ出來ヌ、到底二天作ヲヤル譯ニハ行カヌ斯ウ云フコトハ政府ノ事業トシテ最モ多ク獎勵シテ頂キタイト思フコトデアリマス、モウ一ツハ唯今迄ハ東洋汽船會社ノ船ハ「バルバライソ」ト云フ所マデ航路ハ來テ居リマスガ私ノ考ヘハドウシテモ、最初カラ收支償ハンコトハ斷ジテ了解ツテハ居リマスガ之ヲ更ニ「ブエノスアイレス」マデ延長スルコトガ日本ノ爲ニ非常ニ宜カラウト思フノデアリマス、地圖ヲ見マスルト大分アルヤウデスガ早イ船ナラバ此ノ間ハ一週間ヲ行ケル、東洋汽船會社モ最初ヨリ收益ノ目的ガアツテヤツタ譯デナク謂ハ、國家ノ補助ヲ得テ如何カナルダラウト云フ位ナコトデ今日ノ事ニナツタコト、思ヒマスカラ私ガ歴ツテ自分ノ上役ニモ報告シタコトデゴザイマスガ最早日本モ大分航海事業モ發達シテ來タ今日デスカラ上海航路ノ如キハ多分ノ補助金ガナクテモ航路ハ出來ルト思フ、殊ニ斯カル近

ス、日本ト云フモノハ獨逸ガ行ツテ居リマス國是ノ通り段々移民トシテ出スコトヲ防グヤウナ方法ヲ採ツテ内地デモツテ如何シテモ製作品ヲ拵ヘ殊ニ應用化學ノ力ヲ以テナイモノカラアルモノヲ取ルト云フヤウナ工夫ニシテ外國ニ出スコトヲ今後努メナイト、今ノ儘デ單ニ生絲ナリ石炭ナリ茶ノミヲ以テ満足シテ居ルト非常ナル誤デ世界ニ引ヲ取ルト思フ支那ノ國ハ距離ニ於テ最モ日本ト近イシ之ハドウシテモ努メテ貿易ヲシナケレバナランガ最モ遠イ南米ノ天地ニ向ツテ製作品ト云フモノヲ土臺トシテ貿易スルト云フコトヲ頭ニ置ナイト何時マデモ彼地ノ商賣ハ出來ント思フ、移民ダケ出ス計リデ我々ハ満足スルコトハ出來ヌト思フ私ノ考ヘ付キマシタコトダケヲ申述マス、其外ノ事ニ就マシテ尙御質問ガアリマスナラバオ答致シマス大分長時間無遠慮ニオ喋舌ヲ致シマシテ失禮致シマシタ……



# ○南米ノ經濟事情

智利、亞爾然丁、秘露 日 置 益氏演話

歐羅巴、北米及支那等ニ關スル話ハ度々オ聞キニナル機會モアラウト思ヒマスルシ、又新聞ニモ始終澤山出ルコトデアリマスガ、南米ノコトハ新聞ニ見ヘルコトモ極メテ少ナイ又話ヲスル人モ少ナイノデアリマスカラ少シク長ク御話ヲシタイト思ヒマス、實ハ地圖ヲ以テオ話ヲスルト大變ニ分リ易イト思ヒマシテ携ヘテ參リマシタガ、掲ゲル所ガナイヤウデアリマスカラ數字ダケデオ話シテ置カウト思ヒマス

一體南米ト云ヘバ非常ニ熱イ處デ且臺灣ノ生蕃デモ住ンデ居ル邦デデモ有ルト御考ニ成ル様ナ感シガ致マスガ其ハ全クノ誤解デ有リマシテ少クトモ私ノ管轄ナル亞、智、秘ノ三國ハ何レモ中々良イ處デアリマス就中智利ノ位置ハ北米ノ加利福尼亞ニ酷似シ從テ氣候產物等ニ至ルマデ類似スル處多イノデアル、斯ク申スト所謂住メバ都トヤラ諺ノ如ク自分ガ居ルカラウ云フ考ヲスルカトオ考ヘニナルカモ知レマセヌガ彼ノ地ニ住ツタ人ノ感シハ一般ニサウデアラウト思ヒマス、私ハ智利國山茶郷ニ本住所ヲ構ヘ亞、秘兩國ヘモ時々出張致シマスガ茶郷及比亞國ノ首都ブエノス、アイレス等ハ南緯卅四度位デアリマスカラ我東京トハ唯南北ノ遠デ緯度ニハ大シタ差ハ有リマセヌ殊ニ南米ノ西海岸ハ南極ノ方向ヨリ來ル寒潮流

ニ洗レテ居ルカラ暑氣ハ餘程減殺セラレル山茶郷ノ夏ハ恰モ我箱根ノ夏ノ様デ在テ誠ニ好キ心地デ有ル又智利國民文化ノ程度モ上流社會ニ至テハ中々高イ就中同國ニ於テハ高等教育ハ餘程進歩シテ居テポリボア、エクワドル、哥倫比亞、バラグエイ等ノ諸國ヨリ常ニ夥多ノ留學生ヲ引附ケテ居リ又タ是等諸國ハ智利ヨリ多クノ文武教官ヲ僱聘シテ居ル智利人ハ一般ニ尙武ノ氣性ニ富ミ自ラ武國民ヲ以テ誇テ居ルノデ有ルガ成程西班牙ノ殖民時代ノ歴史ヲ見テモ獨立戰爭當時近クハ千八百七十九年ノ所謂太平洋戰役(智秘間戰爭)ニ徴シテモ勇悍ナ事ガ分ル現今ノ軍備ハ素ヨリ全國ノ人口三百萬内外ノ處ナレバ小ナレドモ全然獨逸式ニ組織訓練セラレタル見事ナル陸軍ト全然英國式ニ組織セラレタル銳利ナル海軍ヲ有シ又タ前記兩國ヨリ軍事教官ヲ聘用シテ益々武備ヲ完成シテ居ル在東京ナル智利公使館ニ海陸兩武官ノ附屬セラレ居ルヲ見テモ其國民ノ氣風ノ一端ヲ窺フニ足ルト思フ

斯様ナ次第デアルカラシテ南米ト申シテモ一概ニ暑イ生蕃ノ邦デハナイガ併シ私ガ最モ遺憾ニ思フ點ハ右等ノ如キ誤解デハナクシテ彼無限ノ富源ヲ有スル諸國ガ今日ノ我國人ニ殆ンド知ラレテ居ナイト云フ一事デアル世界ハ北米ノ隆盛ニ膽ヲ潰シテ居ルガ南米ガ第二ノ北米デ有ルト云フ事ニ御氣ノ付カレヌ方ガ少ナクナイ就中我邦ニハ最モ多イ様デアル今カラ二十餘年前デ有タト思フガ當時澳匈國ノ外務大臣タリシ「ゴ

ルホフスキ」伯ガ北米ノ農産侵略ニ對抗スルタメ歐洲諸國ノ同盟ヲ唱道シタ程デアリマシタガ其北米ノ農産ハ國內人口ノ増加ト開墾ガ比較的不利ノ方向ニ進ムコトヲ餘儀ナクセラ、トノ製造工業ノ發達ニ伴ヒテ爾來漸次減少シ今ヤ南米ニ於テ亞爾然丁ナル一大競爭者ニ出會フコトニ成リマシタ即チ之ガ南米カ北米ノ通過シタル進路ニ入ルコト一ノ證據ニシテ遠ラズ又タ南米ハ北米ト同様ニ世界ヲ驚スニ至ル可キハ疑ナキ所ト私ハ確信致シマス依テ今日南米ガ世界ニ於テ如何ナル地位ヲ占メ居ルカト云フコトヲ概略説明シテ聊カ諸君ノ注意ヲ喚起シ併セテ若能フ可クンバ今日ニ於ケル吾人ノ不注意ハ實ニ認容ス可ラザル怠慢デ有ルト云フ感シテ諸君ニ抱テ戴ク様ニ致シタイト思ヒマス

現在ニ於ケル南米ノ強大國ハ伯刺西爾、亞爾然丁、智利、秘露ノ四國デ有テ伯刺西爾ノ面積ハ無量三百二十九萬平方英里ナルガ此内ニハ北米合衆國全部ヲ入レテ尙ホ獨逸帝國ノ全部ヲ入ル、ノ餘地ヲ存シ我帝國(屬地ヲ算入セズ)ノ二十二倍強ニ當ル而モ其人口ハ一千七百餘萬我三分一ニ過キス亞爾然丁ハ面積百十三萬五千餘平方英里即チ帝國ノ七倍半強ニシテ人口ハ僅カニ五百萬即チ我十分一ニ過キス智利ノ面積ハ三十萬七千平方英里ニシテ南米強國中ノ最小ナルモノデ有ルガ而モ其面積ハ尙ホ我帝國ノ二倍ニシテ人口僅カニ三百四十萬デアアル秘露ノ面積ハ六十九萬五千餘平方英里即チ帝國ノ四倍

半強ニシテ人口四百五十萬餘ニ過キヌ

右ノ内伯亞ノ兩國ハ大西洋面ニ在リ歐洲トノ交通便利ニシテ同洲ヨリ資本移民ノ流入盛ナレバ太平洋岸ニ於ケル智秘等ニ比シ進歩發達ノ度ガ速イ乍併何レノ諸國モ殆ンド等ク巨大豐饒ノ富源ヲ有スルヲ以テ其發展時機ノ到來ハ唯時ノ問題ニ過キナイノデアアル但伯國ハ面積廣大富源無盡ナルモ其國土ノ大部分ガ熱帶圈内ニ存スルタメ氣候歐米人ノ移住ニ適好ナラズ又タ其產物モ目下ニ在テハ讓讓珈琲ト云フ如キ熱帶特殊ノ物品ヲ主トスルガ故ニ是又普通個人ノ移住ニ便ナラサル爲メ歐洲トノ距離近キニモ拘ハラズ其發達割合ニ速デナイ又タ智利ハ前ニ申シタ通り歐洲トノ距離大ナルト同國民ノ氣風ガ餘リニ新來ヲ歡迎セザルト土地財產ニ關スル制度習慣ガ貧弱ナル個人ノ移住ニ便ナラザル處アルトニ依リ歐洲民ノ來住少ナシ秘露ハ地理上歐洲北米ヲ距ル「最モ遠キト現今稍々發展セル海岸地方ノ狀態ガ無資本者ノ移住ニ便ナラザル事情ノ存スルタメ歐米ノ資本及人民ノ移入少ク從テ現狀ニ在テハ前掲四大國中發達ノ程度ニ於テ長後ニ位スルモノト云ハネバナラヌ、唯ダ巴拿馬運河ノ開通ハ秘露ト歐米トノ關係ニ最大ノ影響ヲ及ボスモノナレバ遠カラズシテ此地方ニ驚ク可キ變化ヲ見ルモノト確信致シマス、亞爾然丁ニ至テハ今ヤ恰モ旭日ノ中天ニ昇ルガ如キ勢ヲ以テ發展シツ、アルノデアアルカラ此國ノ情況一斑ヲ叙説シタナラバ南米事情ヲ知ルニ便利ナランカ



ト考ヘマスカラ之ヨリ同國ノ事情ヲ稍々詳細ニ御話致シタイ  
ト思ヒマス

先ヅ第一ニ吾人ノ多クハ南米トハ甚ダ人間ニ縁遠ク恰モ昔  
ノ人達ガ唐天竺杯ト云フテ居タ時代ノ如キ漠トシタ考ヲ以テ  
居ル中ニ歐米ノ先進ハ早既ニ數十年以來非常ノ勢ヲ以テ彼ノ  
方面ニ勢力ヲ發展シツ、有ル彼ノ有名ナル「モンロー」主義ノ  
發現ハ既ニ古キ昔ノ事ニ屬シ且ツ純然タル政治關係ヲ基本ト  
セルモノナルヲ以テ暫ク此處ニ論述スルコトヲ擱クトスルモ  
千八百八十一年北米合衆國ノ大政治家ジエームス、ジー、ブ  
レインノ創意ニ係ル全米會議ノ發現ハ主トシテ南米ニ於ケル  
歐洲ノ經濟的勢力ト北米經濟的勢力ノ競争漸ク激烈ナラント  
シタル情況ノ反射トシテ頗ル重キヲ置カサル可ラサル處ト思  
ヒマス、歐洲對南米關係ノ程度ヲ示ス一例トシテ此兩地方間  
ニ於ケル交通ノ模様ヲ一言シマスルトリゾアブール、グラス  
ゴウ、倫敦、サウサムプトン、漢堡、ブレメン、ボルドー、ア  
ーヴル、サン、ナゼール、バルセロナ、マルセイユ、ゼノア  
アムステルダム等ノ歐洲諸港ト南米諸港トノ間ニ定期又ハ不  
定期航路ヲ開通シ居ルモノ實ニ四十餘ノ多キニ達シテ居リマ  
シテ歐洲ノ主要ナル商港ヨリ南米ヘ向ケテ一二艘ノ汽船ガ殆ン  
ド毎日出發スルト云フ有様デ有リマス私ハ赴任ノ節ハ西比利  
亞鐵道ニ依リ歐洲ヲ經テ英國「ローヤル、メー」會社ノ「ア  
ラガヤ」號ニ佛國ノシエールブルグ港ニテ乗船シ十七日自ニ

亞國首都ボエリス、アイレスニ着キマシタガ其盛ナルニハ實  
ニ一驚ヲ喫シマシタ右「アラガヤ」號ハ一萬二千噸ノ巨船ニシ  
テ當時荷客共ニ滿載シ上中等船客等四百、移民三千餘ニシテ  
同船カ上等客室ノ二千百圓ノモノ四箇、一千四百圓ノモノ四  
箇、五百圓乃至五百十圓ノモノ四十三箇、四百五十圓ノモノ  
五十箇、三百九十圓ノモノ八十三箇ヲ有スルヲ見テモ此航路  
隆昌ノ一斑ヲ窺フニ足ルト考ヘマス

亞爾然丁共和國ハ南米ノ南端ニ位シ南緯二十一度三十分ヨ  
リ五十四度五十一分即チ北ヨリ南ヘ三十三度間延長シ東西幅  
員ハ經度五十四度ヨリ七十四度ニ互リ二十度間ニ廣ガツテ全  
面積ハ前ニ申マシタ通り一百二十餘萬平方英里ト云フ廣大ナ  
ル土地デ御座リマス、併シ乍ラ此國ノ力ハ面積許リデハ有マ  
セヌ其享有セル世界無比ノ天惠ガ其根柢ヲ形作ルノデアリマ  
ス第一國土ノ殆ント全部ガ溫帶國中ニ横ハルガ故ニ氣候ガ宜  
シ又北南ニ延長シテ居ルカラ物産ノ種類カ多イ從テ如何ナ  
ル場合ト雖トモ國內全般ノ不作恐慌等ノ虞ヲ免カレシメ且ツ  
國內貿易ヲ盛ナラシメル又タ土地カ極メテ平坦デ有ル西北境  
ニ四時不滅ノ白皚々タル銀冠ヲ戴ケル鞍鞍子ノ高峰嶽ハ其麓  
ヨリ大西洋ニ向テ一面ノ平原ト成テ流レ廣ガレル支那人ノ所  
謂眞寶廣袤沃野百萬里ヲ灌溉スル自然ノ水源地ト成テ居ルノ  
デアアル加フルニ降雨ノ配分宜キヲ得且ツ土壤特ニ膏油ナレバ  
農業國トシテハ實ニ世界第一ト云フモ決シテ過言デハナイ今

日穀類及家畜ノ輸出ニ於テ亞國ハ世界中唯北米合衆國ニ一歩  
ヲ讓ルノミデアアル而シテ北米合衆國カ農産物輸出トシテハ既  
ニ其頂上ヲ通り過ギタルニ反シ亞爾然丁ハ今僅カニ其初途ニ  
入レルヲ思ヘバ此國ノ將來ガ如何ニ有望デアルカ殆ント想像  
モ及バサル處デアアル實ニ亞國ハ土地ノ生産ニ於テハ僅少期間  
ニ於テ世界中最大急激ノ進歩ヲ爲シタルモノデアアル、千九百  
四年乃至五年ノ頃ニ在テ耕作地ノ面積僅カニ二千二百五十萬  
「エーカー」ナリシモノガ千九百八年乃至九年即チ四年後ニ於  
テ三千五百萬「エーカー」ニ増加シタ殆ンド七割五分ノ増加デ  
アル、千九百九年ニ於ケル首要農産物ノ收穫ハ小麥五百七十  
六萬噸、亞麻百二十二萬八千噸、燕麥八十二萬三千噸、玉蜀  
黍六百萬噸デアアルガ亞國ガ二十年前ニハ尙ホ未ダ食用ノタメ  
外國ヨリ麥粉ヲ輸入シ居リシコトヲ思ヘバ其進歩ノ神速ナル  
コトヲ一層明白ニ了得スルヲ得ルコト、信ジマス、千九百八  
年ノ小麥相場ニテハ純益二割五分ヨリ三割ニ當ルト云フ計算  
デアアル

盛推シテ知ル可キデハ有リマセンカ、殊ニ同年度ノ輸出超過  
ガ一億八千九百萬圓ニ達シ居ルコトハ吾人ニ取テ羨シキ次第  
デハ有リマセンカ  
曾テ本邦及ビ滿洲地方ニ於ケル北米合衆國ノ領事ヲ勤メタ  
人デ只今亞國ブエノス、アイレスノ領事館ニ副領事タル「チ  
ヤンドラー」氏ガ北米ノ貿易關係ヨリ亞日清ノ三國ヲ比較シ  
テ本國政府ニ報告シマシタガ其中ニ面白キコトガアル、即チ  
千九百五年乃至千九百九年間ニ北米ヨリ亞國ニ輸出シタル貨  
物ノ價格ヲ人口ニ割當ルト一人前十圓ト成ル同期間ニ日本ヘ  
ノ輸出ハ一人前七八錢清國ヘノ一人前六錢ト成テ居ル是  
ハ或點迄ハ右各國民購買力ノ差ヲ示スモノデ有テ當時「チャ  
ンドラー」氏ガ此報告ヲ提出シテ前掲ノ點ニ「ノツクス」國  
務卿ノ注意ヲ喚起セントシタルハ餘リ支那問題ニ頭ヲ衝キ込  
ンデ面倒ヲ惹起サンヨリハ濶大ナル南米方面ニ視線ヲ轉ジテ  
ハ如何トノ心持ガ有タデ有ラウト付度致シマスガ私ニ言ハセ  
ルト我國ノ人々モ清國ヲ以テ唯一ノ市場ト思惟シ對岸ノ騷動  
ニ夢中ニ成テ居ナイデ廣イ世界ノ南米方面ヘチト頭ヲ向ケラ  
レテハ如何ト云ヒタクナルノデアアル

試ミニ亞國ノ外國貿易ヲ日米兩國ニ比較センニ千九百七年ニ  
於ケル前記三國ノ輸出入貿易ハ左ノ如シ

以上ハ數字ニ依テ亞國隆昌ノ情況一斑ヲ描寫セント試ミタ  
ルノデアアルガ數字デハ誠ニ興味ガ少イ又タ印象モ弱イガ一度  
彼ノ地ヲ踏ダ人ハ誰レモ實ニ垂涎ニ堪ヘナイ感ジガ致シマス  
千九百十年ニ催サレタ獨立百年紀念祭ニハ歐米各國ヨリ特派

亞爾然丁	一、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇	人口一人當平均	二〇五、七〇〇
日	九二六、八八〇、〇〇〇		一八、九〇〇
北米合衆國	六、一一四、五六〇、〇〇〇		七二、八四〇

デ有テ頭割ニスルト亞國ハ米國ノ殆ト三倍デアアル、亞國ノ隆



使軍艦等ヲ招キ殆ンド信シ難キ程ノ盛況ヲ以テ祝サレマシタガ之レハ亞國ニ取テハ非常ニ有益ナ一舉デ有リマシタ何トナレバ此祝典ニ參列シタ各國代表者ハ皆ナ真ニ面喰テ歸テ亞國ニハ安心シテ資本モ投シ移住モシ貿易モ開ク可シト説教シテ回テ居ル様ナ次第デ有ル成程其等デ有ル其首都武愛市ハ百三十萬ノ人口ヲ有シ大厦高樓美事ニ立並ベル世界有數ノ市街ニシテ之ヲ一口ニ云フト紐育ト巴里トヲ突交ゼタ様デアアル即チ所謂摩天樓ガ彼處此處ニ空ヲ突テ高ク聳エ數十ノ「グレイン、エリグエーター」ガ灣頭ニ並列シ一般事業ノ活潑ナル有様ハ北米式ニシテ芝居料理屋公園店舖ノ模倣婦人裝束ノ優美ナル等ハ轉々佛都ヲ想起セシムルノデアアル如何ニシテモ潤澤ト云フ感ジラ起サヌ人ハナイ百年祭ノ初我軍艦生駒ニ便乗シテ行タ連中ノ内ニハ此日本ノ切リ詰メタセチ辛キ社會シカ見タコトノナイ人ガ有タト見エ亞國民營澤ノ風ヲ見テ亡國ヲ豫言シタ様デ有ル實ニ武愛市ノ「オペラ」劇場ハ巴里ノ夫レニ匹敵スル位デアアル

亞國ノ國力ハ彼ノ絶倫無比ナル天與ノ土壤ニ有スルノデ有テ缺ケタモノハ資本ト勞力デ有ル今ヤ歐洲諸國ヨリ兩者相競ウテ進入シツ、アルガ優大ナル資力ト銳敏ナル世界的眼光ヲ有スル英人ハ南米ニ於テモ亦タ事業ノ先驅者デ有ル亞國現時ノ隆盛ハ英國ノ資本ト伊太利ノ勞力ニ依ルト云フノデ有ルガ英國刊行ノ南米雜誌ノ計算ニ據レバ千九百九年一月初

ニ於テ亞國ニ投セラレタル英國ノ資本ハ無慮二十五億二千七百有餘萬圓デ同年末ニハ二十八億七百有餘萬圓ト成タ即チ十箇月間ニ二億八千萬圓ノ増加ヲ見タ譯デ有ル

唯今舉ゲマシタル英國投資計數ハ凡テ鐵道又タハ公債ノ如キ公ノ使途ニ充テラレタル者ノミデ有ルガ右ノ外私人ノ事業ニ使用セラレ居ルモノ並ニ佛獨白蘭北米等諸國ノ資本ニシテ亞國ニ投セラレタルモノヲ合算スルトキハ莫大ノ額ニ達スルコト、思ハル、紐育「イヴニング」、ポスト」ノ二年前ノ計算ニ依ルト南米ニ投セラレ居ル歐洲ノ資本ハ無慮七十億圓ノ巨額ニ達スルサウデゴザイマス

南米事業ガ有利デアアルコトハ最早説明ヲ要セヌ處ト信ズルガ參考ノタメ前掲南米雜誌ノ所記ヲ譯説スルト左ノ如ク云ツテ居ル

「南米ニ投ジタル英國資本ノ報酬ニ關シテハ諸説紛々タルモ亞國ニ關シテハ英國ノ投資家ハ非常ノ好結果ヲ收メツ、アリト斷言スルヲ躊躇セザルナリ何トナレバ其平均ノ報酬ハ顯著ナル満足ノ状態ニアルガ故ナリ云々ト有リマス

資本ニ次デ亞國ニ必要ナルモノハ勞働力デアアル千八百五十七年乃至千九百八年ニ於ケル歐洲移民ノ數ハ左ノ如クデ有ル

- 伊太利人 一、七九九、四二二
- 西班牙人 七九五、二四三
- 佛蘭西人 一八八、三一六

英吉利人

四二、七六五

澳匈國人

五七、二四九

獨逸人

二八、三四四

白耳義人

二〇、六六八

其他

一〇五、七九三

不斷増殖スル我人口ノ處分ト國力ノ扶植トハ其ニ重大問題ニシテ識者ノ夙トニ慎重ノ研究解決セザル可ラザル處ト考マス而シテ我國ノ如ク領土ノ面積ニ依テ限局セラレタル處ニ在テハ製造工業ヲ進メ盛ニ海外貿易ヲ振興シ資本ト勞力ヲ海外ニ移植シテ有利ノ事業ヲ經營スルノ外方法ガ無イカト思ヒマス即チ大ニ海外ニ發展スルノ外ナキコト、存ジマズ此點ヨリ見マスト南米ハ決シテ今日輕々ニ看過ス可キ處デナイ但茲ニ一ノ注意ヲ促シテ置キタイト思フノハ是迄海外發展ト云ヘバ直ニ移民ノ輸出ヲ連想シタ様ニ思ハレマスガ我國民ノ海外發展ヲ一ニ移民ニ待ツト云フコトハ間違タ政策ト私ハ考ヘマス何トナレバ是迄布哇ノ如キ特別ナル事情ノ下ニ在ル土地ノ外ニ於テハ教導者モナク資本モナキ賤民ガ多ク海外ニ出タノハ總テ失敗デ有タコトハ事實ノ證明スル處デ有ルト思ヒマス彼ノ加利福尼亞、加拿陀、濠洲等ニ於テ公然ノ排斥騷動ヲ惹起シ爲メニ國威ヲ毀損シ延テ國交ニ迄影響スルニ至タデハ有リマセンカ、成程加利福尼亞ニ於ケル我移民ノ儲ケル金ハ少クナイ誠ニ結構デ有ルガ併

シ彼等移民ガ目腐金ヲ作ルタメ軍艦ヲ増建シ萬一ニモ日米間ニ大事件デモ釀シマタハ加拿陀濠洲等ニ於ケル日本移民排斥ノ爲メ日英同盟ニ破綻デモ來ス様ナコトガ有テハ差引勘定ガ立タヌデハ有リマセスカ、ヨリ小キ利益ハヨリ大ナル利益ノタメ犠牲ニ供セラレルノハ當然ノ事デ有ラウト思ヒマス世間ニテハ我移民ニ於テ偏狹ナル愛國心ヲ捨テ移住地ノ風俗慣習ニ同化シ且ツ反對氣焰ノ存在スルコトヲ承知シツ、自分ノ行ヲ以テ之ヲ軟化スル様力ムルニ於テハ加利福尼亞ニ於テモ、強テ反對ノ永久ニ存續スルコトナカル可シト論ズル人モ有リマスガ成程其事ニシテ此種論者ノ理想通り行ハル、ニ於テハ必ズヤ著シキ効能有ルヲ疑ヒマセズガ彼移民ノ多數ニ向テ之ガ實行ヲ望ムハ恐ラク餘リニ多キヲ求ムルニハ有ラザルカト思ヒマス特ニ況ヤ排斥ノ原因ガ必ズシモ排斥者ノ公言スル理由ニ原カザルニ於テヤヤデアアル、私ハ實際ニ於テ多クノ移民ヲ職務上監督シテ居リマシテ右論者ノ理想ノ如キ趣意ヲ實行スルコトニ屬僚ト共ニ非常ニ盡力シマシタシ又今後モ盡力シマスガ是迄ノ經驗ニ依ルト殆ンド六ケシイコト、思ヒマス夫レ故ニ我國民ガ南米ニ發展スルニ就キマシテハ大ニ注意ヲ要スル處ガ有ウト思ヒマス現ニ北米ニ於ケル我移民問題ガ南米ニ於ケル同問題ニ大影響ヲ及ボシテ居ルコト隱レモナキ事實デアアル一體ニ米洲諸邦ハ其各自ノ國際關係如何ニ拘ラズ大勢ニ於テハ凡



テ其範ヲ北米ニ取ルモノデ有リマスカラ彼地デ排斥ヲ受ケ  
タモノヲ此地ニ入ル、コトバ進ンデ爲スコトデハナイ唯特  
別ノ事情ノ下ニ立ツ某々國ノ如キハ無據之ヲ迎フルノデア  
ル、故ニ萬一今後安リニ移民ノミヲ彼地ニ放ツニ於テハ加  
利福尼亞事件ノ再演ヲ見ルデ有ウト云フ心配ガ中々少クナ  
イノデ有リマス私ノ考デハ我國人ガ資本ヲ以テ彼地ニ於テ  
事業ヲ經營シ之ニ日本勞働者ヲ使役スルト云フ様ナ方法ヲ  
以テ進ンダナラバ大シタ故障ニ出會フコトハナカラウト思  
ヒマス我移民ノ團隊ガ始メテ日本ヨリ着タ時ノ様子ハ實ニ  
不體裁ノモノデ外國人ニ對シテ如何ニモ耻カシク様ノ下ヘ  
デモ這入テシマヒタイト云フ様ナ思フシタコトガ再三デハ  
ナカツタデス彼様ナ輩ヲ教導者モナク支配人モナク外國ニ  
振り蒔タ日ニハ南米デモ矢張り故障ガ起テ來ル前年秘露ノ  
里馬デ支那人ガ土人ノ暴動攻撃ニ出會タ際本邦人ノ卷キ添  
ヲ喰タモノガ有テ一時我移民モ競々トシテ居ツタノデ有ル  
或ハ我國ハ外資輸入ヲ要スルモ外國ヘ出ス様ナ金ハナイト  
云フ人モアルカモ知レヌ事實然ラバ甚ダ殘念ナガラ我發展  
ハ頗ル覺束ナイノデアアル或ハ謬見カモ知レマセヌガ我國ノ  
現狀ニ於テハ到底農業ヲ基礎トシテ大ニ發展スルコトハ六  
ケシイト思フ矢張り英國ノ如ク獨逸、自耳義ノ如ク商工立  
國主義デ行カナケレバ成ラヌト思ヒマスガ、スルト如何シ  
テモ原料ノ供給ハ地面ヲ澤山持テ居ル國ニ仰グノ外ハナイ

ハ畢竟國土以外ニ其國ノ資本ガ出稼シテ居ルカラデ有ルト  
思フ私ハ我國ノ海外發展ヲ一ニ移民ト醜業婦人ニ待ツト  
云フ様ナ考ヲ打破シテ資本家ニモ共ニ奮發ヲ願ヒ度イト思  
フノデアアル成程我國ノ資本ハ未ダ海外ヘ溢レ出ス程ニハ豐  
富デハナイカモ知レヌガ利益サヘ多ケレバ借リテ來タ金ヲ  
以テ海外ニ出テ事業ヲシテモ宜シイデハナイカ前ニモ申シ  
タ通り亞爾然丁ノ農業ノ利益ガ二割五分ヨリ三割ニ廻ルト  
アル而シテ私共ノ目カラ見ルト彼等新開國ノ農業ナルモノ  
ハ實ニ大ザツバナ物デ九デ子供ノ飯事デハナイカト思レル  
位デ有ルガ夫レデ彼程ノ利益ガ有ルトスレバ我國ノ人達ガ  
自分ノ資本ト勞働ヲ以テ經營スルトキハ遙カニ之ニ優ル利  
益ガ有ルデアラウト云フコトハ殆ンド疑ヒナイノデアアル諸  
君ノ如キ歷々ノ前ニ於テ此ノ如キ愚見ヲ述ベ長時間御迷惑  
ヲ掛ケマシタノハ甚ダ恐縮デ有テ、偏ニ御寬恕ヲ請フト同  
時ニ卑見ノ當否ハ別トシテ今後我國ノ海外發展ト云フコ  
トニ一層ノ御考慮ヲ與ヘラレンコトヲ希望ニ堪ヘマセヌ

### ○南米航路

(譯議員トハ氏授)

東洋汽船會社ガ邊ニ政府補助ノ有無ニ拘ハラズ天下ノ人心  
ニ先ンジテ南米航路ヲ開始シタルノ事實ハ以テ我經濟史ヲ飾  
ルベキ一大事業タラズンバアラザルナリ然ルニ時機未ダ到ラ

於是我國ハ一ノ大困難ニ遭遇スルコトニ成ルト思フ何トナ  
タリシ北米合衆國ハ今日早既ニ優大ナル商工業國ト成タ南  
米ノ如キ新開國ニ於テモ北米ノ夫レニ倣ラヒ工業保護主義  
ヲ採テ關稅ヲ高メ助成金ヲ與フル等ノ方法ヲ以テ内地ノ工  
業ヲ保護シツ、アレバ其途ニ北米ノ如キ進路ニ向フコトハ  
唯時ノ問題ニ外ナラヌノデアアル一口ニ云ヘバ世界ハ結局凡  
テ商工業國ニ成ル都合デハナイカト思フ而シテ機械工業ノ  
發達シタル今日ニ於テハ勞銀ノ高低手工ノ巧拙ト云フ様ナ  
コトハ殆ンド數フルニ足リナイ程ノ小分子ト成ルト思フ此  
處ニ至テ競争上何レノ國ガ最モ強キカ其原料ヲ持テ居ル國  
デ有ルコトハ自ラ明瞭ト思ヒマス斯ク論ジテ見ルト我國  
ノ遠キ將來ハ甚ダ寒心スベキモノデハ有ルマイカ其日暮シ  
的考ノ人ハ兎ニ角國家百年ノ大計ヲ念慮スル人ニ取テハ隨  
分心配ノ少カラヌコトデ有ラウト思フ私ノ考デハ今ノ時ニ  
當テ可成地面ノ安イ利益ノ多イ處ニ投資シテ行クハ英  
國ノ如ク製造工業ノ利益ト原料生産ノ利益トヲ併セ收ムル  
様ニスルト云フコトハ國家百年ノ大計ニハ缺ク可ラザル處  
デハナイカト思フ結局我國モ英獨ノ如キ商工業國ト成ルニ  
ハ右等諸國ノ如ク貿易ノ權衡ハ輸入超過ト成ラザルヲ得ズ  
英國ノ貿易ガ多年輸入超過ノ趨勢ヲ持續シツ、經濟ノ基礎  
ニ何等惡影響ヲ受ケザルノミナラズ益々其鞏固ト成ルモノ

ズシテ此雄圖モ一時中絶スルノ止ムナキ運命ニ遭遇シタリ後  
チ天下ノ人心漸ク南米方面ニ傾注シ來リ機運一タビ發動シテ  
政府ヨリ多大ノ補助金ヲ下付セラル、ニ及ビ茲ニ初メテ南米  
補助航路ノ開始トナリ去明治四十二年四月ノ初航海以來我東  
洋ト南米諸國トノ間ニ直接貿易行ハレ月二年ニ漸次發展シ今  
ヤ將ニ其歩武ヲ進メントシツ、アルナリ之ヲ事實ニ徵スルニ  
一昨四十二年日墨博覽會ノ開催ニ依リテ日本製品ハ墨國ニ紹  
介セラレ以テ其販路ヲ同國ニ開キ忽チニシテ其聲價ヲ得ルニ  
至レリ又智利硝石ハ每航滿載ノ趨勢ヲ以テ盛ニ本邦ニ輸入シ  
來レリ而シテ我移民ノ南米ニ出稼スル者每航二百乃至三百名  
ヲ下ラズ現今邦人ノ經營ニ係ル製造工業、採礦、水産等ノ企業  
ノ端緒ヲ墨國、秘露等ノ地方ニ於テ見ルニ至レリ然ルニ此ノ  
航路ニ於ケル缺點トシテハ他ノ運輸交通機關トノ聯絡充分ナ  
ラザル一事是レナリ凡ソ海運事業ニ於テ最モ大切ナルモノ寧  
ロ必要條件トモ稱スベキモノハ他ノ交通運輸機關トノ聯絡ニ  
シテ若シ此ノ聯絡ニシテ全然缺如スル所アラシカ恰モ人ニシ  
テ四肢備ハラズ鳥ニシテ羽翼完カラザルガ如ク到底全活動ヲ  
望ムベクモアラザルナリ當今南米航路ニ就テ其實況ヲ見ルニ  
往航ニ於テ秘露移民並ニ其需要貨物ヲ搭載シ復航ニ於テ硝石  
ノ積載若クハ「カイヤラ」「サリナクル」間往復二十名以內  
ノ一等航路搭載以外事業トシテ見ルベキモノ少ナキハ實ニ慨  
嘆スルノ外ナキナリ宜シク進ンデ一方ニハ他ノ交通運輸機關



トノ聯絡ヲ結ビ貨物運轉ノ動機タルベキ凡テノ問題ニ付テハ積極的ニ講究遂行スルニアラズンバ終ニ競争場裡ニ相驅逐スルコト能ハザルニ至ラン即チ東洋汽船會社ハ更ニ進ンテ南米航路ノ維持開發ノ爲メ必要ナル鐵道トノ聯絡ヲ結ビ其他海運業者ノト妥協ヲ計リ或ハ移民増進ノ方法ヲ策シ或ハ我日本人ガ彼ノ地ニ於テ種々ナル事業ヲ經營スベキ端緒ヲ啓發シ傍ラ彼ノ國人ノ來遊ヲ誘ヒ或ハ我邦人渡航企業ノ便ヲ開キ或ハ博覽會開設ノ舉等アラユル手段ヲ講ジテ貿易ノ發展ニ貢獻スルハ蓋シ同會社ガ國家ニ報ズル所以ノ途タルベキヲ信ズ故ニ同會社ニシテ斯ノ航路ノ經營ヲ廢止スルモノトセバ即チ止ム然ラズンバ單ニ現狀ヲ維持スルニ止ラズシテ更ニ將來ノ開發ニ努力セザル可ラザルコトハ國家百年ノ宏圖ヨリ見ルモ寧ロ同會社自衛ノ策ヨリシテ到底避クベカラザル將來ノ運命タルベキコトハ讀者ヲ待テ知ルベキニアラザルナリ南米中米ノ天地ハ今ヤ列強先進諸國ノ均シク着眼スル地點ナリ一度彼地ヲ踏ミタル者ハ彼等先進諸國ガ如何ニ大ナル努力ヲ以テ各種各様ノ方面ニ向テ調査研究ヲ積ミ着々事業經營ヲ企圖スルノ狀勢ヲ看過スル能ハザルナリ目下ノ如キ競争ノ世界、努力ノ世界ニ在リテ一步此ノ競争努力ニ後ル、者ノ蒙ルベキ損失ガ如何ニ甚大ナルカハ世界文明史ガ聲ヲ限リニ吾人ニ警告ヲ與フル所ニ非ズヤ假リニ吾人ガ現今ノ南米航路ノ維持ニ満足スルトシテ自然ノ成行ニ一任シ時機ノ到來ヲ待ツモノトセンカ單ニ南

米航路ヨリスル收得ノ増進ニ後ル、而已ノ程度ヲ以テ止メバ可ナランモ斯クテハ現狀ノ維持スラ尙覺東ナキ時期ノ來ルヲ如何セン我等ノ拱手シツ、アル間早ク既ニ歐米先進者ハ過去占有ノ地歩ヲ擴張スルト同時ニ彼ノ豐富ナル遺利ハ舉ゲテ彼等ノ掌中ニ獲得セラレ盡サントス豈猛省セザルベケン哉吾人ニハ墨國、秘魯、智利各國ノ沿岸ハ素ヨリ太平洋全般ヲ通ジ將々大西、太平兩洋ノ聯絡上ニ於テモ到ル處海運業者ト云ハズ又貿易業者ト云ハズ數多ノ到敵アリ、他方ニ於テ東洋移民及物貨ノ輸送ニ付テハ假令其規模大ナラザル迄モ執念強キ利ニ敏キ支那人經營者ノ吾カ背後ヲ窺ヒ居ルニアラズヤ競争場裡ニ於テ現狀維持ト稱スルハ實ハ退歩ノ代名詞ニ外ナラズ吾人ハ將來東洋汽船會社ニ囑望スル所アルト同時ニ南米問題ニ關シテハ大ニ邦家ノ爲メ極力劃策ニ努メザル可カラズ

## 調 査 報 告

### ○墨國漁業調査會 (協會)

今回墨國漁業調査會ハ墨國ニ於テ邦人ノ海外ニ於テ會テ獲得セル權利トシテハ殆ント空前トモ稱スベキ漁權ヲ取得シタリ今其要領ヲ掲記スレハ

- 一、特許區域 墨國「デビック」州「アメカ」河ヨリ「オアキサカ」州「チベウワ」灣ニ至ル一帶、領海入江及湖水
- 二、漁區ノ廣袤 海岸延長凡八百四十哩ニシテ同國太平洋沿岸ノ二割二分ニ當ル
- 三、捕獲魚族 海老、蟹、烏賊、龜、牡蠣及其他一切ノ有鱗魚族ノ獨占漁獲ヲ爲スコト
- 四、特許期限 向フ十ヶ年ナルコト
- 五、土地使用 漁場若シクハ罐詰製造用トシテ國有地ハ無料使用スルコトヲ得ルコト

等ニシテ右ノ如ク同國ニ於テハ全ク異例ノ條件ヲ以テ契約ヲ締結シタル所以ノモノハ畢竟同國官民ノ本邦ニ對スル格段ナル同情ニ由ルモノニ外ナラズ此ノ漁權ニ依リ彼ノ豐富ナル魚族ヲ利用セハ幾多ノ鮮魚ハ國內ニ消費セラレ乾魚鹽魚罐詰魚

油魚肥ノ如キハ國ノ内外ニ需用セラレ其利福決シテ尠少ニアラザルベシ要スルニ同國魚族ノ無盡藏ナルコトハ今ヤ論究ノ餘地ナク唯刻下ノ問題ハ如何ニ之ヲ利用シテ天賦ノ利源ヲ開發スルヤニ在リ抑々今回有力ナル會員ヲ以テ墨國漁業調査會ヲ組織シタル所以ノモノハ此ノ價値アル漁權ヲ基礎トシ慎重ナル實地調査試験ヲ行ヒ刻下ノ該問題ヲ討究シ更ニ適當ナル漁業會社ヲ設立シテ十分ナル施設經營ヲ爲スニ備ヘントスルモノナリ同會ノ副會頭横山一平氏ハ實地調査ノ目的ヲ以テ漁業隊貳拾參名ヲ引率シ昨四十四年十二月廿九日横濱出帆ノ香港九ニテ墨國ニ渡航シ自ラ彼ノ地ニ於テ實地調査ニ着手シタルニ魚族ノ豐富ナルハ素ヨリ起業ノ有望ナルコト實ニ豫期以上ニシテ其詳細ナル報告書モ遠カラズシテ同會ニ到達スルナラント云フ

- 同會ノ役員ヲ擧クレバ左ノ如シ
- 會長 横山 一平
  - 副會長 井上角五郎
  - 理事 佐々木久二
  - 理事 白石元治郎
  - 理事 松尾寛三
  - 理事 會根忠兵衛



# ○墨 國 事 情

(四十四年十一月二十五日附在墨帝國公使館報告)

## 一 墨國糖價騰貴ノ原因ニ關シ墨府農業會議所ノ報告要領

墨府農業會議所報告委員ハ過般開催セラレタル同會議ニ於テ墨國砂糖ノ價格騰貴ノ原因ニ關シ左記ノ如ク報告セリ「本年ノ乾燥ハ甜菜根ノ耕作ニ偉大ナル損害ヲ及ホシタル爲メ其收穫ハ例年ニ比シ甚タ少額ナルヲ以テ今ヤ歐洲ニ於ケル砂糖ノ價格ハ漸次昇騰スルノ傾向ヲ呈スルニ至レリ歐洲ニ於テハ砂糖ノ消費額近來著シク増加シタルカ故ニ本年度ノ不作ハ旁以テ歐洲市場ヲシテ既ニ二百萬「キントル」ノ供給不足ヲ減セシメタリ

之レカ爲ニ我墨西哥ニ於テモ輸出ノ目的ヲ以テ開港場ニ運搬セラル、砂糖一「アロバ」即チ十一基二分ノ一ノ價格カ一弗七十五仙ノ高價ニ達セリ加フルニ墨西哥ニ於テハ客年來ノ革命暴動ノ爲メ各砂糖產出州殊ニ「ボエブラ」及「モレロス」ニ州ノ如キハ甚タシク農民ノ不足ヲ感シ客年ハ殆ト甘蔗ノ栽培ヲナスコト能サリシカ如キ有様ナリシノミナラス本年ニ入りテモ亦同一原因ニヨリテ其收穫ヲナスコト能サリシナリ之レカ爲ニ砂糖ノ產出額ハ本年ニ於テハ例年ニ比シ甚タシク減却セリ是レ即チ現今我墨西哥ニ於ケル砂糖價格ガ著シク騰貴シタル重ナル原因ナリトスレト言ヘリ

今試ニ本月二十四日ノ調査ニ係ル墨府市場砂糖ノ價格ヲ記スレハ左ノ如シ

精製砂糖 第一號	一基	十九仙乃至十九仙半
同上 第二號	同	十八仙乃至十八仙半
小粒砂糖	同	十七仙乃至十七仙半
角砂糖	同	二十仙乃至二十一仙

## 二 墨國ユカタン州產ヘネケンノ輸出量

(本年九月中)

本年九月中當國ユカタン州プログレン港ヨリ輸出セラレタルヘネケン總高ヲ觀ルニ四萬九千九百十九「バツク」ニシテ重量七百十萬三千二百二十一基ナリトス而シテ其價格ハ百十五萬九千二百二十九弗三十五仙ナリシト云フ

今過去五年間ニ於ケル一月乃至九月間ノ輸出量ナリト云フヲ聞クニ左ノ如シ

年 次	包 數	數 量
一九〇七年	四五一、九二九	七、八五七、四三三
一九〇八年	四七〇、七三三	七、六三三、〇一九
一九〇九年	四〇八、四四四	六、八五一、四七〇
一九一〇年	四二〇、八三六	六、九四五、三六九
一九一一年	五三六、一八〇	八、八五三、六六四

## 三 墨府マーケットノ物價

(本年十一月十七日調査)

貨 物 名	量	自 價 格	セーロン產 同上	同	價 格
一等ラグーナ綿	四十六基	二五、〇〇	同上	同	二二、〇〇
二等 同 上	同	二六、〇〇	同上	同	二二、〇〇
九十六度燒酎	一「リットル」	二四、〇〇	同上	同	二二、〇〇
一等 白米	一基	二五、〇〇	同上	同	二二、〇〇
ホフトラ一等白米	同	二四、〇〇	同上	同	二二、〇〇
同 二等白米	同	二三、〇〇	同上	同	二一、〇〇
ミチヨアカン一等白米	同	二二、〇〇	同上	同	二〇、〇〇
同 二等白米	同	二一、〇〇	同上	同	一九、〇〇
エスベランサ。アー	同	二〇、〇〇	同上	同	一八、〇〇
モンド	四十六基	七〇、〇〇	同上	同	六五、〇〇
稗	百基	七〇、〇〇	同上	同	六五、〇〇
黒色 榛子	一基	一七、〇〇	同上	同	一五、〇〇
精製砂糖第一號	同	一九、〇〇	同上	同	一七、〇〇
同 第二號	同	一八、〇〇	同上	同	一六、〇〇
粒 砂 糖	同	一八、〇〇	同上	同	一六、〇〇
角 砂 糖	同	一七、〇〇	同上	同	一五、〇〇
タバスコ産カカオ	同	一五、〇〇	同上	同	一三、〇〇
マカカイボ産 同下	同	一三、〇〇	同上	同	一一、〇〇
セーロン產 同上	同	二二、〇〇	同上	同	二〇、〇〇
ブラチエラ珈琲	同	二五、〇〇	同上	同	二二、〇〇
カラコリーヨ珈琲	同	二四、〇〇	同上	同	二一、〇〇
セーロン肉桂	一基	二五、〇〇	同上	同	二二、〇〇
黄色 蠟	同	二四、〇〇	同上	同	二一、〇〇
白色 蠟	同	二三、〇〇	同上	同	二〇、〇〇
乾唐辛 一等	十一基半	一七、〇〇	同上	同	一五、〇〇
同 二等	同	一六、〇〇	同上	同	一四、〇〇
バツシーオ唐辛 一等	同	一五、〇〇	同上	同	一三、〇〇
ムラト唐辛 一等	同	一四、〇〇	同上	同	一二、〇〇
ミラソル唐辛 一等	同	一三、〇〇	同上	同	一一、〇〇
チボトレス唐辛 一等	同	一二、〇〇	同上	同	一〇、〇〇
大 麥	百「リットル」	八、〇〇	同上	同	七、〇〇
蠶 豆	一基	四、〇〇	同上	同	三、〇〇
白 菜 莖	同	三、〇〇	同上	同	二、〇〇



大 菜 莖	同	一、八五	麵 麩 粉 二 等	十一基半	一、九〇
小 菜 莖	一基	一、二三	レ ン テ ハ 豆	一基	一、二三
黒 色 菜 莖	同	一、三五	コ ン ト ル ノ 蜀 黍	二百リットル	一〇、二五
ガ ル バ ン リ ス 豆 一 等	同	一、三五	モ レ ロ ス 蜀 黍	同	一〇、〇〇
同 二 等	同	一、二七	コ ス タ 蜀 黍	百五十リットル	一〇、〇〇
同 三 等	同	一、二二	上 等 麥	百六十一基	一七、〇〇
勝 手 用 シ ャ ボ ン	三十四基 半一箱	七、〇〇	テ ム ボ ラ ル 麥	同	一七、〇〇
精 製 脂 肪	一基	七、〇〇	牛 肉 上 等	一基	二、三〇
粗 製 砂 糖	十一基半	六、〇〇	羊 肉 上 等	同	二、三〇
粗 製 棒 砂 糖	百六十本	一、〇〇	豚 肉 上 等	同	二、三〇
コ テ イ ハ 産 チ ー ツ	一基	五、〇〇			
デ ラ バ ル カ 産 チ ー ツ	同	五、〇〇			
麻 袋	一枚	四、〇〇			
麵 麩 粉 一 等	十一基半	一、〇〇			

四 墨國貿易場ト其關稅收入額  
貿易港又ハ貿易都市ニ於ケル關稅收入額ノ多寡ハ以テ其他  
ノ貿易動靜ヲ窺知セシムルモノナルカ故ニ今當國大藏省關稅  
局ノ報告ニ據リテ本年九月中墨國輸入港又ハ都市ノ稅關カ徵  
收シタル關稅ヲ其高ニ順シテ表示スレハ左ノ如シ

貿易港又ハ都市名  
タムビコ港  
所 在  
關稅收入額  
一、二六、九三

ウ エ ラ ク ル ス 港	ウ エ ラ ク ル ス 州 ノ 一 港 ニ シ テ 墨 西 哥 灣 ニ 瀕 ス	一、〇三、二四
ラ レ ド 市	タ マ ウ リ バ ス 州 米 墨 國 境 ノ 一 都 會 ニ シ テ 墨 國 ナ シ ヨ ナ ル 鐵 道 ノ 通 過 點 ナリ	三、五〇、八三
墨 西 哥 市	墨 西 哥 共 和 國 首 府	三、〇一、〇七
ホ ワ レ ス 市	チ ワ フ 州 ノ 一 都 會 ニ シ テ 米、墨 國 境 ニ 位 シ 墨 國 セ ン ト ラ ル 鐵 道 ノ 通 過 點 ナリ	一、四、五八
ブ ロ グ レ リ 港	ユ カ タ ン 州 ノ 一 港 ニ シ テ 墨 西 哥 灣 ニ 瀕 ス	三、三、〇二
ボ ル フ ィ リ オ、デ	コ フ ウ イ ラ 州 ノ 一 都 會 ニ シ テ 米、墨 國 境 ニ 位 シ イ ン タ ー ナ シ ヨ ナ ル 鐵 道 ノ 通 過 點 ナリ	八、九、一八〇
イ ヤ ス 市	ソ ノ ラ 州 ノ 一 都 會 ニ シ テ 米、墨 國 境 ニ 位 シ ノ ガ レ ス 鐵 道 ノ 通 過 點 ナリ	七、四、二九
ノ ガ レ ス 市	下 カ リ フ ォ ル ニ ヤ 半 島 太 平 洋 岸 ノ 一 港 ナリ	四、六、七六
サ ン タ、ロ サ リ ヤ 港	シ ナ ロ ア 州 ノ 一 港 ニ シ テ 太 平 洋 ニ 面 ス	三、八、六九〇
マ サ ト ラ ン 港	ソ ノ ラ 州 ノ 一 港 ニ シ テ カ リ フ ォ ル ニ ヤ 灣 ニ 瀕 ス	三、三、四二
グ ワ イ マ ス 港	タ マ ウ リ バ ス ノ 一 港 ニ シ テ 墨 西 哥 灣 ニ 瀕 シ 米、墨 國 境 ニ 位 ス	三、〇、七二
マ タ モ ロ ス 港	タ バ ス コ 州 ノ 一 港 ニ シ テ 墨 西 哥 灣 ニ 瀕 ス	二、六、五九
フ ロ ン テ ラ 港	ヴ エ ラ ク ル ス 州 ノ 一 港 ニ シ テ 墨 西 哥 灣 ニ 瀕 シ テ ウ ア ン テ ベ ッ ク 地 境 鐵 道 ノ 終 點 ナリ	二、四、六八
コ フ サ コ ア ル コ ス 港	コ リ マ 州 太 平 洋 岸 ノ 一 港 ニ シ テ 東 洋 汽 船 會 社 南 米 航 路 ノ 寄 港 地 ナリ	二、〇、六二〇
マ ン サ ニ ヨ 港	ソ ノ ラ 州 ノ 一 都 會 ニ シ テ 米、墨 國 境 ニ 位 ス	一、八、五七五
ア グ ア、フ リ エ ク 市	ゲ ン ロ 州 太 平 洋 岸 ノ 一 港 ナリ	一、六、五二六
ア カ プ ル コ 港	チ ヤ バ ス 州 ノ 一 都 會 ニ シ テ ゲ ア テ マ ラ 國 國 境 附 近 ニ 位 ス	一、三、三六
ソ コ ス コ 市	下 カ リ フ ォ ル ニ ヤ 半 島 ノ 一 都 會 ニ シ テ 米、墨 國 境 附 近 ニ 位 ス	一、〇、九六六
テ イ フ ア ナ 市	下 カ リ フ ォ ル ニ ヤ 半 島 太 平 洋 ニ 面 シ 米、墨 國 境 附 近 ニ 位 ス	九、〇、九三
エ ン セ ナ ー ダ 市	ユ カ タ ン 半 島 カ ム ベ チ エ 州 ノ 一 港 ニ シ テ 墨 西 哥 灣 ニ 瀕 ス	四、五、二四
カ ム ベ チ エ 港	シ ナ ロ ア 州 ノ 一 港 ニ シ テ カ リ フ ォ ル ニ ヤ 灣 ニ 瀕 ス	三、九、二五
ト ボ ロ バ ン ボ 港	太 平 洋 岸 テ ビ ッ ク 領 ノ 一 港 ニ シ テ マ ン サ ニ ヨ 港 ト マ サ ト ラ ン 港 ノ 中 間 ナリ	三、九、二五
サ ン、ブ ラ ス 港		三、三



サリナ、クルス港  
カルメン島  
マグダレナ灣港

オアハカ州ノ一港ニシテテウアンテベック地境鐵道ノ太平洋岸終點ニアリ  
ユカタン半島カムベチ州ノ海岸ニアリ  
下カリフォルニア半島太平洋沿岸ニアリ

### 五 墨國タマウリバス州ニ於ケル石油産出

狀況一斑

當國タマウリバス州 (Est. de Tamaulipas) ノ一港ニシテ墨西哥灣ニ瀕スルタムビコ港ヨリノ通信ニ據ルニ現時同港ニ於ケル空前ノ珍事トモ稱スヘキモノハ墨西哥ウァテカニ石油會社 (Husaca Petroleum Company of Mexico, Tampico, Tam.) カタムビコ港所在ノ倉庫ニ千二百萬樽ノ石油ヲ積ミ込ミタル事實ナリトス而シテ此ノ多量ノ石油ハ來年一月一日ニ至レハ尙一層増加ヲ見ルヘシト想像セラル、若シ想像ノ實現センカ現今迄該地方ノ各石油會社間ニ行ハレタル競争即チ最多量産出ノ名譽ハ終ニウァステカ石油會社ノ占ムル所トナルヘシ然レトモ現今ノ狀態ニ於テハ最多量ヲ産出スル會社ハコムパニヤ、ペトロリフェラ、デ、ラ、コスタ、デル、ゴルフォ、(Compañia Petrolifera de la Costa del Golfo) ナリトハ石油事業界一般ノ定評ナルカ如シ

「ウァステカ」石油會社ハ現時毎月最少量五百萬樽ヲ産出スルニ過キスト雖貯藏設備ノ完全シタル上ハ尙一層多量ノ産出ヲナスニ至ルヘシト云フ

回答ヲ得タルノミ然ルニ斯ク貴金屬分析法ノ未タ發見ナキハ甚タ遺憾ナリト言ヘリ

### 七 米國アリゾナ州ドゥーグラス及墨國ソノラ州トニテ間鐵道敷設計畫

米國アリゾナ州ドゥーグラス (Douglas) ヨリノ通信ニ據ルニサウサーン、バシフィック鐵道會社社長ハハリマン式鐵道重役會議ニ向テ現今米國 Coahise 及 Forest 間ヲ通スルセ、アリゾナ、エンド、イースターン鐵道ヲ更ラニ延長シテ墨國々境附近ノ一都會ドゥーグラス市ヲ經テ墨國ソノラ州ニ入り同州トニチ (Tonichi) ニ至リテ墨國中央南太平洋鐵道 (Ferrocarril Central Sur Pacifico) ニ聯絡セシムル鐵道延長計畫ヲ建議シタリ然ルニ重役會議ハ之レニ賛助シ墨國大統領選舉後ハ時ヲ失セス該鐵道敷設計畫ニ着手スルコトニ一決セリト通信セリ

該計畫ニ係ル鐵道ハ墨國中鑛物及材木ノ最モ豊富ナルソノラ州ノ中心ヲ貫キカリフ、ルニヤ灣ニ瀕スルゴワイマス港ニ至ルモノナレハ工事竣工ノ曉ハソノラ州ノ富ノ發展殊ニ同州ノ鑛業及材木業ハ之レニヨリテ偉大ナル利益ヲ受クルニ至ルヘキハ明ナリトノ評アリ

### 八 墨國北西鐵道ノ工事竣工計畫

當國北西鐵道會社 (Compañia del Ferrocarril Noroeste de Mexico) ニテハ豫テ其敷設計畫ニ係ルピアソン (Parson) マデラ (Madera) 間ノ工事ヲ來年一月中ニ竣工セシムルノ目的ヲ以テ

ウァステカ會社ハタムビコ港ノ南方七十哩ノ距離ニ在ルホアン、カンシーノト稱スル地ヨリ鐵管ニヨリ汲油スル裝置ナルカ同會社ハ過般更ラニ該鐵管ト併行スル複管敷設計畫ニ着手シ今ヤ將ニ其竣工ヲ見ントシツ、アリ又同會社ハタムビコ港ニ於テ優ニ八十五萬樽ノ石油ヲ容ル、ニ足ル「コンクリート」製ノ「タンク」ヲ有セルカ今回更ニ百個ノ鐵製「タンク」ヲ増設セントシテ着々産出ノ多量ナランコトニ努メツ、アリ而シテ此等鐵製「タンク」ハ合計五萬五千樽ヲ容ル、ニ足ルモノナリト云フ

### 六 墨國チワワ州ヲ、ヴィルヘン鑛山ニ於ケルラデオ鑛ノ發見

當國チワワ (Chihuahua) 州新聞ノ報スル所ニ據レハ同州マラダム郡ブラセール、テ、ゴアダルーベニ於ケルリス、テラササ及ギエルモ、ムニコス兩氏ノ所有ニ屬スルラ、ヴィルヘン鑛山ニ於テ這般深ク水平ニ達スル試掘ヲナシタルニ採掘セラレタル鑛物中ラデオ鑛 Radio 含有セルモノアリ依テ其標本ヲ歐米知名ノ化學者ニ送致シ其分析方法ヲ問合セシニ該鑛ノ分析法ハ未タ發見セラレヌ今ヤ漸ク其研究中ニ屬ストノ

此際其支線工事ヲ一切停止シ全力ヲ注キテ該工事ニ着手セリ

右工事ハ墨國セントラル鐵道ノ通過點ニシテ米、墨國境ノ一都會ナルシウダ、ホワレス (Ciudad Juarez) ヨリ南西ニ向テ延長セル鐵道即チノルオエスタ鐵道ノ終點ピアソント米墨國境ノ一都會ナルブレシデオ、デル、ノルテ (Presidio del Norte) ヲ通過シテ墨國領土内ニ入り南下シテチワワ (Chihuahua) 市ニ至リ更ラニ南下シテカリフォルニア灣ノ一港トポロバムボ (Topolobampo) ニ致ルカンサス、シテイ、メキシコ、エンド、オリエント (工事未完成) 鐵道中ミニヤカ (Mina) 市ヨリ北西ニ向テ延長スル鐵道 (同シクノルオエスタ鐵道) ノ終點マデラ間ヲ聯絡スルモノナリトス

因ニ曰、マデラニハ當國有名ナル材木會社存在シ邦人勞動者ノ該會社ニ使役セラル、者八九十名ヲ算ス

而シテ該鐵道ハ當國チワワ州中鑛物及材木ニ富ム地方ヲ通過スルモノニシテ彼ノ有名ナルブーカー氏ノ所有ニ係ル大森林及先頃墨市倫敦墨西哥銀行カ貸附金ノ辨濟トシテ取得シタル鑛山ノ如キハ確ニ該鐵道ニヨリ著シキ利益ヲ受クルニ至ルヘク又其他交通機關缺乏ノ爲メ今日迄開拓ノ運ヒニ至ラザリシ鬱蒼タル大森林又ハ鑛山ハ此鐵道ノ餘澤ヲ蒙リ遠カラス採伐發掘セラル、ニ至ルヘシ又彼ノチワワ州トソノラ州トノ境界線ニ近キトス、カベサス鑛山ノ如キハ此鐵道ニヨリ其産物直チニ前記米境ノ一都會ホワレスト相對スル米領エル、バリ



市ニ輸送シ得ヘシ

### ○南米ニ於ケル商工業

(協會調査)

先づ北米ニ於ケルミスシッピー河ニ就テ論センニ今ヨリ凡四千五百年以前ノ昔ガルヴェストンノ尙ホ遠ク海中ニ突出セシ時代ニ於テ墨西哥灣ハ深キ海岸線ヲ有シタリキ此海岸ハニユーオレアンズヨリ内地マデ百哩アリテ深廣ナル河口ハカイロ及セントルイスノ間其延長一千哩ニ及ビオザーク山脈ハギラルドウ岬ニ於テ本河ヲ横断シ又古代ノ大湖水ヲ箝制セリ此湖ハ市俄古ニ於テ二百呎ノ水深ヲ有シ大草原ノ全部ヲ浸漬シテミスシッピーヲ始メ北米ノ諸河川ヨリ流出スル無量ノ沖積物ヲ包容シタリシガ其後地球上ノ變化ヲ來タシ水中ヨリフロリダヲ突起セシメテ大陸の流域ト化シニユーネルソン河ハ其間ヲ流レ沖積地層ヲ經テハドソン灣ニ通ゼシメシモ其後オザーク山ノ崩壊トナリテ浸水地積ヲ乾涸シ從テ此深廣ナル河口ヲ完塞シ遂ニ墨西哥灣ニ至ル迄二百十哩ノ沖積地層ヲ形成スルニ至レリ噫人類ノ利用ニ對スル天意ノ設計又妙且偉大ナリト云フベシ

南米ニ於テモ亦之と同様ナル變化アリシヲ見ルベシ墨西哥灣ノ河口ハ前述セルガ如ク北米内地マデ一千哩ノ延長ヲ有シタリシガラブラタ河口ニ於ケル南米ノ海岸線モ亦同一ナル狀

現今ノ高サニ至ラシメ而シテ其處ニ肥沃ナル五十尺ノ地層六十萬方哩ヲ有シテ恰カモ合衆國五分之一大ニ等シキバンバヌ平原ヲ形成セリ斯クノ如クシテ合衆國及亞爾然丁國並ニボリビヤ、ブラジルノ一部ハ南北大陸ニ於ケル大自然ノ變化ニ依リテ遂ニ廣大ナル耕作帶ヲ生ズルニ至レリ

一千四百九十二年コロンブスノ新世界發見アルヤ南大陸ニ於ケル初期ノ政治及商業の狀態ハ大ナル影響ヲ被リタリキコロンブスガ最初ノ航海ヲ終リテ歸來一ヶ月後法王アレキサンドリア第四世ハ未發見ノ世界ヲ西葡兩國ニ配分シタリシガコロンブスノ發見セシ所ハアゾレスノ西方百リグ(一リトグハ我約一里八町)ノ地點ニシテ彼ハ其處ヲ以テ地理學上東西兩半球ノ分岐點ナリトセシカバ法王ハ物理の子午線ヲ政治的ノモノト變ジ此線ヲ以テ西葡兩國所有ノ境界トナシタリシモ其後一千四百九十四年九月トルデシラス條約ニヨリテ兩國政府ハ壘ニ法王ノ決定セシ境界線ヲグエルド島岬ノ西方三百七十リグノ子午線ニ移動スルコトニ決シ各々未發見大陸ノ開拓ニ從事シタリ去レド此境界線ハ事實上全ク困厄ノ源泉トナリ過去三百年間西班牙ハ南米ノ沿岸即チ現今ノブラジル共和國ニ於テ葡萄牙ニ遠ザカリ同國殖民地即チ現今ノ亞爾然丁共和國ノ東海岸並ニ大西洋岸ニ於テノミ交易スルノ止ムヲ得ザルニ至リシナリ而シテ交易ノ通路トシテハ迂回路或ハ多費ヲ要ストコロ多ク即チカヂスヨリダリエン地峽ヲ超エテ西海

態ニ在リキ即チ其延長一千四百哩其幅四百哩アリ是即チ大ナルバンビアン海ニシテ其ガ排水ヲ吞吐スルモノハ管ニ現今ノバラグアイ及バラナ河並ニ其支流ノミナラズ現今ニ於ケルアマゾンノ最大支流マデイラ河等ニシテアマデス山脈ヨリハ常ニ無量ノ沖積物ヲ流下シツ、其大サ恰カモ地中海ノ三分ノ二ニ當ル海中ニ之レヲ排出シタリシナリ然ルニ自然ノ作用ニ依リテ現時地質學上比較的短期間ニ於テ此廣大ナル沃野ヲ形成セシ時アマデス山ヨリ發スルグラランド及バラバチノ二河ハマデイラニ一ツノ堰堤ヲ架成シ其堆積百七十呎ノ深サニ達シテ其處ニ所謂古代ノモーホス湖ヲ産出セリ當時同湖水ハ其面積十一萬五千方哩ヲ有シ北米湖水ノ總體ニ比シ更ニ巨大ナルモノナリシガ其後漸次ニ縮小セラレテ浸漬面九萬四千方哩以內トナルニ至レリ堰堤ハ斯ク自然ノ作用ニ依リテ築カレタルモノナルガ故ニモーホス湖ハ漸次其地層ヲ高ムルニ至リ遂ニグアハラミリム邊端ノ水平線ヲ超エ水ハ溢レテネルソン河及マデイラ河ニ合シテアマゾン河ニ放射シテ遂ニハドソン灣ニ流入セリ古代湖ハ堆積土ノ爲メニ充塞セラレテ現今殆ンド其痕跡ヲ止メズ唯僅カニ山上ニ於ケル美シキ泥土ノ化石ヲ見テ以テ湖水ノ其處ニ在リシ昔ヲ憶ブニ過ギス

造物主ノ事業タルヤ實ニ廣大無邊ニシテバンビアン海中ノ堆積地面ノ乾涸ニ代ヘテ恰カモ北米ニ於ケルト同ジクアマデス山脈並ニ大西洋ニ面セル同山脈ノ傾斜ヲ隆起セシメテ遂ニ岸ニ出デ之ヨリ下航シテカヤオ、ヅアルバライオン其他ノ太平洋諸港ニ至リ更ニ人肩馬背ノ難旅ニ依リテ標高一萬呎ノ山岳ニ登リ再ビ下リテ東方斜面ニ於ケル部落ニ達シ之ヨリ大西洋岸ニ出デタルモノニシテ初期時代ブエノスアイレス市ハ南大西洋トカヂストノ間ニ介在シ此難通路ニ於ケル物貨集散地タリシナリ

現今西班牙ノ勢力範圍ハ大ニ其局面ヲ變ズルニ至リ今ヤ東方斜面地方及ビコロムビヤ、エクアドル、秘露、ボリビヤ等ノ諸國ハブラジル、アマゾン河ヲ經由シテ其販路ノ開拓ニ努メツ、アリ而カモブエノスアイレスハバラナ及ウルグアイトノ關門ニ當リ南米第一ノ輸入港タリ要スル南米諸國ノ商業ハ今ヤ圓滿ナル發展ノ行程ニ在リト云フベシ

南米史ヲ緝カバ十八世ノ間ニ當リテバラグアイ河ノ兩岸ヨリコロムビヤ山ノ間ニ散在セシ異種族異境人ノ間共通の同一ナル原因ニ依リ同一ナル結果ヲ生ゼシ事實ヲ認ムルヲ得ベシ是等ノ結果タルヤ實ニ北米共和國ヲ建設セシ大革命運動ノ先驅ニシテブールボンヲシテ佛國ノ王位ヲ捨テシメ延ヒテ西班牙皇室ヲ危殆ノ地ニ陥ラシメタリ英領殖民地ハ英皇「ジョージ三世」ノ負債英貨一億四千八百萬ヲ償還ノ爲メ殖民地ニ課税スルニ至ルマデ外國ノ支配ニ對スル思想比較的平穩ニシテワシントンノ如キ一千七百七十五年彼ガ陸軍ニ將タリシ時ニ於テ



スラ衷心其獨立ヲ欲セザルコトヲ公言セリ去レバ大陸ニ於ル自由の革命大運動ノ開始ハ南米北米ニ先ンジタリト云フ得ベシ

西班牙殖民地ノ獨立ハ一千八百十年ニ始マリ時ニ母國ノ大軍ト戦ヒテ之ヲ破リ或ハ王黨ノ奮起又ハ政治的内亂等ノ爲メ劍火ノ慘アリシト雖モ一千八百二十一年全ク其完成ヲ見ルニ至レリ今ヤ南北米大陸ニ於ケル共和國ハ其數約廿ニ達スレドモ其政體ハ總テ北米合衆國ニ倣ヒ憲法ノ如キ亦多クハ範ヲ合衆國ニ採リシモノナリ

以上記述セルハ南米ニ於ケル現今商工業ノ前提ニ過ギズ現今南米諸國中商工業ノ最モ發達セルヲ墨西哥ト爲スベシ同國ノ鐵道ハ擴張主義ニ依リテ過去三十年間殆ンド完成ヲ告ゲ港灣ハ政策セラレテ東西南洋鐵道ニ通ジ採鑛法ハ最新式ニ則リ水力電氣ノ發達亦著シク財政上頗ル安固ナル基礎ヲ樹立セリ

墨西哥ニ於ケル重要ナル工事ノ概要ヲ摘記センニザラクハルスノ北方墨西哥灣タムビコニ於ケルベスコ河口ノ砂洲ハ通航上危險多カリシガ今舊ミヌシッビー河口ト同様ナル方式ヲ以テ之ヲ浚渫シ水海八呎以上廿四呎ヲ増シタルガ故航行上ノ危險全ク除去セラレ爲メニ歐洲諸港ヨリ此國ニ輸入スル貨物ノ運賃三割三分方ノ低落ヲ來セリ

世界ニ於ケル最モ不潔ナル都市ノ一トシテ知ラレタル墨西哥市ハ今ヤ延長廿五哩ヲ有スル疏水運河ヲ設ケ又墨西哥流域

ヲ圍繞スル山岳ヲ貫キ延長四哩ノトンネルヲ開掘シテ市ノ排水ヲ便ニシ下水道ヲ設ケシ等特別工事ニ依リテ衛生上全ク其面目ヲ改ムルニ至レリ墨西哥市ヲ距ル九十六哩ネカクサニ於ケル水力電氣ハ堪能ナル米國技師ノ設計築造ニ係リ墨西哥市及其附近郡邑ニ動力及電燈ヲ供給スルモノニシテ數年前ニ於テ驛馬ノ厩使見ルニ堪ヘザリシ墨西哥市モ今ヤ電車ヲ走ラスニ至レリ

新タニ敷設セラレタル鐵道ノ支線ハ即チ本線ト岐レテ遠ク金銀鑛ニ通スベク南太平洋鐵道ハ長キ西海岸線ニ依リテカリホルニヤ灣ノガイマスヲ經テグワダハラニ達シ其處ニテ官線ト合シテ墨西哥市ニ通ズルモノニシテ今ヤ工事中ニ屬ス尙他ニ目下敷設中ニシテ最モ重要ナル一線アリ即チ國境エルパンヨリ起リ其全長八百里ヲ經テワワヲ經テシエラマドレ山脈ヲ越エカリフオルニヤ灣アギアバムボニ達スル線ニシテ沿道ニハ東半球ニ於ケル良好ナル松材三百萬エークル(一エークルハ我約四反二十四歩)百一十億呎ヲ有スル大森林アリ

墨西哥北方代理會社ハチワウツノ南方墨西哥中央鐵道本線ヲ距ル遠カラザル地ニ於テ水力電氣ノ設備ヲ爲シツ、アリ本水力電氣ハ周圍五十哩以内ニ於ケル都市及鑛山等ニ電流ヲ供給スルモノニシテ七萬馬力ノ電流ヲ以テ十二ヶ所ニ供給シ得ル計畫ナリ

全米鐵道ハテフンテベック國立鐵道トゾワテマラトノ間既

ニ完成ヲ告ゲグワタマラハバブルトバリオス及サンホセトノ間太西太平洋鐵道ヲ有スルニ至リコスタリカモ亦リモンヨリフンタラレナスニ通ズル鐵道有ルニ至レリ去レド千九百十五年一月ニ至リ巴奈馬運河一タビ開通セバ其利便ヲ受ルモ豈唯一ツノ米國ナルノミナランヤ恰カモスエズ運河ノ開通ニ於ケルガ如ク世界ノ商業ニ及ボス影響頗ル甚大ニシテヤガテ汽船商業ノ革命ヲ惹起シ遂ニ運賃ノ低下ヲ見ルニ至ルベシ

巴奈馬運河當面ノ重要問題ハ船積陸揚倉庫等ニ關シ如何ニ善良ナル設備ヲ爲スベキカニ在リ一見是等ノ諸設備ハ本運河ニ於テ必要ナキガ如シト雖モ愈々開通ノ曉ニ於テ日英獨等大汽船ノ航路ハ本運河ノ兩端ニ於テ給養水路トシテ補助航路ヲ設クルニ至ルベシ例之最近重要ナル他ノ二航路ヲ買収シタル英國ローヤルメール汽船會社ノ如キ香港サウザムトン間ノ航路ニ於テ最大汽船ヲ用ユルニ至ルベク是等ノ大汽船ハバルボア及コロンニ於テ東西兩洋方面ノ貨物ヲ陸揚又ハ船積シテ目的地ニ直航スベシ即チ西印度諸島紐育及ブラジル諸港方面ニ屬スル貨物ハコロンニ於テシ又西海岸線ヨリツアルバライオン方面ニ屬スル貨物ハバルボアニ於テ補助航路船ト積換ユルモ若シ此大汽船ト補助航路船ト兩者孰レカ未着ニシテ其連接ヲ缺ク場合は等ノ貨物ハ一時倉庫ニ納メザルベカラズ於是即倉庫ノ必要ヲ生ズルニ至ル而シテ米國政府地峽運河委員會ハ本運河ノ兩端ニ於ケル是等重要ナル事業ニ對シ至便ノ方法ヲ講

ジ且ツ通航船舶ノ爲石炭積込所ヲ設ケテ其供給ヲ充分ニシ其他各種必要ニ應ジテ萬全ナル設備ヲ爲スノ計畫アリト云フ

合衆國ガ運河工事ヲ營ミツ、アル間ニ於テ巴奈馬共和國ハ拔目ナクモ有ラユル有利ナル手段方法ニヨリテ從來人跡未到ナル地方ノ開發ニカメ今ヤ國境コスタリカモ近キダビッドニ通ズル線路其延長支線ヲ合シテ凡四百五十哩工費一千百萬弗内外ヲ要スル鐵道ヲ敷設シツ、アリ

コロムビヤ國ニ於テ計畫セラレ商工業ノ主要ナルモノハ即チマダグレナ河口ニ於ケル砂洲浚渫ナリトス本工事ハ砂洲ノ内側ヨリボゴタニ通ズル鐵道ト連接スル蒸汽船航行地點マデ六百哩ノ間河床ノ浚渫ヲナスモノニシテ從前其設計ハ二三委員ノ手中ニアリシガ今ヤロンドンナル一工業會社トノ商議ニ移サレタリ

ウ・ネズエラ現政府ハ首都カラカス市ニ廣大ナル水道ノ敷設道路ノ改修及衛生的下水ノ設備等大規模ヲ以テ市街ヲ現代のナラシムルノ計畫ヲ立テタリ又一千萬弗ヲ以テ沿岸及河川ノ航行權ヲ倫敦ニ於テ賣出スベシ本航行權ニ包含スル河川ハ大陸大河ノ一ナルオリノコヲ始メトシエスキボ河ヲ除クノ外總テノ河川、湖水悉ク此特權内ニアルモノニシテ其他アマゾン地方一帶ノ拓殖及採伐權亦之ニ包含スルモノトス

余輩ハ更ニ研究ヲ進メテ是ヨリアマゾン流域ニ論及スヘシアマゾン流域ハヴ・ネズエラ、コロムビヤ、エタアドル、秘



露及ボリビヤノ諸國ニ圍繞セラレ其面積殆ンドアラスカヲ除タル北米合衆國ト同大ナリ即チ合衆國ノ面積ハ三百二十一萬九千方哩ナルモアマゾン流域ハ二百九十七萬方哩ノ面積ヲ有スアマゾンノ支流ニシテ航行シ得ラル、モノハ其延長少クトモ二萬哩ヲ下ラザルベシ、

アマゾン河一秒時間ノ最大放水量ハ五百三十萬立方呎ニシテ之ヲミスシッビー河ノ放水量約二百萬立方呎ニ比較セバ大洋ニ放射スル一ケ年ノ放水量アマゾン河ハミスシッビー河ニ五倍スベシ

前年米國砲艦ウイルミントン(吃水十呎)ハ河口ヨリ三千哩以上ノ上流ニ在ルイキートスニ達シ更ニ其上流一千哩ヲ遡航セリ一千九百三年ボリビヤ、ブラジルノ二國ハベトロボリス條約ニ依リブラジル國ハ米貨一千萬弗ノ相當額ヲボリビヤニ與ヘテ航行不能ナルマデイラ河ノ急流ニ並行スルマデイラ及マモレ鐵道延長二百十哩ノ敷設權ヲ得ボリビヤハ其代價トシテ此金額ヲ內國事業改善費主トシテ鐵道ノ修築費ニ充テマデイラ河ノ一支流ニ於ケル蒸氣船航行地點ニ通ズル鐵道ヲ敷設シ尙係爭中ナリシブラジルノ國境ヲモ認ムルニ至レリ以來ボリビヤ國ハ高原ニ於テボリビヤ鐵道ヲ敷設シ其一端ハ不日アマゾン河ノ可航水路ニ達スベシブラジル國ノマデイラマモレ鐵道ハマイネ州法ニ據リテ設立セラレタル一米國會社ノ建設ニ係リ二ケ年以内ニ竣工スベキ豫定ニシテ今ヤ工事中ナリ

河川ノ排水路ニ當リテアマゾン河トハ唯同河口ニ横ハル面積二百方哩ヲ有スル大ナルマラホ島ノ背面ニ於ケル可航運河ニ依リテ連絡ヲ保ツニ過キズ總テノ汽船ハバラ河口ヲ遡リテバラ港ニ寄泊ス亦諸河川及支流ヲ上下來往スル約百五十隻ノ蒸氣船ハ同港ヲ以テ通航ノ終點ト爲ス

アマゾン河口ハ砂洲多クシテ風波高ク燈臺ノ設備ナク又水路圖ヲ有セズ加フルニ同河口特別ナル形狀ニ因リテ時々恐ルベキ海嘯ヲ生ズルガ故ニ航海業者ノ同河口ヲ恐ル、コト甚シク一隻ノ汽船トシテ同河口ヲ通航スルモノナシ

從前大洋汽船ハバラ港ノ下流數哩ノ處ニ投錨シテ貨物ノ陸揚及船積等ハ舢舨又ハ蒸氣船ニ依リテ連絡ヲ取リタリシガバラ會社ハ同市ノ前方延長一哩半以上ノ岸壁ヲ築キテ數多ノ陸揚場ヲ設ケ五千噸ノ汽船ハ直チニ岸壁ニ横付シ得ラル、ヤウ其他貨物ノ取扱ニ關シテ萬般ノ設備ヲ整ヘタレバ今ハ現代的良好ト爲リ此處ヨリ一千哩ノ上流マナオス迄ハ五千噸ノ汽船ヲ通ジ得ベク二千噸ノ汽船ナルトキハ秘露ノイキートス迄遡航スルヲ得ベシ

マデイラマモレ鐵道完成シテバラ港ヨリ水路汽船及蒸氣船ニ依リボルトヴェルホニ通ズルニ至ラバマデイラ上流廣大ナル地方ノ開發ニ資スルコト著シカルベク從テ此地方ノ產物ハ從前ノ如クアンデス山脈ヲ越エテ難航海ニ通ズル迂回ヲ爲スコトナク水路外邦ニ向ツテ其販路ヲ求ムルニ至ルベシ

急流ノ多クハ一片舟ヲダモ通航シ難ク況ンヤ貨物ノ運漕ノ如キ到底不可能ノ事ト云ハザルベカラズ大洋汽船ノ通ズルトコロハアマゾン河口ニ近キバラノ上流一千七百五十哩ノ地點ニ在ルボルトベルホニ於ケル急流ノ麓迄トス此急流ノ上流ニハ尙二千五百哩ノ可航水路アリテボリビヤ及ブラジルノマッコク州ニ於テ面積四十七萬五千方哩ノ土地ヲ有利ナラシム從前此マッコク州州ガ地理上孤立ノ狀態ニ在リシ當時此方面ニ入ルベキ貨物ハ強ヒテ此急流ヲ溯ルカ或ハ太平洋ヲ迂回シテアンデス山ヲ越ユルノ外ナク孰レニセヨ莫大不廉ノ運賃ヲ要シタリキ而カモ此廣大肥沃ナル土地ハ氣候中和ニシテ各種ノ農產物ヲ産シ豐富ナル礦物及アマゾン支流附近ノ谿谷ニ於テ豐饒ナル護謨樹ヲ有ス

會社ガ鐵道ニ投下スベキ資本ハ三千九百萬弗ニシテ内一千五百萬弗ハ社債ニ依リ一千百萬弗ハ株式ヲ募リ殘餘ノ一千二百萬弗ハブラジル政府ノ下附スルトコロニシテ工事ハ今ヤ其三分之二以上ノ進捗ヲ告ゲ熟練セル職工三千人ヲ使用シテ其速成ヲ圖リツ、アリ同會社ハバラヲシテ南米ニ於ケル内外貨物ノ輸出入港タラシムベク壘ニバラ港ヲ修築シテ現ニ同港ノ所有者タリ

バラ市ハ大西洋ヨリ八十六哩バラ河口ニ臨ミ人口二十萬以上ヲ有スル大都會ナリ然ルニ世人バラ市ヲ以テアマゾン河口ニ在リトスレドモ事實上同市ハ大ナルトカンチン河其他ノ小

鐵道ノ敷設、築港、都市ノ改良、市街ノ建築衛生的設備水力電氣及電車ノ運轉或ハ採鑛及農耕製造法ノ改良等就中歐洲人ノ移住ニ依リ南米全土舉テ急速ナル發展ノ行程ニ在リ余輩ハ是等ノ發展ニ就キ更ニ其概要ヲ附記スベシ

ブラジルニ於テハ政治的の革命ノ時代既ニ去リ今ヤ革命ハ商業的ニ遷リ來レリ此國ノ有スル海岸線ハ秘露國境ニ於ケルアマゾン河ノ本流ヨリバラグアイニ於ケルコルムバマデ其全長八千哩ニシテ大西洋岸ノミニテ其延長三千四百哩アリ港灣亦莫大ナル費用ヲ投ジテ修築セラレ其現代設備ヲ有スル良港大小合セテ十八ニ達ス其主ナルモノ及費用ヲ掲グルトキハ左ノ如シ

バラ	二千萬弗	ベルナムブコ	一千五百萬弗
バビヤ	同上額	リオデジャネイロ	三千萬弗
サントス	二千萬弗	リオグランデスル	二千萬弗

此國ノ鐵道モ亦各地方ニ延長シツ、アリ即チベルナムブコヨリ西南諸港ニ通ズル大西部鐵道リオデジャネイロヨリ廣大地方ニ亘ル英國鐵道リオデジャネイロヨリ珈琲大產地タルサンペウロニ達スル官鐵中央線及サンパウロヨリ各地ニ通ズル鐵道即チサントス港ニ通ズルサンパウロ鐵道モギアナ鐵道パウリスタ鐵道ソロコバナ、サンパウロ、リオグランデ鐵道及亞米利加會社建設ノブラジル鐵道等ニシテ此ブラジル鐵道ノ



豫定線ハサンパウロヨリパラナ及サンタカタリナ二州ヲ經テ  
 リオグランデドスル州ニ達スルモノト大西洋面サンフランシ  
 スコ港ヨリパラグアイ共和國ノ首府アスンシオンニ到ルモノ  
 等ニシテ全通ノ曉ニ於テハ其全長七八千哩ニ達スベシ尙政府  
 ハリオデジャネイロヨリ海岸ニ沿フテリオグランデドスルノ  
 首都ポルトアレグレニ達シ其處ヨリウルグアイ國境ノハガラ  
 オロニ出デ、ラブラタ河ニ於ケルブエノスアイレスノ對岸コ  
 ロニヤニ通ズル西南鐵道ト連絡スベキ豫定線ヲ有ス又ブラジ  
 ル政府ハサンパウロヨリマツトグロソ州ノ大ナル未開地ヲ  
 一直線ニ横斷シテコルムバニ近キパラグアイ河ニ於ケルエス  
 ベランザニ通ズルブラジル西北鐵道ノ敷設中ナリ

ブラジルノ首府リオデジャネイロハ三十年前ニ於テハ宛カ  
 モ葡萄牙ノ舊都市ノ如ク廣ク暗黒ナル市街泥濘路ヲ没シ古代  
 ノ建築物ハ其粗造見ルニ堪エズシテ全市中一ツノ美麗ナル家  
 屋ナク發黃熟ハ各所ニ流行シテ其非衛生的ナルコト殆ンド言  
 語ノ外ニ在リキ然ルニ一タビ長夜ノ夢ヲ破ルニ至ルヤ先ヅ舊  
 市街ノ一角ニ於テ直線ニ市中ヲ貫通シ灣ヨリ灣ニ至ル幅員百  
 十呎ノ大通ヲ設ケテ市ノ通風ヲ便ニシ他ノ市街ニ於テモ先ヅ  
 大通ヲ設ケテ同様ナル設備ヲ施セリ又舊時ノ建築物ニシテ其  
 基礎固ク到底移轉シ能ハザルモノハダイナマイトヲ以テ之レ  
 ヲ破壊シ新大通ニ沿フテ兩端ニ亘リ美麗ナル現代の建築物ヲ  
 急造シ美シキ海岸ニ沿フテ海壁ト共ニ美麗ナル遊歩場ヲ設ケ

ハ四千萬弗ヲ投ジテ同港ニ現代の設備ヲ施セシニ當初無謀的  
 計算ト目セラレシ出入船舶ノ噸數二百萬噸ハ千八百九十九年  
 竣工ノ日ニ於テ約一千二百萬噸ニ達スルニ至レリ政府ハ又二  
 千五百萬弗ヲ投ジテ更ニ本港ヲ擴張シテ最新設備ヲ施シ同時  
 ニ本港ヨリパラナデ、ラス、バルマスニ通ズル長距離ノ船路  
 ヲ開鑿スル計畫ヲ立テタリ此國都市ノ總テハ今ヤ完全ナル衛  
 生の設備ヲ有シ河津海港ハ修築セラレ、河川ノ改良無數ナル  
 射光浮標ノ設置等實ニ此國改善事業ノ夥多ナルヲ感ゼシム  
 ロザリオ港ノ如キ即チ其一ニシテ同港ハパラナ河ノ上流二百  
 二十五哩ノ處ニ在リテ修築費一千二百萬弗ヲ要シタリ尙政府  
 ハ總テノ海港ヲ少クトモ三十尺ノ深サトシテ現代の大汽船ノ  
 入港ニ便セシムルノ計畫ヲ有セリ又他ニ直接政府ニ依リテ企  
 圖セラレタル事業ノ大ナルモノハ南方バタゴニヤ及現今絶對  
 無人境ナルグランチャコ方面ノ大面積ニ於ケル開發及殖民是  
 ナリパラグアイ河ノ西北方延長三千哩ノ鐵道ハ今尙工事中ナ  
 ルベク此等鐵道ニ要スル車輛、機關、軌道、締着等ハ歐米諸  
 國中比較的善良低廉ナル處ヨリ輸入セラル

智利國ハ太平洋ニ面シテ滿々タル覇氣ヲ有シ其發展亦見ル  
 ベキモノアリ從來鐵道ニ投ゼラレタル資本ハ少クトモ三億  
 五千萬弗ニ達スベク今又商業上港灣修築ノ計畫ヲ立テタリト  
 雖モ由來智利國ノ海岸線ハ長クシテ然カモ保護的灣灣ニ乏シ  
 ク海水ハ急激ナル深サヲ有スルノミナラズ時々恐ルベキ海嘯

タリ此遊歩場及大通ノ全長ハ約九哩アリテ無數ナル自動車ノ  
 壯遊ニ適セリリオデジャネイロ電車電燈電力會社ハ認可ヲ得テ  
 麗ニ水力電氣ヲ設備シ今又舊馬車鐵道ノ全部ヲ買收シテ代ユ  
 ルニ完全ナル米國式觸輪電車ヲ通ジ尙在來ノ汽車ヲモ買收シ  
 テ今ヤ五十哩ヲ隔ツル堰堤ヨリ電力ヲ全市ニ供給シツ、アリ  
 政府ハ又ドクトル、オスワルド、クルツ氏指導ノ下ニドクト  
 ル、ゴルガスガハバナ及巴奈馬ニ於テ爲セシガ如ク發黃熟及  
 蚊軍ノ驅除ニ力メタリ尙クルツ氏ハバラニ同様ナル方法ヲ施  
 行シツ、アリサントスト骨ヲ發黃熟ノ病源地タリシガ同法施  
 行後風ニ完全ニ驅除セラレタリリオデジャネイロ灣ハ浚渫擴  
 大セラレ三哩以上ノ石造岸壁ヲ築キテ其處ニ倉庫、電力起重  
 機其他ノ諸設備ヲ施シ今ヤ現代の海港トナルニ至レリ

ブラジル國ニ於ケル急進發展ノ概要上述ノ如シ而シテ南米  
 諸邦當面ノ急務ハ即チ鐵道ノ敷設、港灣ノ修築其他内國の  
 事業ノ改良ニ在リテ亞爾然丁、ウルグアイ、秘露、智利ノ諸  
 國等亦是等ノ發展ニ於テブラジル國ニ遅レザルナリ亞爾然丁  
 國ハ一千九百年以前既ニ諸方面共ニ大ナル進歩ヲ遂ゲタリシ  
 ガ爾來汲々トシテ底止スルコトナク其發展ノ急激ナルハアラ  
 ユル點ニ於テ之レヲ認ムルヲ得ベク殊ニ商業の利便ニ就テハ  
 全ク舊態ヲ脱スルニ至レリ例之ブエノスアイレスノ如キ千八  
 百八十五年ニ於テハ出入船舶ノ登簿噸數ハ僅カニ六十五萬噸  
 ニシテ汽船ハ同市ヲ距ル十哩ノ下流ニ投錨シタリシカバ政府

ノ襲來アリテヴ、ル、ライソノ如キスラ其危難ヲ免レ難  
 キ程ナルヲ以テ港灣修築ノ如キ蓋シ至難ノ業タルベシ

智利及亞爾然丁ノ二國共ニ最近南米ニ於ケル大陸橫斷鐵道  
 ノ完成ヲ告ゲタルヲ以テ今ヤヴ、ル、ライソノ及ブエノスアイ  
 レストハ鐵道ニヨリ連絡セラル、ニ至レリ尙他ニ東西兩洋鐵  
 道及アンデス鐵道ニシテ敷設中及計畫中ニ係ルモノ數線アリ  
 即チ南部ニ於ケルモノヲ示セバ左ノ如シ

- 一 大西洋面リヴ、ル、ライソニアヨリ太平洋ニ近キブエノス  
 アイレス湖ニ通ズル線
- 二 西北方ブ、ル、ライソニアヨリ智利國境ニ於ケルナフ  
 アルビ湖ニ通ズル線
- 三 大西洋面サンアントニオヨリ同上湖マデ直線ニ橫斷  
 スル線
- 四 ヴ、ル、ライソニアヨリ經テ低キ分水嶺ヲ橫斷シ智利ニ達  
 スル大南方鐵道
- 五 上述ヴ、ル、ライソノリメンドサニ到ル線
- 六 智利國アントファガスタヨリポリビヤ國ノラバス及  
 ボトシニ通ジ其處ヨリパラ及アマゾンヲ經テ大西洋  
 ニ達スル線
- 七 アリカ、ラバス鐵道
- 八 秘露モエンドヨリポリビヤ國チ、カ、湖ニ通ズル線
- 九 秘露バイタヨリアマゾンノイキートスニ到ル線











輸入國名	数量	價額
白耳義	二、八四〇	一、四三二
加奈陀	一九〇	九
智利	四〇〇	三五
丁抹利	一〇〇	三五
佛蘭西	四、三六〇	二、一八〇
伊太利	三	一八〇
諾威	一、二四八	一六
英威	二、三三	六四
露威	二、三〇〇	一三〇
瑞典	五、五七	一七、二四
瑞諾	六、四九〇	三、二四
ウルクワイ	一三〇	一〇、三〇五
計	二二、六八	七、九〇九
(註) +印ハ増、一印ハ減		
二 燧燐寸		
白耳義	九	一四
伊太利	一、五九六	一、八九
英威	五	三
ウルクワイ	一、五五〇	二、二六
計	三、五五二	四、一〇三
木製燐寸一基ニ付金貨四十仙ナリ		

第四 輸入税

蠟製燐寸一基ニ付金貨一弗六十仙ナリ  
蠟燐寸六打以下箱入一基ニ付金貨八十仙ナリ

第五 結論

亞國ニ於ケル燐寸業ニ關シテハ上記以外ノ統計ヲ得ル能ハサルヲ以テ其現情如何ヲ知ルニ苦ムモノアリト雖工場モ數ヶ所以上ニ上リ其生産上高頗ル高額ニ達シ一方ニ於テ外國品ノ輸入統計カ非常ニ減少ノ傾向ヲ示セルモノハ明白ニ同國燐寸業ノ發達ノ實際ヲ證明セルモノニシテ加フルニ關稅率カ非常ニ高キヲ以テ同國ニ向ツテ外國品ノ競争ハ漸次困難ヲ加フルナランカ

三 エクワドル

第一 燐寸工場

グワヤキルニ一燐寸製造株式會社アリ

第二 生産高

一日ノ生産高十五「ラタス」ナリ  
(「ラタス」ハ「カーハス」ニ「カーハス」ハ燐寸小箱十個包十包トス)

第三 外國品輸入額

千九百八年、同九年ノ輸入額ハ左ノ如シ  
年 度 數量(基瓦) 價額(「スクレンス」)  
一九〇八年 二〇三、五六一 八四、七二六  
一九〇九年 二、四八七 三三、三七一

千九百九年ニ於ケル輸入國別表ハ左ノ如シ

輸入國名	數量	價額
獨逸	八〇、〇二五	二七、一九〇
米國	一、〇五〇	二、八五
英國	九、二四〇	二、三〇一
伊太利	一、六一	一、二六
計	九〇、五六一	三〇、三三三
二 蠟燐寸		
伊太利	一、二四一	九六
獨逸	二七	三〇
計	一、五三	一二六
三 赤軸燐寸		
伊太利	五	一〇
獨逸	二、四	二四
英國	二	七
計	四三	三三
第四 燐寸輸入税		
燐寸一基ニ付エクワドル貨十五仙、附加税(内國稅)十割ト		
木製包装ノモノハ右輸入税ノ二割五分ヲ減シ附加税十割ヲ免スルモノトス		



第五 結論

前記燐寸製造場主ヅキルヒリオ、ブラサ、ツロエト氏ノ言ニ依レハ右工場ノ製造高ヲ以テ同國ニ於ケル燐寸ノ需要全部ヲ充タスコトヲ得ト云フ夫レカタメカ千九百九年ニ於ケル外國燐寸ノ輸入ハ前年度ニ比シテ半額以上ニ減少セルヲ認ム

○パナマ運河通行税問題

(協會調査)

吾人ノ希望トシテハ本來國籍ノ如何ヲ問ハズ萬國ノ船舶及ビ商業ニ對シテ本運河ヲ開放シ唯曳船料及ビ取扱料ニ就テノミ其實費ヲ徴收スルコトニ止メ工事ニ投ゼル莫大ナル資金ニ對スル利子及開通後ニ於ケル經營維持費等ハ一切之レヲ通行船舶ニ負擔セシメザルニ在リ然レドモ本問題ニ對スル米人ノ意向ハ今尙ホ未定ニ屬スルヲ以テ結局外國船並ニ外國貿易ニ從事スル米國船ニ對シテハ工事費ニ對スル利子維持費及ビ經營ニ要スル年額ヲ基礎トシテ算定シタル通行税ヲ賦課スルニ至ルナラント信ジツ、アリ思フニ世人モ亦合衆國沿岸諸港間ノミヲ航行スル船舶ニ對シテハ斯カル通行税ヲ賦課セラルルコトナクシテ本運河ノ利便ヲ實際ニ享受センコトヲ要望スルニ至ランカ

本問題ヲ了解セントスルノ一助トシテ今茲ニ二三ノ事例ヲ示サンカ海上運輸専門家ノ豫算ニ依レバ順境ノ場合ニ於テ運河ヲ使用スル船舶ノ總噸數ハ年々一千萬噸以上ニ達スベク或

ハ一千二百萬噸以上ニ達スルコトナキヲ保セズ運河ノ經營費並ニ維持費ノ豫算ハ合計約三百萬弗ナリ工事費ノ全額ハ竣工マデニ四億弗ニ達シ之レニ對スル利子ハ低利公債二分五厘ノ割合ニテ一千萬弗ニ當ルベシ今若シ是等工事費、利子、經營費維持費ノ豫算ヲ基礎トシテ通行税ヲ定メンカ其年額一千二百萬弗ニ達スベシアメリカ沿海航行ノ船舶ヲ除キタル總噸數一千萬噸ニ之レヲ割當ツレバ通行税ハ即チ一噸ニ付一弗三十仙ノ割合トナルナリ假リニ低位ノ船舶ヲ三千噸ニ見積ルトキハ其支拂フベキ通行税ハ一回三千九百弗ニシテ往復即チ七千八百弗トナル右往復ノ通行税七千八百弗ハ恰カモ船長一名役員三名下級船員數名ニ要スル一年間ノ俸給及ビ給料全額ニ相當スベシ往復四回ニ及ブトキハ通行税總額ハ造船費五十萬弗ニ對スル六分ノ利子ニ相當スルナリ

○米國船巴奈馬通航稅免除ノ議

(四十四年十一月在米帝國大使館報告)

一 新聞論評

▲十月三十日發行紐育ジャーナル、オブ、コムマース掲載記事

米國航業獎勵會トモ稱ス可キ Merchant Marine Committee of One Hundred ノ秘書役 James J. Ewell 氏ハ昨日ヲ以テ一ノ「ステートメント」ヲ公表シテ曰ク巴奈馬運河ノ開通ハ同運河ノ通航稅及其他ノ事項ニ關シテ、英兩國間ニ存スル現行條約ノ條項中無差別ノ規定ヲ打破スルニ足ルヘキ一ノ法律ヲ制定シ之レニ依テ米國ノ海運及造船業ニ著大ノ進歩ヲ促サシムヘキ好個ノ機會ヲ米國政府ニ與フルモノナリ即チ米國ハ米國々旗ヲ掲揚シ米國船員ニヨリ操縦セラレ且ツ米國貨物ヲ運搬スル船舶又ハ其船主ニ對シテ其運河通航稅ヲ拂戻ス可キ手段ヲ講スベシ若シ米國議會ニシテ前記ノ如キ法律ヲ制定スルニ至ラハ依テ以テ米國ノ航業並ニ造船業ヲシテ再ヒ昔日ノ盛況ヲ恢復セシムルニ至ルヘキ一大捷徑タルニ至ルヘシ云々

▲十一月一日發行ノ同紙所載、桑港特別通信記事  
過般大統領「タフト」氏ハ桑港ニ於テ開催セル巴奈馬運河博覽會起工式ノ席上ニ於テ約十萬ノ聽衆ニ對シ米國政府ハ巴奈馬運河ヲ通過スル米國船舶ニ對シテ其通航稅ヲ低減シ又ハ免除スルノ手段ヲ講スルヲ可ナリトス若シ此手段ニシテ現行條約ニ違反ストノ批難アラハ宜シク是等米國船舶ノ納付シタル通航稅ト同一ノ額ヲ補助金トシテ附與スヘシ然ラサレハ同運河ノ開鑿ニヨリ我カ海軍ノ實力ヲ倍加シ又我カ東西兩洋ヲ聯絡スヘキ沿岸貿易ノ發達ヲ期セントスル當初ノ目的ヲ達スルコト甚タ至難ノ業タルヘシ云々ノ演說ヲ試ミタルカ右演說ハ

由來本問題ニ關シテ適切ノ利害ヲ感セル太平洋岸人民ヲシテ一般ニ満足セシメタルモノアリ蓋シ米國議會ニ於テ太西、太平洋兩洋ヲ通スル米國船舶ニ對シテ巴奈馬運河無稅通過ヲ許スニアラズンハ該運河ノ太平洋岸ニ及ホスヘキ價值ハ大ナラサル可シトノ杞憂ヲ抱クモノハ加州方面ニ多ク現ニ巴奈馬運河博覽會準備委員ノ一人ニシテ著名ナル某氏ノ如キ此點ニ關シ悲觀ヲ抱クモノニシテ其言ニ曰ク  
米國政府ニシテ無料ヲ以テ米國船舶ヲ通航セシムルコト、ナルニ於テハ是等船舶ニ據ル東西兩太平洋間ノ貨物運賃ハ到底大陸鐵道ノ競争ニ堪ヘサル所ニシテ彼等ハ將來ニ於ケル事業ノ經營ニ尠ナカラサル悲觀ヲ抱クヘキ等ナルニ事實ハ之レニ反シ各鐵道其益々事業ノ改善ニ努メツ、アルヲ見レハ彼等ハ毫モ運河ヲ利用スル船舶業者ノ競争ヲ虞レサルモノ、如シ試ミニ大陸鐵道ノ經營者ニ對シ之レカ説明ヲ求ムルニ於テハ運河ノ開通ト共ニ鐵道ニ據ル大陸橫斷貨物ノ減少ハ素ヨリ之レヲ豫期スルト雖尙一地方間ノ輸送ニ從事シ充分餘リアルヘシ云々ト答フルナルヘシ然レトモ此説明タルヤ甚タ疑ナキヲ得ス何トナレハ一地方ニ於ケル運輸力運河ノ開通ト共ニ俄カニ増加スルニ至ルヘキ理由ヲ有セザレハナリ想フニ彼等鐵道業者ノ豫想ハ此處ニアラスシテ寧ロ將來ニ於ケル歐洲移民ノ充實ト運河ノ開通及博覽會ノ開設等ニヨリ世界的ニ紹介セラレタル太平洋岸ノ富源ニ對スル



世人ノ注意等ハ依然大陸鐵道ノ貨物ヲ維持シ得ヘシ換言スレハ米國船舶ニ對シ巴奈馬運河通過稅ヲ免スルカ如キコトナシト看察セルモノ、如シ

巴奈馬運河枝師長「ゴースナルス」大佐ノ報告ニ據レハ二十四時間内ニ同運河ヲ通航シ得ヘキ船舶ノ數ハ僅々二十隻ニ過キスト言フヲ以テ若シ米國議會ニシテ前記少數ノ通過船舶ニヨリ同運河ノ運用經費ヲ獲ント企ツルニ於テハ其通航稅ハ殆ント禁止稅ニ近キ不廉ノモノトナルニ至ルヘシ蓋シ蘇西運河ヲ通航スル一隻ノ平均噸數ハ八百五十噸ヲ算ス故ニ此平均噸數ノ標準トシテ前記「ゴースナルス」大佐ノ一晝夜間ノ通過可能船舶數二十隻ノ噸數ヲ求ムル時ハ一萬七千噸ニ過キス然ルニ同運河ノ開整費ハ三億七千五百萬弗ニ上リ之レニ加フルニ同運河ノ運用費年額八十萬弗（就業人員ヲ千人トシ一人ノ月給平均七十弗）ヲ要シ合計年額千二百九萬弗ノ所要經費ヲ前記通航船舶ノ噸數ヨリ獲ントスルニ於テハ一噸ノ通航稅ニ最低限二弗ヲ課スルニアラサレハ之レヲ償フコトヲ得ス果シテ斯ノ如キ高率ナル通航稅ヲ徵收スルコトトナルニ於テハ同運河ヲ利用スル船舶業者ノ競争ニ多大ノ打擊ヲ與フルモノナリ

▲十一月三日所載同紙論說

米、布汽船會社々長ハ巴奈馬運河ノ米國船舶ニ及ホスヘキ影響ニ關シ過般大統領カ桑港ニ於テ爲セル演說即チ「米國ハ

タル場合ニ於テハ同社長ノ議論ハ或ハ多少ノ論據ヲ有シ外國船舶ハ沿岸貿易ニ從事スルコトヲ許サレサルヲ以テ單ニ沿岸貿易ニ從事スル米國船舶ニ對スル通航稅ノ高低ハ毫モ外國船舶ニ關係ヲ有セス從テ後者ヲ差別スルモノニアラスト附會シ得ヘシ然レトモ沿岸貿易ニ從事スル米國船舶ノ通航稅ヲ低下シタル場合ニハ其結果勢ヒ他ノ船舶ニ對スル通行稅ヲ高メ事實上ノ差別ヲ發現スルニ至ルヘク又一方ニハ米國沿岸貿易船ハ運河ヲ通スル其一方ノ終點ニ於テ外國トノ聯絡ヲ禁止セラレサルカ故ニ其名ハ沿岸貿易船ト云フモ事實ニ於テハ外國貿易ニ從事スル一般船舶ノ差別トナリ甚シク紛擾ヲ讓成スルニ至ルヘシ加之外國船舶カ絕對ニ米國沿岸貿易ニ競争スルヲ得スト云フカ故ニ米國沿岸貿易船ニ獨リ減稅又ハ免稅ノ特典ヲ與フヘシト云フノ理由那邊ニ在リヤ蓋シ沿岸貿易船ノ競争者ハ外國船ニアラスシテ全ク他ノ米國運輸業者ニアリ就中其重ナルモノハ大陸ヲ橫斷スル諸鐵道ニアリトス運河ノ開通カ或貨物ノ海上運漕業ニ一生面ヲ啓クニ至ルヘキヤ勿論ナリト雖米國船ニ對シ通航稅ヲ免除シ又ハ外國船トノ比較ニ於テ低廉ナル通航稅ヲ課スルハ畢竟米國ニ於ケル太西、太平、南洋間ノ他ノ運輸業ニ不利ナル差別ヲ爲スモノタラズンハアラズ然レトモ米國船ノ利害ノ爲メニ件ノ差別ヲ設クヘシト言フ提案ノ主タル目的ハ米國ノ沿岸貿易ヲ助長セントスルカ爲メニハアラズシテ其ノ外國貿易ヲ利セントスルニ在リト雖如此ハ不信ノ責

少ナクトモ米國船ノ運河通航稅ヲ低減シ又ハ拂戻ヲナスカ或ハ又此方法ニシテ條約違反ナリト言ハ、之レト同額ノ補助金ヲ附與スヘシト言ヘル一節ヲ援キ之レニ贊同ノ意ヲ表明セリ然レトモ斯ノ如キ規定ハ米國及他ノ諸外國トノ親交並ニ協約ヲ損スルコトナクシテ實行條約ノ下ニ之レカ實行ヲ期スルコト能ハサルハ柄カナル事項ナリトス蓋シ千九百一年米、英間ニ締結セラレタル「ヘー、ボンズフオート」條約第三條ニハ巴奈馬運河ハ各國ノ軍艦商船ニ對シ自由平等ニ之レヲ公開スヘシトノ規定アルヲ以テ論者ノ如ク同運河ノ使用及其通航稅率等ニ關シ外國船ヲ差別スルコトヲ得サルヤ勿論ナリ故ニ運河通過漕ノ發展ヲ助長センカ爲メニ運河通航稅ヲ低減又ハ拂戻サントセハ嚮ニ英國ヲシテ其在來ノ要求ヲ放棄セシメテ僅カニ締結シタル條約上ノ義務ヲ無視スルコトナクシテ之レヲ獨リ米國船舶ニノミニ限ラントスルハ不可能ナリトス且又何等カノ名義ヲ以テ米國船ノ爲メ事實上其通航稅ヲ低減セシメントスルノ策ハ畢竟一ノ辭柄ニ過キス如此ハ米國船ニ對シ公然直接ノ罰戻ヲ爲スニ劣レル愚策ナリトス

又米布汽船會社々長「デアボーン」氏ハ米國船ニ對スル通航稅ノ拂戻ハ我カ沿岸貿易ノ關係ニ於テ決シテ外國船ヲ差別スルモノニアラス何トナラバ外國船ハ如何ナル場合ニ於テモ我カ沿岸貿易ニ從事スルコトヲ許サレサルモノナレハナリト言ヘリ若シ運河通航稅ノ船舶ヲシテ單ニ沿岸貿易船ノミニ限ラレ

ヲ免レサルト共ニ他ノ報復手段ヲ挑發スルノ虞アリ

米國海運業ノ發達ヲ圖ルニハ米國航運業者ヲシテ何處ヲ問ハス最モ利益アル國ニ於テ其船舶ヲ建造又ハ購入シ且ツ之レヲ他國ノ汽船會社ト同一ノ立脚地ニ立チテ競争シ得ヘカランムルカ爲メニ船籍、船員其他ニ關スル實行法ノ規定ヲ改正スルニ在リ斯ノ如クセハ其餘ハ他ノ保護ヲ要セスシテ米國當業者自ラ優ニ其事業ヲ發達セシムルノ力アル可シ

又運河利用ノ米國船舶ニ對シ補助金ヲ附與セントスルハ恰モ政府ノ費用ヲ以テ運河ヲ使用センカ爲メニ船舶ヲ雇入ル、ト何等異ナル處ナク他ノ運河ヲ使用セサル一般船舶業者ニ對シ甚シキ不公平ノ措置ト言ハサルヲ得ス

▲十一月四日紐育「イブニング、ポスト」

同紙ハ前記「ジョーナル、オブ、コムマース」紙ノ論說ヲ摘記シ之レニ贊成ノ意ヲ表明セリ

二 陸軍大臣「スチムソン」氏演說大要

米國議會ハ巴奈馬運河ヲ利用スル米國船舶ニ對シ其通航稅ヲ拂戻スヘキ適當ノ豫算ヲ通過セシムルノ要アリ願フニ曰、露、埃、獨、佛、伊及西等ノ諸國ハ現ニ蘇西運河ヲ通航スル自國商船ニ對シ其通航稅ヲ補償スルノ策ニ出テツ、アルヲ以テ遠カラズ巴奈馬運河カ萬國ノ商業ニ公開セラル、ニ至ラハ是等ノ諸國ハ又必ス同運河ヲ通過スル自國商船ニ對シ前者ノ例ニ據リ其通航稅補償ノ策ヲ採ルニ至ルヘシ故ニ米國モ亦此



政策ニ倣フニアラザレハ同運河ノ開通ト共ニ發現スヘキ世界  
 的競争上甚タ不利益ノ地位ニ立チ至ルヘキヲ慮ル米國カ自國  
 船船ノ一旦納付シタル運河通航稅ヲ更ニ其船船ニ拂戻スコト  
 ヲ得ルヤ否ヤニ關シテ世上ノ議論喧シキモ予ハ米國カ之レヲ  
 拂戻シ得ヘキ明確ナル機能ヲ有スルモノト信スルモノナリ然  
 リ而シテ此機能ノ實行ハ米國民ノ福利ハ巴奈馬運河貿易ニ從  
 事スル米國船ニ前記ノ殊遇ヲ享有セシムルコトニヨリ之レヲ  
 増進セラル、モノナリトノ信念ノ下ニ適切ナル施設ヲ爲スニ  
 アリ

米國ハ同運河ノ運用ト運河地帯ノ政治ニ關シ或ル一ノ永久  
 的組織ヲ創設スルコト必要ナリ換言スレハ我カ議會ハ大統領  
 ヲシテ或ル制限内ニ於テ必要ニ應シ運河通航稅ヲ隨意ニ高低  
 シ得ヘキ機能ヲ有セシムヘシ斯ノ如クセハ以テ周圍ノ事情ト  
 競争状態ノ變遷ニ應シ臨機ノ措置ヲ採ラシムルコトヲ得ヘシ  
 蓋シ運河ノ開通ハ同運河ヲ利用スル沿岸運漕業者ト大陸橫斷  
 鐵道業者ノ間ニ錯綜セル利害ノ衝突ヲ顯出スルニ至ルヘキヲ  
 以テ此間ニ處シ必ス前記ノ如キ施設ノ必要ヲ感スルニ至ルヘ  
 キヲ信ス

米國カ運河ノ開通ニヨリ豫期シ居レル利益ノ一主眼ハ運河  
 ヲ通シテ海路兩大洋ヲ聯絡セシメ之レニ依テ大陸橫斷鐵道ノ  
 運賃率ヲ調整セシメントスルニアリ過去半世紀間ノ經驗ニ徵  
 スルニ巴奈馬地峽ニ建設セラレタル巴奈馬鐵道ハ其經營上

諸種ノ特典ヲ有スルニ拘ハラズ大陸橫斷鐵道業者トノ競争ニ  
 於テ何等ノ事効ヲ奏セス世人ハ同鐵道ノ建設ニヨリ毫モ實在  
 的の利益ヲ有スルニ至ラス米國議會ノ調査ニ據レハ同鐵道ハ會  
 テ兩大洋間ノ連絡貨物ヲ取扱ハストノ約束ノ下ニ大陸鐵道會  
 社組合ヨリ一ヶ月七萬五千弗ノ賠償金ヲ公然受領シタルコト  
 アリ後亦他ノ間接的施設ニ依リ其賃率ヲ昂騰セシメ爲メニ巴  
 奈馬地峽貿易ヲシテ甚シク萎靡セシムルニ至レリ之レカ爲メ  
 現時ニ於テハ兩大洋間ノ運輸貨物中其九割ハ大陸鐵道ノ爲メ  
 之レヲ壟斷セラル、ノ状態ヲ呈スルニ至レリ

米國ハ巴奈馬運河ニシテ前記巴奈馬鐵道ノ現況ノ如ク不振  
 ノ状態ニアラシメンカ爲メニ現ニ莫大ナル費用ヲ投シ運河ノ  
 開鑿ニ從事シツ、アルモノニアラス大陸諸鐵道ニシテ運河ノ  
 開通後船舶業者ニ對シ會テ巴奈馬鐵道ニ試ミタルカ如キ術策  
 ヲ弄シ以テ運河ノ發達ヲ抑制セント企圖スルカ如キコトアラ  
 ハ是レ甚シキ愚策ニシテ之レニ對シ強硬ナル防止策ノ講セラ  
 ル可キハ疑フ可クモアラズ

予ハ斯カル企圖ヲ以テ敢テ愚策ナリト言フ何トナレハ巴奈  
 馬運河ノ開通ハ大陸鐵道ニ損害ヲ及ボスモノニアラスシテ却  
 テ結局ハ之レニ依リ獎勵セラル、地方的運輸ノ伸張ニヨリ彼  
 等ヲ利スル所大ナルヘキヲ信スレハナリ凡ソ新運輸線路ノ開  
 通又ハ運輸方法ノ改善ニ關スル歴史ハ能ク此事實ヲ證明スル  
 モノナリ

### ○パナマ運河工事進行現狀

(千九百十一年十一月協會調査)

パナマ運河工事ハ今ヤ全工程ノ四分ノ三ヲ了シタリ政府ハ  
 九月二十五日附ヲ以テ勞力削減ト題スル通知書ヲ發行シ工事  
 進行ノ結果西班牙及ビ西印度勞働者ノ大部分ハ最早ヤ過剩ト  
 ナルベケレハ各本國へ送還ノ必要アルコトヲ示シタリ本工事  
 ノ第一期ニ屬スル掘鑿浚渫時代ニ於テハ此等手工勞働者ノ勞  
 力問題ハ重大問題ナリシニ今ヤ其ノ大部分ガ不用ニ歸スルニ  
 至リシハ以テ本工事ガ既ニ其ノ最高峯ヲ經過シテ最終期ノ初  
 頭ニ達シタルヲ示スノ一證トナス可シ

大佐ゴイナルスハ管理上本運河全體ヲ三部ニ區劃シテ太西  
 洋部中央部太平洋部ト名稱シタリ吾人ハ今此等三部分ニツキ  
 テ一々其ノ現狀ヲ觀察ス可シ

各部ノ觀察ニ入ルニ先チ全體ニ關シテ二三云フ可キコトア  
 リ本工事ニハ工業上何等革命的ノ新機軸ナシ大體ノ設計ハ佛  
 蘭西人ノ考案ニ係リ本運河ノ最大特色タル可キガタン堰堤及  
 ヒ瀉水道モ同シク佛蘭西人ノ考案ナリ水閘ハンソールト洲メー  
 リーニ於ケルモノト大差ナク只タ經驗上ヨリ改善ヲ加ヘタル  
 ニ過キス掘鑿浚渫モ亦タ他ノ運河工事ニ於ケルト同様ニシテ  
 只タ大小ノ差アルニ過キス

大西洋部ハカリビアン海ノ海床ヲ掘鑿シタル深水流路ニ  
 端ヲ發シ海面ト同高ナル大西洋運河ヲ包含シ最後ニ三段ノガ

又本問題ノ最モ有効ナル解決ハ Interstate Commerce Com-  
 missionノ權力ヲ擴張シ兼ネテ之レヲシテ運河通航稅ノ率ヲ  
 規定セシムルト一ハ又大陸鐵道經營者ニ對シ充分ノ制裁ヲ設  
 ケテ之レカ監督ニ努ムルニ在リ此兩手段ハ各鐵道業者カ運河  
 ヲ通スル沿岸海運業者ヲ掣肘セントスル畫策ヲ防止スルコト  
 ヲ得ヘシ又同運河ヲ通スル運輸業ヲ政府ニ於テ經營スヘシト  
 ノ議論アルモ此ノ如キ急激ナル施設ハ巴奈馬運河利用ノ方法  
 ニシテ凡テ失敗ニ了レル後ニアラサレハ之レニ贊同シ難シ  
 要之運河通航稅ニ關シテハ米國議會ハ宜シク大統領ニ對シ  
 適當ナル方法ノ下ニ其通航稅ヲ實際ノ經驗ニ照シ高下シ得ヘ  
 キ機能ヲ附與スルニ在リ又議會ニシテ米國海運ノ發達ヲ助長  
 センカ爲メ運河利用ノ米國船舶ニ對シ補助金ヲ附與スルコト  
 トナレル場合ニ於テハ又大統領ヲシテ或範圍内ニ此目的ヲ達  
 セシムヘキ充分ノ措置ヲ執ラシムルコトヲ要ス予ハ個人トシ  
 テ米國議會カ此趣旨ヲ是認シ何等議決スルニ至ランコトヲ切  
 望ス

巴奈馬運河ノ完成ハ事實上我カ國民状態一變ノ時機ト時ヲ  
 同フスルモノナリ我國ハ從來專ラ國內ノ地方の經營ニ忙殺セ  
 ラレタルモ今ヤ略ホ占領ノ地域ヲ征服シ了レルヲ以テ今後ハ  
 世界的市場トシテ活動ノ時季ニ入ルコト必要ナリ



タン水閘ヲ以テ終ル堰堤及ヒ瀉水道ハ此ノ部ニアリ三部中最短ニシテ全長七哩十分ノ七ナリ中央部ハ最長ニシテ三十一哩十分ノ七ノ全長ヲ有シ工事ハ專ラ掘鑿ニ屬シ只バナマ鐵道ヲ移設シタルヲ例外トスルノミ太平洋部ハ全長十一哩アリベドロミグエル水閘ニ起リミラフロアーズ水閘ヲ經テ太平洋側ニ於ケル海面同高ノ運河ニ至リ更ニ進ンテ海中ニ入り深水部ニ達シテ終ルベドロミグエル水閘トミラフロアーズ水閘トノ間ニ掘鑿工事ノ存スルハ云フヲ俟タス

大西洋岸ノ起點ヨリ順次ニ觀察ヲ進メ行クモノトセハ第一ニ注目ヲ引クハカリビアン海ノリモン灣ニ於ケル全長二哩餘ニ達ス可キ防波堤ナリトロ岬ニ始マリ東南ニ向ツテ海中ニ突出ス千九百十年八月ニ起工シテ約一哩四分ノ一ヲ終レリ別ニコロン港保護ノ目的ヲ以テ運河入口東方ニ第二防波堤築造ノ企アレトモ未タ着手ニ致ラス長サハ第一防波堤ノ約二分ノ一タル可キ豫定ナリ

コロン燈臺附近ニハ大浚渫船アンコン號アリテ海底ノ浚渫ニ從事ス此ノ外舊式梯形浚渫機一臺新式鑿泥機二臺モ使用サル、等ナリコロン燈臺ヲ過レハ直チニ運河ニ入ル此レヨリ五哩二分ノ一ハ既ニ完了シ五百呎ノ幅員ト平均三十呎以上ノ水深ト有ス此所ヲ過キテ後ミンデイヨリガタン水閘ニ至ル區間ノ掘鑿工事ハ本年十月一日ヲ以テ開始セラレ現ニ進行中ニシテ來年一月一日迄ニハ完了ノ豫定ナリ

ガタン水閘ハ大略落成ニ近ケリ使用ス可キこんにくりーとハ二百萬立方碼ノ豫定ニシテ既ニ使用濟トナレルハ百七十萬立方碼ナリ以テ進行ノ程度ヲ察スベシ水閘ハ一對ツ、相並ヘル

瀉水道ニ依ツテシヤグレス河水ヲ導キツ、アリ  
ガタン湖現在ノ水深ハ十四呎ニシテ二期ニハ五十五呎ニ高メラルヘク結局八十五呎マテ高メラル可キ計畫ナリ中央水深部ハ幅員五百呎乃至千呎アリ全部完成ノ曉ニハ通行船ハ自由ニ六湖中ヲ航行シ得ヘク必要ノ際ニハ投錨スルコトモ自由ナリ之レ本運河ノ一特色ナリ

湖上約二十三哩ヲ過クレハコレブラ掘割リノ入口ニ達スガタン湖ノ水ヲ堰キ止メ置クタメニ築キタル一時的堰堤ノ上ニ立ツテ眺ムレハ工事ハ今正ニ其ノ最中ニテシ土ヲ掘ル器械ノ音土砂運搬ノ列車ノ響石ヲ破碎スルだいなまいとノ響等相合シテ喧々囂々其ノ騒然タル狀況筆紙ニ盡ス可カラス斯クノ如キモノ九哩ニ及フ今工事進行ノ割合ニツイテ二三ノ例ヲ示サンカ一ヶ月ニ於ケル貫穿工事ノ進行ハ七十五哩同期間ニ於ケルだいなまいとノ使用高五〇〇〇〇〇封度土砂運搬列車カ二十五哩ノ彼方ニ運ヒ去ル土砂ノ量一ヶ月間百五十立方碼毎日運轉スル土砂列車ノ數二十三蒸氣しやべるカ列車ニ積込ム土砂ノ量毎日千八百立方碼

此ノ區間ニ於ケル掘鑿ハ九七〇〇〇〇〇〇立方碼ノ豫定ナリシカ今ヤ剩ス所一九〇〇〇〇〇〇立方碼ニシテ順境ニ進行セハ今後十五ヶ月ヲ要セスシテ完了スルニ至ルヘシ  
右ノ掘鑿工事ト同事ニ行ハレツ、アル重要ナル一工事アリバナマ鐵道ノ移設之レナリ元來鐵道ハガタン湖ノ水底タル可キ所ヲ走リツ、アリシモノナルヲ以テ之レヲ東方ノ高地ニ移設スルコト、ナリシナリ  
コレブラ掘割リノ九哩ヲ過クレハベドロミグエル水閘ナ

室房ノ連續ニシテ各室ハ幅員百十呎、長サ千呎、相並ヘル各室ヲ隔ツル壁ハ高サ約八十一呎、厚サ六十呎、兩側ノ壁ハ床面ト平行スル點ニ於テハ厚サ四十五呎乃至五十呎、内面ハ床上二十四呎マテハ垂直ニシテ其レ以上ハ厚サ次第ニ減シ頂上ニ至ツテ八呎トナル室ノ前後ニハ鐵門アリ門扉ノ厚サ七呎高サハ六階ノ家屋ニ等シク大ナルモノハ重量六百噸ニ達ス電力ヲ以テ開閉ス

中央ノ壁ノ内部ニハU字形ノ隧道アリ隧道内ニハ三個ノ坑道ニ區分セラル一ハ排水道一ハ電線ノ道路一ハ工夫等ノ道路ナリ兩側ノ壁ノ内部ニモ一個ヅ、ノ隧道アリ側面ノ壁ニ依ツテ室内ニ水ヲ導ク排水給水ノ方法甚タ巧妙ニシテ何レモ十五分間以内ニ完成セラル前記中央及ヒ兩側ノ壁中ノ隧道ハホドン河下ノベンシルヅニア鐵道隧道ト同面積ヲ有ス之レヨリ分出スル若干ノ小排水資アリ各三十三方呎乃至四四方呎ノ面積ヲ有ス此等小排水資ハ室ノ底下ニ通シ人身ヲ通ス可キ程ノ穴ニ依テ室内ト交通ス

用水ヲ節約センカ爲メ一室ヲ排水スル際ニハ中央ノ隧道及ヒ側面ノ排水資ニ依ツテ隣室ニ移水ス  
室ノ前後ニアル門扉全數ノ全重量ハ五七〇〇〇噸ニ達ス可シ

ガタン水閘ヲ過キテ右方ニ轉スレハシヤグレス河ヲ堰キ止メテ百六十四方哩ノガタン湖ヲ現出セシム可キ大堰堤ト大瀉水道トヲ望見ス可シ堰堤ハ長サ約一哩水閘ト西南ノ高地トノ間ニ横ル堤ノ高サハ海拔百十五呎タル可ク基底ニ於ケル厚サ約半哩頂上ニ於テハ百呎ニ減ス既ニ高サ九十呎マテ竣功シ今

リ工事ノ方法其他スベテガタン水閘ニ於ケルト同様ナレトモ長サ甚タ短ク僅ニ一段ナレハ工事モ甚タ容易ナリこんにくりーと工事ハ既ニ九割ヲ了シタレハ剩ス所ハ僅カナリ巨大ナル鐵門モ近々出來ス可ク來ル一月ニハ全ク取り附ケヲ了スヘシ其他ノ必要ナル設備ハスヘテ全ク完備シアレハ何時ニテモ運用ニ差支ナキナリ

此所ヲ過クレハミラフロレス湖ヲ現出ス可キ所ニ來ル面積約四哩土地低キカ故ニ掘上ケモ多キヲ要セスリオグラデ河ヲ堰キ止ムレハ所要ノ水深ヲ得ルハ容易ナリ

此處ヲ過クレハ即チミラフロレス水閘ナリ此所ニ於ケル工事ハ着手ノ日甚タ後レシカ爲メ未タ前記ニ水閘程ニハ進行シ居ラスこんにくりーと工事ハ約三分ノ一ヲ了シタルノミサレト工事ハ大ナル速度ヲ以テ進行シツ、アリ段ハ二段ナリ

此所ヲ過レハ海面同高ノ運河ニ來ル始メ半哩間ニハ浚渫工事ノ盛ニ行ハレツ、アルヲ見ル其レヨリ八哩間ハ既ニ使用サレ得ル運河ナリ此邊ハ元リオ、グラランデ河タリシ所水深三十呎アリ水深部ハ四十五呎タラシム可キ計畫ニシテ現今其ノ工事中ナリ此ノ工事ヲ容易ナラメンカ爲メ一時的ノ堰ヲ築造中ナリ

太平洋ヘノ出口ナルバルボアニハ大規模ノ船渠及ヒ碇泊場ノ築造中ニシテ運河工事ノ完了ト同時ニ竣功ス可キ豫定ナリ之レヨリフアス島ノ方向ニ突出スル防波堤アリ本堤ハフラス運河ト交錯スルカタメ築造ニ大ナル困難ヲ感シタリシモノナリ工事ハ未タ完成ニ遠シ然レトモ船舶ノ通行ニハ差支ナシ



### ○巴奈馬及テハンテベク兩地 峽ノ米國東西兩海岸貿易並 ニ世界通商ニ對スル距離ノ 比較

(在英帝國臨時代理公使堀口九萬一氏報告)

米國東西兩海岸ノ貿易ニ就テテハンテベク經路カ巴奈馬  
經路ヲ凌駕スヘキ原因ノ一ハ距離ノ關係ニ此兩地方ヲ經由ス  
トシ左記諸地方間ノ距離ヲ比較セムニ

港名	巴奈馬 經由	テハンテベ ツク經由	差 (テハンニハツ ク經由ノ便宜)
紐育、ホノル、 間	七、九三六	六、六三三	一、二七三
紐育、桑港間	六、〇三三	四、八九〇	一、一七三
ニューオルレア ンヌ、ホノル、間	七、二四四	五、三三四	一、九六〇

ニューオルレア  
アンヌ、桑港間 五、四二八 三、五六一 一、八五七

即チテハンテベク經路ハ巴奈馬經路ニ比シ各場合共ニ千  
哩乃至二千哩短距離ナルヲ知ルニ足ラン若シ毎時十二海里ノ  
商船ヲ以テセハ前路ハ後路ニ比シ四日以上ヲ短縮シ得可シト  
雖巴奈馬運河開通ノ曉ニ於ケル船舶通航料等ノ關係ハ未知ノ  
問題タルモ通過貨物ノ積卸ヲ要セスシテ海洋ノ一方ヨリ他方  
ニ同一船舶ヲ以テスルノ便アルハ蓋シ言ヲ俟タサルナリ

今テハンテベク鐵道會社ノ調査ニ據リ世界通商ニ關係ア  
ル經路ノ主要ナルモノ即チマゼラン海峽、喜望峯、蘇士運河  
巴奈馬地峽及テハンテベク地峽鐵道ヲ經由スル世界重要港  
間ハ距離ヲ比較セハ左表ノ如シ

港名	マゼラン經由	喜望峯經由	蘇西經由	巴奈馬經由	テハンテベク經由
紐育、香港間	二〇、三七九	一六、九四三	一三、五五六	二二、九三三	一一、六〇三
紐育、橫濱間	一九、八〇二	一八、〇八五	一五、五三七	一一、二五六	一〇、〇〇六
紐育、ホノル、間	一五、七三六	—	七、九三九	七、九三九	六、六三三
紐育、桑港間	一五、六八七	—	六、〇三三	六、〇三三	四、八九〇

リヴァプール、桑港間	紐育、香港間	紐育、橫濱間	紐育、ホノル、間	ニューオルリア ンヌ、桑港間
一六、五五二	二〇、八〇四	二〇、三三三	一六、二五一	一六、二二二
—	一七、八四五	一八、〇五五	—	—
—	一五、一〇八	一七、〇〇九	—	—
—	二二、三〇八	一〇、六一一	—	—
—	一〇、二七三	八、六三七	—	—
—	八、八八五	七、二二四	—	—
—	八、二七六	五、三三四	—	—
—	一〇、二七三	三、五六一	—	—

要スルニ墨國テハンテベク地峽ハ米國ノ東、西兩岸間ノ

ラサルヲ知ルニ足ラン

### ○世界ノ「コ、ア」

(協會調査)

貿易ニ對シ經路最モ近キヲ以テ利便アルモ歐洲對米國西海岸  
諸港トノ貿易ニ付テハ前者ノ如キ大ナル利ナキカ如シ例令ハ  
紐育、桑港間ノテハンテベク經由路程ハ巴奈馬經由ニ比シ  
近キコト千二百七十三哩ナルニ反シリヴァプール、桑港間兩  
路ノ經由ハ僅ニ六百九哩ヲ縮少スルニ過キス又日本ト米國東  
岸諸港トノ距離ノ關係ヲ觀ルニ紐育、橫濱間巴奈馬經由距離  
ハ一萬二千二百五十六哩ナレトモテハンテベク經由距離ハ一  
萬六哩ナルヲ以テ後者ハ前者ヨリ近キコト千二百五十哩ナリ  
此他ニューオルリアンヌ、橫濱間ニ於テ千九百七十四哩ヲ又  
紐育、香港間ニ於テ千四百五十一哩ヲ、ニューオルリアンヌ  
香港間ニ於テ二千三十五哩ヲ短縮シ得可シ單ニ距離ノ關係ヨ  
リ論斷セハテハンテベク地峽ハ獨リ米國兩海岸貿易ノミナ  
ラス米國東海岸ト東洋諸國トノ貿易ニ取リテモ亦利便寡ナカ

「コ、ア」ヲ栽培シテ利益ヲ收得シ得ヘキ土地ハ唯僅カニ赤  
道ヲ中心トシテ南北二十度以內ノ地ニ過キス併モ此ノ狭小ナ  
ル地帯ノ大部分ハ水ヲ以テ蓋ハレ居ルカ故ニ餘ス處ハ亞米利  
加及亞弗利加ノ一小地方ト其附近若干ノ島嶼トニ過キス今世  
界ニ於ケル「コ、ア」ノ產額表ヲ見ルニ產出額ノ殆ント半ハハ  
羅甸亞米利加ノ七共和國ヨリ產出セラル、ヲ見ル之レニ加フ  
ルニ亞米利加ノ屬邦カ產出スル所ノモノヲ合セ考フレハ「コ  
、ア」ノ大部分ハ年々西半球ヨリ產出セラレ居ル譯トナル儲  
其中ニ於テ最高位ヲ占ムル產出國ハブラジルトエクアドルト  
ニシテ何レモ赤道ノ南ニアリ兩國ハ常ニ殆ント伯仲ノ間ニア  
リテ首位ヲ爭ヒツ、アリ從來第三位ハ概ネヴェネズエラニヨ



ツテ占メラレ來リ同國ハ常ニ第一流ノ品ヲ出シ其品質ヲ落スコトナカリシモ今年ノ第三位ハドミニカン共和國ニヨツテ占メラルヘシ

トーム(サントームトモ云フ西印度ノ聖トームスト混スヘカラス)ハ葡萄牙ニ屬スル一小島ニシテ亞弗利加ノ海岸ヲ去ル僅カニ百六十六哩ノ海上ニアリ面積ハ僅カニ四百方哩ヲ算スルニ過キササルモ「コ、ア」ノ産出ハ驚クヘキ程ニシテ時トシテハ同島ノ「コ、ア」カ市價ヲ左右スルコトスラアリ亞弗利加ハ二十世紀ニ入りテ以來「コ、ア」産地トシテ急激ニ發達シ來レリ是レ即チゴールドコースト カメルン及ヒフエルナンドボカ今世紀ノ初メヨリ「コ、ア」産地トナレルニ因ル因ニ記スフエルナンドボハ面積僅カニ七百八十方哩ヲ算スル一小島ニシテ亞弗利加ノ海岸ヲ去ルコト遠カラス元ハ葡萄牙領タリシモ今ハ西班牙ノ領ニ屬セリ

英國ノ領地中ニモ近年著シク「コ、ア」ヲ産出スル所アリ即チ西印度ニ於ケルトレニダト ジヤマイカ グレナダ 聖ルシア及ビドミニカノ亞弗利加ニ於ケルゴールドコースト及ビラゴス極東ニ於ケルセーロン島即チ之レナリセーロン島ハ近代人ノ排酒精的方面ノ趣味ニ適スル各種ノ産物ヲ専門ト爲スガ如キノ感アリ會テハ珈琲ヲ以テ名聲ヲ博シ後珈琲栽培ニ大打撃ヲ蒙ルヤ又忽チ茶ノ栽培ニヨツテ名聲ヲ揚ケ今ヤ又更ニ「コ、ア」ノ栽培ヲ始ムルニ至レリ現今世界ノ市場ハエクア

其用量モ甚タ多カラサル次第ナリ

「コ、ア」ハ茶若シクハ珈琲ト異ナリ單ニ刺激的飲料トシテ價値ヲ有スルニ止マラス明ニ食物トシテノ價値ヲ有スレバ實ニ「コ、ア」ノ栽培カ重要ナル價値ヲ有スル所以ナリ「コ、ア」ノ諸成分ハ(一)「アルカロイド」(二)「澱粉及ビ糖」(三)「蛋白質」(四)「コ、アバタ」及ヒ若干ノ礦物類ナリ「コ、ア」カ刺激性ヲ有スルハ「アルカロイド」ヲ含有スルニヨル「アルカロイド」ハ複合的有機物ニシテ其ノ中ニハ「カフェイン」ヲモ含ムサレトモ其量ハ茶或ハ珈琲ニ於ケルヨリモ少量ナリ「カフェイン」ノ外ニ「セアプロミン」アリ之レモ亦「カフェイン」ト稍ヤ似タルモノナリ澱粉ハ百分ノ七乃至十ノ割合ヲ以テ「コ、ア」中ニ含有セラレ純粋ノ糖ハ「グリュコース」(少ナクモ果實中ニアリテハ)百分ノ一ノ半ハ含有セラル、ニ過キス尤モ澱粉ハ「コ、ア」ノ精製中ニ轉換セラル、コトアリ蛋白質ハ約百分ノ八乃至十アリ脂肪ハ百分ノ四十五乃至五十アリ「コ、アバタ」ハ此ノ脂肪ノ主成分ナリ磷酸炭酸加里及ヒ「マクネシア」ナリ此ノ他尙ホ若干ノ成分アレトモ實用上ノ目的ノ爲メニハ右ノ分析ヲ以テ充分トナスヘシ尙ホ主成分中ニ「コ、ア」紅ト稱スル物質アリ一種ノ顔料ニシテ「コ、ア」ニ特種ノ味ヲ帶ハシムルハ此レト「セラプロミン」ト存スルニ因ル

「コ、ア」ハ食物トシテノ價値ヲ有スルトハ云ヘ此レ等ノ成分カ斯克ノ如キ割合ヲ以テ結合セラレ居ルハ決シテ完全ナルドルブラジル トーム ヴェネジュエラ トレニダド グレナダ ドミニカン共和國及ビゴールドコーストノ産物ニヨツテ左右セラレツ、アルモ遠カラシテセーロン島ノ「コ、ア」ニヨリ大ナル影響ヲ受クルニ至ランメキシコハ「コ、ア」樹ノ元産地ナラント思ハル、國ニシテ又「コ、ア」ヲ混シタル飲料水中最モ古キモノナル「チョココレート」ノ産出國タルニモ拘ハラズ今ハ殆ント全ク「コ、ア」ノ輸出ヲ見ルコトナキニ至レリ無論同國ニ於テモ「コ、ア」ハ産出セラレサルニアラサレトモ全ク國内ニ於テ消費サル、カ爲メ之ヲ國外ニ輸出スルマテニハ至ラサルナリ但シ近來同國ニ於テモ「コ、ア」栽培ノ方法ニ就キ研究ヲ加ヘツ、アレハ遠カラシテ同國モ亦輸出國ノ班ニ入ルヤモ知ルヘカラス

轉シテ世界ノ「コ、ア」消費高表ヲ見ルニ消費國ニシテ同時ニ産出國タルモノ全ク之レナキハ興味アルコト、云フヘシ産出國中メキシコノ如キハ何レモ國內ニ於テ「コ、ア」カ消費サル、ニハ相違ナキモ尙ホ多量ノ殘額ヲ有スルカタメ國外ニ輸出シツ、アルナリ産出國カ消費國トシテ其名ヲ掲ケラレサルハ之レカ爲メナリトーム ヘルナンドボ若シクハトレニダド或ハエクアドルノ如キハ何レモ商品トシテ「コ、ア」ヲ産出スル國々ニシテ其産額ハ遙カニ國內ノ消費力ニ超過シ居レルノミナラス是等諸國ニ於ケル「コ、ア」ノ使用ハ僅カニ茶或ハ珈琲ノ如キ單純ナル家庭的飲料ニ供セラル、ニ過キス從ツテ食物トハ云フヘカラス「コ、ア」ノ百量ハ澱粉ノ百三十二量ト同等ノ熱ヲ與ヘ得ヘク一封度ノ「コ、ア」ハ瘦セタル羊肉ノ一封度ト同等ノ養分ヲ含有スト云ハ、「コ、ア」ハ純然タル食物トシテ大ナル價値ヲ有スルカ如シト雖トモ一封度ノ「コ、ア」ハ一時ニ使用シ得ヘキニアラス何トナレハ到底消化シ得ラルヘキニアラサレハナリサレハ「コ、ア」カ滋養分ヲ含有スルトハ云ヘ之ヲ以テ直チニ他ノ食物ト同様ニ論スヘカラサルハ勿論ナリ「コ、アバタ」モ亦同様ナリ若シ單ニ食物トシテ使用スルモノトセハ到底多クノ價値ヲ有シ得ヘキニアラサレトモ「コ、アバタ」ニハ他ニ大ナル價値ヲ存スルアルナリ

「コ、ア」カ他ノ類似ノ飲食料ニ大ニ優レルハ第一之レヲ「チョコレート」トシテ用フレハ砂糖ノ味ト消化性ト大ニ高ムルニアリ近來迄「チョコレート」ハ胃ニ對シテ甚タ有害ナルモノト見做サレ「チョコレート」ハ糖菓ヲ食スルハ「トマト」ヲ食スルト同様ニ危険ナリト見做サレタリ然レトモ今ハ「トマト」モ「チョコレート」モ共ニ甚タ健全ナル飲食料トナサルルニ至レリ「チョコレート」ハメキシコ或ハ西班牙ニ於ケル一種ノ奇異ナル飲料ト思ハレ居タリシモ今ハ病人スラ尙使用スルニ至レリ少ナクモ脂肪ヲ取り去レル「コ、ア」ハ消化シ易スクシテ滋養分ニ富メル食料ト見做サル、ニ至レリ

尙ホ又タ「チョコレート」ヲ混シタル糖菓及ヒ「ペーストリ」ノ如キハ從前子供等ノ口ニスヘカラサルモノトサレ居タリシ



カ今や化學ノ進歩ハ斯カル思想ヲ全然變改スルニ至レリ砂糖ハ人間ノ食物トシテ必要ナルモノト認メラル、ニ至リ容易ニ且ツ快ヨク人體ニ糖分ヲ供給スルハ自然ノ目的ヲ助クルモノト見做サル、ニ至レリ而シテ砂糖ヲ最モ愉快ナル食物トナスニハ之レニ適量ノ「チョコレート」ヲ加フルニ如クハナシ兒童カ「チョコレート」入糖菓ヲ最モ愛用スルハ之レカタメナリ醫者カ或種ノ患者ニ對シテ始メテ與フル固形食物ノ一ハ「チョコレート」入糖菓ナリ或ル國々ノ軍隊ニ於テハ困難ナル行進ノ後或ハ熱帶地方ニ於テ軍人カ甚タシク疲勞シタル際ナトニハ「チョコレート」入糖菓ヲ食セシム之レハ單ニ士卒ノ思郷病ヲ暫時抑制センカタメノミニニアラス實ニ彼等ノ身體ニ「チョコレート」ヲ加ヘタル砂糖ヲ供給シ以テ其ノ生理上ノ缺乏ヲ補ハンカタメナリ

中央亞米利加及ヒメキシコニ於テハ有史以前ヨリコノカタ朝食ニハ必ス玉蜀黍ニ「コ、ア」ヲ加ヘテ作レルテストト呼ハル、一種ノ粥ヲ使用シ來レリ其ノ味宜シク又滋養分ニ富メル食物ナリ或工場ニ於テハ百分ノ六十ノ砂糖ヲ含有スル「チョコレート」ヲ製シ砂糖ヲ加味シタル「チョコレート」ニアラスシテ「チョコレート」ヲ加味シタル砂糖ト稱スヘキモノヲ賣リツ、アリ其ノ味ヒ佳ナレバ佳ナル程人之ヲ好ムカ故ニ假令普通ノ砂糖ノ價ニ對スルニ倍ノ價ヲ拂ヒツ、モ人ハ尙ホ其ノ口ニ適シタル「チョコレート」入りノ砂糖ヲ購ヒツ、アル有様ナリ

分ノ二佛人ハ一封度半餘英人ハ一封度五分ノ一和蘭人ハ殆ンド九封度瑞西人ハ五封度餘西班牙人ハ十分ノ六封度ノ割合ナル右ノ分量中飲料ニ供セラル、分亦多ケレドモ菓子中ニ混用セラル、分量ハ次第ニ増加ノ傾向ヲ有セリ合衆國ハ一方ニ於テハ歐洲ヨリ多ク「コ、ア」「チョコレート」及ビ菓子類ヲ輸入スレドモ一方ニ於テハ自ラ國外ニ輸出スルコトモ亦多シ其ノ販路ハ米大陸ノ有ラユル國々ヲ包含シ「コ、ア」産出國ニサヘ輸出シ居レリ

以上ノ研究ハ吾人ニ一個ノ重要ナル事柄ヲ教フルモノナリ即チ吾人ハ「コ、ア」ノ供給ガ其ノ需要ニ應ジ能ハザル時期ノ到來ス可キヲ豫言シ得ベシ羅典亞米利加ニモ亞弗利加ニモ東印度諸島中ニモ未ダ手ヲ着ケザル有望ノ栽培地ノ存スルハ事實ナレドモ之レ等ノ地ハ甚ダ狹小ナルヲ如何トモスベカラズ漫然地圖ヲ眺ムレバ其レ等ノ地ハ必ズシモ狹小ナラザルガ如クナランモ溫度ト濕度トガ其ノ宜シキヲ得ザルトキハ例令其ノ地ハ有望地帯中ニアリテ他ノ成功セル「コ、ア」栽培地ニ隣接スルニモセヨ到底有利ノ栽培ヲ望ム可カラズ將來着手シテ功ヲ奏シ得ベキ有望地ヲ最モ多ク有スルハ思フニ亞米利加ナル可ク亞米利加ハ將來「コ、ア」産地トシテ常ニ第一位ヲ占ムルニ至ル可シ栽培ト運搬トノ方法ガ改善セラレ收穫ト利益トガ増加スルニ至ラバ此ノ豫想ハ必ズ實現セラル、ノ時アルベシ

北極地方ノ住民カ脂肪ヲ要求シ熱帶地方ノ住民カ果物ト胡椒トヲ愛用スルカ如ク溫帶地方ノ住民カ糖分ヲ使用スルハ何レモ其レ其レ風土ノ異ナルニツレテ人體カ要スル滋養物ノ性質カ同一ナラサルコトヲ示スモノナリ何故ニ年々多量ノ砂糖カ熱帶地方ヨリ北方ニ向カツテ輸送セラル、カノ理由ハ右ノ事實ノ中ニ求メラル可シ即チ糖分ハ溫帶地方ニ於ケル必要ノ食物タルナリ「コ、ア」精製業者ト其ノ主タル消費者トカ何故ニ産出國ニ存セスシテ非産出國ニ存スルカノ理由モ亦右ノ事實ノウチニ求メラル可シ製造者カ消費者ニ近接シテ存在ス可キハ工業界ノ法則ナリ

「コ、ア」消費國トシテ第一ニ位スルハ合衆國ナリ之レ其人々ノ多キカ爲メニシテ人口ト消費高トノ比例ニ於テハ別ニ他ノ消費國ニ優レルニアラス獨佛英モ亦著シキ消費國ナリ人口ニ比シテ割合ニ多量ノ「コ、ア」ヲ輸入スルハ和蘭瑞西ノ兩國ナリサレトモ右兩國ハ其ノ輸入高ヲ全然自國ニ於テ消費スルニハアラス之レヲ精製シテ更ニ國外ニ輸出スルナリ和蘭「チョコレート」瑞西「チョコレート」ノ名聲カ世ニ喧傳セラルルハ即チ這般ノ事實ヲ證スルモノナリ他ノ諸國ハタ、國內ニ於ケル需要ヲ充タスニ足ル程ノ輸入ヲナシ居ルニ過キス「コ、ア」消費高ヲ一人別ニ割リ當ツレハ合衆國人ハ每一人ニツキ毎年一封度半ヲ消費スル割合トナリ獨逸人ハ三封度三

過去九個年問ノ「コ、ア」産高表ト其ノ消費高表トヲ對照スレバ需要ガ供給ニ超過スベキ趨勢ハ明カニ看取セラル可シ但シ單ニ一見シタル所ニテハ却ツテ供給ガ需要ニ超過スベキ趨勢ナルカノ如キ觀ナキニアラズ何トナレバ千九百十一年末ニ於ケル「コ、ア」ノ賣レ残り高ハ例年ニ見ザル程ノ多量ニ達セルガ如キ事實ヲ見ルガ故ナリ然レドモ「コ、ア」栽培地ハ既ニ自然ノ爲メニ制限セラレテ如何トモス可カラズ然ルニ一方ニ於テ「コ、ア」ノ價值ハ一年ト明カニ認メラレ行キツ、アリ從ツテ其價額ガ漸次ニ昇リ行ク可キハ明カナリ思フニ今世紀ノ半頃ニ至ラバ現時ノ狀態ハ一變シテ供給ノ不足ハ痛切ニ感ゼラル、ニ至ル可シ

サレバ「コ、ア」栽培ノ適地ヲ有スル羅典亞米利加ノ前途ニハ大ナル希望アリ「コ、ア」栽培ハ有利ナルノミナラズ其ノ栽培地ハ健康ニ宜シキ愉快ナル住地タラシメ得ベシ熱帶地ナリトハ云ヘ心ヲサヘ用フルナラバ周圍ノ事物ヲシテ眞ニ愉快ナル境土ヲ現出セシメ得ク收得セラル、報酬ハ費ス所ノ勞力ニ酬ヒ得テ充分ナル可シ

近年「コ、ア」樹ノ性質其ノ繁殖法及疾病、收穫物ノ運搬並ニ販賣等ニ關シテ科學的ノ研究盛ニ起リ來レリ



千九百十一年世界ニ於ケル「コ、ア」

收穫表

國名	收穫高
エクアドル	四〇、三〇〇
ブラジル	三〇、〇〇〇
ゴールドコースト	三五、〇〇〇
トーム (Tome)	三三、五〇〇
トリニダッド	二四、二〇〇
ドミニカン共和國	二〇、〇〇〇
ヴェネズエラ	一八、〇〇〇
グレナダ	六、〇〇〇
和蘭殖民地	五、〇〇〇
セイロン	四、三〇〇
ラゴス	三、八〇〇
和蘭東印度殖民地	三、〇〇〇
フェルナンド、ポ	三、〇〇〇
ジャマイカ	二、八〇〇
ハイチ	二、五〇〇
スリナム	二、二〇〇
佛國殖民地	一、六〇〇
玖馬	一、五〇〇
ドミニカ	一、一〇〇

六四

白耳義コンゴ	年次	收穫高
スタルシア	一九〇三年	一二六、五二二
スタルシア	一九〇四年	一五〇、七五五
スタルシア	一九〇五年	一四三、九八九
スタルシア	一九〇六年	一四七、二四〇
スタルシア	一九〇七年	一四九、八九七
スタルシア	一九〇八年	一九三、三八二
スタルシア	一九〇九年	二〇五、八二五
スタルシア	一九一〇年	二二〇、九〇五
スタルシア	一九一一年	二五〇、二〇〇

注意：本表最下位ノ數字ハ千基瓦ナリ(一基瓦ハ我約二百六十六瓦餘)

世界ニ於ケル「コ、ア」九ケ年間收穫表

年次	收穫高
一九〇三年	一二六、五二二
一九〇四年	一五〇、七五五
一九〇五年	一四三、九八九
一九〇六年	一四七、二四〇
一九〇七年	一四九、八九七
一九〇八年	一九三、三八二
一九〇九年	二〇五、八二五
一九一〇年	二二〇、九〇五
一九一一年	二五〇、二〇〇

注意：本表ノ數字ハ一噸(千基瓦)ヲ最下位トシタリ又一九一一年ノ數字ハ豫算高ナリ

千九百十一年世界ニ於ケル「コ、ア」ノ消費高表

國名	消費高
北米合衆國	六一、三〇〇
獨逸	五〇、〇〇〇
佛蘭西	二八、五〇〇
英吉利	二五、五〇〇
和蘭	二三、四〇〇
瑞西	一〇、三〇〇
西班牙	六、三〇〇
埃太利匈牙利	六、〇〇〇
白耳義	五、〇〇〇
露西亞	四、〇〇〇
伊太利	二、四〇〇
丁抹	二、〇〇〇
加奈陀	一、九〇〇
瑞典	一、四〇〇
諾威	一、〇〇〇
深洲	八〇〇
葡萄牙	二〇〇
芬蘭	一〇〇
其他諸國	二、二〇〇

注意：本表最下位ノ數字ハ千基瓦ナリ

世界ニ於ケル「コ、ア」九ケ年間消費高表

年次	消費高
一九〇三年	一二二、五二六
一九〇四年	一三八、八二二
一九〇五年	一四三、五六四
一九〇六年	一五六、七八四
一九〇七年	一五六、五五七
一九〇八年	一六五、一三九
一九〇九年	一九四、八三五
一九一〇年	二〇〇、七七九
一九一一年	二三二、二〇〇

注意：本表ノ數字ハ一噸(千基瓦)ヲ最下位トシタリ又一九一一年ノ數字ハ豫算高ナリ

對伯國本邦重要輸出品ノ販路擴張ニ就テ

(在伯國公使館報告)

第一 本邦輸出重要品  
イ 絹織物及絹製品

伯國市場ニ於ケル絹織物ノ需要ハ全然流行ノ如何ニ伴フモノニシテ時トシテ或種ノモノハ多大ノ需要ヲ見ルコトアリ是



レ一ニ絹織物ハ婦人衣服地用トシテ需要セラル、カ故ナリ  
現ニ昨年ハ薄目羽二重地ニ日本の更紗模様ヲ施シタル婦女子  
用衣服地ノ流行ヲ見同時ニ薄手柞蠶絹織物ノ需要少ナカラサリ  
シカ今年ハ既ニ流行後レノ感アリ要スルニ流行ノ變遷甚ダシ  
ク歐米殊ニ巴里ノ流行ハ直チニ移リテ當國地方ノ流行トナリ  
是等ノ縞柄及染模様ヲ施シタルモノヲ直接本邦ヨリ輸入スル  
ニハ幾多ノ危険ナキヲ保セス是レ至ク巴里又ハ里昂ニ於ケル  
絹織物商人カ毎年數回流行ヲ變遷セシメ巨利ヲ得ントスルニ  
因ルモノニシテ到底本邦ノ如キ遠隔ノ地ヨリ輸入ヲ企ツルコ  
ト難シ

之レニ反シ裏地用及無地色物ニ至リテハ當國産ノ需要多ク  
或種ノモノヲ除ケハ輸入甚ダ困難ナリ勿論内國産品ハ充分完  
全ト言ヒ難ク外國ヨリノ輸入ハ見込充分ナランモ當國關稅ハ  
高率ナレハ密輸入盛ニ行ハレ市場ヲ害スルコト甚ダシ故ニ絹  
織物及其製品中日本品トシテ正式ニ輸入シ未タ望ヲ囑シ得ヘ  
キモノハ羽二重、疋物、絹手巾、婦人肩掛ノ類ニ過キサルヘ  
シ左ニ順次之レヲ記述セントス  
羽二重 本品ハ其需要尠ナカラス殊ニ色染、更紗形等ヲ施セ  
ル適當ナルモノハ需要アルモ夫々流行界ニ伴ハサレハ賣行カ  
ス現今ノ状態ニテハ本邦品ヲ以テ之レヲ歐米市場ノ流行タラ  
シムルハ到底望ム可カラサルヲ以テ無地モノヲ確實トス  
無地羽二重中加賀、川俣ノ如キ薄手モノハ氣候及價格ノ點

ニ於ケル需要ヲ充タスニ急ニシテ未ダ輸出程度ニ至ラス從テ  
色合、捺染等外國向ノ研究其他ニ於テ猶ホ甚ダ幼稚ノ域ニア  
ルカ如シ

縮緬 縮緬ハ當國ニ於テハ極メテ珍重セラレ上流社會ノ婦  
人衣服用トシテ需要セラレ極薄地物及壁物等最モ適切ナルモ  
價格不廉ナルガ爲メ未タ廣ク需要セラレズ

以上本邦ヨリ輸入ノ見込アル絹織物疋物ノ一般ヲ述ヘタリ  
思フニ絹織物ノ製造甚ダ多類ニシテ當國ハ蠶業皆無ノ國ナル  
ニ之レカ輸入ヲ見サルハ不可思議ノ感アルモ詳カニ觀察セハ  
其依テ來ル原因ナキニ非ラス即チ國內ニ絹織物工場四ヶ所ヲ  
存シ年々産出額百萬「ミルreis」ニ達スルコト及關稅最モ高  
率ニシテ絹織物一基ニ對シ約七十五、六圓ノ關稅ヲ賦課セラ  
ル、コトナリ之レカ當然ノ結果トシテ密輸入盛ニ行ハレ市價  
ヲ亂スコト出來合衣服即チ仕立衣服及吳服類ヲ巴里ノ大商店  
「ルーブル」又ハ「オー、ボン、マルシユ」等ノ商品目錄ニ依リ  
テ顧客ヨリ直接注文ヲ發シ小包郵便ヲ以テ取寄スルモノ多キ  
カ如キ絹織物輸入業者ニ影響スル處尠ナカラス茲ニ附言シ置  
クヘキ一事ハ婦人衣服ノ如キ原料絹織物既ニ不廉ナル上ニ附屬  
品及仕立代ニ多大ノ費用ヲ要ス當市ノ或吳服商ノ語ル所ニ依  
レハ絹織物ノ賣行ハ餘リ面白カラサルモ之レカ仕立賃ニ至リ  
テハ材料ニ數倍スル利益ヲ收メ得ルモノ少ナカラス云々ト以  
テ未タ絹織物ノ一般市民ニ需要セラレサルヲ知ルニ足ルヘシ

ヨリ需要ニ適恰シ福井羽二重ハ稍重目ニ過キ桐生製十二匁以  
上ノモノハ會テ當市場ニ輸入アリシヲ聽カス  
疋物ノ幅ハ普通二十吋ヲ最モ適當トスレトモ或顧客ニ至リ  
テハ二十三吋ヲ望ムモノアリ然レトモ二十七吋以上ノモノニ  
至リテハ餘リ多ク嗜好ニ適セサルモノ、如シ目付ハ三匁以上  
五匁程度ヲ適當トス色合ハ純白最モ好愛セラル物ニアリテ  
ハ濃厚ノモノヨリ薄色ノモノ需要多シ例ヘハ「ピンク」、「薄  
淺黃」、「パイオレット」、「クリム」、「ナイール」、「グリーン」等モ  
適セルモ青、綠、紫、萌黃、緋赤、茶褐色ノ如キ濃色ニ至リテハ  
特殊ノ嗜好ハ別トシテ一般華客ノ好ムヘキ色合ナラサレハ寧  
ロ輸入セサルヲ可トス

羽二重ノ重ナル用途トハ婦人衣服ノ表、裏地及糊ノ尠ナキ  
モノハ帽子裏地ニ使用セラル、ヲ以テ第一トス  
タフエタ 桐生邊ニ産出スル「タフエタ」ハ婦人「スカート」  
用及「シフォン」、「レイス」、薄地縮緬等ノ下着用トシテ需要ナ  
キニ非ラサルモ巨額ノ輸入稅ヲ賦課セラル、カ爲メ價格不廉  
トナリ加之當國絹織物工場ニテ織製スル粗製「タフエタ」アル  
カ故ニ外國品ハ賣行宜シカラス此種商品ノ嗜好ハ白無地等ナ  
ルモ横裂或ハ擦リ切ル、虞多ク從テ顧客ヲ失フコト多シ  
シフォン及リボン 「シフォン」ハ衣服地及衣服裝飾又ハ顔覆、  
帽子飾等トシテ相當需要アレトモ流行ニ多大ノ注意ヲ拂ハサ  
レハ却テ損失ヲ招カン「リボン」ハ相當ニ見込アルヘキモノ本邦

絹製品 疋物以外ノ絹製品ニ至リテハ手巾ノ需要最モ大ナリ  
トス從ツテ之レカ密輸入ノ如キモ前記ノ如ク決シテ少ナカラ  
サルモノ、如シ當國ニ於ケル密輸入ハ多ク土耳其人ニ依リテ  
企テラレ彼等ノ内ニハ直接本邦ヨリ絹製品及雜貨等ヲ輸入セ  
ル向モ無キニアラスト云フ

茲ニ當國絹製手巾ノ需要狀況ヲ示サンニ婦人用トシテハ刺  
繡ニ注意ヲ要シ五、六匁付以上ノ羽二重ニ優美ナル刺繡ヲ施  
シタル寸法十二、三吋乃至十四、五吋迄ノモノヲ最適品トシ  
又優美ナル更紗線ノ「ヘム」手巾ニシテ前記寸法ノモノ婦人向  
トシテ需要尠ナカラス

男子用トシテハ白無地ヲ主トシ其他ノ白鏡、更紗「ヘム」及  
全部更紗模様ヲ置キタル者之レニ亞ク其用途ノ純然タル手巾  
用タルト頸卷用タルト問ハス地質ニハ八匁乃至十匁程度ノ  
モノ最モ適當ニシテ寸法ハ通常手巾ハ廿吋内外、頸卷用トシ  
テハ卅六吋乃至四十吋迄トス五匁内外ノ薄地物ニアリテハ洗  
濯後使用ニ堪エサルヲ以テ價格廉ナリト雖モ需要却テ少ナシ  
肩掛類 雨期即チ六、七、八月ノ頃夜會又ハ觀劇用トシテ上流  
社會婦人ノ使用スルモノナレトモ歐洲品ノ高尚優美ニシテ新  
形物競フテ輸入セラル、カ故ニ日本製品ハ獨特ノ模様及刺繡  
ノ美ヲ以テ是等ト相對スルニ非ラサレハ輸入シ難ク例ヘハ壁  
縮緬又ハ羽二重等ニ菊、牡丹、櫻、藤ノ如キ特殊ノ刺繡ヲ施シ  
タルモノニシテ一見日本獨得ノ技巧ヲ表セルモノハ都人ニ好



愛セラ、ル地色ハ白色又ハ極薄色ノ桃、淺黃等可ナラム

ロ 陶磁器

本邦ヨリ當國へ輸入スル商品中、現今最も重要ナルモノハ、陶磁器ニシテ、是レ本邦品中最モ實用品ニ近カク而カモ他ノ物品ニ比シ關稅高率ナラサルカ爲メ市場ノ相場モ餘リ高價ナラス已ニ市民ノ目ニ馴レタル歐洲製陶磁器ニ比シ珍奇ナル點嗜好ニ投シタルモノ、如シ

日本製陶磁器類ニ對スル嗜好ハ一ニ繪付ノ珍妙ナルニ存シ多ク其品質ノ優劣ヲ問ハス唯一般ニ薄手ノ物ヲ以テ上等品トナシ厚手物ハ下等品ト見做スヲ通習ナリトス

就中九谷燒模擬品即チ尾張、美濃等ニテ製スル水金、磁器最モ當國人ノ嗜好ニ投シ本場九谷、薩摩燒及本金粟田燒ノ如キ多少望ミナキニアラサルモ之レカ嗜好ニ多大ノ注意ヲ拂ハサルニ於テハ却テ損失ヲ招ク且ツ一部人士ノ需要ヲ充タスニ過キササルヲ以テ販路極メテ狭少ナリ

要スルニ名古屋磁器ノ如キハ關稅ニ於テ高率ト稱スルニ非ラサレトモ未ダ以テ歐洲製陶器ノ如ク安價ナラサルヲ以テ當國一般ヲ通シテ使用スルニ至ラス然レトモ最近之レカ販路ハ漸次擴張セラ、ト共ニ急速ノ輸入増加ヲナシツ、アルハ明白ナリ

名古屋磁器品中目立テテ賣買セラル、モノヲ茶碗及皿トナス殊ニ紅茶用茶碗及皿ハ其最多數ナルモノニシテ珈琲碗皿之

減スルコト

三 當國人ノ使用ニ適スル各種ノ器具ヲ得ラル、コト等ニシテ日本品ハ之レト競争ノ餘地アル條件ヲ具備セヌ要スルニ現今日本品ノ輸入ハ甚ダシク範圍ヲ限ラル、情勢ナレハ宜敷當國人ノ最も嗜好ニ投シ易キ特殊ノ陶磁器ヲ輸入シ運賃ハ現今ノ狀態ニテハ輕減ノ途ナキモ近ク日伯間ニ直通航路ノ開始セラレンカ運賃ニモ多大ノ差ヲ生シ有利トナルヘシト信セラル殊ニ我國獨特ノ意匠、模様ハ到底歐洲人ノ企圖スル能ハサル處ナリ

次キニ當國人ノ陶磁器碗及皿ニ對スル嗜好ヲ概言スレハ已ニ前言セシカ如ク極メテ薄地ノモノ一般ニ氣受良好ニシテ茶碗皿ノ如キモ單ニ圓形ノモノヨリ型ノ變リタルモノヲ歡迎セラ、ル而シテ珈琲碗皿ニ至リテハ極メテ小ナルモノヲ撰マサルヘカラス即チ當國ノ風習トシテ國民ハ極メテ濃厚ナル強キ珈琲ヲ飲用スルカ故ニ碗モ亦少量ヲ入ル、モノニテ足ル畫付モ金色ノ燦爛タルモノヲ貴ヒ本邦内地人或ハ歐米人ノ嗜好タル藍色模様等ハ南米人一般ノ氣受宜敷カラサルモノト思ハサルヘカラス

陶磁器置物類 ハ多少望アルヘケレトモ要之重量輕減ニ多大ノ注意ヲ拂フヘシ、本邦製陶磁器置物ニハ大抵重量ノモノ多ク當國ニテハ高率ナル從量稅ヲ課スルニ付キ單ニ輸入稅ノ差違ノミニテモ多大ノ相違アレハ製造者ハ宜シク其邊ニ充分

レニ亞キ長形皿、「オリーブ」入、井、果物入ノ類ヨリ食室用磁器類ニ至ル迄相當ニ歡迎セラレツ、アリ花瓶ニ至リテハ税金高率ナルカ爲メ市價モ亦從テ廉ナラス是レ需要ノ前者ニ比シテ尠ナキ所以ナリトス

名古屋製水金磁器類ハ成ル可ク金色燦爛赤色又ハ淺黃、紫色ノ如キ濃厚且ツ華美ナルモノヲ可トシ繪畫ニハ印刷セシモノニテ多少不自然ナルモ注意スルモノ尠ナシ

是等ハ目下稅目一定シ市場漸ク一定セントスルノ時ニアルヲ以テ往時日本品ナラハ如何ナル商品ニテモ法外ノ價格ヲ付シテ販賣シタル時代ト異ナリ今日ニテハ各輸入業者其多大ノ注意ヲ以テ商策ヲ講セサルヘカラス

惟フニ日本陶器ハ市場ニ於テ已ニ歐洲品ト競争ヲナスコト能ハス日本陶器ハ以テ磁器ノ如ク當國人ノ嗜好ニ適スヘキモノ尠ナク且ツ趣向千篇一律ニシテ斬新ナルモノ尠ナク型ノ如キハ常ニ大差ナク新形ト稱スルモノ單ニ繪付ノ新ナルノミナリ今參考ニ資センカ爲メ英、獨製ノ陶器カ市場ニ優勢ナル所以ヲ總括シテ左ニ述ブヘシ

- 一 陶器ハ磁器ト同率ノ關稅ヲ賦課セラレサルコト即チ稅目表中第二、三、四號ニ屬ス
- 二 運賃ニ多額ノ費用ヲ要セス荷造方法多クハ樽詰ニシテ運搬ニ便ナルカ爲メ破損割合ニ少ナキコト且ツ又下等品ハ外箱ヲ用ヒス四邊ヲ板ニテ圍ミ間隙ヲ設ケテ經費ヲ節

ノ注意ヲナシテ然ルヘシ

其外伊萬里、萬古、相馬燒等ニシテ前述ノ用途及適當ナル繪畫ヲ施シタルモノニシテ當國人ノ嗜好ニ外レサルモノモ亦將來ノ望ミヲ囑シ得ヘシ

ハ 扇子

扇子ノ需要多キハ當國氣候ノ關係上然ラシムル所ニシテ使用セサルハ年内僅々三、四ヶ月ナリ從來西、佛兩國ヨリ輸入セラル、コト多カリシカ近年ハ日本製品ノ流行ヲ來シ今後モ益益需要ヲ増加スヘキ見込ナリ

日本製絹扇子 本品ハ當國關稅ノ關係ヨリ其價格大ニ不廉トナルカ爲メ日常ノ使用トシテハ多數ノ需要ヲ見ルニ至ラスト雖今少シク低廉ナラシムルヲ得ハ其消費額モ決シテ少額ニ止マラサルヘシ但シ當國人ノ嗜好ニ投セシメンニハ成ル可ク繡模様ニ派手ナルヲ撰ヒ殊ニ一見絹ナルコトヲ識別シ得ルモノタルヲ要ス日本製絹扇子ハ繪模様酒タルカ故ニ餘リニ淋シク繪畫上ノ價值ハ存スルトシテモ目先ノ美麗ナルヲ崇フ當國人ノ嗜好ヲ満足セシムル不能且ツ日本製品ノ畫付ノ派手ニシテ賑カナルモノハ往々絹地カ紙地カ識別困難ナル場合多シ實價ニ於テハ價值アルモノモ當國人ノ目ニ映シテ其絹扇子タル眞價ヲ容易ニ認メラレサルカ如キハ供給者ニ於テ常ニ注意ヲ要スル所ナルヘシ



如キ感アルモノカ却テ其嗜好ニ適スル場合多ク變形ナルモノ亦好愛セラレ殊ニ上等扇子ニ至リテハ地質、繪畫及骨トヲ一致セシメ象牙、貝等ノ骨又ハ竹ニ青貝ヲ配合シタルモノ、如キ見込多キモノト思ハル

●●●●●  
 香水骨、象牙、角扇子 此種ノモノハ多ク當國婦人ノ盛裝セラル場合ニ使用セラル寸法ハ稍大形ナルモノ宜シク象牙骨ハ關稅高キヲ以テ香水骨ノモノ之レカ代用トシテ最モ適當シ之レニ絹地ニ美ナル描畫ヲ施シタルモノ或ハ刺繡ヲ施シタルモノ及描畫、刺繡ヲ取交タルカ如キハ見込多カルヘシ近年佛國製品ニシテ總テ木ヲ以テ製シタルモノ極メテ珍奇ナルヨリ顧客ノ歡迎スル所トナリ相當ノ賣行アルカ如シ然レトモ是等ハ單ニ一時ノ好奇品ニ過キズ長ク顧客ヲ維持スルヤ疑ハシトス要スルニ價廉ニシテ而カモ一見體裁宜シク美麗ナル點ニ心掛クルコト緊要ナリ

●●●●●  
 紙扇子 漆骨共ニ賣行ノ見込アリ漆骨ニハ溜塗ヲ最モ適當トシ竹ニ彫刻ヲ取合セ畫付ニ意匠ヲ加味シタルモノ、如キ上等品トシテ歡迎セラル紙質ハ普通紙、硫酸紙共ニ可ナリトス

●●●●●  
 日本製品ニハ地色ノ草色ナルヲ見ルコト多クケンドモ扇子ヲ取扱フ上ニ於テ注意スヘキハ地色ノ種々ナルヲ撰フニアリ同一ノ繪畫ト雖地色ヲ異ニスレハ又其趣ヲ更メ從テ顧客ノ千差萬別ナル嗜好ヲ満足セシメ得ヘシ即チ當國婦人ハ其服裝ノ流

行、色彩ニ伴ヒ附屬携帶品一切ノ色彩調和ヲ望ムヲ以テ扇子ノ地色ノ如キモ之レト配合上密接ナル關係アルヤ明白ナリ此點ニ於テ常ニ其趣向上ノ變遷ノ關係少ナキモノハ薄桃、薄淺黃等ニアリ今年齡ニ應シテ色彩ヲ區別スレバ若キ婦人ハ薄色ヲ好ミ、老婦人ニ至レハ灰色、草色ノ如キ稍地味ナル色ヲ欲シ、儀禮例令ハ結婚式ノ如キ場合ノ婦人衣服ハ純白ナルガ故ニ扇子ノ如キモ純白色ナルコト必要ナリ反之喪中ニハ全黒色、半喪ニハ黒、白半ハスルモノ需要セラル、ガ如シ然レトモ是等ハ特殊ノ場合ニシテ最モ多ク需要アルモノハ依然薄色又ハ金、銀色地ニ美麗ナル山水風景畫、日本風俗畫ヲ畫キタルモノ宜敷ク寸法ハ二十、二十一、二十二「センチメートル」(六寸五分、七寸、七寸五分)内外ノモノ適當ナルベシ

●●●●●  
 紙製品

●●●●●  
 提灯 大ナルハ徑一尺内外ヨリ小ナルハ三寸位迄ノ提灯愛玩セラルレドモ此種ノ需要期節ハ「クリスマス」前後ヨリ「カルナバル」祭禮頃迄即チ十二月乃至三月頃ヲ以テ時期トナス形狀ハ普通形ヨリモ變形ノ者却ツテ賣行思ハシク行燈ノ如キモ美麗ナル畫ヲ付シタル者ハ室内飾用トシテ用キラル近時獨逸及佛蘭西ヨリ輸入セラル、骨無シ提灯ニシテ形態ノ種々ナル者アリ美麗ナル畫ヲ付シ當國人ノ好愛スル所トナリ運賃及税金共經濟的ナル所ヨリ極メテ廉價ニ販賣セラレ漸ク販路擴

張セラル、モノアレトモ日本品ハ日本品タル特徴ヲ示シ將來見込アルハ疑ハサル所ナリ然レトモ所謂際物ナルヲ以テ常時多量ノ賣行アルハ豫想シ難カルヘシ

●●●●●  
 日傘 本品モ亦提灯ト同シク「クリスマス」ヨリ「カルナバル」ニ至ル期間ノ商品ニシテ近年室内裝飾用トシテ座敷ノ中央又ハ一隅ニ飾ル向モ抄ナカラズ大阪製日傘ハ粗末ニシテ紙質惡シク破損ノ憂多ク價格ニ多少ノ相違アリテモ岐阜製ノ美ナルニ若カサルヘシ

●●●●●  
 紙ナフキン 本品ノ當國ニ行ハル、モノハ獨逸、北米ノ製品ニシテ一見静岡、岐阜製品ニ類似スルモノ可ナリ需要アルガ如ク價格モ廉ナリ殊ニ北米製品ハ普通大ノ紙「ナフキン」ノ外ニ大卓子ヲ被フモノヲ添ヘアリ模様ハ單純ナル、一度摺ノモノ案外氣受好シ

●●●●●  
 獨逸製品ハ長卷ノ儘輸入セラレ適宜ニ之レヲ切りテ使用スルヨウ製セラレタルモノ相當ノ需要アルガ如シ要スルニ該品ハ未ダ料理店菓子店珈琲店等ノ常用トナレルモノ少ナク或ハ贈物ノ句紙ニ適用シ或ハ戸棚其他ノ裝飾或ハ廣告用乃至競馬ノ番附等ニ用キラル、向多キカ如シ日本製「ナフキン」ハ品質ニ於テ優ニ獨、米品以上タルハ言ヲ俟タズト雖往々關稅賦課ニ齟齬ヲ生シ時トシテハ一基ニ付六百「イレス」(我が二百六十六匁ニ對シ四十匁内外)ヲ賦稅セラル、カト思ヘハ或時ハ一基四「ミル」八百「イレス」(約三四二十匁)ヲ支拂フ等鑑定官

ノ意見ニ依リテ異ナルヲ以テ確ニ見込ヲ立ツルコト不能ナリ是レ即チ當國稅率表中「ナフキン」紙タル項目ヲ缺ク爲メ他ノ項目ト極メテ混合シ易ク而カモ日本製「ナフキン」ニ對シテハ相當ノ理由ヲ付ケ得ルニ、三ノ税目ノ存スルガ爲メナリ

●●●●●  
 洋燈笠 漆骨付ノ類ハ容積嵩ミ運搬ニ至大ノ費用ヲ要スルヲ以テ自然引合ハサル結果トナルガ故ニ四ツ、五ツ組ノモノニテ餘リ容積ノ嵩マラサルモノニシテ好奇的ナルヲ撰フコト緊要ナリ

●●●●●  
 コツビー紙 「コツビー」用トシテ當國ニ需要セラル、紙ノ多クハ日本製品ニシテ獨逸ヨリ轉輸セラル美濃産品ハ最モ普通ニ需要セラレ土佐製品之レニ亞ク「コツビー」紙ノ需要ハ多量ナラスト雖日常ノ必需品ニシテ且ツ競争品ナク好個ノ商品ナリト信ス

●●●●●  
 漆器

●●●●●  
 漆器ハ一般ニ外見美ナルガ故ニ相當ノ需要アルヘキモ禁止的關稅アルヲ以テ多量ノ賣行ハ望ムベカラズ近時一、二本邦人當國內ニテ之レガ製造ニ從事スルモノアレ共手工賃銀ノ高キ當國ニ於テハ或種ノ製品ヲ除キテハ輸入スル方往々利益多キ場合アリ漆器中最モ見込アルモノハ木製手巾函、手袋函、針箱、盆、帽子臺、小卓子、小箆筒類等ナリト箱類ニハ錠ヲ付クルヲ要シ塗色ハ珈琲、朱、黒等ヲ可トスヘシ

●●●●●  
 一、關稅製品モ名刺入、貴金屬入等稍伯國人ノ賞翫スル所ナ



レトモ一ニ關稅ノ改正ヲ見ルニ至ラサレバ充分ノ賣行アルコト覺東ナシ

### 經木細工

經木細工ニハ手袋入、手巾入、「カラー」入、紙屑籠「パン」入、皿敷、狀差、鈕釦入等ノ類ハ當市場ニ氣受好ク、就中畫模様派手ナルモノト形ノ變リタルモノハ殊ニ賞美セラル、モ絹張製ノモノハ往々關稅ニ意外ノ賦課ヲ被ルコトアルヲ以テ注意スベシ

經木製籠ノ如キモ需要多シト雖未タ多量ノ賣行ナシ此ハ一ニ關稅ノ高キニ因ラズン、バアラズ寸法ハ巾一「メートル」十「センチ」(三尺六寸内外)ノモノ最モ賣足多シ

### 花筵

本邦製花筵ハ從來英人ノ手ニヨリテ間接輸入セラレ當國人ハ一般ニ絨氈ヲ用ヒズ從テ花筵ノ需要モ多カラスト雖椅子張用トシテ上等花筵ノ需要ナキニアラズ然レトモ關稅甚シク高キ爲メ通例花筵一卷ノ着價ハ邦貨七十五圓内外ニ達ス故ニ當國一般階級ニ供給スルコト困難ナレドモ漸次消費額ノ増進シツ、アルハ確實ナリ立數ハ三百六十以上ノ無地、紋入及縞模樣等宜シク米國向織出模樣ハ餘リ好愛セラレズ又中繼ハ總テ之レヲ望マズ紋入ニハ紋ト紋ノ間餘リ隔大ナルハ不適當ナリ當國ノ如キ熱帶地ニ於テハ寢臺敷トシテ此種ノ需要可ナリ多ク好個ノ商品タルヘシ

ハ紅茶ナリト思ヒ綠茶ヲ知ラサルモノ抄ナカラス  
今茲ニ當市々場ニ於テ有力ナル茶ノ品質ヲ擧ケンニ印度錫蘭產ハ

Kongo (紅綠) Hyson (紅綠) Suchong (紅) Peow (紅)等ヲ重ナルモノトシ是等ハ市場ニ於テ種々ナル商標ノ下ニ販賣セラル是等茶ノ英國ニ於ケル相場ヲ聞クニ六片乃至六十片迄ノモノニシテ平均一割内外ノ運賃ヲ以テ輸送セラレ當市場ニ於テハ之レヲ一基六「ミル」乃至十三「ミル」ニ(四圓乃至八圓)ニ高價ナルモノハ十八「ミル」ニ(十二圓)ヲ以テ販賣セラル

當市場ニ於ケル紅茶中廣ク知ラル、商標ハ Tipton, Portlet, Mizawate 等トナシ包裝ハ錫箔紙ヲ以テ包ミ四分ノ一封度、半封度、一封度最モ普通ノ斤量ナリトシ上等品ハ銀力函ニ入ル重量ハ半封度及二封度入ナリ

### 竹細工

竹細工品ハ近時本邦職工ノ手ニヨリテ本邦及伯國產竹ヲ用キテ細工セラレタルモノ漸ク販路ヲ擴張シ現ニ當市各種ノ商店ニ於テ之レヲ陳列販賣スル有様ナレトモ技術上改良ヲ加フベキ點多シ即チ當國人ノ性質ハ物ニ他キ易ク竹細工ノ如キ一時ノ流行ニ過キサルモノナレハ時々目先ヲ變化セシメ意匠斬新ナルモノヲ案出セサレハ餘命短カシ現今最モ賣行宜シキハ組椅子ナリ即チ長椅子一脚、腕付椅子二脚、椅子四脚ヲ一組

### 紅茶及綠茶

現今當國ニ輸入セラル、紅茶ハ英領印度及錫蘭茶ト支那茶トニシテ英、獨兩國ヨリ輸入セラル、モノ一ヶ年六、七十萬「ミル」ニ上ル由來當國ニ於ケル中流以上ノ家庭ニ於テモ朝夕ハ自國重要産品タル珈琲ヲ飲用スル慣習ナリシニ近年中流以上ノ社會ニ夕刻及夜間紅茶ヲ喫スル流行起リタリ近頃日本茶モ市場ニ現ハル、ニ至リタルモ未タ廣ク世人ノ知ル所トナラス若シ廣告其他ノ販路擴張方法ヲ講セバ外國茶ト競争ノ餘地充分アリト思ハル伯國人ノ評論スル所ニ據レハ本邦茶ハ必ラスシモ望ナキニ非ラサレトモ左記ノ缺點アリト云フ

- 一 茶ノ水色極メテ薄キコト
- 二 強キニ過キルコト(殊ニ酸、遠茶)
- 三 香氣當國ニ於ケル或藥草ニ酷似セルコト

等ニアレドモ人ニ依リテハ日本茶ヲ愛飲シテ措カサルモノアリ要スルニ未タ世人ノ注目ヲ惹クコト少ナキニ歸スト信セラレ殊ニ臺灣烏龍茶ニ至リテハ適當ナル方法ヲ求メテ販路擴張ニ努ムルトキハ容易ニ好成績ヲ擧クルコト之レナシト云フハカラス

茶愛用者ニハ紅茶ヲ欲スルモノト綠茶ヲ望ムモノトアリテ一樣ナラス紅茶ハ一般ニ需要スルモ綠茶ニ至リテハ未タ一種ノ好奇心ヨリ飲用スルニ過キサルノ觀アリ其ハ綠茶ノ消費者ハ或種ノ都人ニ制限セラレ地方人中ニハ單ニ茶ト稱スルトキ

トナシタルモノニシテ價格ハ木製品ニ比シ遙ニ廉ナルカ故ニ中流ノ家庭ニモ容易ニ購求スルコトヲ得ル特點アリ組椅子ニ付隨シテ傘立、飾棚、隅棚、卓子、植木臺等一般ニ需要セラル

日本製竹細工品ハ總シテ出來上リ見苦シク丈夫ナルヘキモ餘リ材料ヲ多量ニ用ヒ竹太過キ重量多キカ故ニ税金從テ當ミ到底輸入ノ途ナシ寧ロ税金輕キ(一基四百「レイス」)竹材ヲ輸入シ當地ニテ加工スル方遙ニ良策ナリト信ス當國產竹ハ外見本邦產ニ劣ラサルモ力弱ク重量ニ堪ユル部分ハ日本產ヲ用キサルヘカラスト云フ

### 鰯油漬

當伯國ニ於ケル食料品ノ販賣ハ重ニ荷國人ノ取扱ニ係ルコト都鄙ヲ通シテ殆ト專業タルノ觀アリ從テ鰯油漬ノ如キモ荷國産品市場ニ跋扈スルト雖荷國産ハ佛、伊、西産品ニ比較スルトキハ品質劣等ナリ換言スレハ上等品ハ佛國産品、下等品ハ荷國産品ナリト稱スヘシ左ニ其重ナル産地ヲ示セハ

上等品 佛國 Nantes 市 Philip Canot 製造所  
下等品 荷國 Spina 市 Brindon Gomes 製造所  
斯ノ如クニシテ現今當國市場ニ於テハ本邦産品ヲ容ル、餘地ナキカ如シト雖品質ニ注意シ價格ヲ廉ニスルトキハ望ナシト云フヘカラス今參考ニ資センカ爲メ同品ノ市場相場ヲ左ニ示サン

佛國産 一封度入一「ミル」七百「レイス」(凡ソ一圓十四錢)



同 半封度入「ミル」百「レイス」(凡ソ七十四錢)

同 葡國産 一封度入「ミル」二百「レイス」(凡ソ八十錢)

同 半封度入 七百「レイス」(凡ソ四十七錢)

茲ニ同品ニ付テ注意ヲ要スヘキ點ハ油ヲ撰擇スルコトニシテ本邦産ニシテ販路ヲ市場ニ索メントセハ充分品質ニ改良ヲ加フルト共ニ油ノ撰擇ハ最モ緊要ナリトス

ル 麥稈眞田

當伯國ニ於テ麥稈帽子ノ製造最モ盛ナルハサンパウロ市ナリリオ市ノ同工業ノ規模及製産額ニ於テ遠クサンパウロ市ノ同業者ニ及ハス殊ニ同市ニ於テハ伊太利人ノ專業ナルカ如キ感アリリオ市ニ於テハ反之該業ハ多ク葡國人ノ營ム所タリ共ニ原料ハ本邦及伊國産ヲ使用ス而シテ其原料ノ供給ハ一切ヲ歐洲ニ仰キ常ニ多量ニ使用セラル、モノハ所謂普通品トシテ我カ市場ニ存在スル「ジグザグ」ニシテ殊ニ巾ハ「センテ」内外ノモノ多ク之レカ輸入ヲ取扱フモノハ白、英、伊國等商人ナリトス

由來本原料品ノ今日迄直接輸入セラレサリ、原因ハ本邦ノ漂白法完全ナラサリシト取引關係ノ整頓セルモノ無カリシカ爲メニシテ漸ク取引關係ノ進歩ト漂白ノ改良トニ因リ直接輸入モ望ヲ囑シ得ルニ至レリ唯注意ヲ要スヘキ點ハ價格ト取引條件トニ存ス從來行ハレ來レル慣習ヲ見ルニ同品ノ輸入業者ヨリ製造工場ニ供給スルモノ極メテ薄利ニ甘シ且ツ支拂期

玩具トシテハ重ニ螺旋活動物、昆蟲類ノ輸入最モ好愛セラレ而シテ玩具ハ滑稽趣味ヲ帶フルモノ或ハ活動ヲナスカノ範圍ニ於テ撰擇スベシ之レニ次グヲ紙製動物、竹製豆椅子、陶磁器、製茶具類モ可ナリノ賣行アレドモ紙吹上玉、花緞キ釣玉其他類似品ノ如キハ關稅目ノ玩具ヲ以テ認メサル場合多ク一基ニ付四「ミル」八百「レイス」ヲ賦課セラレタルコトアリ之レガ故ニ税金ノミニシテ原價ノ數層倍トナリ到底利益ヲ得ラレザルノミナラズ往々損害ヲ招クコトアルニ付キ注意スベシ

葉鐵製及護謄製玩具ニ至リテハ本邦製品ハ歐洲製ノ巧妙ナルモノニ及バザルコト遠ク特ニ本邦ヨリ輸入スル見込ナシ然レドモ日本人形ハ本邦獨特ノモノナレバ輸入ノ見込アリ殊ニ玩具ノ賣行期タル「クリスマス」乃至「カルナバル」迄ニハ賣行最モ宜シク總ベテ着服(殊ニ日本着物)セシモノ愛賞セラル京人形ノ如キモ細工精巧ナルモノノ歡迎セラレザルニアラズト雖元價ニ於テ高キモノハ多ク賣行ノ見込ナシト謂フ可シ

要スルニ大阪製玩具ハ餘リ粗雑ナルヲ以テ多少元價ニ相違アルモ東京玩具ハ斬新ナルモノヲ撰フコト其當ヲ得クルモノナリト信セラル

カ アンチモニー製品

「アンチモニー」製品ノ用途ハ多方面ニシテ其用途ノ如何ニヨリテハ相當ノ需要アルヘシト雖販路ノ區域中央市場ノ或ル

限ノ寛大ナルカ故ニ若シ之レニ向ツテ競争セントスレバ勢ヒ相當ノ資金ヲ準備シ以テ同一條件ニ出ヅルコト肝要ナリトス支那産麥稈ノ如キモ日本産ノ使用ニ伴ヒ當國ニ於テハ缺ク可カラザル需要原料トナリ巾ノ狭キハ鑛用ニ供セラレ比較的廣巾ノモノハ田舎向下等品ノ材料トナルナリ

オ 齒磨粉

日本製齒磨ニ對スル當國人ノ嗜好ハ一般ニ良好ナリト云ヒ得ヘク既ニ「ライオン」齒磨ノ如キ市場ニ散見スルモ廣告ノ不尼ヨリ未ダ廣ク需要セラル、ニ至ラズ若シ適當ノ方法ヲ以テ販路擴張ヲ努ムルトキハ好結果ヲ擧ゲ得可キ乎當國ニ需要セラル、齒磨ノ包裝ハ兩人ヲ歡迎シ紙袋入ハ一般ニ欲セラレズ硝子入ハ關稅高價ナルガ爲メ原價ヲ高メ從テ賣行少ナシ

從來日本品トシテ當國ニ需要セラレタルモノ多クハ支那製ニシテ香氣ナク極メテ粗ナル粉末ヲ小形ノ木函ニ容レアルモ廣告ニ力メタル結果絶エス需要アリ又同品ハ極メテ廉價ニ販賣セラル、ガ爲メ本邦品ノ販路ニ多少支障無キ能ハズ且ツ同品ハ香氣ナキヲ以テ自ラ稅目ヲ異ニシ價格ノ點ニ於テハ到底對比スルコト能ハズト雖日本品ハ品質優等ナルヲ以テ決シテ意トスルニ足ラスリオ市ノ小賣相場ハ支那産モノハ一兩五百「レイス」(三十五錢)、日本製(ライオン齒磨小函入)ハ「ミル」レイス(六十七錢)ナリ

ワ 玩具

部分ニ止マリ現今ハ餘リ多ク市場ニ見エス然レドモ今後漸ク日本品ノ販路擴張セラル、ニ伴ヒ灰皿等ハ顧客ノ註文ニ應シテ商家ノ廣告用トシテ文字又ハ畫ヲ付ケ供給スルニ於テハ必ズシモ望ミナシト云フ可カラズ「アンチモニー」製品ニシテ最モ見込アルモノハ灰皿、インキ入、寫眞立、白粉入、「ピン」皿等ナルモ寶石入小函類ニシテ金、銀、色ニ全體裝飾シタルモノ、如キハ往々稅關鑑定官ノ誤認ヨリ大ナル齟齬ヲ生ジ安全ニ輸入スルコトヲ得ザル場合アルヲ以テ注意セザル可カラズ

ヨ 七寶器

關稅ハ普通ノ陶磁器花生ト同一ニシテ只其原價ニ於テ高價ナル爲メ安物ノ擬品ニ満足スル當市場ニ於テハ之レガ眞價ヲ認メラル、ニ至ラズ只小形一輪挿花瓶ノ類多少望ミナキニアラスト雖大體ニ於テ未ダ有望ナル商品ト稱スベカラズ殊ニ花瓶ノ如キ往々水ノ漏出スルモノアリテ實用向テ缺キ單ニ好事家ノ愛玩ニ止マルノ觀アリ

タ 箱根細工

秘密箱ト稱スル寄木細工ノ美麗ナル小函及額類等氣受宜敷ク殊ニ秘密函ハ伯人ノ好奇心ヲ驅ルニ最モ適シタルモノニシテ賣行アリト雖乾燥ノ方法宜シカラザルトキハ到着迄ニ工合ヲ損シ損失ヲ招クコトアレバ此點ニ最モ注意スルコト緊要ナリ

第二 前項商品ノ最近ニ於ケル統計



本邦商品ノ伯國ニ直輸セラル、額ハ甚ダ少量ナリ千九百八年度ニ於テ二十萬九千三百三十「ミルレイス」(邦貨十四萬圓強)其翌年度即チ千九百九年度ニ於テハ前年度ヨリ稍減退ノ徵候ヲ示シ十九萬二千三百三十六「ミルレイス」(十二萬八千餘圓)ナリキ今當國統計表ニ據リ左ニ詳細ニ項目ヲ分チテ列擧スベシ

伯國ニ於ケル日本輸入品統計表

品種	千九百八年度	千九百九年度
竹材	一、八五五	一、八五五
動物性產物	二、八九〇	二、八九〇
植物性產物	八、一七五	一〇、六五五
木綿製品	二、二七五	四、九三三
磁器及陶器	三、〇七八	二、六八三
木製家具	一、八九九	三、七三三
其他木製品	三、〇六六	三、〇七三
花  蕙	四、三三五	二、六九五
纖維質原料製品	九、〇三三	三、三三四
紙類及紙製品	二、七〇六	六、四三三
絹  製品	四、一〇三	三、一七四
紐  製品	三、〇五二	三、五〇三
玩  具	五、三三二	九、六二二
雨  傘	一、三三三	一、〇三三

(伯貨)「ミルレイス」 我六十七圓内外

然ルニ右統計表ニ據レハ本邦ヨリノ輸入額ハ極メテ小額ニシテ現ニ當國市場ニ於テ販賣シツ、アル本邦品ノ數量ト大ナル相違アリ蓋シ直接本邦ヨリ輸入スル商品ハ二、三日本商店及外國商店ノ取扱ニ係リ大多數ハ之レヲ倫敦、漢堡又ハ里昂巴里ヨリ供給ヲ仰クガ故ナリ故ニ本邦品ノ實際輸入セラル、數量ハ今正確ニ知ルコト不能ナレドモ約上記統計表ノ數字ヲ二、三倍セシモノト思ヘバ大差ナケン

第三 將來需要ノ見込及需要ニ應ズル爲メ

改良ヲ計ルベキ點

現在ニ於ケル日伯貿易ハ實ニ微々タルモノニシテ一ケ年ノ輸入額僅々二十萬「ミルレイス」乃至六十萬「ミルレイス」弱ニ過ギズ是レ決シテ本邦商品ノ用途ナキニ基因スルモノニアラズシテ却テ好奇心ニ富ム當國人ハ好シテ本邦品ヲ歡迎スレドモ賣捌及輸入ノ方法其宜シキヲ得ザル爲メ伯國ノ注意ト需要ヲ惹起セザルニアリ今其原因ノ一二ヲ左ニ記述セン

本邦商品ハ本邦人之レヲ取扱ハザレバ好結果ヲ擧グルコト

困難ナリ然ルニ過去及現在ニ於ケル本邦商品ノ輸入ハ歐洲ヨリ再輸入ノモノ從ツテ税金其他ノ費用モ二重ニ支拂フ場合多ク殊ニ我が商品ハ附屬物タル取扱ヲ受ケ到底彼等ノ手中ニ圓滿ナル成長ヲ遂グル見込アルコトナシ偶々本邦商人ニシテ當國ニ本邦品ノ販賣ヲナスモ多クハ資本少ナク利益アル事ニモ充分ニ手ヲ延バスコト能ハス又商業ノ經驗ニ乏シク無用ノ冗費ノミニ嵩ミテ利潤之レニ伴ハズ甚シキハ當國人ノ嗜好スル商品及其色彩、形態等ノ注意撰擇ヲ怠ルガ爲メ思ハザル損失ヲ來ス例ヘバ扇子ヲ輸入スルニハ如何ナル原料ヲ用キ如何ナル形狀ニテ何寸大又ハ何色ノモノ多數ニ愛用セラル、ヤ等ニ思ヒ到ラズシテ最モ當國人ノ好マザルモノヲ輸入シテ得々タルモノアリ或ハ本邦商品ノ見込ナキヲ悲觀スルモノアリ今日ノ微々タル雜貨輸入ト雖若シ當國ノ事情、風習ニ通曉スルモノガ之レガ經營ヲナスニ於テハ充分發達ノ見込アリ殊ニ陶磁器類ノ如キハ半實用品トシテ使用セラル、モノ多ク而カモ破損シ易キモノナレバ永遠ニ輸入アルベシト信セラル尙食皿鉢ヲ日用品向ニ適當ニ製造シ輸入スルニ至ラバ一層好望ナルベシ

本邦商品ノ重ナルモノハ玩具的ニシテ必需品甚ダ少ナシ其内重ナル實用品トシテ將來好望ナル見込ノモノヲ擧グルハ陶磁器、花蕙、眞田、齒磨粉、齒揚枝、刷毛、扇子、金屬及貝釦、セメント、紅綠茶、干鱈、煙製餅、丁銅、莫大小、生絲、木綿細絲及織物、浴巾、コッピ紙、日本紙、鳥子紙、絹綿布、張洋傘、木蠟、化學藥等ニシテ是等商品ハ經營ノ如何ニヨリテハ充分販路ヲ擴張スル餘地アリト思惟セラル

本邦商品ノ改良スベキ點ハ多クアリテ茲ニ一々枚擧スルニ違アラス約言セハ意匠ノ斬新、品質ノ一定、製造ノ確實、素ノ撰擇ニ在リ例ヘバ磁製茶器ニ就テ言ハシカ其碗ノ形狀ハ幾年ヲ經ルモ圓形ニテ些ノ斬新ナルモノナク偶々斬新ナリト稱スルモノアレバ繪付ニ細微ナル意匠ノ變化アリシノミニテ當國人ノ新形ト稱スルヲ肯セザル所ナリ形狀ヲ各種ノ變形ニ造リテ目先ヲ變スル事ニ注意スベシ提灯ト云ヘバ卵形ノモノナラサレバ非ナリト心得居ル本邦製造家ハ當國人ガ提灯ヲ購買スルニ當リテ此卵形モノヲ撰バズシテ凸凹異形ノモノヲ好愛スルコトヲ知ラザルガ如シ日本商人ハ扇子ト云ヘハ紙ト竹骨トヨリナルモノト思フ様ナレドモ近時市場ニ於テ斬新ナリト稱スルモノハ全部象牙又ハ香木ノ葉片又ハ羽毛ヲ以テ製シタルモノアリ常ニ意匠及趣向ヲ改新シツ、珍奇ナルモノニ着目セサレバ時勢後レノ商品ノミヲ製作スルコト、ナルヲ是レ思ハザルベカラズ



本邦雜貨製造業者ノ製作スルモノハ常ニ一樣ニシテ寸法等ニ斟酌ヲ加フルコトナシ例令ハ北米ノ如キ「ヤード」ヲ單位トスル國ト南米ノ如キ「メートル」ヲ用ユル處トニハ自ラ寸法ニ差異アルモノナルコトニ注意スベシ例令ハ本邦製糖類ノ如キ常ニ巾短クシテ折角ノ商品モ使用ニ適セサルコト多シ此等ハ國々ニヨリテ寸法ノ差違ヨリ起ル自然ノ結果ナルガ故ニ輸入ノ前各種商品ニ對スル用途及其形狀ニ付キ豫メ研究スルコト必要アリ

品質ノ一定トハ日本品ハ一箱中ノ品物ト雖一々品質ヲ異ニシ購入者ニ失望ヲ與フル事多シ故ニ一兩ハ必ズ一樣ナルベシ製造ノ確實トハ物品ヲ製造スルニ實用ニ堪ユルコトニ意ヲ用フルヲ云フ本邦製洋傘其他粗製品ハ多ク使用シ能ハズ斯カク物品ヲ購入シタルモノハ再ビ日本製品ヲ用ユルコトヲ嫌忌スルニ至ル  
色素ノ選擇トハ洗濯シ又ハ日光ニ照ラス物品ニハ堅キ色素ヲ用ユル等ヲ云フ容易ニ褪色スル色素ヲ用ユルハ顧客ヲ永ク維ク所以ニアラス

#### 第四 競争品ノ有無

本邦ヨリ當國ニ輸出スル雜貨商品ノ多クハ何レモ本邦固有ノモノニシテ歐米人ノ模擬品ヲ製作スルモノ少ナケレドモ將來發展スベキ重要品ニハ競争品太ク多ク當業者常ニ注意シテ改善ヲ怠ルベカラズ例令ハ

セラル、場合、多シ

▲麥稈眞田 競争品ハ伊太利産ニシテ彼我共ニ市場ニ散見スルト雖彼ハ上等品、我ハ下等品ニシテ價格ニ差違アルカ故ニ競争品ト稱スルヨリモ寧ロ提携品トシテ相互ニ賣行良ク見ユ本邦當業者ハ宜敷今日ノ有様ニ満足セス進ミテ上等品ヲ製シ競争品トシテ伊國製品ト競争スル覺悟アラントコトヲ要ス  
▲紅綠茶 印度、錫蘭、支那製茶アリ  
▲干鱈 諸威、ニュー、ファウンドランド。米國、和蘭アリ  
▲丁 銅 米國アリ

#### 第五 輸入關稅率

當國ニ於ケル關稅率ハ共和國憲法ノ規定ニ從ヒ輸出稅ハ以テ州政府ノ徵收シ得ル所ナレトモ輸入稅ハ中央政府唯一ノ財源ヲナスモノニシテ其高率ナルコト他國ニ多ク其比ヲ見ス其標榜スル所ハ内國産業保護ナリト雖其實ヲ擧ケ得ヘキヤ疑ハシ是レ一ハ伯國財政上止ムヲ得ス高率ノ關稅ヲ持續スルモノナルヘシ當國ノ稅率ハ大體ニ於テ重量稅ニシテ殊ニ稅目不備ナル結果トシテ日本品ノ如キ稀ニ取扱フ商品ニ對シテハ稅目ノ判定ニ苦シム場合多ク輸入ノ都度同一商品ニ對スル鑑定官ノ稅率判定ヲ異ニシ時ニ甚シキ差アルヲ見ルハ奇シキコトニアラス  
要スルニ當國關稅ハ斯ノ如キ高率而カモ輸入品ハ通關ニ先

▲絹織物 輸入セラル、モノハ羽二重及僅少ノ縮緬等ナルガ羽二重ノ如キ佛國製「フラワー」等ニ比較スルトキハ價格大ナル相違アリテ競争品トハ云ヒ難シ然レドモ其他ノ絹物ハ精巧ノ點ニ於テ佛國品ニ壓セラレ而シテ輸入稅ノ爲メ佛國絹物ニ勝ヲ讓リツ、アリ

▲陶磁器 内最モ需要多キハ茶器ニシテ日本茶器ト云ヘバ名古屋製ノ九谷模擬品之レヲ代表シ英、獨ヨリ輸入スル陶器ハ本邦茶器ノ直接競争品ニハ非ラザレ共英、獨品ハ日常品ニシテ上下ノ區別ナク用キラレ日本品ハ半ハ贅澤ナル裝飾品トシテ中等以上ノ社會ニ用キラレ從テ販路狹シ故ニ將來本邦品ハ日常品タル域ニ進ミ英、獨品ト競ハザルベカラスト思フ

▲漆器ハ 近時獨逸國ニ於テ本邦模擬品ヲ作出シ畫付ノ如キモ總ヘテ本邦又ハ支那風俗及景色畫ニシテ出來上リ甚シク殊ニ風俗畫ノ如キモ衣服ヲ左前ニ着スル等吾人ノ眼ニハ滑稽ナル感ヲ起サシムルモ眞正ノ本邦品ヨリ却ツテ賣行宜シキ様見受ケラル是レ商業ニ敏活ナル獨逸人ノ海外各地ノ嗜好ニ鑑ミ便利ニシテ且ツ需要多キ商品ヲ製作スルカ故ニ勢ヒ該商品ノ賣行多キ理由ナレハ單ニ漆器ノミナラス總ヘテ本邦商品ハ趣向ニ時々改良ヲ加フルニアラサレハ將來發展ノ見込少ナシ  
▲花莖 競争品ハ支那花莖ト絨氈ノ外當國ニ於テ製造スルモノハ皆無ナリ當國ニテハ氣候ノ關係上板床ヲ好ミ敷物ハ一般ノ需要ニアラス我ガ花莖ハ上流好事家ノ敷物ト椅子張用トニ

タチテ之レカ稅金ヲ豫納シ然ル後其通關ヲ出願セサルヘカラス即チ輸入者ハ鑑定官ノ鑑定以前ニ於テ内容商品ノ如何ヲ知リ該當ヘキ稅目ヲ定メ之レニ依リテ關稅ヲ支拂フモノナルヲ以テ領事證明書ハ飽迄モ明瞭ナラサルヘカラス然ラサレハ勢ヒ内鑑定ヲ出願シ其内容ヲ點檢シテ後稅目ヲ定メサルヘカラス故ニ多大ノ時日ヲ要スルト共ニ規定稅金以外ニ鑑定料ヲ徵收セラル、ニ至ルヘシ  
左ニ當國輸入稅ノ手續及規定等ノ要點ヲ記述スヘシ

#### 一 金貨納付規定

當國關稅納付規定中特ニ注目スヘキ一事ヲ金貨納付トナス即チ規定ノ稅額ノ或部分ヲ金貨ヲ以テ納付セシメ其他ノ部分ヲ流通紙幣ヲ以テ支拂ハシムルト謂フニアリ是レ蓋シ當國ニテ金貨ヲ以テ外國ニ仕拂フモノ多キト當國流通紙幣ノ相場變動甚クシク其都度國家財源ニ影響ヲ感セサランコトヲ期スルノ趣旨ニ外ナニス  
此規定ニ基ク金貨ノ換算率ハ自ラ普通ノ換算ト異ナリ常ニ一定率即チ一「ミル」レイス「ミル」レイス「ミル」レイスニテ換算シタル紙幣一「ミル」英貨十六片ヨリ十六片四分ノ一ヲ以テ換算納付スルモノナルカ故ニ金貨一「ミル」レイスハ紙幣一「ミル」六百八十七「レイス」ヲ出シテ換フルコトヲ要スルヲ以テ今日ニ於テハ約七割弱ノ増加ヲ見サル可カラス而シテ總稅金額ノ金貨ヲ以テ納付スヘキ割合ハ各其稅目ノ如何ニヨリテ異ナリ



日本商品ノ如キハ多クハ百分ノ三十五乃至五十ナルコト普通ニシテ總稅表中ニ示サルモノトス

銀行タル伯刺西爾銀行ニ取扱ハシメ同銀行ハ金貨額ニ相當スル流通貨幣ヲ徵シテ之レニ對スル「ノート」ヲ出シ輸入者ハ該「ノート」ヲ輸入申告書ニ添ヘ之レト共ニ流通貨幣納付額ヲ稅關ニ納付シ然ル後内容品ノ鑑定ヲ出願スルモノトス此場合ニ於ケル鑑定ハ只輸入申告書面ノ内容ノ仕譯及稅金額カ果シテ正當ナルヤ否ヤノ點檢ヲ意味シ若シ之レカ相違アリト鑑定セラレタル場合ハ其差額百「ミル」レイス「ヲ超過スレハ罰金ヲ課シ百「ミル」未滿ノ時ハ追加納稅ヲナサシムルモノトス

二 附加納稅規定

輸入稅ノ外之レニ附隨シテ納付セサル可カラサルモノヲ舉レハ即チ倉庫料、港内運搬料、統計稅、港灣改良稅等ナリトス  
▲倉庫料 倉庫料ハ商品ノ輸送船ヨリ陸揚ケセラレ倉庫内ニ收容セラレタル日ヨリ起算シ之レヲ徵スルモノニシテ船渡ヲ以テ通關セシムル場合ヲ除ク外總ヘテ之レヲ要ス而シテ船渡トシテ通關セシメ得ル商品ハ別ニ關稅規則ニ規定セラレタルモノニ限ラレ其以外ノモノニ至ツテハ總ヘテ之レヲ必要トシ一旦倉庫ニ陸揚セサルヘカラス倉庫料ヲ詳カニスル前商品ノ公定價格ヲ一言セサルヘカラス倉庫料ノ徵收ハ其割合ノ基礎ヲ公定價格ニ依リ規定スルヲ以テナリ

商品ノ公定價格ハ規定セラレタル該當關稅率ニ依リテ之レヲ異ニシ稅目表中ニ其割合ヲ明示スルモノナリ換言スレハ稅目表中ニ示サレタル稅率ハ公定價格ノ何割ニ相等スルモノ即チ若干「ミル」レイス「ナルコトヲ示シ數字ヲ以テ金額ヲ記サスシテ割合ノミヲ示スモノナレ共之レヲ推算スルコトヲ得而シテ倉敷ハ其公定價格ノ何分ト規定スルナリ然レトモ物品ニ依リテハ二倍ノ倉庫料ヲ徵スルモノアリ是等ハ總ヘテ關則ノ規定ニ從フモノトス左ニ其料金ノ割合ヲ示ス

- 三十日以内 公定額ノ 一分
- 六十日以内 同 一分五厘(每一ヶ月)
- 九十日以内 同 二分 (同)
- 九十日以上 同 三分 (同)

而シテ六ヶ月以上ニ亘ルモ引取ラサル商品ハ便宜之レヲ構内ニ於テ競賣ニ附スルコトヲ得ルモノトス  
▲港灣改良稅 公定價格ノ二分ノ金貨ヲ以テ納付セシム  
▲統計稅 一箱毎二十「レイス」宛ヲ徵收ス  
▲內鑑定料 內鑑定料ハ内容商品ノ不明ナルカ或ハ從價ヲ以テ納稅スルヲ要スル場合ハ豫メ輸入申告書ノ調製ニ先クテ鑑定ヲ出願シテ稅率ニ誤謬無キヲ期セサルヘカラス即チ此場合ニ於テハ公定價格ノ五分ヲ納付スルヲ要ス  
▲港内運搬料 商品一度ヒ稅關構内ニ入ルヤ便宜其皆掛ヲ檢量シ關則トシテ規定セラレタルモノハ一箱ノ重量ヲ五十基ト

本行ハ橫濱正金銀行ノ取引店ナリ

二 London and Brazilian Bank Ltd.

本店 倫敦、支店 伯國、亞國、烏爾圭國、葡國、佛國  
北米(代理店)

設立年度 千八百六十二年

資本金 公稱資本 二百萬磅  
拂込資本 百萬磅  
積立金 百萬磅

配當金 千九百一十四年 一割二分  
千九百一十五年 一割五分

三 British Bank of South America Ltd.

本店 倫敦、支店 亞國、伯國、烏爾圭國

設立年度 千八百九十一年

資本金 公稱資本 百五十萬磅  
拂込資本 七十五萬磅  
積立金 八十萬磅

配當金 千九百一十二年 六分ヨリ累進シテ  
千九百一十年 二ハ一割五分トナル

四 Brazilianische Bank für Deutschland.

本店 漢堡、支店 伯國數ヶ所

設立年度 千八百八十八年

資本金 公稱資本 一千萬馬克  
拂込資本 一千萬馬克  
積立金 一百萬馬克

配當金 千九百一十九年 一割

ナシ一毎二百「レイス」ヲ運搬料トシテ徵收ス若シ重量カ五十基ヲ超過スルトキハ超過重量ノ百分ノ十二百「レイス」ヲ乘シタルモノヲ增加納付セシム  
▲消費稅 大藏省ノ規定スル所ニ從ヒ消費稅ヲ賦課セラル、商品ハ規定額ニ相當スル印紙ヲ購入シ通關ニ先立チ之レヲ納付スルモノトス  
以上各項ハ總ヘテ輸入業者ニ於テ申告書中ニ明示セサルヘカラサルヲ以テ其煩累甚シク輸入者自身此繁雜ナル手續ヲ爲スコト困難ナルカ爲メ別ニ通關ヲ取扱フ代理業者アリ輸入業者ハ之レニ相當ノ手数料ヲ支拂ヒ通關手續其他ヲ委託スルコト普通ナリ

第六 金融機關ノ設備

本邦商人ガ當國商人ト取引ヲ開始スルニ當リ其金融機關ノ衝ニ當リ得ベキ銀行ハ左ノ如シ

一 London and River Plate Bank Ltd.

本店 倫敦、支店 亞國、伯國、烏爾圭國、智利、佛國  
北米(代理店)

設立年度 千八百六十二年(亞國)、千九百年(伯國)

資本金 公稱資本 二百萬磅  
拂込資本 百二十萬磅  
積立金 百三十萬磅

配當金 千九百一十四年 一割八分  
千九百一十五年 一割九分  
千九百一十九年 二割



五 Banque Francaise et Italienne pour l'Amerique du Sud.

本店 巴里、支店 伯國數ヶ所
設立年度 千九百年
公稱資本 二千五百萬法
拂込資本 千二百萬法
積立資本 六百二十五萬法
配當金 千九百九年迄常ニ一割
Banco Espanol del Rio de la Plata.

六 Banco Espanol del Rio de la Plata.
本店 亞國ブエノス、アイレス市
支店 亞國內三十七ヶ所、伯國、烏爾圭。倫敦、巴里、ゼノア、マドリッド、バルセローナ

設立年度 千八百八十六年(亞國)、千九百年(伯國)

公稱資本 六千九百九十五萬餘「ミルレイス」
拂込資本 六千四百六十一萬餘「ミルレイス」
積立資本 千五百七十八萬餘「ミルレイス」

右六銀行ハ外國銀行中ノ主ナルモノニシテ夫々東洋方面ニ取引店ヲ有シ其等取引先ヨリ日本商人ノ信用ニ關シ確實ナル保證アルトキハ此等商人振出手形ノ割引請求ニ應スヘシ
內國銀行中唯一ノ外國爲替取扱銀行タル伯刺西爾銀行ハ東洋方面ニハ未タ取引店ヲ設ケ居ラス東洋諸國トノ取引事業ニハ携ハルコトヲ得サルナリ

七 Le Credit Foncier du Bresil.
千九百七年ノ設立ニシテ資本金千二百五十萬法、巴里ニ

千八百七十五年創立 資本金七百萬「ミルレイス」

四 サンパウロ商工銀行
千八百九十八年創立 資本金一千萬「ミルレイス」

五 リオ、グランデ、ド、スール州銀行
千八百五十八年創立 資本金五百萬「ミルレイス」

六 ミナス、ヂエラエス土地抵當銀行
千八百八十九年創立 資本金七百萬「ミルレイス」

七 伯刺西爾農商銀行(バンコ、ダ、ラゾォーラ、キ、ド、コンメ、ルシオ)
千八百八十九年創立 資本金六十萬「ミルレイス」

八 伯刺西爾物業銀行(バンコ、キ、ボテカリオ、ド、ブラジル)
千八百九十年創立 資本金八百萬「ミルレイス」

九 貿易銀行(バンコ、メルカンチール)
千九百十年創立 資本金五百萬「ミルレイス」

內國諸銀行中廣ク外國爲替事務ヲ取扱フハ獨リ(一)「ブラジル」銀行アルノミニシテ手形ノ賣買高ニ於テモ外國銀行ニ比シ群ヲ拔キ居レリ然トモ東洋方面ニハ未タ取引店ナシ(二)商業銀行ハ唯當國及荷國間ノ手形ヲ取扱フ事アレトモ其他ノ銀行ニハ未タ此種ノ事務ニ従事スルコトナク大抵預金ヲ受ケ貸付ニ放資スルヲ主ナル目的トナシ貸付擔保トシテハ銀行ノ種類ニヨリ一ハ有價證券ヲ主トシ他ハ土地、家屋、農作物等ニカヲ注ク差アルノミナリ要スルニ是等ハ總ベテ微々タル營

本店ヲ有ス

八 Banque Brasilienne Italo-Berge.

千九百十一年ノ設立ニシテ資本金二千條馬克、アントワ、ープニ本店アリ

九 Banco Alliança Transatlantico.
千九百十一年ノ設立ニシテ本店ヲ Deutsche Bank of Berlin

ニ有シ設立ハ千八百八十六年ニシテ資本及積立金三千七百五十萬馬克ナリ

十 Deutsch Sudamerikanische Bank Aktiengesellschaft.
千九百十一年設立
本店ハ Drescher Bank Berlin ニシテ資本金二千萬馬克ナ

一 伯刺西爾銀行(バンコ、ド、ブラジルト云ヒ中央銀行ナリ)
內國銀行トシテハ左ノ諸行ヲ其主ナルモノトス

公稱資本 七千 萬「ミルレイス」
拂込資本 四千四百萬「ミルレイス」
積立資本 二百餘萬「ミルレイス」
拂込資本ノ過半數ハ政府ノ持株ニシテ最近ノ配當ハ九分ナリ

二 商業銀行(バンコ、コンメルシヤール)
千九百一年創立 資本金一千萬「ミルレイス」

三 通商銀行(バンコ、ド、コンメルシオ)
業高ナリ

▲爲替ノ取組支拂期間割引其他ノ商習慣
▲爲替ノ取組 今日迄本邦對伯國ノ爲替業務ハ殆ト皆無ナリ、シト稱スルモ過言ニアラス現時某會社ノ貿易部ガ當地ニテ雜貨ノ輸入ヲ開始セシヨリ時々少許貨物ヲ廻送シ來リ其都度本邦某銀行ヲ經テ荷爲替ヲ附シ居ルノミ他ニ一伯國商店ニシテ手廣ク日本品ノ輸入ヲ取扱ヒ居ル者ハ倫敦ニ密接ナル關係アル取引店ヲ有スルカ故ニ此取引店ヲシテ本邦某銀行ノ倫敦支店ヲ經テ本邦ニ送金セシメ居レリ

嘗テ在伯國日本商人中本邦某銀行ヲ經テ荷爲替ヲ取組ミタルモノアリタレトモ皆當地ニテ不渡リトナリ(荷物ヲ引取ラズ手形ヲ引受ケサリシカハ)大ニ信用ヲ害シ今ヤ日、伯國ノ取引ト云ヘハ双方國ニ於ケル銀行カ特ニ非常ナル注意ヲ拂フ有様ナリ

先ゾ當國商人カ本邦商人ト取引ヲ開始シ日本拂振出爲替手形(或ハ直接日本宛ノ手形或ハ間接ニ倫敦宛ノ手形)ヲ當地ノ外國銀行ニ賣ラントスルニ當リテハ主要ナル外國銀行ニ於テハ其本邦商人ニ對スル東洋取引店ヨリ信用狀又ハ信用保證書ヲ送附シ來ラサレハ之レニ應セス若シ取引店ヨリ有力ナル「アドヴィス」ヲナシ來ル時ハ爲替銀行ノ性質トシテ對物保證ヨリモ對人保證ヲ重ニスルカ故ニ快ク商業手形ノ割引ヲナシ又物品ノ善惡多寡ニ關係ナク荷爲替ノ取組ニモ應ス



▲支拂期間 目今歐米ヨリ來ル爲替手形ノ支拂期間ハ一覽後九十日拂ノモノ最モ普通ナリトス然ルニ本邦ヨリノモノハ普通一覽後六十日拂ヲ採用スルカ故ニ當國ノ如キ交通機關不便ニシテ且ツ遠距離ナル所ニ於テハ二ヶ月拂ハ甚ダ短期間ニ過ク例令ハ橫濱又ハ神戸ヨリ伯國ニ向ツテ貨物ヲ積出ストセンカゼノア又ハ馬耳塞ニテ積換ヘ當港ニ着スル迄ニハ最大速力ヲ以テスルモ尙三ヶ月ヲ要スヘシ然ルニ荷爲替手形ハ郵送スルカ故ニ西比利亞ヲ經由シ三十日乃至三十五日間ニ到着スレニ六十日ヲ加算スルトキハ連絡宜シク好都合ニ行場合ニハ或ハ手形期限滿了ノ頃貨物當國ヘ到着シ賣却シテ爲替ノ支拂ヲナシ得ヘキモ多クハ歐洲積換港ノ連絡宜シカラサルカ爲メ一、二ヶ月延着スルコトハ珍シカラズ歐洲ヨリノ荷爲替ニ比スルトキハ支拂期間ノ差異ト距離ノ遠近トニヨリ本邦品輸入業者ハ二重ノ不利益ヲ被ムリツ、アルモノトス

伯國ニ於ケル一般ノ慣習トシテ銀行ハ手形ノ引受アルトキハ荷物引取ノ便ヲ與フル爲メ同時ニ船荷證券其他ノ證書類ヲ引キ渡ス尤モ先方銀行ヨリ特別ノ指圖アル場合ハ之レニ從ノハ言フ迄モナシ

手形支拂期日滿了ノ日ニ於テ國祭日又ハ日曜日ニ該當スルトキハ其翌日ヲ以テ滿了日トナシ宗教祭日ナレハ其前日ヲ以テス又場合ニヨリテハ宗教祭日ノ當日ニ取扱フコトモアリ伯國ニテハ恩惠日ヲ認メス

▲手形割引 手形割引ハ盛ニ行ハレ外國銀行ハ主トシテ信用ニヨリ割引スルコトヲ好ミ擔保付ノ割引手形ハ餘リ歡迎セズ割引歩合ハ手形ノ種類、市場ノ景況、銀行ノ都合ニヨリテ時々變更スルモ歐米向ケ三ヶ月拂第一流ノ商業手形ナレハ當地ノ外國銀行ハ六歩位ノ割引歩合ヲ取り東洋向ケナレハ倫敦宛三ヶ月拂ノ信用手形ニ對シ割引歩合大凡七分位ニテ折合付クヘシト云フ

割引手形中最モ歡迎セラル、ハ倫敦手形ナリトス北米トノ取引ノ如ク殆ト全ク倫敦經由ナレトモ歐洲大陸向ケノモノニテモ倫敦宛ニテ振出スヲ最モ普通ナリトス

割引利息ノ計算方法ハ日割ニテナスト雖割引當日ヲ算入セサルト及一年ヲ三百六十日ト勘定スルコトハ歐洲諸國ノ慣例ト同シ

當地ノ各外國銀行ハ夫々伯刺西爾銀行（日本銀行ノ如キモノ）ニ當座勘定ヲ有スレトモ再割引ヲ請求スルコトハ甚ダ稀ナリ

伯國ニ於テハ專門ニ手形仲買ヲ業トスルモノナシ未タ手形、小切手ノ利用多キ域ニ達セサルカ故ニ從テ此利用ニ伴フ必要機關タル手形交換所ナルモノナク各銀行ハ一々書記ヲ遣ハシ手形、小切手ヲ振出先ノ銀行ニ持來ラシメ其代金ヲ受取ラシム

伯國輸入商ハ外國ノ輸出商ニ對シテ信用狀ヲ送ラサル習慣

ナリ若シ其銀行カ其輸入商ニ對シ充分ナル信用ヲ有スルトキハ請求ニヨリ直接輸出商又ハ銀行ニ對シテ此商人ノ資力ノ幾分ヲ保證スルコトアリ或外國銀行支配人ノ言フ所ニヨレハ伯國ノ市場ハ幼稚ニシテ未タ大ナル活動ノ餘地ナケレトモ比較的ニ正直ナリ是レ歐米商人カ當地商人ニ對シテ取引上形式ノ追窮甚タ嚴ナラサル所以ナリト

▲預金及貸付

當座預金 伯國ニ於ケル大商人ハ大概各自ノ銀行ニ當座勘定ヲ開ケリ又信用アル商人ハ當座貸越契約ヲナシ居ルコト歐米諸國ト異ナル所ナシ小口當座ハ主トシテ小銀行之レヲ取扱フ

當座預金ニ對シテ第一流ノ銀行ハ利子ヲ附セス第二流以下ノ銀行ハ之レヲ附スルコト多シ

▲定期預金 期限ハ三ヶ月、六ヶ月、一ケ年ヲ最モ多シトス就中六ヶ月ノモノ普通ナリ利率ハ大銀行ニテ三ヶ月定期二分五厘、六ヶ月四分、年五分ノ割合ナリ小銀行ハ年七分、八分迄ヲ付ス

▲通知預金及「コールマネー」 伯國ニ於テハ通知預金ノ制餘リ行ハレズ「コールマネー」ノ制ハ存在セズ

▲貯蓄銀行 專門ノ貯蓄銀行一個アリ政府ノ設立ニ係ル又貯蓄預金ハ各銀行ノ預金部亦之レニ當ル

▲貸付 當國大銀行ハ主トシテ外國銀行ナルカ彼等ハ專ラ爲替事務ニ執掌シ比較的長期間ニ資金ノ固定スル貸付業務ニ放

資スルヲ歡ハス内國商業銀行ト雖長期ニ巨ル貸付ハ之レヲ好マス非常ノ好條件ニテモ六ヶ月ヲ止マリトス長期ノ貸付事務ニ當ルハ伯及佛國ノ擔保付貸付銀行、農工銀行及各地方銀行ナリ

▲金利 伯國ハ金利非常ニ高ク普通銀行貸付金ノ利子ハ年八分ヨリ一割ノ間ナリトス之レハ大都會ノ金利ナルモ内地農耕地ニ於ケル金利ハ一層高ク一割五分乃至二割ニ達スルモノ少ナカラズ

第七 必要事項

日伯貿易ヲ今後一層重要ナラシムル方法トシテ左ノ諸項ノ實行ヲ必要ナリト思フ

▲當業者實地視察 我貿易業界ノ南米貿易發展ヲ喋々スルコト茲ニ年アリ然ルニ其結果ヲ見ルトキハ今尙渾沌タル有様ニシテ既ニ先鞭ヲ着ケタルモノハ多クハ損失ヲ被ムリ然ラサルモノハ前者ノ失敗ニ鑑ミ逡巡シ容易ニ手ヲ展ヘス此儘ニ經過スルトキハ今後幾年ヲ經ルモ發展ノ見込アリト思ハレズ然ラハ伯國貿易ハ到底發展ノ餘地ナキカト云フニ決シテ然ラズ

當國ノ如キ購買力ニ富メル新市場ハ亞爾然ト相駢ヒテ他ニ多ク其類ヲ見ス去ラハ何カ故ニ日伯貿易ノ發展遲々トシテ進歩セサルヤト疑問ヲ起スモノ多カラシカ其實本邦當業者ハ當國ノ事情ニ疎ク單ニ日常必需品ニアラサル且ツ需要限リアル雜貨ノ販賣ヲ試ムル者アルノミニテ他ノ本邦重要品ノ輸入ヲ



試ミシ者ナシ故ニ南米貿易ヲ企圖スル我輸出業者須ラク南米ニ渡航シ親シク當國人實際ノ嗜好及風俗ヲ觀察シ然ル後事業ニ着手センコト切望ス

### ○伯國サン、パウロ州ノ米作 發展

(四十四年十一月二十日附在伯國帝國公使館報告)

伯國ノ一聯邦タルサン、パウロ州ハ珈琲ヲ以テ夙ニ著ハレ且ツ近來諸種農作ノ進歩モ亦見ルヘキモノアリ世界ニ於ケル珈琲ハ數年來生産過多ノ状態ニ陥リ市價從テ著シク暴落セルコトアリ國州政府ハ此危機ヲ脱センカ爲メ有名ナル價格維持策ヲ行ヒ以テ一時其目的ヲ達シ得タリト雖其當時ヨリ州内經濟ハ一ニ珈琲ニノミ依頼シ能ハサルヲ認メ廣ク諸種ノ農作獎勵振興ニ力ヲ致スコト、ナリ爾來其進歩發達著シク米作ノ如キハ特ニ其一例ナリトス

元來同州消費米ハ之レヲ印度其他ノ輸入ニ仰キシカ千九百六六年中政府ハ米國ヨリ專問技師ヲ僱聘シ模範米作場ヲ設ケシコトアリ爾後種子ヲ分配シ農業技師ヲ米國ニ派シ斯業ト研究ヲ爲サシメ常ニ州内各地ヲ巡回シ實地教授ヲ行フ等其努力空シカラス最近(自千九百九十年)農年度収穫高ハ百三十萬八千八百七十七ヘクト、リットルト算セラル千九百九十二年以來同州白米輸出高ハ

年	輸出	輸入
千九百二年	不明	一六、三三、三〇五
千九百三年	二九、〇三三	一四、〇〇九、〇〇〇
千九百四年	二四、七、三六〇	一〇、四九、〇〇〇
千九百五年	三三、六、九六六	三、七二、〇〇〇
千九百六年	二、一八〇、五六九	三、八九三、〇〇〇
千九百七年	七〇八、六四四	二、三〇四、〇〇〇
千九百八年	一四、五九、三三二	三、五、〇〇〇
千九百九年	二、四三、六三二	二、五九、〇〇〇
千九百十年	二、五〇、一五八	一、九四、七四二

ニシテ右統計表ノ示ス所ニ依レハ自千九百九十二年至千九百九十七年六年間ノ國州輸入高ハ九千六百六十八萬九千二百六十基ニシテ同期間平均一年ノ輸入高一千五百一十一萬基ニ當レリ然ルニ千九百七年ニハ州内米產額俄然增加シ其前年即チ千九百六年ニ於テハ千三百八十九萬餘基ヲ輸入シ州内需要ノ不足ヲ補足セルカシ、パウロ州ハ輸出入差引四百七十七萬餘基ヲ輸出シテ一躍純然タル輸出入者ノ地位ヲ占ムルニ至リ爾來前表ニ示ス如ク逐年其輸出ヲ増加シ現ニ同州重要輸出品中ノ第二位ヲ占ムルニ至レリ而シテ千九百八年迄ノ輸出先ハ專ラ伯國聯邦諸州内ニ限リシカ千九百九十二年ニ至リ始メテ

亞 爾 然 丁 一八〇五  
英 國 一、二四八

伊 太 利 一八〇  
葡 萄 牙 三〇〇  
計 一、八〇八

ノ海外輸出ヲナスニ至レリ

サン、パウロ州政府農務部ノ報告ニ據レハ同州灌漑大農法耕作ニヨルトキハ一ヘクタールノ地積(凡我一町步強)ヨリ糶五十五ヘクト、リットルノ年ヲ得ヘシト云フ而シテ右ニ要スル生産費ハ一ヘクト、リットルニ對シ大約二「ミル」五百四十八「レイス」ニシテ之レニ袋代、車賃、及積込賃一「ミル」、鐵道運賃一「ミル」八十二「レイス」、販賣手数料五分トシテ五百「レイス」ヲ加算セハサン、パウロ市ニ於ケル原價五「ミル」百三十「レイス」トナル然ルニ通常同市ニ於ケル糶粕ハ一ヘクト、リットルニ付八「ミル」乃至十二「ミル」ノ間ニ在ルヲ以テ今假リニ其平均相場十「ミル」ヲ以テ賣却スルトセンカ茲ニ一「ヘクト、リットル」ニ付四「ミル」八百七十「レイス」即チ邦貨約三圓四十錢ノ純益ヲ得ヘキ計算ナリト云フ

右ハ農務部カ米作獎勵ノ爲メ多少誇張セルヤノ感ナキニ非ラスト雖先ツ以テ事實ニ近カルヘシ何トナレハサン、パウロ市ニ於ケル糶相場ヲ十「ミル」ト假定セルモ最近千九百十年中ニ於ケル同市ノ相場ハ實際最低十「ミル」以下ニ降リタルコトナク最高十二「ミル」五百「レイス」ノ間ヲ上下シ上等品ニアリテハ十一「ミル」五百「レイス」乃至十四「ミル」ノ間ニ在リテ其

前年千九百九年年中ノ相場ハ之レニ比シ遙ニ上位ニ在リタレハナリ尙千九百九年年中サン、パウロ市ニ於ケル白米相場ハ一袋(六十基入)十六「ミル」乃至二十二「ミル」上米十九「ミル」乃至三十「ミル」ノ間ニ在リテ聯邦首府リオ、デ、ジャネイロ其他ノ都市ニ於ケルヨリモ概シテ低廉ナリ

(備考) 一基ハ我二百六十六匁、一ヘクト、リットルハ五斗五升 伯貨一「ミル」ハ大約我七十錢、百「レイス」ハ七錢ニ當ル

### ○伯國珈琲情況

(四十四年十一月二十三日附在サン、パウロ州公使館報告)

伯國ノ珈琲ニ關シテ近日左ノ諸原因ニ依リ價格ニ著シキ變動ヲ生ゼリ第一 本年即チ四十四年七月ヨリ四十五年六月ニ至ルサン、パウロ州珈琲ノ收穫高ハ千百萬袋(一袋六十基入)ヲ豫期セシカ實收(十月二十日ニ終了ス)ハ千五百萬或ハ九百八、九十萬袋ナラント云フ(十一月中旬ニ至ルモ未タ正確ナル報告ニ接セス)

第二 本年六、七、八月ニ於ケル同州珈琲產地ノ寒氣ハ例年ニ比類ナカリシカハ十月ノ開花大ニ遲延シ且花少ク從テ四十五年年度ノ收穫(來年七月一日ニ始マリ十月末ニ終ル)ニ對シ九百乃至八百五十萬袋甚シキハ八百萬袋ヲ豫想スル者アリ  
第三 珈琲ノ世界消費高ハ漸次増加スルニ拘ハラササン、バ



ウロ州政府ハ珈琲價格維持策ノ一トテ新規植樹ヲ許サス從テ老樹増加シ產額減少セリ

第四 同州政府ハ珈琲維持法資金千五百萬磅募債ノ際締約セラル條項ヲ遵守シ珈琲ノ在荷減少シ價格騰貴セシニ拘ハラズ規定以外ニ持荷ヲ賣却セシテ保存(一ヶ年七十萬袋以上ヲ賣出サス)スルカ故ニ米國ニ於ケル「アーバツクル」會社一派ノ珈琲「トラス」ハ之レニ附隨シテ多額ノ買占ヲナシ容易ニ賣放タス本年新珈琲モ既ニ三百萬封度ヲ購入セリ又佛國ノ「シンデケート」モ亦本年十一月ノ物品五十萬袋(六十基入)即チ六百萬封度ヲ買占メ居ルト云フ

右ノ理由ニ依リ珈琲ノ相場近頃暴騰シ本年十一月十日紐育ニ於ケル第七號品ハ一封度米貨十六仙ニ垂ントシサントス市場ノ相場ハ十基ニ付九「ミル」二百四「レイス」(凡ソ我カ五圓八十二錢)即チ一封度米貨十四仙五五ニ相當ス是レ千九百三十四年ノ大不作以來未聞ノ高價ナリトス今二年前即チ千九百九年七月一日世界ニ於ケル珈琲ノ在荷ハ千二百八十四萬千餘袋ニシテ同日ノ紐育相場ハ一封度米貨七仙<sup>3/4</sup>ナリシカ二年後ノ本年七月一日ノ同在荷ハ千七百七萬四千餘袋ニシテ相場十四仙<sup>1/2</sup>即チ殆ト一倍ニ近ク騰貴シ十一月十日ニハ十五仙ニ達セリ是レ需要供給ノ原則ニ反スル人爲的釣上策ノ結果ナリト否難スル者アル所以ナリ

當國ミナス、ジュラエス州政府ヨリノ駐在白耳義委員ノ報

告ニ依レハ本年七月一日ニ於ケル世界ノ珈琲在荷ハ千五百萬袋(六十基入)ニシテ千九百一十二年度伯國產出豫想高千三百五十萬袋(サン、パウロ州其他伯國全體產額)其他諸國產出豫想高四百萬袋合計二千九百萬袋ノ内本年七月一日ヨリ來年六月三十日迄ノ世界消費高千九百萬袋ヲ減却セハ殘高千萬袋トナリ内五百萬袋ハサン、パウロ州珈琲維持法ニ依リ米歐各國ニ庫入セラレ百五十萬袋ハ例年ノ通りサントス港ニ保留サルヘキ額ト算セハ(因ニ明年ノ輸出珈琲八千萬袋ト制限セラレ若シ此數ヲ超ユレハ一基ヲ八百「レイス」(我カ五十五、六錢)ト算シ之レニ二割即チ禁止的輸出稅ヲ課スレハ凡ソ百五十萬袋ハサントス港ニ殘留スルコト、ナルナリ)明年七月一日世界ニ於ケル賣買シ得ヘキ在荷ハ僅々三百五十萬袋トナリ之レヲ本年七月一日ノ在荷千五百五十萬袋ヨリ維持法ノ五百萬袋トサントスニ在荷百五十萬袋ヲ減却シ殘五百萬袋ニ比セハ百五十萬袋ノ差違ヲ生ス故ニ價格ハ勢ヒ騰貴セサルヲ得スト云フ是レ強氣筋ニ聲援ヲ與フル所ノ說ナリトス

最近五ヶ年度世界珈琲產出高ハ左ノ如シ但シ本統計ハ佛國アール港商業會議所ノ調査ニ據ル(但シ一袋六十基入)

年次	伯國產出高	其他各國產出高	世界總產出高
一九〇六—七年	二〇、一九	三、五九	二三、七六
一九〇七—八年	二一、〇〇	三、八六	二四、八六
一九〇八—九年	二二、九二	四、〇三	二六、九五

一九九〇—〇一年 一五、四二 三、八〇 一九、二二  
 一九一〇—一一年 一四、五〇 四、三〇 一八、八〇

昨千九百十年ノ各國ニ於ケル推算消費高ハ左ノ如シ但シ在佛國珈琲及殖民地生産品保護協會ノ月報ニ據ル

國名	數量(六十基入)
佛國	一、八三、三六
獨逸	二、八四、五三
伊太利	四三、四五
白耳義	七、七、〇〇
英國	三三、九二
埃及	一〇、七〇
露國	一、九、〇〇
瑞典	一八、八〇
澳大利	九、五、六五
亞爾然丁	一、三、七六
米國	七、五、六六
加奈陀	七、九、四五
西班牙	二、三、八〇
瑞典	四、九、〇三
玖瑪	一、七、〇〇
希臘	三、〇、七五
巴拿馬	三、三、三三

和蘭 六四、三三  
 智利 六九、二七  
 南阿弗利加 一九、〇七  
 コルシカ 八、三〇  
 チュニス 一五、五四  
 其他諸國 二〇、八、三三  
 合計 一八、七、九六

前二表ニ依テ之レヲ觀レハ近年ノ珈琲產出額ハ世界ノ消費額ト略ホ平均スルカ故ニ二、三年引續キ大豐作ナキ限りハ生産過多ノ憂ナク寧ロ供給不足ノ觀アリ然レトモ今日ノ如ク價格甚ク騰貴シサン、パウロ州政府統領改選ノ結果珈琲維持策ヲ放棄シ各耕主互ニ相競フテ新珈琲耕地ヲ開ク等ノ事アレハ再ヒ生産ニ過剩ヲ來タシ價格暴落スヘキモ現今ノ如キ買占メ其他人爲的價格釣上策ハ大ニ憂慮スヘキ現象ナリト云フ者アリ(珈琲價格維持策モ亦人爲的價格釣上策ナリ)現ニ近日珈琲熱ニ浮サレサン、パウロ州政府珈琲維持策ノ不當ヲ鳴ラシ之レヲ打破セント企ツルモノアリ爲メニ次期州統領候補者タル前伯國大統領ロドリゲス、アルベス氏ハ豫テ珈琲維持策反對者ナレハ此輩ニハ極メテ人望アルト同時ニ維持派即チ珈琲大耕主側ニテ極メテ不評判ナリト云フ

伯國ニ於ケル珈琲產出額ノ七、八割又世界各國總產額ノ五、六割ハサン、パウロ州ノ所産ニ係リサン、パウロ州珈琲ノ興



廢ハ伯國貿易ニ重大ナル影響ヲ及ホスモノナリ左ニ最近伯國  
珈琲產出ノ割合ヲ掲ク(因ニ曰フ伯國珈琲ノ輸出ハ千九百八  
年ニハ三億六千萬「ミル」、千九百九年ニハ五億三千萬「ミル」、  
總輸出貿易高ハ千九百八年度七億五百萬「ミル」、千九百九年  
度十億千五百萬「ミル」ニシテ珈琲ハ大約其半額ヲ占ム)

○四十三—四十四年伯國珈琲產出高

(自四十三年七月一日起至四十  
四年六月三十日收穫推算)

(一袋ハ六十基入)

サン、パウロ州 一一、〇〇〇千基  
(サントス港ヨリ輸出スルモノ) 三、〇〇〇

リオ、デ、ジヤネイロ州及ミナス、ジエラエス州 四、〇〇〇

(リオ市ヨリ輸出ス)

ユスビリト、サント州 一五〇

(ヅキクトリサ港ヨリ輸出ス)

バイーヤ州

(バイーヤ港輸出)

合計 一四、五七〇

サン、パウロ州珈琲維持策ニ關シテハ已ニ(本誌四十四年  
第三十四號掲載)ニテ詳報セシカ現今同州政府カ公債擔保ト  
シテ米、佛、獨、英、蘭、白諸國ノ倉庫ニ保管中ノ價格維持法  
ニ則ル珈琲ノ數量ハ五百十萬五千三百三袋(六十基入)ニシ  
テ時機ヲ見計ラヒ一ケ年七十萬袋ヲ限リ「アーブル」格付上等

聯邦地方ニ於テハ特別選舉委員之ヲ選舉ス其數聯邦地方及各  
州トモニ二名ニシテ毎三年議員總數ノ三分ノ一ヲ改選ス、下  
院議員ハ一般人民ノ投票ニ依リテ選舉セラレ住民三萬三千人  
ニ付一人ノ議員ヲ選出スル割合ニシテ其任期ハ四ケ年毎二年  
議員半數ノ改選ヲ行フ選舉權ヲ有スル者ハ年齡十八歳ニ達シ  
タル公民ニシテ法定無能力者ハ之ヲ有セス

大統領ハ行政ノ主腦ニシテ八人ノ國務大臣ニ輔翼セラレ其  
年俸紙幣七萬二千ペソ(金貨一ペソハ英貨四志即我約二圓ナレドモ紙幣  
ハ金貨一ペソノ百分ノ一ナルカ故)ニハペソハ金貨四十四センタボニシテ一センタボ  
ニハペソハ約我八十八錢ナリ)

大統領及副統領ノ任期ハ六ケ年ニシテ人民ノ選舉シタル代  
表者之ヲ選舉シ其任期滿了シタル大統領及副統領ハ次期ニ互  
リテ直チニ再選スルコトヲ得ス

現任大統領ハ Dr. Roque Saenz Peña 氏ニシテ千九百十年  
十月十二日就任セリ

本年中亞爾然丁ニ來着シタル移住者ハ二十八萬九千六百四  
十八ナリシカ此内同期間ニ於テ歸國シタル者ヲ除クトキハ其  
實數十九萬一千七百八十六人ニシテ即チ過去十ケ年間ニ於ケ  
ル總數百八十四萬八千九百五十四人ニ對スル一ケ年ノ平均數  
以上ニ達セリ今ヤ農務省ハ良法施設專ラ移住ノ發展取締ヲ講  
シツ、アルヲ以テ思フニ將來多數ノ移住者ヲ誘入スルニ至ラ  
ン

千九百十年商工局ニ於テ調査セシ國內產業ノ大勢ヲ見ルニ

品五十法、其他四十七法以上ノ價格ヲ以テ漸次賣却シテ得タ  
ル金員ト珈琲輸出稅一袋五法ノ資金トヲ以テ同法ノ爲メ借入  
セル公債殘高英貨九百三十四萬七千八百磅及其利子ノ償還ニ  
充ツル等ナリ現今サントス港ニ於ケル市價ハ上等品即チ米國  
紐育標準三號及四號六十基入一袋五十五「ミル」二百「レイス」  
ナレハ佛貨九十二法ニ相當シ最初世人ニ大ニ危險ヲ感セシ維  
持策ハ不作ノ爲メ今日迄ノ所大ニ成效シタルモノト謂フヘシ

○亞爾然丁共和國

(協會調査)

亞爾然丁共和國ハ亞米利加共和國中第三ノ大國ナリ其面積  
百十三萬九千九百七十九方哩アリテアラスカラ除キタル亞米  
利加合衆國全面積五分ノ二ノ大サヲ有ス、千九百十年ノ計算  
ニ依レバ其入口六百九十八萬九千二百三十人ヲ有シ一方哩ニ付  
人口六、一ノ割合ナリ

亞爾然丁ハ聯邦同盟ノ國家ニシテ千八百六十年九月二十五  
日立法行政司法ノ三權ヲ具フル憲法ヲ制定セリ國會ハ即チ立  
法權ノ屬スル所ニシテ上下兩院ヨリ成リ上院ハ三十名下院ハ  
百二十名ノ議員ヲ有ス議會ハ通常毎年五月一日ヨリ九月三十  
日マデ五ケ月間首都ブエノスアイレスニ於テ開カル、モ大統  
領ハ時ニ會期ヲ延長シ或ハ臨時議會ヲ召集スルコトアリ、上  
院議員ハ其任期九ケ年ニシテ州ニ在リテハ立法部之ヲ選舉シ

產業的施設ノ生産ニ從事スルモノ其數三萬一千九百八十八其  
資本額ハ七億二千七百五十九萬一千一百三十五弗ニシテ產出  
額十二億二千七百五十四萬八千九百九十六弗ニ達シ其使用スル  
トコロノ人員凡ソ三十三萬人アリ

千九百十年ニ於ケル政府ノ總收入ハ千九百十一年一月ノ財  
務年報ニ依レハ金貨八千五百八十四萬二千四百六十「ペソ」  
及紙幣一億九百九十一萬四千四百七十七「ペソ」アリ但シ紙幣一  
ペソハ其比價金貨四十四「センタボ」ニ當ルカ故ニ之ヲ金貨ニ  
換算セハ實際上政府ノ總收入ハ金貨一億三千四百二十萬四千  
六百八十五「ペソ」トナル又亞爾然丁金貨一「ペソ」ト合衆國金  
貨トノ比價ハ〇、九七弗ナルヲ以テ之ヲ合衆國金貨ニ換算ス  
ルトキハ其額一億三千七百八十五萬四千四百四十四弗トナルナリ

金貨收入ハ本年度豫算(七〇、二九一、六六六「ペソ」)ヲ超過  
スルコト千五百五十五萬七百九十九「ペソ」ニシテ紙幣收入ハ  
同豫算(一〇五、七二九、三一八「ペソ」)ヲ超過スルコト四百十  
八萬四千八百二十九「ペソ」ニ達セリ斯ク實收入額カ豫算額ヲ  
超過シタルハ主トシテ外國貨物ノ輸入増加ニ因ルモノナリ  
直接稅、免許稅及印紙ハ紙幣收入ニ屬スヘキ主タル財源ニ  
シテ其項目左ノ如シ

一 直接稅(地方分擔)

「イ、ブエノザリス」

紙幣

二、五二、七六六



收入ニ於テハ四百萬ペソ以上ノ超過ヲ示セリ  
財務年報ノ發表シタル所ニ依レハ過去五ヶ年間ニ於ケル此  
國ノ公債額ハ左ノ如シ

口、地方税	同	一、四七、八四〇
計		二、八〇九、六三三
二 免許税	同	五、五七二、八七二
三 印紙	同	一四、〇六七、五八
合計		三三、四四〇、〇三三

是等ノ項目ハ前年度ニ於ケル同一項目ニ比シ紙幣二百八  
十三萬七千九百六十八「ペソ」ノ増加ヲ示セリ

内國税

酒 精 税	紙幣	一六、七〇三、三九四
烟 草 税	同	三三、三三三、五七三
磷 寸 税	同	三、四五一、七六
麥 酒 釀 造 税	同	四、〇七六、九七
保 險 業 税	同	八四四、八五
骨 牌 税	同	三三、六〇八
荷 荷 酒 釀 造 税	同	一六、八七三
特 許 藥 品 及 香 料 税	同	一、五九一、三九
雜 稅	同	三〇、二九四
合 計		五〇、六〇、二八九

内國税ノ收入豫算額ハ紙幣四千六百六十萬ペソナリシカ實

一九一〇年

三五一、七〇、六六

三七一、六六、〇五

本表ノ金額ハ亞爾然丁金貨ペソヲ以テ示セルモノニシテ商  
業上此國ノ金貨一ペソハ合衆國金貨一弗ニ比シ約二歩ヲ割  
引セラル、モノトス

○秘露國產棉事情

(四十四年十一月二十二日附在里馬帝國領事館報告)

第一序說

世界ニ於ケル棉ノ耕作ハ近時顯著ナル進歩ヲ遂ケ全世界ノ  
現産額ヲ二十年前ノ其レニ比スレハ正ニ二倍以上トナレリ斯  
ク産額ノ増加セルハ貴重ナル綿ニ對スル需要カ日毎ニ増進シ  
製造工業等ニ於ケル許多ノ用途、新市場ノ開發、特ニ其世界  
的必要品タルコト、耕作ノ經濟的ニシテ且ツ簡易ナルコト等  
ハ即チ棉作ノ進歩ヲ助長シタル主因ナリトス、而シテ幸ニ尙  
未タ其需要ノ限度ニ達セサルノミナラス現ニ之レカ豫見スラ  
困難ナレハ綿ニ對スル需要ハ年々増進シテ市場ニ於ケル需要  
ノ増加ト同率ニ耕作ノ面積モ亦擴張サレ居レリ

世界中最モ多額ノ棉産出國ニシテ且ツ英國ハ勿論歐洲ノ綿  
織業ニ對シ從來殆ト其全原料ヲ供給シ來リシ彼レ北米合衆國  
ハ單ニ自己カ棉耕作上ノ中心地タルノミニ甘心セスシテ更ラ  
ニ其製造業ノ擴張ニ銳意シ最近幾百ノ織物工場ヲ建設シ其消

外國債	內國債	內國債
一九〇六年 金貨 三四、三三、二六	三六、六元、六〇	紙幣 八、四三、八〇
一九〇七年 同 三九、五二、一〇五	三八、六元、六〇	同 九、五〇、二四〇
一九〇八年 同 三四、七三、九六	三八、一六、八〇	同 一〇、四〇、七〇
一九〇九年 同 三一、五三、八元	八七、四三、九〇	同 一五、二四、三〇
一九一〇年 同 三〇、八、五四、〇四	九、五三、九〇	同 二二、五四、三〇

亞爾然丁國貿易十ヶ年表

年 次	輸 入 額	輸 出 額
一九〇一年	一三、五九、七〇	一六、七、七六、一〇
一九〇二年	一〇、〇三、五六	一七、四六、七七
一九〇三年	一三、二六、六〇	三〇、九四、五四
一九〇四年	一七、三〇、五九	二四、一七、五五
一九〇五年	二五、一四、四〇	三二、八四、八四
一九〇六年	二六、九七、五三	二九、二五、八元
一九〇七年	二八、八〇、六三	二六、二四、三九
一九〇八年	二七、九七、七三	三六、〇五、四一
一九〇九年	三三、七六、〇五	三九、三〇、五八

費スル原料ハ今ヤ將ニ英國諸工場ノ壘ヲ摩サントス、斯ノ如  
キ北米ニ於ケル非常ナル活動ノ自然的結果トシテ歐洲殊ニ英  
國ノ製造家ハ其頗ル危地ニ陥リシヲ知ルヤ茲ニ英、佛、獨等  
ノ政府ハ北米市場ト競争ノ目的ヲ以テ盛ニ其屬領地並世界ノ  
到ル所ニ棉作ノ普及擴張ニ盡瘁スルニ至リシナリ  
左ニ全世界ノ棉産額ニ關スル統計ヲ掲ケ斯業發達ノ跡ニ就  
テ概念ヲ與ヘン

年 別	單位ハ五百封度入り捆千個トス	米國	印度	埃及	西爾古	土耳其	秘露	其他
一九〇七	三、五〇、二四六	一、二六	三〇	〇	〇	〇	〇	〇
一九〇六	二、三〇〇	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
一九〇五	三、六九二	九、九一	三二	三三	三三	三三	三三	三三
一九〇四	一〇、〇六一	一〇、九八	三二	三二	三二	三二	三二	三二
一九〇三	一〇、七五	九、九一	三二	三二	三二	三二	三二	三二
一九〇二	一〇、六〇	六、四一	一、四三	一、四三	一、四三	一、四三	一、四三	一、四三
一九〇一	一〇、三三	六、五二	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
一九〇〇	九、一七	二、四三	一、〇三	一、〇三	一、〇三	一、〇三	一、〇三	一、〇三
一八九〇	七、三一	一、五〇	〇、三二	〇、三二	〇、三二	〇、三二	〇、三二	〇、三二
一八七五	三、八三一	一、三六	〇、二	〇、二	〇、二	〇、二	〇、二	〇、二
一八六五	三、〇一	〇、五三	〇、九	〇、九	〇、九	〇、九	〇、九	〇、九



一九〇八 三、五〇二、五二一、二七五 四五 八〇一、八二二  
 一九〇九 九、八三三、七三三 三三 一〇七一、七〇〇  
 一九一〇 三、四八三、五八一、五五五 三〇 二八二、〇五二

前表ヲ見ルニ北米合衆國ニ於ケル年産額ノ増減ハ可ナリ大ニシテ之レニ伴フ相場ノ高低モ亦著シキヲ見シ、埃及ニ於ケル收穫ハ漸次増加シツ、アレトモ頗ル緩慢ニシテ且ツ耕作面積モ現在ハ灌溉ノ必要上限定セラル、印度ニ於ケル耕作ハ既ニ其產出ノ高點ニ達シタルカ如ク見ユ、蓋シ氣候、地味等棉樹ノ發育ニ適セスシテ其產額モ少ナク纖維ノ品質モ佳良ナラスト云フ

亞弗利加ニ於テハ英國棉花栽培協會 (British Cotton Growing Association) カ盛ニ試培シ好結果ヲ收メツ、アルカ如シ又西部阿弗利加ニ於テハ千九百七年ノ產出額一萬二千捆(四百封度入り)、東部阿弗利加ニテハ五千捆ナリキ

佛國ノ各殖民地ニ於ケル棉作ハ其進歩微々タリ、アルセリ  
 一。セネガール。スーダン。ダホメイ。マダカスカル。アンチル諸島、ニュー、カレドニア。印度、支那等ヲ合シテ千九百七年中僅ニ五百封度入り七千捆ヲ產出セルニ過キス

小亞細亞ニ於テハ獨逸會社保護ノ下ニ稍著シキ產額アリテ千九百七年中ニハ十二萬捆ヲ輸出セリ

南米ニ於テハ伯刺西爾、秘露、亞爾然丁等將來大ニ有望ナリ

墨國ニテモ可ナリノ棉作ヲナスモ其產額ハ經濟上ノ諸原因ヨリ甚シク制限セラル

北米、埃及、墨西哥及秘露ノ棉作ニ就キ踏査シタル技師ノ報告ヲ見ルニ秘露國海岸地方程本業ニ最モ有利ナル條件ヲ具備シタルハナシ即チ氣候ハ最モ棉作ニ適シ且地味肥沃ナリ、唯不便ヲ感スルハ用水ト勞働者ナリ、海岸地方ノ土地ハ頗ル廣漠ナレトモ其内綿作ニ適スルハ頗ル小部分ノ地タリ、即チアンデス山脈ヨリ流出スル河流ノ貫通スル部分ハ所謂水泉地ニ過キス、又勞働者ニ付テモ不足ヲ告ケツ、アルヲ以テ用水及勞働者ノ問題ヲ解決スルニアラサレハ折角廣大ナル地面モ之レヲ棉作ニ利用シ得スシテ空シク遺棄セサル可ラス兎ニ角目下ノ棉作場所ハピウラ (Pina) ラムバネケ (Lambayque) リベルタド (Liberad) アンカッシュ (Anash) リマ (Lima) イカ (Ica) 縣ノ各郡、タクナ縣ノサマ原野、ハウカルタムボ (Paucartambo) 郡(クスコ縣) ロレト (Loreto) 縣等(附圖參照)ニシテ年輸出額ヲ見ルニ

一九〇三年 七、五二一  
 一九〇四年 八、五三三  
 一九〇五年 九、四二一  
 一九〇六年 一〇、四四四  
 一九〇七年 一三、三九九

ニシテ更ラニ國內消費高ヲ見ルニ

一九〇三年	二、〇〇七、〇〇〇
一九〇四年	二、三六〇、〇〇〇
一九〇五年	一、一〇四、二七六
一九〇六年	二、一九、九七七
一九〇七年	二、四五、二六七

ナリ以上ノ輸出額並ニ國內消費額ヨリシテ總產額ヲ算出スルハ左ノ如シ

一九〇三年	九、五二一、五九九	四九七、五七〇
一九〇四年	九、八三三、七三三	五三三、八七〇
一九〇五年	一〇、六五五、二七六	五三三、八四三
一九〇六年	二、三六三、八四八	五五八、八五九
一九〇七年	一四、四四三、三四	五八一、四一

第二 秘露國ニテ栽培スル棉樹ノ種類

棉樹ハ錦葵科ノ一種ニシテ學名之レヲゴシビアム (Gossypium) ト云フ秘露國ニ於テ重モニ栽培セラル、棉樹ハゴシビアム、パーバセアム (G. Herbaceum) ニシテ俗ニ埃及棉ト稱セラル、モ其起源ハ亞細亞ニアリ且ツ當國ヘハ北米ヨリアップランド、シヨート、ステーブルヲ移植セルモノニテ埃及本國ニ於テ耕作セラル、ゴシビアム、パーバデン (G. Barbodense) トハ何等ノ關係ナシ主トシテ里馬附近ノ耕地(海岸ヨリ内地ヘ百、キロメートル) 及イカ縣ニ栽培セラル總シテ他種ヨリ遙ニ小ナレトモ尙時ニ「メートル」ノ

高キニ達シ且ツ其嫩芽ハ頗ル柔軟ナリ概シテ二年間生育スト雖耕作ノ方法ニ依リテハ四、五年間モ存續スルコトアリ、其繁茂セル葉ハ廣クシテ鈍ク且ツ淺キ缺裂ヲ有ス花ハ始メ淡黃色ニシテ後ニハ赤也ニ變シテ凋落ス萌ハ概シテ三個以上大抵ハ五個ノ苞室ヨリ成ル又纖維ヲ去リタル後ノ種實ハ其容テ比較的大ニシテ灰色ヲ帯ヒ毛茨タテリ

二 「ゴシビアム、ペリユービアナム」 (G. Peruvianum Cav.) 俗ニ之レヲ内國棉ト稱スイカ縣及ピウラ縣ニ栽培セラル此棉樹ハ美麗ナル灌木ニシテ二「メートル」乃至三「メートル」ノ高サニ及フコトアリト雖農家ハ最高ニ「メートル」半ニ之レヲ止ムト云フ又多年生ニシテ二十年以上モ生存シ得ト雖三年毎ニ新シク播種スルヲ最上トス蓋シ老樹ハ其產出高ヲ減シ且ツ各種ノ作害ニ遇フコト多クレハナリ其葉ハ銳キ缺裂ヲ有シ其花色ハ深黃色、花瓣凋落前赤色ニ變ス萌ハ三個又ハ四個ノ苞室ヨリ成リ又其纖維ハ甚タ長ク(時ニ五、ミリメートル) 以上且ツ粗ナル特質(殊ニピウラ產ノモノ然リ) ヲ有スルヲ以テ羊毛織物ノ類似品ヲ製スルニ適シ外國市場ニ於テハ之レヲ (Ful Rough) ト稱シ一ニ植物製羊毛ナリトノ讚評ナリ、當國ノ特産ニシテ世界何レノ所ニモ其類ヲ見ス會テ北米其他ノ諸國ニ試植セルモ全然失敗ニ了レリ、此種ノ棉花ハ現ニリヅアブル市場ニ於テハ全世界ノ産綿中「シー、アイランド」ヲ除キ最高價ヲ有ツト云フ、其種實ハ



小ニシテ纖維ヲ去リタル後ハ純潔且ツ平滑ニシテ黒色ヲ帯  
ビ特種ノ尖點ヲ有ス但シ此樹ノ生育ハ第一種ノモノヨリ遙  
ニ遅緩ナリ

三 「ゴシビアム、バーバデンヌ」(G. Barbadosse L.)秘露ノ各  
耕地ニ栽培セラレモノハ可ナリノ大木トナルト雖大サニ於  
テモ將タ勢力ニ於テモ到底第二種ノ棉樹ニ及ハス長尖葉ニ  
シテ前記二種ノモノヨリ多ク缺裂ス花大ニシテ其色深黄色  
ニ始マリ花瓣ノ下部ニアル紫色ノ汚點カ漸次花瓣ノ總ヘテ  
ニ擴カリ凋落ノ頃ニハ全ク變色ス莢ハ大抵三個ノ苞室ヨリ  
成ル又纖維ハ甚タ長ク精緻ニシテ且ツ絹ニ酷似ス種實ハ黒  
色ニシテ柔毛ヲ固着セス

此種中又「Sea Island」「Mihaha」及「Janovich」ノ變種  
ヲ有ス、重モニウワチヨ(Hincho)及スーベ(Supe)郡ニテ耕  
作セラル

四 「ゴシビアム、レリヂオサム」(G. Rejosam L.)海岸又森  
林各地方ニ發見セラル、野生樹ニシテ「ゴシビアム、ペリユ  
ービナム」ニ類シ樹ハ大キク且ツ發育強ク其容チ内國棉ニ  
類似シ花ハ深黄色ヲ帶フ而シテ此種類ハ野生ナレハ別ニ栽  
培スル者ナシ

埃及及内國綿ハ各特長アリテ地方ニ依リ之レカ適、不適ア  
リ例ヘハ内國綿ハ埃及棉ニ比シ水ノ不足ニ堪ヘ得ルヲ以テ良  
地ニ於テハ單ニ一年一回ノ灌溉ヲ以テ充分ナル收穫ヲ保證シ得

ルニ反シ埃及綿ハ灌溉ノ便アル程良好ナル結果ヲ得又内國綿  
ハ歐洲市場ニ於テ他種ニ比シ高價ナリト雖若シ灌溉ノ便ニシ  
テ宜シケレハ農家ハ埃及種ヲ擇フ蓋シ内國綿ハ二ケ年目ニア  
ラサレハ満足ナル收穫ヲ得ル能ハスト雖埃及綿ハ其耕作ノ初  
年ヨリ良收穫アレハナリ

第三 土地、水及氣候

既述セル如ク當國海岸地方ニ於ケル土地ノ一般狀況ハ最モ  
棉作ニ適シ永ク斯業ノ利益及繁榮ヲ保障スルモノナリ、而シ  
テ其耕作方法ハ河川ノ流域ニ沿フテ所在スル各原野ニヨリ多  
少ノ相異アルヲ免レヌ勿論其間自ラ共通ノ條件ナキニシモア  
ラスト雖各地方特種ノ事情ハ自然ニ其特有の農作法ヲ生スル  
ニ至ラシメタリ

抑モ海岸地方ニ於ケル土地ノ面積ハ實ニ廣大ナリト雖農作  
ニ適スル地面ハ頗ル狭小ノ部分タリ、即チアンデス山脈中ヨ  
リ流出スル河川ノ流域ニ沿フテ砂土ノ堤丘ニヨリ區域セラレ  
所謂「灌溉ナル、水泉地」ヲ形成スル部分ノミ耕作シ得ルモノ  
ナリ、而シテ當國海岸地方ノ表層ハ河流ニヨリテ多少規則的  
ニ持來サレタル土砂ノ沖積ニ其淵源ヲ負フモノニシテ此沖積  
物ハ海岸地方ノ夏季(日本トハ季節ノ反對セルヲ注意スヘシ)  
中アンデス山脈ニ於ケル降雨ノ爲メ河水増漲シ之レヲ下流ニ  
運ヒ來ルモノナリ而シテ最初ニ停滯スルモノハ最モ容積ノ大  
ナルモノ即チ各原野ノ上部ニ發見サル、モノハ大石ニシテ海

岸ニ近ク下ル時ハ次第ニ細小トナル即チ小石ヨリ土砂ニ、土  
砂ヨリ粘土トナルノ順序ナリ、サレハ土砂ノ深サハ海岸ニ近  
ツクニ從ヒ其度ヲ増スモノニシテ棉作ニ最モ適シタル輕キ硅  
酸質ノ土地ハラ、チーラ(La Chim)ピウラ(Piua)カタカオ  
ス(Catuaos)セチユーラ(Sechura)「ハリ」(Larin)「トラ」(Mala)

カニエテ(Cancha)イカ(Tea)「パル」(Palpa)「ナスカ」(Nasca)ロ  
タムン(Locumba)及モケグワ(Moquegua)ノ諸原野ニ存ス、然  
ルニ前記ノ順序ハ時々變更サル、コトアリ即チ水量ノ多キ時  
ハ大ナル石モ遙カ下流ニ運ハレ又反對ニ水量少ナキ時ハ原野  
ノ上部ニ細小ノモノヲ止メ置クコトアリ、是レ一定ノ地點ニ  
於テモ種々異ナリタル物質ノ積層スルアリ又同一ノ原野ニ於  
テモ種々異質ノ土地アル所以ナリ、概言スレハ原野ノ上方ニ  
位スル部分ハ石多ク比較的瘠地ニシテ海岸ニ近キ部分程表層  
堅緻ニシテ且ツ肥沃ナリ

上記ノ如ク土地ノ表層ハ假令同様ナル順序ヲ以テ沖積セリ  
ト雖一原野ニ於ケル總ヘテノ地面ハ悉ク同一ノ物質ヨリ成ル  
モノニアラス從ツテ農耕上ノ價值モ亦均シカラサルノ理ナレ  
ハ土地ノ肥瘠如何ヲ知ラント欲セハ必ラスヤ深キ注意ヲ以テ  
實地ノ踏査ヲ爲サ、ル可カラス

彼ノラムバエケ縣及ピウラ縣ノ海岸地方ノ如キハ山脈地ヨ  
リ遙ニ遠サカレテ以テ河流ニヨリテ持來サル、沖積ハ大ナ  
ル平原ヲ形成シ概シテ精緻ナル物質ヲ以テ組成セラル、之レ

ニ反シ南方海岸地方ニ向ヘハアンデスノ山嘴遙ニ近ク迄前進  
スルヲ以テ北方ニ比シ土地大ニ狹約セリト雖概シテ一體ノ土  
地ハ規則正シク海岸ニ向テ傾斜シ居ルヲ以テ各耕地間ニ水ノ  
分配ヲ容易ニシ灌溉ニ便ナルハ一見シテ明カナリ

棉樹ノ生長最モ強烈ニシテ多量ノ水分ヲ要スル時季即チ當  
半球ニ於ケル夏季間ハ河水増漲シテ充分ナル給水ヲナシ得、  
又此時季ニハ山嶺ニ於ケル降雨最モ多量ニシテ海岸ニ向キ饒  
多ノ水ヲ送り來ルノミナラス同時ニ巨量ノ沖積物ヲ持來ス  
ヲ以テ灌溉ノ方法タニ宜シキヲ得ハ是等ノ沖積物ヲ耕地ニ止  
メ置クコトヲ得可ク結局夏季ニ於ケル灌溉ハ同時ニ施肥ヲ意  
味スルコト、ナル現ニイカ縣(Ica)ノ耕地ニ於テハ此適例ヲ  
見ルヲ得ヘシ然リト雖或ル地方ニ於テ目撃サル、如ク土地ノ  
表面ニ餘リ急激ニ水ヲ疎通セシムルコトハ其結果トシテ貴重  
ナル沖積物ヲ持去ラル、ノミナラス極緻ナル物質ヲモ奪ヒ去  
ラレ結局土地ヲ利スル代リニ之レヲ毀損スル缺點アリト云  
フ

又河水ハ夏季ニ反シ冬季ニ於テハ大ニ減量スルヲ以テ河流  
ノ表面ヲ流ル、量ヨリモ濾過シテ來ル水量多キヲ以テ海岸ニ  
達スル頃ハ非常ニ清澄トナリ尙「ピウラ」河(R. Piua)「チン  
チャ」河(R. Chicha)「イカ」河(R. Ica)等ノ如キハ冬季ニハ  
時ニ全ク乾涸スルコトモアリト云フ

前記ノ如ク當國海岸地方ノ原野ヲ濕フス河流ハ分ツテ二種



トナスコトヲ得即チ(一)ハ時々水量ニ増減アルモ年中間斷ナキ所謂永久流(二)ハ冬季ニハ乾涸スルコトサヘアル間歇流之レナリ而シテ第一種ノ河流ニヨリ灌溉サル、耕地ニ於テハ前記ノ如ク冬季ノ水量ハ以テ土地ノ準備及播種ニ充ツルニ不足ナシト雖棉樹カ稍生長スルニ及ヒテハ不足ヲ告ケサルヲ得ス然ルニ恰モ此頃ニ至レハ河水モ亦増漲シ來リ特ニ十二、一、二月頃ハアンデス山脈ノ水源地ニ於ケル雨季ニ相當スルヲ以テ最も多量ノ水ヲ供給シ以テ生長盛ナル棉樹ノ要求ニ應ス又間歇河水ハ而カモ其來ルヤ時期遅ク且ツ至テ短期間ナル河流ニ灌溉ヲ依頼スル耕地ハ其土地ヲ構成スル硅酸質物質ノ深厚ニシテ且ツ細微ナル爲メ其地面ニ大ナル吸收力アリ以テ棉樹ノ栽培ヲ可能ナラシム此地方ニテハ内地產ノ「ゴシビナム、ベリビナム」(G. Peruvianum)一般ニ耕作セラル、カ其根ノ強キ發育力ハ土地ノ乾燥ニ能ク抵抗スルコトヲ得ト云フ又斯カル河流ノ貫通スル地方ハ甘蔗ニ代フルニ棉樹ヲ以テスル方遙ニ利益多シト云フ水ニ關シ注意スヘキ最要點ハ適當ノ時季ニ於テ土地ヲ耕耘シ播種シ得ル様成ル可ク早期ニ河水ヲ得ルニアリ故ニ農家ノ希望スル所ハ九、十月ノ頃ヨリ充分ノ水ヲ使用シ得ルニアリ(イカ及チンチャニ於テハ一、二月ニ耕耘スルコトアリ)

第四 產出額

農業ノ各工程ヲシテ容易ナラシメ收穫ヲ安全ニシ且ツ農家ニ對シテハ天災地變ノ多キ國人ノ未タ曾テ知ラサル自由ノ行動ヲ採ラシム、又各季節ノ間及晝夜間ノ氣温ノ差異ハ決シテ大ナラス

要之凡ソ秘露ノ海岸地方程棉作ニ對シ有利ナル條件ヲ具備スル處ナカルヘシ氣候ノ溫和・暴風、大雨ノ絶無ハ即チ前述ノ如ク規則正シキ收穫ヲ保障シ且ツ耕耘ノ勞力ヲ減ス春時ニ下種シタルモノハ氣温ノ確實ナル上昇ト同一歩調ヲ以テ生育シ得ルコトハ耕耘上最も肝要トスル所ニシテ秘露ノ海岸地方ノ此特權ヲ擅有ス又秋季ノ初メニ於テ晝夜氣温ノ差ハ蒞包ノ成熟ヲ助長スルニ力アリ又四季ノ別判然タル他諸國ニ於テ屢次經驗サル、如ク秋雨ノ爲メ折角開キタル棉花ヲ毀亡スル如キ危険ハ毫モ見ルヲ得ス又夏季中連續セル晴快バ棉花ノ產出額ヲ多カラシム蓋シ日光熱トヲ要スルコトノ多キ棉花ノ如キハ他ニ比類ナケレハナリ尙屢々海面ヨリ吹キ來ル軟風ハ含鹽水分ヲ伴ヒ來ルヲ以テ棉作ニ恩惠スルコト多シ何トナレハ棉樹ノ生育ニハ空中及土中ニ或一定量ノ食鹽ヲ要スレハナリ

上記ノ如ク最も天惠ニ富メル當國沿海地方ノ狀況ハ即チ其棉作ノ收穫ヲ大ナラシムルモノニシテ其作付面積ニ比シ產額ノ多キハ蓋シ世界中ニ比肩スヘキ場所ナカラン試ミニ次表ヲ

見ハ北米合衆國、埃及並印度ニ於ケル一噓ニ付最大、最小及平均ノ產出額ヲ知り得ヘシ

地名	最大額	最小額	平均額
北カコロリナ	二八 <sup>封度</sup>	一六 <sup>封度</sup>	一八 <sup>封度</sup>
南カコロリナ	二五	三四	二二
ジョージア	二〇六	二〇	一〇二
アラバマ	二〇八	一五	一四
ミシシッピ	二五二	一〇	二四
ルイジアナ	三三	二五	三〇
テキサス	三六	三三	二二
アーカンサス	三五	一八	二二
テンネシイ	二九	一五	一八
埃及	四八	二二	三〇
印度	—	—	一七〇

翻ツテ秘露國ノ各原野ニ於ケル產額ヲ見ルニ北方ラムバエケ原野(Lambayque)ニ於ケル「アブランド」棉(Upland cotton of G. Hirsutum)ノ一噓ニ對スル平均產出額ハ四百八十四封度ヨリ五百五十三封度ニ及ヒ最近時間墾サレタル土地ニテハ最多額一千三百八十四封度ヲ得タルコトアリシト云フ

中央部則チ里馬縣ノ各原野(Chancy)、「リマック」(Rimac)、「ウッチョ」(Huacho)、「チヨン」(Chillon)、「ルリン」(Turin)、「

マラ(Mala)等ニテハ一噓ノ產出三百六十封度ヨリ八百三十封度ニ及フコトアリ

カニエテ原野(Canite)ニテハ五百五十三封度ノ平均額、九百六十八封度ノ最高額ヲ產シ六百九十封度近クヲ產スルハ珍シカラスチンチャ原野(Chincha)ニ於ケル平均產額ハ一噓ニ付四百八十四封度ナリ

南方イカ原野(Ica)ノ上方ニ於テハ「アブランド」棉ヲ耕作セルカ一噓ニ付五百六十二封度ヲ產出ス、「ゴシビナム、バーバデンス」(G. Barbudense)ノ變種タル「シー、アイランド」ハバテイヅイルカ原野(Paitiva)ニ於テ最も大規模ニ耕作セラル、カ一噓ニ付三百八十八封度ヨリ四百四十二封度ヲ產ス

「ミタフイフイ」種ハラ、チーラ原野(La Chira)ニ於テ一噓ニ付四百九十八封度ヲ產シバゴイヅイルカ原野ニ於テハ其上方ニ於テ八百三十封度、下方ニ於テ五百五十封度ヲ產セリ又里馬農學校ノ試驗場ニ於テハ七百六十一斤ヲ產出シタリ

内國棉(G. Peruvianum)ノ產額ハ「アブランド」ミタフイフイ或ハ「シー、アイランド」等ニ比シ遙ニ渺ナシ此種ノ棉樹ハ主ニ最北部ニ方ルピウラ(Piura)、「セチユラ」(Sechura)、「カタカオス」(Caucos)及ラ、チーラ(La Chira)諸原野ニ於テ栽培セラル、カ初年ハ其產出極メテ少ナシト雖尙一噓ノ平均額百五十六封度ニ達スルヲ得次年ヨリハ二百三十五封度ノ平均產額アリイカ原野ニ於テハ同シク内國種ヲ培養スルカピウラニ於



テ産スルモノヨリモ其纖維柔軟ナルヲ以テ市場ニテハ之レヲ Moderate Rough Peruvian ト稱シビウラ産ノ Full Rough Peruvian ト區別セリ其平均産額ハ三百六十三封度ニ達ス 右ニヨリテ見レハ秘露國ニ於テ得ラル、棉收穫ハ他ノ棉産國ノ其レヲ遙ニ凌駕スルコトヲ知り得ヘシ一噎ニ付四百八十封度ハ此國ニ於ケル平均産額ト稱スルヲ得可ク北米ノ最高平均額三百八封度、埃及ノ三百九十封度及印度ノ七十封度ニ比シ多キハ一見シテ明瞭ナリトス

第五 産地及面積

序説ニ於テ述ヘタル如ク當國ノ棉産地トシテ知ラル、ハ(附圖參照)ビウラ。ラムバエケ。リベルタド。アリカッシユ。リマ及イカノ諸縣、タクナ縣、クスコ縣、ロレト縣ノ一部ニシテ就中ビウラ縣ニ於ケルフウラ原野、ラ、チーラ原野、里馬縣ノ各原野、イカ縣ノイカ原野等最モ著ハレ産出額モ亦大ナリ今上記各原野ノ棉作ニ關シ一々詳説スルハ其煩ニ堪ヘス且ツ比較的重要ナラサルヲ以テ茲ニハ其代表的産地ニ就キ概説スルニ止メム(附圖對照)

一 ビウラ原野

當原野ニハ主トシテ内國棉ヲ栽培ス抑モビウラ縣ハ當國海岸ノ諸縣下中氣候最モ暑ク且ツ夏季最モ長シ從ツテ寒氣ト霧雨トハ割合ニ輕微ニ且ツ晝、夜溫度ノ差少ナケレハ露害ヲ受クルコトモ亦稀ナリ

ヲ据付タリト聞ケリ

ビウラ河ノ近傍ニハ數多ノ水平地及低地アリテ毎時河水ノ増量ニ伴レ氾濫又ハ浸透ノ方法ニヨリ土地ニ濕潤ヲ加ヘ内國棉叢生該河ハ一ケ年内唯三、四ヶ月間水流ヲ見ルノミナレトモ屢々一月若クハ二月ノ末ニ於テ増水ノ爲ビウラ市ヲ浸スコトアリ斯ル時ハ五月又ハ六月頃迄流水ノ絶ユルコトナシ而シテ同市ヨリモ尙海岸近ク所在スルモノ即チ美ハシキカタカオス及セチユーラ原野ニシテ許多ノ運河ヲ通シテ河水ヲ引用セル外頗ル重要ナル數多ノ堰ヲ有シ洪水ヲ之レニ泄ヘ過剩ノ河水ヲ貯フ

カタカオス及セチユーラ耕地ノ土壤ハ甚タ濃厚ナル河流ノ土砂ヨリ成リ又多年間「アルゴバ」ト稱スル葦科植物ノ繁茂セシ所ナレハ其枝、葉ハ地ニ落チ腐蝕土ノ良地床ヲ形成スルヲ以テ非常ニ土壤ノ組成ヲ改善シタリ加フルニ殆ト全部ノ在面ハ頗ル吸收質ニ富ミ長時間濕潤ヲ保ツコトヲ得此地方ノ土地ハ永年間土人ノ所有ニ屬セシカ近時數多ノ地區ヲ放棄シタル結果トシテモンテ、ツイエホ(Monte Viejo)、チャト(Chato)カサ、グランデ(Casa Grande)、モンテ、ネグロ(Monte Negro)ホアン、ヰイルチエス(Juan Vilchez)、レオン(Leon)ガルハス、マタ(Galvos Mata)等ノ新規且ツ重要ナル農場ノ創設ヲ見タリ

此地方ノ農耕法ハ其灌溉制度及土地ヲ耕鋤セサルコトニ於

該縣ニ於テハ降雨ニ付奇ナル現象アリ即チ六、七又ハ十年目甚キハ十二年目ニ一回ノ降雨ヲ見ルノミナルニ土地ニハ棉作ニ充分ナル濕潤ヲ與フ若シ其間多少ノ降雨アレハ之レハ除外例トモ見ル可ク且又棉花ノ産出ニハ何等重要ノ關係ヲ有セサルコト之レナリ豊年ニハ降雨ハ大抵二、三月ノ頃十數日間連續シテ歇ムコトナケレハ土地ハ充分ニ濕潤シ且ツ幾何カノ水量ヲ蓄積ス而シテ此機ヲ利用シテ内國棉ヲ播種スルモノナルカ此年ニハ大ナル收穫アリテバイタ港(Baita)ヨリノ輸出額ハ平作ニ倍加ス

總シテ海岸ニ近ツク程收穫ハ可良ニシテ又一度降雨ヲ利用シ播種スレハ其後兩三年間ハ少シモ灌溉ヲ用ヒスシテ尙可ナリノ收穫ヲ得、勿論棉樹ハ漸次勢力ヲ失ヒ收穫モ亦量ト質ト共ニ減退シ順次ニ枯死スルヲ免レスト云フ

然ルニ斯ル豊年ハ近年餘リ其例ヲ見ス降雨ハ千八百九十一年以來其量多カラズ從來多額ヲ産出セシ耕地ハ現今頗ル僅少ノ産出ヲナスニ過キスサレハビウラ縣於ケル良質ノ棉花ハ最大ナル注意ヲ以テ灌溉セル土地ニノミ産出ス(特ニカタカオス。セチユーラ、ラ、チーラ原野)又或ル耕地ニ於テハ蒸汽唧筒ヲ以テ灌溉用水ヲ得ト雖其費用多大ニシテ到底運河ニ依リ灌溉スルノ失費少ク良結果ナルニ如カスト云フ英商「ダイカン、フォックス」商會(Duncan Fox & Co.)ハ其所有地チヨファイラ(Chofira)ニ灌溉用トシテ百二十五馬力ノ蒸汽唧筒

テ全ク獨特タリ即チ水深ク且ツ廣ク掘リタル畦溝ニヨリ分配セラル而シテ此畦溝中ニ水ヲ湛ユル時ハ水ハ徐々ニ濾過シテ地中ニ浸潤スルニ至ル此畦ハ幾何ノ間隔ニ通スヘキハ土地ノ肥瘠如何ニヨリ異ナルモ通帯七、八、九、十又十一「グアラ」(「ウアラ」ハ〇、八三六、メートル)ヲ以テ限度トス若シ河水ニシテ充分ナル時ハ灌溉ハ大底一週間以上モ持續スルヲ以テ充分ニ土地ニ濕潤ヲ與ヘ如何ナル植物ト雖發芽セサルコトナシト云フ

又灌溉ハ播種前一度之レヲ爲スノミニシテ翌年迄ハ更ラニ之レヲ繰返ス必要ナシト雖農家ハ時トシテ屢々水ヲ施スルコトアリ注意スヘキハ内國棉ニ灌溉ヲ過クル時ハ却テ大ナル害ヲ與ヘ産額ヲ減スルコト特ニ老樹ハ輕キ灌溉ヲ要シ多キニ過クレハ其害甚シキコト之レナリ

種子ハ各畦溝ノ兩側ニ六、七又ハ八「グアラ」ノ間隔ヲ取リテ凹孔ニ之レヲ蒔キ左右ノ畦ニ於ケル孔ト併行セサル様交錯ニ之レヲ播カサル可ラス蓋シ如斯ル所以ハ二三年目ニ於テ非常ナル發育ヲ爲スヲ以テ各樹間ノ風通シヲ良好ナラシメンカ爲ナリ

初年ニハ各棉樹間ニ瓜、大豆、玉蜀黍又ハ他種ノ棉(埃及棉ノ如キ)ヲ栽培スルコトアルカ是等ノ副作物ハ棉耕地ノ畦溝費ヲ償フテ餘リアリト云フ内國棉カ一定ノ高サニ達スル時ハ過剩ノ樹ヲ除去シ一穴ニ付二、三本ヲ殘ス而シテ高サ一「メ



「トル」半位ニ生育スレハ大抵截尖シテ高く生長スルヲ防ク  
 最初ノ收穫ハ八ヶ月目ニ之レヲ得ト雖其量至テ寡ク大抵百  
 「ヴァラ」平方ニ付「カルガ」又ハ二「カルガ」(一「カルガ」ハ  
 三百六十四封度)ナルモ翌年ヨリ三、四「カルガ」又ハ六「カル  
 ガ」ヲ得テ如何ナル場合ト雖平均三「カルガ」ヲ下ルコトナシ  
 收穫ノ時期ハ一定セズ年内ヲ通シ何レノ時期ヲ問ハス摘採ス  
 ヘキ棉花アリト雖收穫ノ最モ盛ナル期ハ一ケ年中二回アル  
 ヲ以テ通常稱シテ二回ノ收穫アリト云フ所以ナリ而シテ其第  
 一回ノモノハ稱シテ「サン、ホアン」收穫ト云ヒ六月ヨリ、十  
 月マデノ間、第二回ハ「クリスマス」收穫ト稱シテ十二月ヨリ  
 二、三月迄ノ交トス而シテ以前ハ重キヲ第二期ノ收穫ニ置キ  
 シカ近年全ク其慣例ヲ異ニシ農家ハ此收穫ヲ犧牲ニ供シ一ケ  
 年單ニ一回ノ收穫ヲ以テ「サン、ホアン」收穫ヲ以テ「満足ス  
 ル」方遙カニ收益多シト信スルニ至レリ

棉花摘ハ大抵婦女、小兒ノ仕事ニシテ男子モ亦之レニ從事  
 スルコトアリト雖決シテ努力ヲ要セサルヲ以テ最モ婦人小兒  
 ニ適ス時トシテハ二個ノ袋ヲ携ヘ摘取リナカラ白棉ト色棉ト  
 ヲ區別スルコトアリ總シテ指端ニテ棉花ノミヲ抜キトリ蒔包  
 ハ空虚トシテ殘シ置クコト我國ノ收穫法ト相同シ二十五英斤  
 一「アローバ」ノ摘取賃金二十仙乃至二十五仙程度ニシテ摘取  
 ノ困難ナル際ハ四十仙乃至六十仙ヲ給ス尙棉耕地ニ於テ支給  
 スル賃銀ハ種々ノ事情ニヨリ變動アリ洪水ナキ年即チ平年ニ

ハ勞動ナキ代リニ土人モ閑散ナルヨリ一日五、六十仙ニテ滿  
 足スト雖洪水ノ年即チ豐年ナレハ播種ノ爲勞動者ヲ要スルコ  
 ト多ケレハ常ニ二倍又ハ三倍ノ賃銀ヲ支拂フノ要アリ

收穫ノ時期ニ至レハ棉花ハ枝ナカラ乾燥シ蒔包ヨリ容易ニ  
 脱落ス良質ノ棉ヲ耕作スル地ニテハ常ニ清潔ニ注意シ塵芥及  
 落葉ヲ燒盡ス若シ意ヲ成熟シタル棉花ハ地上ニ落チ汚染ス  
 故ヲ以テ收穫ハ必ス適當ノ時期ニ爲サ、レハ價値ヲ減少ス  
 内國棉ハ織緯長ク且頗ル粗ニシテ之レニ觸レハ恰モ羊毛ノ  
 如キ感アリ英國ノ市場ニテハ「Rough Peruvian」トシテ知ラ  
 ル、コト前記ノ如クナルカ此特質ハ海岸ニ近キ多少硝石質ノ  
 土地産程多ク現ハル而シテ最良質棉花ハセチューラ(Sachura)  
 近傍耕地ヲ、チーラ(La China)ノ下方ツイチャール、アンド、  
 コラン(Vielhayal and Colin)及「マンナ」(Minea)耕地附近ニ  
 産ス

此地方産内國棉ノ大部分ハ白色ナレトモ何レノ耕地ニ於テ  
 モ必ス多少異レルル色棉ヲ産ス即チ濃鼠、薄鼠、深褐色及紫色  
 等ノ色棉アリ遠キ以前ニハ鼠色ノ棉花ハ白色ノモノヨリモ高  
 價ニ賣レ行キシカ現今ハ海外ニテ大ナル需要ナク唯僅ニ土人  
 カ之レヲ購買シ毛布、「ハムツモク」及荷囊ヲ製スルニ用フル  
 ノミ從テ農家ハ一般ニ白色棉花ノミノ産出ヲ望メリ  
 既ニ一言セルカ如ク大體ヨリ見レハ秘露國海岸地方ノ氣候  
 及土地ハ最モ棉作ニ適シ何等ノ障害ヲ受ケサルカ如キモ詳カ

ニ其病害ヲ檢スレハ凍結及數種ノ虫害ヲ擧ケ得ヘシ

凍結ハ之レヲ「イエロ」(Helo)ト云ヒ棉花ノ纖維萎縮固結  
 スルヲ云ヒ其原因ニ付テ或ハ露滴ニ及ホス太陽ノ光線作用ナ  
 リト云ヒ或ハ寒氣ノ潮流、海面又ハ山嶺ヨリ襲來スルニ歸シ  
 未タ定説ナキモ要スルニ氣候ノ激變ニ因ルハ殆ト疑ヲ容レヌ  
 俗ニ「赤南京蟲」ト稱スル害蟲ハ俗ニ汚レ棉ヲ生スル原因ニシ  
 テ屢々大害ヲ及ホス嫩キ棉包中ニ入り其汁液ヲ吸ヒ去リ白色  
 ノ纖維ハ汚黒色ト變シ其品質ヲ劣等ニシテ産出額ヲ減少セシ  
 ム

以上ノ外幼蛾、白蟻其他若干ノ小蟲アリテ幼弱ナル棉樹ヲ  
 害シ又老樹ハ寄生植物ノ爲メ大ニ其收穫ヲ減スルコトアリ又  
 土地カ開墾間モナク殊ニ砂礫質ナル時ハ白蟻等ヲ發見ス斯ル  
 時ハ播種ヲ再ヒスルノ要アリ

緑棉ノ歩合ヲ知ルハ最必要ナリト雖産地ニヨリ異ナレリ例  
 令ハセチューラニ於ケル三百六十四封度ノ生棉ヨリハ百三十  
 五乃至百三十九封度ノ緑綿ヲ得、ピウラニ於テハ同量ノ生棉  
 ヨリ百二十七乃至百三十封度又ラ、チーラニ於テハ百二十乃  
 至百二十七封度ノ緑綿ヲ得

各棉耕地ニハ大抵棉花ノ壓搾包裝機ヲ備付クルモカタカオ  
 ス及セチューラ農場中ニハ未タ之レヲ備ヘサルモノアル由ナ  
 リ然レトモ大小ノ農場附近ニ出張所ヲ有スル棉花買入商ハ自  
 ラ棉繰機械及壓搾機ヲ設備ス棉花ハ大抵驢馬ニヨリ運搬セラ

ル、ヲ以テ其壓搾機ニ依ル包裝モ小ニシテ普通百六十封度又  
 ハ百七十封度ヲ以テ一捆トナス只英商「ダンカン、フオック  
 ス」商會ノ有スル壓搾機ハ一捆ニ付三百四十封度乃至四百封  
 度ヲ秤量ス

ニラ、チーラ原野

本原野ハピウラ縣「ラチーラ」河(Rio de la China)ノ流域ニ  
 所在シ耕適地ハ頗ル良質ノ沖積物ヲ以テ深く蔽ハレ灌溉シ得  
 ヘキ地面兩岸ヲ通シテ五萬五百「エクタレア」アリ大部分ハ  
 「アルガロバ」(豈科植物)ノ森林ヲナス以前ハ河水ノ氾濫スル  
 部分ニ限リ棉作ヲナセシカ近時ハ蒸氣唧筒ヲ以テ灌溉スルモ  
 ノアルニ至レリ當國政府モ亦夙ニ技師ヲ派シテ研究セシムル  
 所アリ目下秘露組合ヲシテ右岸ニ運河ヲ開鑿セシメツ、アリ  
 故ニ此原野ハ灌溉法サヘ充分ニ研究セラルレハ重要農業地ト  
 シテ豫想セラル灌溉ノ方法及耕作法ハ「カタカオス」ノ其レニ  
 異ルコトナシ

本原野ノカタカオス原野ニ優ル所ハ灌溉用水ノ多量ニシテ  
 年中何時ニテモ播種シ得ルニアリ重モナル耕地ハSan Francis-  
 sco, La Peña, La Hoya, Pueblo, Nueva Malinas, Samán, Incecoiti  
 Ho, Sullana 等ナレトモ農家ハ未タ經驗ニ熟セズシテ秘訣ハ  
 ニ灌溉ニアリトシ其用量ヲ超過シ土地ニ不適當ノ濕潤ヲ與ヘ  
 又ハ同一ノ地面ニ異ナリタル數種ノ棉樹ヲ併植シ又「バナ  
 」ヲ栽培シ爲メニ思ハシカラヌ收穫アルハ畢竟土地ノ惡シ



キカ將タ用水及氣候ノ不良ナルニ基因セスシテ全ク農家カ實  
際上ノ智識ヲ缺如セルカ爲メナリ

### 三 里馬附近

當國海岸地方ノ中央部ニ位スル諸原野即チ里馬縣ニ於ケル  
リマック(Rinne)、チヨン(Chillon)、チヤンカイ(Chinay)、ウ  
アチヨ(Huacho)、パテイウイカ(Pativica)、サンタ(Santa)  
ルリン(Lurin)、マラ(Mala)、カニユテ(Catete)、及イカ縣ニ於  
ケルチンチャ(Chincha)、ピスコ(Pisco)ニ於テ專ラ栽培セラル  
ル棉種ハ通俗ニ埃及棉ト稱スルモノニシテ「ゴシビナム、ハ  
バセナム」(G. Herbaceum)ノ一種ナリ

本種ハ他種ニ比シ成長ノ度大ナラス所謂亞細亞棉ト稱セラ  
レ最初ハ北米ヨリ移植シタルモノナルカ之レヲ埃及棉ト俗稱  
スル起原ニ就テハ何等知ルヘキナシ

上記ノ如ク此棉種ハ其生長ノ度大ナラサルモ土地、水及氣  
候ノ適良ナル土地ニテハ殆ト灌木ニ類スル發育ヲナス又本種  
ハ多年生ナレトモ里馬、チヨン、チヤカイ等ノ疲勞セル土地  
ニテハ僅ニ二回ノ收穫ヲ得ルニ過キス即チ二ケ年毎ニ更植ス  
ト云フ

此邊ニ於ケル棉ノ耕作ニハ充分ノ注意ヲ以テ土地ヲ準備セ  
サル可ラス即チ播種前幾分カ唧耘地ヲ要スルモ一度鋤キタル  
後急劇ナル耕作法ヲ避ケ成ル可ク早期ニ耕耘(浸水並ニ鋤返  
シ)ヲ始メ各耕作間ニ一定ノ時利ヲ隔ツルコト肝要ナリ蓋シ

斯クセハ最モ能ク土壤ヲ打返シ雜草及昆蟲ヲ除去シ得ルヲ以  
テ農家ハ早ク四、五月頃ヨリ鋤返シニ着手スルヲ常トス土壤  
ヲ打碎クコトハ土地カ充分ニ濕潤ヲ保ツ際之レヲ行ヒ其後ニ  
ハ直チニ耙シテ再ヒ土塊トナルヲ防カサル可ラス而シテ土地  
ノ必要ニ應シテ三、四回乃至五回縱横ニ之レヲ鋤返シ直チニ  
耙ヲ當テ其後注意シテ雜草及草根ヲ除去シ最後ニ地均シヲ施  
シ畝ヲ作ル、近年ハ蒸汽鋤ヲ使用スルモノ多キヲ加ヘ耕作上  
多大ノ便益ヲ得ルコト、ナレリ

畝ト畝トノ間隔ハ土地ノ肥瘠ニヨリ異ナルモ肥沃ノ地ハ一  
「メートル」四分ノ一、瘠地ハ九十「センチメートル」乃至一  
「メートル」ナリ

播種ハ十月、十一月ノ頃ヲ最モ適當トナスモ時トシテ十二  
月ニ至リ之レヲ行フコトアリ、然レトモ此ノ如キ晚種ハ植物  
ノ生長ニ好適ナル氣溫ト水利ノ時期ヲ失シ其結果收穫期ヲ遲  
カラシメ其量ヲ減スルニ至ル總シテ幼弱ナル埃及棉ハ或種蛆  
蟲ノ害ヲ受クルコト多ク右ハ灌溉用水ノ持來タス所ナルヲ以  
テ埃及棉種ヲ栽培スル土地ハ其幼弱ナル間ハ灌溉ニ賴ラスシ  
テ生長シ得ルニ足ル丈ケ充分ナル濕潤ヲ保タシメサル可ラス  
種子ハ約二十四時間之レヲ水ニ浸シタル後畝ノ一側(下部  
ヨリ約十「センチメートル」上方ニ)ニ凹孔ヲ穿チ其中二十二  
個乃至二十個ノ種子ヲ埋メ各孔ハ五十乃至七十「センチメー  
トル」ノ間隔ヲ保タシム、播種ハ大ナル注意ヲ以テスルノ要

アリ何トナレハ若シ土壤ヲ掩フコト多キニ失センカ種苞ハ其  
土壤ヲ貫通スルニ充分ナル勢力ナキヲ以テ少ナクトモ不規則  
ナル出芽ヲ免レス故ニ最モ安全ナル程度ハ二又ハ三「センチ  
メートル」ノ深サヲ以テ掩フニアリトス

嫩芽カ最初ノ葉ヲ伸ス頃ハ頗ル汁氣ニ富ミ且孱弱ナルヲ以  
テ屢々汁吸虫ト稱スル害蟲ノ侵ス所トナリ兩斷セラレ枯死ス  
ルハ勿論近接セル發芽ニモ其害ヲ及ホスコトアリ故ニ農家ハ  
播種ノ際一孔ニ付二十個迄ノ種子ヲ投ス其中ニハ健全ナルモ  
ノモアルヲ以テ再ヒ播種スルノ勞ヲ免ル、ト云フ猶ホ此害蟲  
豫防ニハ既記ノ如ク灌溉用水カ此害蟲ノ發育ヲ助長スルモノ  
故最初ノ内ハ成ル可ク灌溉ヲ施サシテ棉樹ノ生育スル準備  
ヲ土地ニ與ヘサルヘカラス

播種後ニ於ケル最初ノ灌溉ハ充分ノ注意ヲ要ス若シ水流強  
キニ過クレハ未タ充分ニ固マラサル土壤ヲ崩壞スルコトアル  
ヘシ又砂礫多キ土地ニハ屢々灌溉セサルハ嫩芽ハ乾涸ノ土地  
ニ生育シ能ハサルヘシ、棉樹カ多少ノ發育ヲナシ汁吸蟲ノ危  
害去リタル後チニハ各孔ニ三、四本ノ樹ヲ殘シ他ハ皆之レヲ  
拔去ルモ其運ヒニ至ル間ニハ往々種々ノ昆蟲ヨリ害ヲ受クル  
コトアリ斯カル時ハ夜間ノ灌溉ニヨリ之レヲ除キ得ヘシ水ハ  
此等ノ寄生蟲ヲ悉ク流シ去ルヲ以テ翌朝ハ皆斃死ス、棉樹ノ  
成長ニ伴レ雜草モ亦發育スルヲ以テ充分之レヲ除去スルコト  
四、五回ナル可シ然ラサレハ雜草ハ棉樹ヨリモ早ク生長シ目

的ヲ失フヘシ灌溉ノ度數ハ水ノ供給ト植物ノ要求度合トニヨ  
リ定メサル可ラス、若シ灌溉度ニ過クレハ植物ハ褪色症ニ罹  
リ甚タシク虛弱トナル、之レニ反シ永キ早魃ノ結果ハ開花生  
熟ノ期ヲ失シ產出額ヲ減少セシム

棉樹カ開花生期ニ達シ種實カ固マリツ、生育スルノ際ハ即  
チ最モ熱ト水ト潤澤ニ要スル時期ニシテ此ニ要素ハ即チ蒞  
實ヲ大ニ産出額ヲ多カラシム

土地ノ種類ニヨリ收穫前一、二週間若クハ三週間灌溉ヲ休  
止スルコトアリ又此邊ニモ凍結ト稱スル災害アリ花及種實ヲ  
落トシ甚シキハ新芽ヲ凍焦セシムルコトアリ、此現象ハ海岸  
附近ニ最モ多ク三、四月ノ候早天ニ伴フ冷氣ハ之レカ原因ヲ  
爲スモノト信セラル棉樹ノ蒞ハ五月ニ入り開キ初ムルヲ普通  
トスルモ乾燥セル砂礫質ノ土地ニテハ收穫時期少シク早シ收  
穫ハ通常五月ヨリ九月ニ至ル間ニ二回又ハ三回ニ行ハルモノ  
ニシテ棉摘ミハ總ヘテ分量勞働ニヨリ二十五斤入一「アロー  
バ」ニ付二十乃至二十五仙ヲ支拂ハル此收穫時期ハ棉作業カ  
最モ多數ノ勞働者ヲ要スル時期ニシテ若シ收穫遅ル、時ハ棉  
花ハ地上ニ落チ汚損スヘシ

第一回ノ收穫後ハ猶ホ數多ノ幼蒞殘存スルモ是等ハ一回ノ  
灌溉ヲ以テ充分ニ生育シ得ヘシ、總シテ棉花ノ摘採ニ注意ヲ  
要スルハ葉及蒞實ノ破片ヲ混入セサルニ在リ然ラザレハ大ニ  
市價ヲ減墜セシム



收穫後九月ヨリ十一月ノ間ニ於テ棉樹ハ成ル可ク短ク之レヲ刈取リタル後チ除草ヲ行ヒ土ヲ掘返シ時ニハ肥料ヲ施シテ再ヒ根ヲ土ニテ掩フ、然レトモ斯ク生長シタル棉樹ハ新播種ノモノヨリモ劣等ナル棉花(假令地方商人ハ何等ノ區別ヲナサ、ルモ)ヲ産スルヲ以テ近時ハ北米合衆國並ニ埃及ノ如ク毎年新タニ播種スルモノ多キヲ加ヘタリ

埃及棉ノ種類ハ多毛ニシテ其剥皮ハ内國棉ヨリモ容易ニシテ且其種糲ハ純一ナリ歐洲ニ於テハ家畜用食料トシテ尊重セラル、此邊ニ在ル大部分ノ農家ハ小規模ノ棉作ヲナスヲ以テ種拔、俵裝等ニ必要ナル器具ヲ備ヘス生棉ノ儘之レヲ織布會社ニ賣渡スカ又ハ之レヲ線棉工場ニ送致ス千九百三年ニ於テ生棉ハ「キンタール」(「キンタール」ハ百斤)ニ付六「ソル」ヨリ六「ソル」ニ十仙ヲ値ヒセシカ千九百四年ニハ七「ソル」五仙ヨリ八「ソル」ニ賣行ケリ而シテ現今耕作費トシテ「フアナガタ」(フアナガタハ凡ソ我六反四畝餘)ニ要スル金高ハ新播種三百「ソル」乃至四百「ソル」、根刈取リモノハ其半額ナリトス、而シテ「フアナガタ」ノ收穫ハ二十五「キンタール」ヨリ三十、四十、五十「キンタール」ニ至リ時トシテハ六十「キンタール」ニ達スルコトアリト傳フ以テ近時棉作業ノ利益如何ニ多キヤヲ見ルニ足ラン

棉線工場ハ數ヶ所アリテ線棉及壓搾包裝ヲ請負ヒ其對價トシテハ種實ヲ得ル外「キンタール」ノ棉花ニ付二十五仙乃至三十仙ヲ徴ス

今六十個ノ線棉齒輪ト一個ノ手緊メ包裝ト有スル棉線工場一日ノ費用ヲ掲クレハ左ノ如シ(但シ一日平均ノ線棉高ハ三十三「キンタール」ニシテ之レヲ十五ノ捆ニ納ムルモノトス)	十仙ヲ徴ス
技 手	一人 三「ソル」三十三仙
線 棉 人 夫	一人 一「ソル」五十仙
場内運搬及印付ケ	一人 一「ソル」四十仙
壓 搾 夫	二人 三「ソル」六十仙
棉 擔 夫	二人 二「ソル」
火 夫	一人 六十仙
薪 木	三「ソル」
十五捆ノ包裝棉夫	十「ソル」五十仙
鐵 條	三「ソル」
索 及 樹 脂	五十仙
油 脂	一「ソル」
臨 時 費	一「ソル」
合計線棉作業費	三十一「ソル」四十三仙
船積港迄ノ運賃及船積賃	八「ソル」九十一仙
費用 合 計	四十「ソル」三十四仙
線棉ノ大部分ハ内國ノ紡績會社ニ賣渡ス其相場ハ	一九〇二年 一「キンタール」ニ付 十五「ソル」
	一九〇三年 同 二十「ソル」

一九〇四年 同

二十七「ソル」乃至二十八「ソル」

ナリシカ若シモ之レヲ英國リヴァプール市場ニ委託販賣セハヨリ以上ノ高價ニテ買手ヲ見出スコト容易ナリ、猶ホ直接佛國、獨逸、西班牙及伊太利へ輸出スルコトアリト云フ

永年耕作ノ爲メ土壤疲勞シ又ハ不良灌溉法ノ爲メ粘泥ヲ洗去セル土地ヲ以テ猶ホ満足ナル收穫ヲ得ンニハ勢ヒ施肥ノ必要ヲ生ス可シ、而シテ現今農家カ使用スル肥料中石灰ハ普通其值高キモ粘土質ノ土地ニテハ「エクタレア」ニ付五、六噸、輕土質ノ地ニテハ二、三噸ノ割合ニテ使用セハ頗ル有効ナルコトアリ

若シ石灰ヲ多量ニ施サハ同時ニ他ノ有機質ノ肥料ヲ使用スヘカラス、斯克セハ多量ノ窒素及其他ノ有機物ヲ失フヲ以テナリ、例ヘハ當國產「グァノ」(鳥糞)ノ如キハ同一年ニ再用セス必ス一兩年後ニ施スヘキモノトス

「グァノ」(鳥糞)ノ分析表ヲ見ルニ普通

磷 酸	六一五%
剝 篤 亞 斯	五—一〇
窒 素	五—一五

ヲ包含セルモ時トシテハ劣等ナル土壤ト異ナラサルモノアリテ其撰定ニハ大ナル注意ヲ要ス、而シテ此肥料ハ土地ノ肥瘠ニヨリ「フアナガタ」ニ付二噸乃至六噸ヲ施肥スルヲ得

其他肥料トシテハ甘蔗黍ノ灰最モ有効ニシテ「グァノ」ヨリ

モ少量ヲ使用シテ可ナリ即チ「フアナガタ」ニ付一噸半乃至二噸ヲ普通トス

此邊ニハ主トシテ埃及棉ヲ耕作スル外パティヰイルカ(Pativilan)及ウアチヨ(Huachio)附近ニ於テハ「ミタソヒフヒ」及「シイ、アイランド」ヲモ栽培ス

四 カニエテ原野

本原野ハカニエテ(Cañete)河ニヨリ灌溉セラレ甘蔗ノ栽培ヲ第一トシ之レニ次クモノヲ棉作トナス近年甘蔗作ヲ止メテ棉作ニ従事スルモノ多キニ至レリ今同河ノ右岸ニ於ケル棉作面積ヲ見ルニ

地 名	面積
Aroua	五〇「ソル」ガサ
Cuiva	二〇〇
Chilcal	一〇〇
Carro Alegre	一五〇
El Chombo	一〇
Huancará	一五〇
San Benito	三〇〇
San Isidro	一五〇
Santa Bárbara	五〇
Umanu	一〇〇

ニシテ河ノ左岸ハ



地名	面積
Herbay Alto	110 <small>「ヘキタ」</small>
Herbay Bajo	40
Palo	40

總計

1,370「フアネガタ」  
（六反四畝餘ナリ）

本原野ニ於テ栽培スル棉種ハ「G. Hirsutum Tod」ニシテ通俗ニ埃及棉ト稱セラル、モノニシテ米國ノ「アップランド、ロング、ステープル」ニ近似ス、當國ニ於ケル用途ハ専ラ「トク」ヨリト稱スル厚地綿布ノ製織ニ在リトス、播種ハ十月、十一月ニ於テシ、氣温モ亦此頃ヨリ上騰シ始メ華氏七十三度ヨリ三月頃ニハ最モ氣温高クシテ八十七度ニ上リ四月ヨリ八月迄ハ漸次下降シ六十二度ニ至ル

棉樹カ凡ソ〇・一〇ヨリ〇・一五「メートル」ノ高サニ成長シタル時「グアノ」(鳥糞)ヲ施肥ス、其分量ハ土地ノ肥瘠ニヨリ異ナルト雖「フアネガタ」ニ付四噸内外トス

灌溉ノ度數モ亦土質ニヨリ異ルモ三十回ヲ以テ普通トスルカ如シ、又本原野ニ於テハ最初ノ收穫終了後ハ灌溉ヲ施サス、且特ニ注意スヘキハ開花ノ頃夜間灌溉セハ落花ノ惟レアルコト之レナリ尙本原野ニ於テハ嫩芽後ト收穫前トハ灌溉ヲ中止スルヲ要ス、播種後約三ヶ月ニシテ開花シ初日ハ淡黄色、第二日ハ紅色ハ變シ、第三日ニ凋落ス其際ハ最モ熱ト日光トヲ要シ之レヨリ棉花ハ漸次成熟ノ期ニ向フ

フリヴァアブルニ輸出ス、但シ一封度ノ運賃ハ約一片内外ナリ

五 チンチャ原野

チンチャ河灌溉原野ニシテ一體ニ海岸ニ向テ傾斜シ Chincha Alti ハ葡萄ノ栽培ヲ以テ著ハル土地良質ニシテ吸收力ニ富ミ河水ノ絶ユルコトアルモ大ナル害ヲ受ケスイカ及ビウラノ原野ニ比シ敢テ遜色ナキモ海面ニ向テ露出スルヲ以テ氣温高カラス、乾燥ノ度少ナキヲ以テ内國棉ノ生育ニ適セス從テ之レヲ栽培スルモノナシ總シテ此邊ニ生スル果實ハ甘味少ナク葡萄ノ如キモイカ産ノモノニ比シ汁氣ナシ此原野ニハ主トシテ埃及種ヲ栽培シ「シー、アイランド」モ試培セラル

播種ノ好時期ハ十月、十一月ナリト雖河水ノ増漲ハ翌年ノ二月、三月ナレハ用水ニ不足スルコト甚シト雖 Haja Redonda, San José, San Rojas, Iaran 等ノ耕作地ニ在リテハ En Bartolito 稱スル特殊ノ耕作法ニヨリ五月、六月ニ下種シテ可ナリノ收穫ヲ得ル外副産物トシテ大豆ヲ併植ス而シテ此法ニ依ル棉作ハ殆ト一ヶ年後收穫シ得ヘシト云フ

此邊ニ於ケル埃及棉ハ大抵四ヶ年間收穫シ得「フアネガタ」ニ付平均ノ產出額ハ二十「キントール」トシチンチャ原野一ヶ年ノ產額ハ線棉三萬五千「キントール」トス

六 イカ原野

本原野ハ近傍ニ大ナル砂地アルト、海岸ニ遠キカ爲メニ氣

收穫ハ第一回ハ五月(二年作ノ棉)及六月(一年作ノ棉)ノ二回ニ行ハレリフリヴァブル市場ニ於テ最モ高値ヲ呼フ、八、九月迄ニ農家ハ其產物ヲ輸出セン爲メ大ニ摘採ヲ急クノ風アリ、「フアネガタ」ニ付平均產出額ハ四十「キントール」ニシテ良地ニテハ七十「キントール」迄ヲ收穫スト云フ

凍結ニハ春ノ分ト秋ノ分トアリ第一ノ凍結ハ八、九月ノ頃氣温ノ激變ニヨリ生ス故ニ九月播種スルモノナシ、第二ノ凍結ハ秋ヨリ冬ニ入ル時同シク氣温激降ニヨリ發生スルモノナレハ成ル可ク早熟ノ種ヲ擇ハサル可カラス、收棉ハ百斤袋トシテ馬背ニヨリ綿繰工場ニ搬送セラル綿繰工場ハ Herbay Alto Huancari 及 San Benito ト稱スル耕地ニ設置シアリ又 Suon Vicente ト稱スル處ニ一工場アリ各小耕地ノ綿繰業ニ從事ス

本原野産綿ハ毎年五月ニ入レハセルロ、アスール港(Cerro Azul)ヨリカヤオ又ハ歐洲ニ向テ輸出セラレ其仕向市場ハ第一内國紡織會社ト第二ハリヴァブルヲ主トシバルセロナ、アール、ブレメン、ハンブルグ之ニ亞ク港ナリトス

秘露産埃及棉ハリヴァブル市場ニ於テ「Smooth Peru-vian」ト稱シ左ノ五階級ニヨリ相場ヲ付セラル  
(1) Middling. (2) Fair. (3) Good Fair. (4) Good. (5) Fine. Middling ト Good トノ差ハ一封度ニ付「片ナリ」農家ノ多クハ産棉ヲ里昂市ノ商家ニ賣渡サスシテ直接之レ

温比較的高ク且ツ乾燥シ總テノ狀況ビウラ原野ノ其レニ近シ

此原野ヲ灌溉スルイカ河流ハ下流ニ從ヒ漸々減水シ海岸ニ近キ耕地ニテハ河水ヲ得サルコト頻年コレアリト云フ、蓋シ此地方ニハ俗ニ Derecho de Cabeera (上流ノ特權)ト稱シ上流ニ在ル耕地ハ其所ニ必要ナル水ヲ引水シ殘餘ヲ下流ノ耕地ニ給スル習慣アルヲ以テ一耕地ニテハ數度灌溉ヲ施ス間ニ下流ノ耕地ハ全ク涸渴ヲ見ルモ多年ノ慣習ナルヲ以テ違カニ改メ難ク且ツ此特權ハ土地ノ所有權ニ附隨セルカ如ケレハ尙更其解決ヲ困難ナラシムルカ如シ

此原野ニ栽培セラル、棉種ハビウラ産棉ニ酷似セル内國棉及埃及棉ノ二種ニシテ各地方の利害得失ヲ異ニスト雖内國棉ハ給水ノ不足ニ堪ユル點ニ於テ埃及棉ニ優リ僅ニ一年一回ノ灌溉ヲ以テ満足ナル收穫ヲ得且ツ歐洲市場ニ於テモ他種ニ比シ高價ヲ保ツト雖此内國棉ハ播種後二年目ナラサレハ充分ナル收穫ヲ得難キヲ以テ灌溉ノ便タニ存セハ農家ハ擇ンテ埃及棉ヲ耕作セン、蓋シ此棉種ハ初年ヨリ多量ノ收穫アレハナリ

イカ産内國棉ハビウラ産ニ比シ其纖維粗ナラス且ツイカニ於テハ内國棉ヲ植付ケタル畑ニ埃及棉及變種ヲ混植スルヲ以テ其產物ハビウラ産ノ如ク Roughニアラスシテ Semi roughトナリ品質モ亦大ニ劣レリト云フ、收穫ハ五月、六月ニ行ハル棉作ノ良好ナル時ハ其產出額ハ「フアネガタ」ニ付三



百五十「アローパス」ヨリ五百「アローパス」ニ至ル而シテ五ヶ年目ニハ播種ヲ新タニスト云フ

イカ産内國棉ハリヴァール市場ニ於テ Semi aspero 又ハ Molenle rough トシテ賣買セラレ Fair, Good fair, Good 等ニ分タル

### 七 ビスコ原野ニ於ケル棉作

ビスコ原野ニ於ケル棉作面積ハイカノ其レニ比シ遙カニ小ナリト雖其産額ハ却テ大ナリ、蓋シビスコ河流ハ四時絶エス埃及棉ノ耕作ニ必要ナル水量ヲ供給シ得レハナリ

河水ハ十月ヨリ増漲シ五、六月ニ至リ減量スルヲ以テ夏季ヲ通シテ各耕地共潤澤ナル供水ノ便宜ヲ得

播種ニ適スル期節ハ十、十一及十二月中旬迄トシ三年乃至五年間收穫ヲ行フ又内國棉ハ年々同一ノ枝ヨリ收穫セラルルモ埃及棉ハ年々根ニ近接シテ伐リ去ラサル可ラスビスコ原野ノ土地ハ未タ肥料ヲ要スルニ至ラス、毎年「フアネガター」ノ産出額三百乃至四百「アローパス」ニシテ一ヶ年ニ産スル埃及綿ハ二萬五千「キンタール」ナルモ尙増加ノ見込アリ

以上列記セル棉作地ノ外イカ縣ニハバルバ (Balba)、ナスカ (Nasca) 原野アリ又北方ニハラムバエケ (Lambayeque) 等ニ良質棉ヲ産スルモ産出額ハ未タ振ハサルヲ以テ此處ニハ何等説明ヲ加ヘス

### 八 作付面積

賃ハ却ツテ他ノ二線ヨリ甚ダ高ク唯旅客ノ乘車賃ニ對シテハ貨物ヨリモ比較的低廉ト爲スヘキ豫定ナリト云フ

「アリカ、ラパス」鐵道ニ從テ目下ポリビヤ議會懸案中ノ一線ハ即チコチャバムバヨリアマゾンノ支流ナルチモレニ通スル延長百五十哩ノ鐵道ナリチモレ河ヲ通航スルチモレ汽船ノ終航點ヨリ六百哩ヲ隔ツルグアヤラメリンハ東部ポリビヤニ於ケルチモレ河ノ一河津ニシテ此處ヨリ起リテ彼ノアマゾン河口ヲ距ル約一千八百哩ノ上流ニ在ルビエホ港ニ通スル延長百八十哩ノ鐵道ハ今ヤ工事中ニ屬シ近々其開通ヲ見ルニ至ルベシビエホ港ヨリハ歐羅巴ニ通スル數線ノ航路及伊太利ゼノアニ到ル豫定線アリ西海岸アリカヨリ發スル汽船ハ一時間二十哩ノ速力ヲ以テ四日半ニシテビエホ港ニ達スヘク又此處ヨリゼノア迄ハ水上十二日ヲ要スルガ故ニアリカヨリゼノアニ到ルニハ途中寄港時日ヲ加算スルモ尙ホ二十日ヲ出テサルヘシ

### ○南北米大陸商業會議所ノ設立(調査)

此程北米合衆國ニ於ケル主ナル實業家其他數十名ノ有志者相謀リ南北米大陸諸國トノ貿易ヲ増進スルノ目的ヲ以テ南北米大陸商業會議所 (Pan-American Chamber of Commerce) ナルモノヲ組織シ其事務所ヲ紐育市ニ設置シジュリオ、エフ、ソルザノ (Julio E. Sorzano) ヲ其會頭ニ選舉セリ之カ趣旨及目的ハ左ノ如シ

第一 本所ハ其事務所ヲ紐育州ノ或ル場所ニ設置シ專ラ當國及其他ノ米大陸諸國即チ亞爾然丁、ポリビア、伯刺耐、加奈陀、智利、コロムビア、コスタリカ、玖瑪、エクワドール、グアテマラ、ギアナ、ハイチ、布哇、ホンヅラス、墨

内國棉平均「エクタレア」ノ産出額ヲ五百八十八封度〇七トシ「シー、アイランド」ヲ千二十八封度、「アツブランド」ヲ千二百一十一封度ト看做ス時ハ現ニ栽培セラル、棉耕地ノ面積ハ五萬六千三百三十三「エクタレア」トナリ之レニ要スル勞働者ノ數ハ三萬人ニ達スト云フ

### ○アリカ、ラパス間鐵道 (協會調査)

西海岸ニ於ケル良港ノ一タル智利アリカヨリ起リテポリビヤノラパスニ通スヘキ本鐵道ハラパス市ノ海岸ニ連結スル第三ノ鐵道ニシテ約五六ヶ月ノ時日ヲ要サバ其完成ヲ見ルニ至ラン本鐵道ノ開通ハ當初昨年十一月ノ豫定ナリシモ時ナラス豪雨ノ爲メニ大橋梁ノ流失及數哩ニ亘ル堤防ノ決潰アリシ等著シク工事ノ進捗ヲ阻害セラレタリ目下線路ノ工事中ニ係ルモノハラパス、アリカ間僅カニ十二哩以內ニ過キサレハ其竣工亦近キニアラントス

アリカヨリラパスニ到ル直通線ニ當テハ一萬四千五百呎ノ高點ニ攀登スヘク峻嶮ナル傾斜數哩ノ間齒輪式ヲ用キサルヘカラス且此最高地點ニ急登スル列車内ニハ酸素室ヲ設ケテ病者及虛弱ナル旅客ニ對シ地平線上ニ於ケルト同一量ノ酸素ヲ吸收セシムル裝置ヲ要スヘシ本鐵道ハ如斯峻急ナル高地ヲ通過スルモノナルガ故ニラパスヨリ發スル他ノ二線即チモエンド及アントファガスタ鐵道ニ比シ其距離短キニ不拘貨物ノ運

西哥、ニカラグア、バラグワイ、秘露、サルバドル、サント、ドミンゴ、ウルグワイ、ベネズエラ、西印度諸島並英、丁、蘭及佛領諸國トノ間ノ貿易ノ關係ヲ密ニシ其發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

- 第一 事務所ニハ前記諸國ヨリ來ル所ノ商人及旅行者ニハ取引上ノ便宜ヲ與フル爲メ其集會若ハ相談所ヲ設クルコト
- 第二 當國及前記諸國間貿易取引ヲ獎勵、助長シ相互ノ平和親睦ヲ圖ル爲メ右諸國ノ貿易、産業、農業、工業、衛生、鑛業、經濟、財政、市政及交通狀態等ヲ精査蒐集シ以テ會員ノ參考ニ資スルコト
- 第三 前記各種ノ狀態ヲ精査研究ノ上之ヲ印刷ニ附シ配布スルコト
- 第四 同上各種ノ調査、法制ノ差異、信用程度、其他ノ研究調査上ニ直接間接ノ便宜ヲ圖ル爲メ紐育州以外何レノ場所ニ於テモ其事務所又ハ派出所ヲ設クルヲ得ルコト
- 第五 前記ノ目的ヲ達スル爲メ右諸國ノ政府、市府、團體、商會、製造業者等ニ對シ諸種ノ契約ヲ締結スルヲ得ルコト
- 第六 前記ノ目的ニ使用スル爲メ各種ノ書籍、雜誌其他ノ印刷物及商品見本ヲ蒐集若ハ購入スルヲ得ルコト
- 第七 會員間ノ取引上ニ關シ紛争ノ起リタル場合之カ仲裁ヲ爲スコト
- 第八 前記諸國民ノ平和ヲ助長シ双方ノ安寧親睦ヲ圖ルコト
- 第九 會員間ニ商業教育ノ普及ヲ圖リ且ツ西班牙語、佛蘭西語及葡萄牙語ヲ教授シ之カ生徒ニ徽章、證書及賞與等ノ附與其他之ニ關スル一切ノ事務ヲ處理スル目的ヲ以テ委員及事務局ヲ設クルヲ得ルコト



○メキシコ

○大統領マデロ内閣 墨西哥大統領「マデロ」氏ニ屬スル内閣員ノ役割左ノ如シ

- 外務卿 Sr. Ito. Manuel Carelo.
内務卿 Sr. Don. Abraham, Goezalez.
司法卿 Sr. Ito. Manuel Vazquez Tague.
文部卿 Sr. Ito. Manuel Diaz Lombardo.
殖民及農商部卿 Sr. Ito. Rafael Hernandez.
逓信及工部卿 Sr. Ing. Manuel Bouilla.
大藏卿 Sr. Don. Ernesto Madero.
陸海軍卿 Sr. General José González Salas.

○小學校ノ増設 文部省ハ小學校教育ノ普及ヲ講ジ特ニ土人兒童ノ就學ニ便センガ爲メ今回新タニ一ノ畫策ヲ立テタリ今其内容ヲ聞クニ即チ從來邊陲未開ト稱セラレシ土地ニ至ルマデ學校ヲ設ケテ土人兒童ニ讀書習字算術等ヲ教ヘテ將來開發ノ素地ヲ作サシムルト云フ而シテ先當初土人ノ爲ニ百五十校ヲ設立シ土地ノ狀況ニ從ツテ設立スヘキ校數ヲ決定スヘシ

テ同會社ヲシテ「ゴム」、「ゴム」製品棉花又ハ其他ノ原料品防水布及絶縁銅線或ハ其他ノ金屬線ノ製造及其準備ヲ爲サシムルガ爲ナリト云フ

○下カリフォルニアノ天富 下カリフォルニアノ各地ヲ踏査シ併セテ其富ノ状態ヲ報告スベク勸業局ヨリ任命セラレタル探檢委員ハ述ベテ曰ク鹽業及纖維工業ハ其地方ニ於ケル主要ナル自然の富源ニシテ海鳥糞多ク亦未掘ノ大石炭層ヲモ有ス土壤ハ此國天恵ノ土地ニ於ケル農業的殖民部落ニ依リテ遺憾ナク開發サル、ニ至ルヘシト

○鑛業界ノ活動 墨西哥ノ鑛業界ハ過去數ヶ月間大ナル活氣ヲ呈スルニ至レリ鐵道ニ依リテ輸送サレタル鑛石ノ量ハ前年ノ同期ニ比シ著シク増加ヲ示シ亞米利加溶鑛會社ハ頃日マテウワラ及テウワラニ於テ堪能ナル製煉家ヲ増員セリト云フ

○サルウァドール

○千九百十一年上弦合衆國ヨリ輸入品 昨 year 上弦中北米合衆國ヨリ此國ニ輸入シタル商品ノ價格ハ五十三萬二千九百五十二弗四仙ニ達セリ

○千九百十一年上弦ノ輸出品 昨 year 上弦中此國ヨリ輸出シタル商品ハ三十萬一千九百十二袋總重量四千三百三十七萬七千四百六十六封度ニシテ其價格千四百四十四萬九千三百十

經費トシテ今年度ニ於テ三十萬「ペソ」(「ペソ」ハ金貨五十七セント)ヲ支出シ來年度ハ之レヲ五十萬「ペソ」ニ増加スベシト云フ特別教師トシテハ土人事情及教育ニ通曉セル者ヲ任用セリ

○墨西哥兵役令 墨西哥聯邦政府ハ陸軍ノ現況ニ鑑ミ其充實ヲ圖ランガ爲メ一ノ兵役令ヲ發布セリ此法令ニ依ルトキハ同國各地方ハ就レモ人口一千人ニツキ一人ノ割合ヲ以テ年々新兵ヲ出ダスベク兵員ト爲ルベキ者ハ十八歳以上二十二歳以下ノ市民ニシテ相當身分アル者ニ限リ抽籤ニ依リテ毎年十二月一日ヲ以テ之ヲ定ム又相當ノ資格ヲ有スル者ハ志願兵タルコトヲ得ト云フ

○フロンテラ港ノ改修工事 曩ニ一合衆會社ト契約濟トナリシタバスコ州フロンテラ港口ノ砂洲取除ケ工事一件ハ十一月廿一日ノ閣議ニ於テ愈々着手スルコトニ決定セリ政府ハ河川開鑿費トシテ三百六十萬「ペソ」ノ支出ヲ準備シ逓信卿「ボニラ」氏ハ次官「ウルキヂ」氏ヲ隨ヘ實地視察トシテフロンテラニ出張セリ

○ゴム製造所ノ設立 勸業局ハ昨年十二月六日一會社ト一ツノ契約ヲ締結セリ右ハ共和國ニ「ゴム」製造場ヲ設立シ四・七四「コロン」ニ達セリ

○全米生命保險會社 「サルヴァドル」日報ノ報導ニ依レハ資本金一千萬弗積立金少クトモ七十五萬弗ヲ有スル紐育ノ全米生命保險會社ハサルヴァドル及其他ノ中央亞米利加諸國ニ於テ保險業ヲ營ム計畫アリト云フ

○ハイチ

○ハイチ獨立記念日 願レバ千四百九十二年コロムブスガイニスバニオラ即チ小西班牙ト命名シタル此ノハイチ國ハ爾來永年ノ間西班牙ノ苛政ニ苦シミ更ニ西佛兩國勢力角逐ノ舞臺ト化スルニ及ブヤ自由的精神ノ愛國的努力ハ愈々其頂點ニ達シ歐人ノ主權ヲ顛覆シテ其ノ羈束ヨリ脱シ遂ニ千八百四一年一月一日全ク其獨立ヲ宣スルニ至リシナリ

○ホンヅラス

○烟草業ノ發達 昨年十一月ノ初メ同港ヨリ秘露ノカヤオ港ニ向ケ「ホンヅラス」葉煙草四萬封度ヲ輸出セリト云フ右ハ秘露政府ノ注文シタル十二萬封度ニ對スル第二回ノ船積ニシテカヤオニ到着スルトキハ一封度金貨十五仙ニ賣ラル、



ト云フ葉煙草ノ賣レ高ハ敢テ驚クニ足ラズト雖モ如斯取引ノ行ハル、ニ至レルハ此國產出ノ煙草ガ其品質良好ニシテ又能ク大ナル煙草國トノ競争ニ堪エ得ラルコトヲ證スルニ足ルベク亦土壤氣候及勞力ノ點ヨリ見ルモ此國ノ煙草業ハ確カニ發展ノ資格アルベシ

○コスタリカ

○コスタリカノ人口 千九百十年十二月三十一日現在此國ノ住民ハ三十七萬九千五百三十三人ニシテ各州ニ於ケル人口ヲ示セバ左ノ如シ

サンホーセ	一一八、四九七
アラフエラ	八九、五八六
カルタゴ	五八、七七〇
ヘレヂア	四一、九五四
グアナカステ	三二、九八九
プントアレナス	一九、五三九
リモン	一八、一九五

尙同年各州ニ於ケル出生及死亡數ヲ示セバ左ノ如シ

州名	出生數	死亡數
サンホーセ	五、一〇五	二、二四二
アラフエラ	三、八八二	一、九五九

一一四

カルタゴ	二、二四三	一、九二一
ヘレヂア	一、五四六	八七六
グアナスカテ	一、二七八	八三六
プントアレナス	九二一	四九四
リモン	六七二	六九五

前掲ノ數字ハコスタリカ統計局ヨリ發行セシ千九百十年ノ統計年報ニ據ルモノナリ

○重要輸出品

統計年報ニ依レバ千九百十年此國ヨリ輸出セラレタル重要輸出品ハ「バナ、」ノ九百九萬七千三百八十五束及珈琲ノ二十三萬三千六百九十三袋(重量一千四百三十九萬六千九百二十六基瓦)等ナリ

○千九百十二年度豫算 千九百十二年度豫算ニ於テ歲出八百六十一萬三千五百九十九・九〇「コロン」ニシテ各部ニ屬スル歲出ヲ列記セバ左ノ如シ「コロン」ハ金貨〇・四六五

立法部	一五〇、〇〇〇・〇〇
内務部	一、〇八六、二七九・四六
外務部	二〇七、九九九・七五
司法部	三二九、七四四・〇〇
宗教部	二四、〇〇〇・〇〇
救貧部	一一七、七八〇・〇〇
教育部	一、二〇一、〇五九・〇四
軍事及警察部	一、二五五、〇九七・三五

海 事 部

商 工 部

歳入豫算ハ歲出ニ適合スベキ額ニシテ即チ八百六十六萬「コロン」ナリ

○珈琲作況 最近ノ統計ニ依レバ本年ニ於ケル此國ノ珈琲產額ハ二十萬六千九百九袋ニシテ重量ニスルトキハ一千二百六十四萬一千五百五十六基(一基ハ二封度・二〇)ニ達シ之レヲ昨年ノ產額ニ比較セバ百七十七萬五千七百七十基ノ增收ナリ今其輸出高及輸出先ヲ示セバ左ノ如シ

英 國	一六九、三八二
北米合衆國	一六、六五三
獨 逸 國	一三、八四三
其他諸國	六、七二二

前年ヨリ今年ニ互リテ其平均價格ハ二五・八四「コロ」ナリ

○パ ナ マ

○新ステーションノ設計 巴奈馬市ノ新「ステーション」建築ハ巴奈馬鐵道會社ニ依リテ完全ニ設計サレタリト云フ該「ステーション」ハ現停車場ヨリ少シク東方ニ當リテ建築セラルベク巴奈馬鐵道會社員ハ語リテ曰ク今回建テラルベキ新停車場ノ「スタイル」ニ就テハ今尙確然決定セズト雖

モ目下完成セラレタル設計ニ就テ見ルモ全ク廣莊ナル停車場ト稱スルヲ得ベシ建築ハ二層或ハ三層樓ニシテ總テ鐵筋混凝土ト爲スベク列車上屋、構内ヨリノ大ナル出口其他廣大ナル機關車等總テ利便ヲ主トシテ適當ニ設備セラルベシト云フ

○火災報知組織ノ改善 頃日巴奈馬市ニ於テ新式報火組織ヲ設備スルコトニナレリト即チ市内各所ニ五個ノ火見所ヲ設ケ給水場及各消防署トヲ連絡セシメ火災ニ際シ其活動ヲ十分ナラシムルニアリ同市ハ既ニ有力ナル消防部ヲ有スルガ上ニ今又此新設備ヲ得タルハ實ニ巴奈馬市民ノ生命財產ニ對シ一層安全ノ度ヲ加ヘタルモノト云フベク從ツテ保險率ノ低下ヲ見ルニ至ルベシ

○コロムビヤ

○内外郵便料金規則 千九百十一年十月三日行政法令ヲ以テ内外郵便料金ヲ規定セリ

外國郵便料金	〇・〇五
書 狀(重量十五瓦迄又ハ其端數毎ニ)	〇・〇二
郵便葉書	〇・〇二
往復葉書	〇・〇四

一一五



印刷物業務書(重量五〇瓦又類商品凡本ハ其端數毎ニ) 〇〇一  
内國郵便料金ハ司法令第八八十一號ニ據ルモノニシテ其割合左ノ如シ

書	狀(重量十五瓦又ハ其端數毎ニ)	〇〇二
郵便葉書	葉	〇〇一
同往復葉書		〇〇二
鐵道郵便封書(但シ列車通過區間内ニノミ用ユルモノ)		〇〇二
印刷物	(重量五十五瓦又ハ其端數毎ニ)	〇〇〇五
業務用書類	(重量百瓦又ハ其端數毎ニ)	〇〇一
商品見本	(重量百瓦又ハ其端數毎ニ)	〇〇一
内國物産見本	(重量五百瓦迄)	無料
留	(寄附金等郵便料ヲ要ス)	
價格表記郵便	(國立銀行手形、金銀貨幣ハ金貨四十ペソヲ限リ價格表記郵便トスルヲ得)	
國立銀行手形及金貨	其價格百分之三	
銀貨	其價格ニ對スル金貨百分之二	
但重量百瓦又ハ其端數毎ニ金貨四仙ノ料金を附加セラル		
訴訟用書類	(重量五十五瓦又ハ其端數毎ニ)	〇〇五
地方書類	(重量十五瓦又ハ其端數毎ニ)	〇〇一
印刷物一括	(重量五十五瓦又ハ其端數毎ニ)	〇〇〇五
新聞紙	(發行所ヨリ一枚)	〇〇〇二五
速達郵便	一通	〇〇四
領收通知書又ハ返還領收書ヲ要スルモノハ各料金ニ一セ		
シタボ	ノ手数料ヲ附加セラル	

小包郵便(一個ノ重量ニ基テ一基瓦ハ我約二百六十六分餘以内ニ限リ一基瓦又ハ其端數毎ニ金貨二セントホナリ)

### ○エクアドル

**○新國債** エクアドル政府ハ國民商業會社ト新タニ契約ヲ締結シ同會社ニグアヤキール港ニ於ケル關稅徵收事務ヲ委任シ手数料トシテ收入ノ二分ヲ與ヘ且ツ同港ニ於ケル總テノ荷積及荷卸業並ニ船業ノ獨占權ヲ與フルコト、セリ右ハ政府ガ六十萬「スカル」(廿九萬二千二百弗)ノ國債ヲ成立セシメンガ爲ニシテ同會社ハ尙グアヤキール港ノ埠頭經營ノ任ニモ當ルベシト云フ

### ○未熟たぐいの採收禁止

エクアドル國會ハたぐいの即チ象牙果ノ未熟ナルモノ、採收ガ該植物ノ發育上頗ル有害ナルヲ認メテ未熟果採取禁止ノ法律ヲ可決セリ該法律ニヨルバ未熟果ヲ採取セシモノハ嚴罰ニ處セラルベシト云フ

### ○アマゾン鐵道

千九百十一年十一月九日工務大臣ハ佛蘭會社支配人「ジュリアン、ファブル」氏ニ指令書ヲ下シテアマゾン鐵道敷設及營業ノ件ヲ許可シテ該鐵道ハグアヤキール灣ボリヴアル港ヲ起點トシテクエンカラ經テ上アマゾン河岸ニ達スルモノニシテ其敷設費八千萬スカル(一「スカル」ハ金貨〇・四八七ニ當ル)ヲ要スベク完成ノ曉ニ於テハ管ニ國際的價值ヲ有スルノミナラズ線路ハエクアドル中最モ豐沃ナル四地方ヲ貫通スルモノナルガ故是等地方ニ於ケル産業交通ノ發

達ヲ促進シテ物産ヲ大西洋方面ニ導ク等富源ノ開發上頗ル重要ナル鐵道ト云フベシ

### ○ペル

**○内閣員ノ變動** 最近リマヨリノ報導ニ依レバ大統領「レギーヤ」氏ハ其内閣員ノ一部ヲ左ノ如ク變更セリト云フ

- 司法大臣 Sr. José Manuel García.
- 大藏大臣 Dr. Ernesto Roca.
- 農工務大臣 Sr. Augustin de la Torre Gonzalez.

**○秘露鹽債** 秘露政府ノ發行セル五分五厘利付六百萬弗ノ鹽債ハ英京倫敦ニ於テ百對九八ヲ以テ賣出サレ其申込ハ數倍ニ達セリト云フ以テ同國政府ノ有スル信用ノ大ナルヲ知ルベシ

**○千九百十二年豫算** 大藏省ヨリ聯邦議會ニ提出セラレタル千九百十二年豫算ニ依レバ歲入三百二十萬九千二百三十七磅歲出二百八十七萬九千九百二十四磅七志七片ニシテ歲入ニ於ケル過超ノ分ハ陸海軍省ノ改善費ニ充ツル豫定ナリト云フ

**○官立砂糖寄託所ノ設置** 秘露政府ハ砂糖寄託所ヲ設立スルニ決セリ右ハ此國稅關ヲ經又ハ砂糖生産地ヨリ輸入セラレタル砂糖ニシテ直ニ消費ニ供セラレザルモノニ對シ強制的ニ其寄託ヲ爲サシムルノ計畫ニシテ政府ハ寄託セラルベキ

砂糖ニ對シ船積及陸揚ハ千基瓦ニ付四十「セントボ」ノ手数料及千基瓦ニ付三「セントボ」ノ倉敷料ヲ徵收スベク是等ノ料金ハ寄託所ヨリ砂糖ヲ引出ス時ニ支拂フベキモノナリト云フ

### ○市債ノ成立

リマ市ト秘露倫敦銀行及「グレース」會社トノ間ニ契約セラレタル市債六十萬磅ニ對シリマ市會ハ昨年十一月二十七日附ヲ以テ之ヲ是認シタリ本市債ハ一分五厘償還ニシテ千九百十六年ヨリ其償還ヲ始ムベク市ハ之ニ對シ五分利公債ヲ發行スベシ又市ハ本市債ノ所得額ヲ以テ擬ニ發行シタル市公債ノ總額四十四萬六百九十磅ヲ償却シ殘餘ハ市ノ修飾及衛生事業ニ投ズル豫定ナリト云フ

### ○秘露株式會社第二十一回總會

秘露株式會社ハ昨年十二月下旬其第二十一回總會ヲ開催セリ當時同總會ニ提出セラレタル報告ニ依レバ同年度ニ於ケル會社營業ノ成績ハ頗ル良好ニシテ會社ノ總收入高ハ前年ニ比シ十四萬二千六百磅ノ増加ヲ示セリ此ハ會社ノ營業タル海鳥糞ノ產出十分ナリシト同年度鐵道ノ收入増加シタルニ基クモノニシテ會社ハ社債減少ノ爲メ昨年二月約五萬七千磅ヲ以テ償却基金ニ充テタリシガ來二月ニハ六萬磅ヲ同基金ト爲シ得ベク尙會社ハ優先株ニ對シ二分ノ配當ヲ爲スベキヲ議決シ且ツ任期満了ノ取締役及監査役ノ改選ヲ行ヒタリ會社ハ全力ヲ注ギテ此國ノ進歩發展ヲ講ジツ、アルガ故ニ政府トノ關係亦圓滑ナル狀態ニ在リト云フ



○ケスコノ給水事業 聯邦議會ハケスコ給水事業完成ノ爲五千磅年賦ヲ以テ二萬磅支出ノ件ヲ議決セリ

○チ

○新國債 千九百十一年十月十八日發布ノ法律ニ依リ大統領ハ國防費ニ充テング爲メ三百五十萬磅ノ公債ヲ募集セリ本公債ハ其利子四分五厘ニシテ年々一分ヅノ償却ヲナスモノナリト云フ

○國債現在高 大藏大臣ノ國會ニ於ケル陳述ニ依レバ智利ノ國債ハ千九百十一年十月十四日ニ於テ四千三百十六萬六千二百七十磅ニ達セリト云フ

○關稅收入ノ増加 本年一月ヨリ九月マデニ於ケル此國關稅ノ收入ハ金貨九千三百八十七萬二千八百九十八弗紙幣百三十八萬八千四百三十三弗ニシテ前年同期間ニ於ケル金貨九百九十八萬七千四百二弗紙幣二十五萬一千五百七十七弗ノ收入ニ比シ若干ノ増加ヲ示セリ

○硝石產出額 最近ノ統計ニ依レバ千九百十一年一月ヨリ九月マデノ硝石產出額ハ四千四百六十八萬八千五百五十八「キントナル」ニシテ輸出セシ内二千四百六十二萬八千八百八十八「キントナル」アリト云フ(但「キントナル」ハ百一「封度」六ニ當ル)

○諸報告 タラバカ州ニ於ケル硝石業ニ従事スル人員ハ其數二萬千四百二名アリ

七千七百九十九基米突ニシテカサブランカヨリセニサニ至リ其處ヨリ更ニヴァルパライオンニ通ズルモノナリ

○新外債ノ募集 智利政府ハロスチャイルド家ヲ經テ同國公債五百萬磅ヲロンドンニ賣出シタリ同公債ハ五分利付一分償還ニシテ額面ニ對シ九四・五ノ割合ナリト云フ

○硝石地ノ拂下 タラバカ州ニ於ケル硝石地拂下ノ件ハ豫テ議會ノ問題タリシガ同拂下報告委員ハ本硝石地ノ競賣ヲ許可セラルベキ旨大統領ニ勸告セリ而シテ競賣ニ付セラルハ即チペナ、グランデ、ヌエバソングラード、サンタラウラデウ、エンデル及バレネチャ近傍ノ諸地方ニシテ政府ハ競賣期日三ヶ月以前ニ於テ智利、ロンドン、ベルリン、パリ、ニューヨーク等ノ諸新聞ニ之ガ廣告ヲナスベシト云フ

○勞働者住宅之建築 十四萬「ペソ」ノ費用ヲ以テ智利タルカ市ニ設立セラルベキ勞働者住宅建築ノ入札ハ勞働者住所地ノ *Toral Board* 之ヲ落札セリ(智利ノ「ペソ」ハ我七十三錢ニ當ル)

○ヴァルパライソ港ノ修築工事 ヴアルパライソ港修築工事ノ入札ハ本年四月二十日開カルベシ本工事ニ關スル仕様説明書ハ歐洲及米國ワシントン、紐育ノ各新聞ニ記載セラレベク尙詳細ノ事項ハ在ワシントン、智利國公使館又ハ紐育ノ同國領事館ニ就テ承合スベシ

○智利鐵道ノ帆走車 本誌ハ智利ノ一鐵道ニ於ケル最モ面白キ汽車ノ進行方法ヲ聞キ得タリソハ同國官線鐵道ニ從

此國ニ於ケル萬國聯合小包郵便物取扱件數ハ大ナル速度ヲ以テ増加シツ、アリ  
本年上半期間ニ於ケル砂糖輸入高ハ八千七百十萬四千三百二十八封度ニ上ボレリ  
千九百十年中此國ニ輸入セラレタル馬車ハ其數三百三十六輛ニシテ内二百七十四輛ハ合衆國ヨリ輸入ニ係ルモノナリ  
コラル鐵工場ニ於テ費消セル金額ハ米貨二百五十五萬五千弗ニシテ今日以後完成ニ至ルマデニ要スル費用ハ尙百五十萬弗ニ上ボルベシ

○家畜共進會 家畜共進會ハ國立農會ノ管理ニ屬シ毎年サンチアゴニ於テ開催セラレタリシガ本年モ亦例ニ依リテ開催セラレ開會當日大統領以下多數名士ノ臨場ヲ見タリ

○液體燃料使用裝置ノ發明 フアルパライソニ於テ液體燃料ヲ使用スベキ裝置ニ關シテ興味アル試驗アリタリ本裝置ハ一十八ノ發明ニ係リ試驗ノ結果果シテ發明者ノ言フガ如クンバ實ニ有益ナル發明タルヲ失ハズ即チ液體燃料ヲ以テ石炭ニ代用スベキ裝置ニシテ其構造頗ル簡單ナルガ故ニ機關車ハモトヨリ何レノ汽灌ニモ應用シ得ベク而カモ煤煙ヲ出スコトナク燃料トシテ石炭ニ比較スルトキハ經濟上七割五分ノ利益アリト云フ

○新鐵道ノ設計 豫テ計畫中ノヴァルパライソ、カザブシンカ間鐵道ノ設計ハ茲ニ完成ヲ告ゲタリ本鐵道ハ全長五萬

事スル一機關士ノ考案ニ係リアントフアガスタ及オルト口間ノ海岸線ニ應用スルモノナリト云フ元來此地方ハ規則的貿易風ノ吹ク所ニシテ列車ハ之レガ爲メ旅客貨物ノ輸送上困難ヲ感ズルコト不尠機關車ノ如キ有レドモ其用ヲ爲サズ然ルニ此帆走車ハ列車ニ機關車ヲ連結スルコトナク車輛ハ適當ノ大サニ造ラレ各車輛トモ帆ヲ裝置シアルヲ以テ一度此貿易風ニ乘ズルトキハ直ニ風力ヲ以テ一時間能ク三十五哩ヲ疾走シ得ト云フ寔ニ珍妙無双ノ汽車ト云フベシ

○アンデス超過新鐵道ノ計畫 智利ノ工業家ハ新タナルアンデス超過鐵道敷設ニ付講究ヲ重ネツ、アリ本鐵道ハカホンデマウレニ於テアンデス山脈ヲ橫斷シヱラベルトラニ於テアンデスヨリ來ル亞爾然丁鐵道ト接続スベキモノニシテ其豫定線路ハ亞爾然丁國サンファン、メンドサノ二州及ノイケン地方ノ商業ヲ結付ケンガ爲メアンデス山脈ノ東方斜面ニ沿フテ進ムベク尙本線路ハ彼ノ價值アル亞爾然丁ノ大農原ニ於ケル山脈附近南北ニ互リテ四百基米突ノ地帯ヲモ連結スルニ至ルベシト云フ

○鐵道消息  
イ 工費紙幣七十八萬四千九百八十二・四五「ペソ」金貨五萬一千七百七十七「ペソ」ヲ要スルリナレストコルブン間ノ鐵道ハ此度工務部ヨリ其敷設ヲ認可セラレタリ  
ロ 工務部ハ一ノ法律ヲ制定シテ鐵道局ヲ新設シ此國鐵道



ノ敷設及鐵道事務ヲ同局ノ管理ニ屬セシムベキコトヲ推  
獎セリ

ハ アリカ、ラパス鐵道ハ歐洲ニ於ケル專門的検査人ヲ經  
テ車輛ノ購入ヲ依頼セリ但シ車輛ノ價格ハ紙幣約二百萬  
「ペン」ニ達シ其類別左ノ如シ

不同型機關車十五輛、特別客車二輛、寢臺車三輛、一等  
客車九輛

二 資本金九百三十一萬一千三百磅ヨリ成ル「アントファ  
ガスタ、ポリビヤ」鐵道株式會社一昨年度ノ總收入額ハ百  
三十九萬九千七百七十七磅ニシテ純利益額ハ七十萬七千二十  
七磅ナリト云フ此利益金二千九百九十九年度ノ据置殘額一萬  
四千九百六十磅ヲ加算セバ一昨年ニ於テ配當セラルベキ  
利益額ハ合計七十二萬一千九百八十七磅ニ達スベシ斯ク  
千九百十年度ニ於ケル本鐵道ノ總收入額ガ其前年ニ比シ  
一割八分以上ノ増加ヲ示セルハ同年度ニ於テ取扱ヒタル  
硝石ノ噸數遙カニ前年ヨリ多キニ因ルモノナリ去レド  
ポリビヤ區間ニ於ケル錫及錳礦ノ取扱噸數ハ上記二年間  
敢テ異ル所ナシト云フ

ホ 産業工務部ハ縱斷鐵道北方區間ニ於ケル九十一基米突  
五十二米突ト百五十四基米突六十四米突トノ間六十三基  
米突百二十米突ノ區間ヲ正式ニ引繼カンガ爲メ特ニ委員  
ヲ任命セリ

在留テキサス人ノ組織ニ係ル「シンデケート」ハブラジルノ土  
地五百萬「エーカ」(一エーカハ我約)ヲ同國政府ヨリ購入セリ右  
ハ同「シンデケート」ガ無數ノ良牛ヲブラジル國ニ輸出スルト  
同時ニ同國產牛ヲ此大牧場ニ入レ畜養シテ良牛ト爲サントス  
ルガ爲ニシテ同「シンデケート」ハ尙ホ產出物包裝場及柔皮場  
ヲ設クルノ計畫アリト云フ

○甘蔗製造試驗 ブラジル國ニ於テ甘蔗ヨリ酒ヲ製スル  
ノ實驗行ハル、ニ至レリ此試驗ハ先ヅ十五種類ノ甘蔗ヲ採リ

テ其製造ヲ試シモノニシテ試驗ノ結果頗ル良好ナリト云フ  
○マデイラ、マモレ鐵道ノ所得額 「マデイラ、マモ  
レ」鐵道ノ運轉シタル噸數ニ付テハ未ダ數字の報告ヲ領セザ  
ルモ同鐵道昨年一月一日ヨリ十一月三十一日マデ十一月間  
ノ總所得額ハ百二十萬百五十七磅ニ達セリト云フ此ハ同鐵道  
ガ未成線工事ノ支障ヲ慮リ未ダ商業的運轉ヲ開始セズ僅カニ  
既成線百四十哩ノ區間ニ於ケル假營業ニ依リテ得タル所ノ額  
ニシテアブナ河口マデノ商業的運轉ハ本年早々開始サル、ニ  
至ルベシト云フ

○ラパス鐵道 「ラパス」鐵道ノ敷設案議會ニ提出セラ  
ル本鐵道ハバヒヤ州カンナビエラストポリビヤノラパストヲ  
連結スルモノニシテ其全長二千七百七十基米突カンナビエラス  
ヨリ起リ其北方ヲ經テミナスラエスノ北部ゴヤス及マツト  
グロツソノ南部ヨリ更ニポリビヤ國境ヲ橫斷シテラパスニ終

## ○ブラジル

一一〇

○珈琲及護謨市場 昨年中「ゴム」相場ノ低落ハ昔テ議  
論ノ喧騒タリシニ似ズ此國經濟上特ニ惡影響ヲ及ボスコトナ  
カリキ畢竟「ゴム」價格ノ減少ハ珈琲價格ノ増加ニ從テ償ハレ  
タリ今千九百十年九月間ノ輸出高及其價格ニ就テ見ルニ同  
年ハ前年ニ比シ却テ若干ノ増加ヲ示セリ

ゴム	一九二一—三、〇二五	四九、四五、〇〇〇	減四、六五、〇〇〇
珈琲	一九二一—四、九六三	九一、〇七〇、〇〇〇	
	一九二一—七、二六、六七	一〇、〇九〇、〇〇〇	增四、一三〇、〇〇〇
	一九二一—六、二六、五七	七、八六〇、〇〇〇	

○棉花栽培 曩ニ北米合衆國ニ於ケル棉花栽培事業研究  
ノ爲メ約六ヶ月間同國ニ出張シタルサンパウロ州農務部ノド  
クトル、エミリオ、カステロ氏ハ此程其任務ヲ了ヘテ歸國セリ  
同氏ハブラジル國ノ土壤ガ能ク棉花ノ栽培ニ適シ勞力問題ノ  
如キモ珈琲ノ生産ト其季節ヲ異ニシ敢テ何等ノ交渉ヲ要セザ  
ルヲ以テ其栽培ノ頗ル有望事業タルヲ認メテ熱心其發展ヲ企  
圖スベシト云フ

○ブラジルノ大牧場 在墨西哥一領事ノ通信ニ依レバ

ルモノナリ今其各地ニ屬スル鐵道ノ延長ヲ示セバ左ノ如シ  
(一基米突ハ我  
九町十間ナリ)

パヒヤ州——二五〇 基米突 ミナスラエス州——六七〇 基米突

ゴヤス州——五〇〇 マツトグロツソ州——七五〇

○勞働者住宅建設案 國會ハ勞働者及官吏ノ爲メニ住  
宅ヲ建設セントノ議案ニ就キ審議ヲ重ネツ、アリ同案ハ五分  
利付五百萬弗ノ公債ヲ發行シテ建設費ニ充テ勞働者及官吏ノ  
俸給所得ノ内何分カヲ毎月家賃トシテ加除シ以テ之ヲ契約會  
社ニ支拂ハントスルニ在リト云フ

## ○ウルグワイ

○上半期ニ於ケル輸出 昨年上半年期ニ於ケル此國

輸出品ノ總價格ハ二千七百二十八萬三千五百三弗ニ上レリ

○季節中ノ羊毛輸出 千九百十年及千九百十一年四月

一日ヨリ九月三十日ニ至ル羊毛輸出期ニ於テ此國モンテヅイ

デオヨリ積出サレタル羊毛ノ噸數ヲ示セバ左ノ如シ

一九一〇年(但六ヶ月間) 一〇一、一二二噸

一九一一年(同上) 一一一、五五〇噸

## ○パラグアイ

○パラグアイ國債 同國政府ヨリブラジル及佛國銀行

家ニ對スル借款交渉ハ全ク成立シテ本年九月十六日アスンシ



オンニ於テ彼此調印濟ニナリシト云フ

### ○ポリビヤ

#### ○紐育對本國輸出高

昨年十一月、十二月二ヶ月間ニ於テ北米紐育ヨリポリビヤ國ヘノ輸出ヲ見ルニ左ノ如シ

品目	十一月	十二月
棉花	三、七三〇・九〇	一四、八三三・九〇
金物	一九、八七三・三〇	一六、五八三・二〇
器械	二八、五三二・九〇	五、四七三・四〇
食料及飲料品	一三、二四〇・〇〇	六、一四〇・三三
燈火用石油	一、四八八・〇〇	—
雜	三五、二四四・九一	二四、六七三・三三
合計	一〇〇、二五五・九三	六七、六七三・八九

#### ○千九百一十二年度豫算

來年度豫算トシテ議會ニ提出セラレタルトコロニ據レバ其歲入ハ一千八百三十三萬百「ボリヰアノ」ニシテ歲出一千八百七十二萬五千七百九十六・一八「ボリヰアノ」ニ達シ差引三十九萬三千六百九十六・一八「ボリヰアノ」不足ヲ示セリ今其歲出ヲ各部ニ分ツトキハ左ノ如シ

立法部 三五、三六〇・〇〇

外交及宗教部 一、〇七三・三三

財務部 四、八九一、七九七・八

工務部 (Government) 三、三九三、三三三・〇〇

司法及産業部 一、三三三、六七三・〇〇

教育及農務部 二、〇九〇、九〇〇・一〇

軍事及殖民部 五、六九八、六三三・〇七

#### ○タリハ、キアカ鐵道

議會ハ政府ガアルゼンチン共和國ノ北境キアカヨリボリヰア國ノタリハニ通ズル鐵道百八哩ノ敷設工事ノ豫算及本工事入札ノ件ヲ可決セリ政府ハ本工事ニ投スル資金ニ對シ年五分ノ利ヲ附スト云フ

#### ○アルヘンチナ

##### ○國內移住

千九百一十一年一月ヨリ十月ニ至ル此國ニ來着セシ移住者ハ合計十五萬四千六百九人ニシテ其國籍別左ノ如シ

西班牙人	五五七三	伊太利人	四二五四
土耳其人	九七三	露西亞人	六三〇〇
佛蘭西人	三〇〇三	埃太利人	二二九七
獨逸人	二二七		

##### ○サルタノ油田

亞國政府ノ報告ニ依レバ此國ノ北部サルタノ油田ニ於テハ一日七萬乃至八萬噸ノ穀類ヲ船積シ得ル設備ヲ有シバヒアブランカ港ハ毎日穀類三萬五千噸ヲ取扱ヒ得ト云フ因ニ本年度ニ於ケル穀類耕作地ノ面積ハ一百萬方米突ニシテ收穫ニ際シテ使用スベキ穀類袋ハ主トシテ外國ヨリ輸入セラレ其高昨年ハ三千五百七十七萬二千五百二十五基ナリシガ本年ハ四千萬基ノ輸入ヲ見ルニ至ルベシ

リト云フ

##### ○穀類ノ輸送

亞爾然丁共和國ノ鐵道ハ百五十六萬一千五百二十五噸ノ穀類ヲ輸送シ得ベク其使用セラルベキ貨車ハ六萬七千七百〇四輛ナリト云フ

ロサリオ港ニ於テハ一日七萬乃至八萬噸ノ穀類ヲ船積シ得ル設備ヲ有シバヒアブランカ港ハ毎日穀類三萬五千噸ヲ取扱ヒ得ト云フ因ニ本年度ニ於ケル穀類耕作地ノ面積ハ一百萬方米突ニシテ收穫ニ際シテ使用スベキ穀類袋ハ主トシテ外國ヨリ輸入セラレ其高昨年ハ三千五百七十七萬二千五百二十五基ナリシガ本年ハ四千萬基ノ輸入ヲ見ルニ至ルベシ

##### ○フエノスアイレス太平洋鐵道

フエノスアイレス太平洋鐵道ハ過去十二年間ニ於テ全長六百八十七基米突ヨリ五千二百二十七基米突ニ延長セリ(但シ現今工事中ノ分ハ之ヲ除ク)

本鐵道ノ資本金ハ千八百九十九年ニ於テ金貨二千五百六十萬「ペン」ナリシガ今ハ一億九千二百五十萬「ペン」以上ニ達セリ目今鐵道ノ及フ所ハ雷ニメンドサ及其附近一帶ノ地方ノミナラス中央亞米利加ノ大平原等ニシテフエノスアイレストバヒアブランカトモ連結スルニ至レリ而シテ路盤及ビ車輛等亦大ニ改善セラレ客車貨車等皆最新式ヲ應用セリ

##### ○鐵道會社ノ増資

フエノスアイレス南方鐵道及ヒフエノスアイレス西南鐵道ハ新支線敷設及ヒ各種改善ノ資ニ供

ルタ附近ニ於テ油田發見セラレタリ本油田ハ地表僅カニ掘ルトキハ直チニ石油湧出スベク頗ル價値アルモノナリト云フ政府ハ是等ノ油田ニ對シ私人間ノ賣買讓與ヲ禁止セリ

##### ○砂糖產出額

內國稅務部ノ統計ニ依レバ千九百一十一年八月迄ニ於ケル砂糖ノ產出高ハ合計一億二千四百三十八萬九千四百十九噸ニシテ之ヲ昨年ノ同期ニ比スレバ二萬五千噸ノ増加ヲ示セリ

##### ○マルデルプラタ智利間鐵道

フエノスアイレス州マルデルプラタヨリ智利國ニ通ズル鐵道ハ此度其敷設及營業ノ認可ヲ得タリ本鐵道ハ智利國ロスアンゼルスノ對點アンツノヲ終極點ト爲スモノニシテバヒアブランカニ其支線ヲ設クルニ至ルベク軌道ハ一米突六六六「ミリ」米突ナリト云フ

##### ○千九百一十一年自一月至九月輸出額

亞爾然丁ニ於ケル千九百一十一年一月ヨリ九月ニ至ル輸出額ハ合計金貨二億六千九十七萬九千七百七十「ペン」ニシテ其品目ノ主要ナルモノハ即チ家畜類ノ一億二千六百五十七萬五千七百三十「ペン」農產物ノ一億二千二百六十八萬八千五百五十五「ペン」及ビ林產物ノ八百九十三萬二千六百九十八「ペン」等ナリ

##### ○千九百一十一年ノ小麥作

農務省ハ最近ニ於テ本年ノ小麥作ハ頗ル豐作ニシテ千九百一十七年ニ優ルベキヲ豫報セリ同年ノ小麥實收高ハ五百五十萬噸ニシテ內三百五十萬噸ヲ輸出セシガ昨年ノ輸出高ハ四百萬噸或ハ其以上ニ達スベキ見込ナ



センカ爲メ其資本ヲ増加シテ五百萬磅ト爲セリ。

### 協會記事

○事務所移轉 明治四十四年二月本會ノ事務所ヲ京橋區山城町一番地工業俱樂部建物内ニ移轉セリ

○出版物發行 同年三月最近南米事情第一卷ヲ發刊シテ會員並ニ一般希望者ニ頒布セリ

○記念品贈進 同年五月本會名譽會長本邦駐葡智利國全權公使エビヤ、レケルメ閣下墨國駐葡公使ニ轉任本邦出發ニ際シ本會ヨリ記念トシテ青銅製花瓶(會員岡崎雪聲氏作品)壹箇ヲ贈進セリ

○評議員會 同年十一月十日東洋汽船會社内ニ於テ役員會ヲ開キ左ノ事項ヲ決議セリ

一 新任智利公使「イララザブエル」閣下ヲ名譽會長ニ推薦スルコト

二 同公使歡迎會ヲ開催スルコト

三 役員改選ヲ行フコト

○役員改選 同年十一月十日役員改選投票ノ結果就レモ從前ノ通り重任當選セリ

○講演會及晚餐會 同年十一月二十四日午後三時ヨリ芝區田町五丁目淺野邸ニ於テ星野錫及津田弘視兩氏ノ南米

ニ關スル有益ナル講話アリ右終ツテ後六時半ヨリ新在智利公使アルゼンチン、ブラジル各代理公使歡迎晚餐會ニ移リ會長二條公爵閣下ノ歡迎ノ辭アリ次テ智利公使閣下アルゼンチン、メキシコ各代理公使閣下ノ懇切ナル謝辭及主客兩國ノ交情ヲ一層親密ニセントノ希望ヲ演說セラレ主客交互ニ健康ヲ祝シ宴酣ニシテ手踊ノ餘興アリ紳士淑女交談話之ヲ久シクシテ宴ヲ畢リ主客十二分ノ歡ヲ盡シテ十時散會ス

○南米幻燈會 智利亞爾然丁秘露特命全權公使日置益氏ノ本會ニ對スル好意ニヨリ南米諸國ニ關スル數十種ノ寫真ヲ幻象シ去ル四月九日淺野邸ニ於テ幻燈會ヲ開キ公使親シク說明ノ勞ニ當ラレタルバ會員自ラ數萬里外ノ異域ニ在ルガ如ク其裨益シタル所實ニ鮮少ナラザリシヲ覺フ、公使ノ熱誠ニ對シ滿腔ノ感謝ヲ表シ午後十時半散會シタリ

明治四十五年四月十日印刷  
明治四十五年四月十五日發行

(定價金五十錢)

編輯人兼

今井安良

東京市麻布區飯倉片町十四番地

東京市小石川區久堅町百八番地

印刷所

博文館印刷所

東京市京橋區山城町一番地

### 發行所

日本羅甸亞米利加協會



387  
80

◆◆ 會照御へ記下は法用 ◆◆

かーよる用を何てしと肥進  
かーよ入仕を何の資料原合即

智利硝石肥料

◆◆ 部本洋東會及普石硝利智 ◆◆  
番六先場馬區町齋市京東

### 東京青年乗馬會

馬匹二十頭

### 井上馬術練習所

教頭後備陸軍騎兵少佐

宇野美政

趣旨 乗馬會の趣旨は速成的に乘馬の練習を  
主とす海外旅行者の好練習所なり營利  
的の考更になし

場所 府下千駄ヶ谷町原宿三三七番地井上馬  
術練習所(千駄ヶ谷停留場より西南五  
六丁原宿停車場より東方二三丁青山四  
丁目停留場より西北五六丁の高臺)

月謝 紳士は一ヶ月五圓會員は二ヶ月會費金  
貳圓五拾錢

申込所 同練習所又は小石川區指ヶ谷町一三三  
番地朝日胤一(電番三二八七)



1-4H-92

# 東洋汽船株式會社

東京市麴町區有樂町一丁目番地

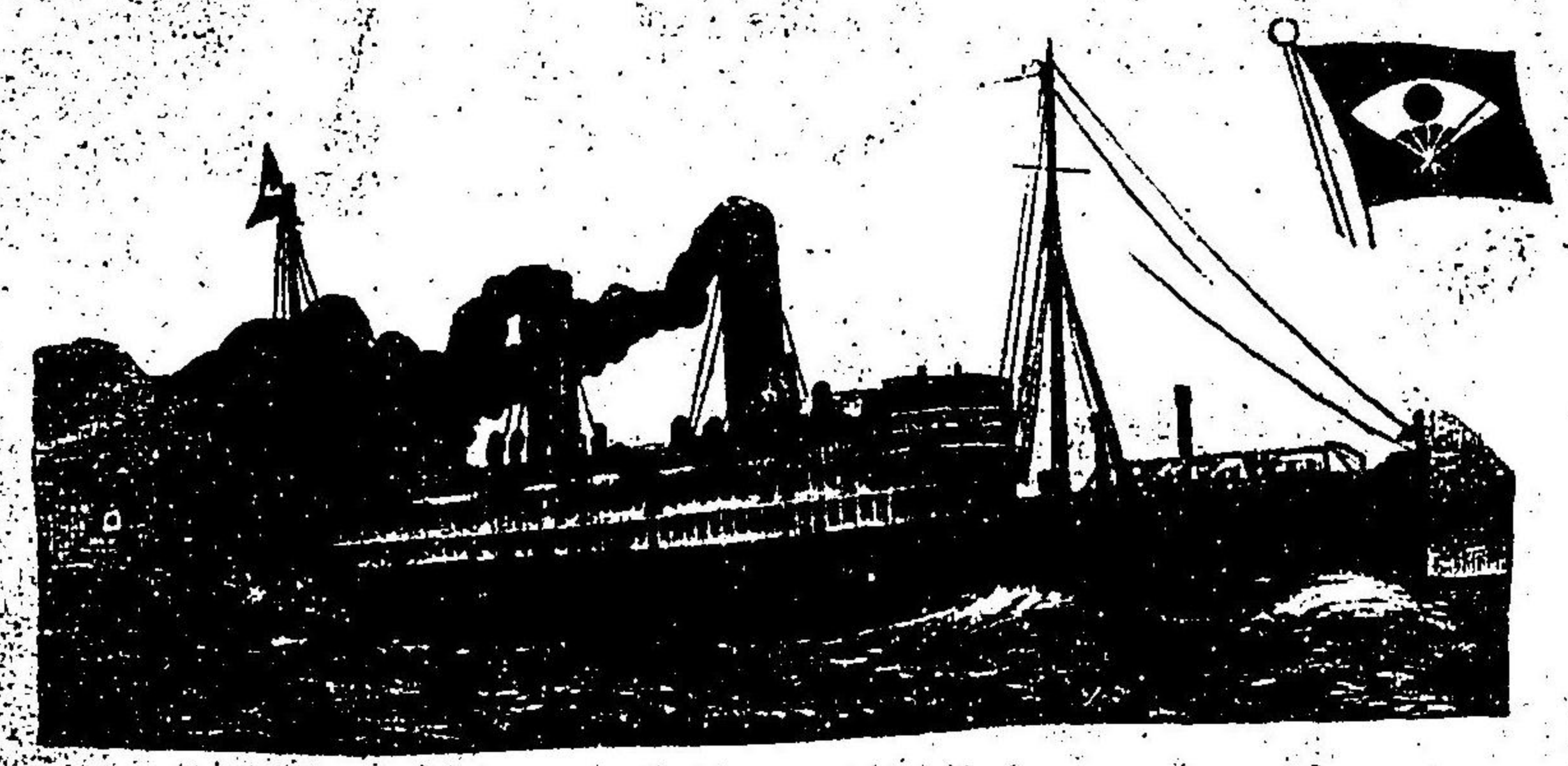
紀洋丸 一七、二〇〇噸  
 武洋丸 一〇、五〇〇噸  
 香港丸 一一、〇〇〇噸

南米航路  
 (東洋、南米間定期航路)  
 香港、神戶、橫濱、ホノルル、  
 サニエロ、サリナクル、  
 ガイナナ、イキタ、  
 バルバライソ、  
 門司市(代理店) 三井物産會社支店

貨客取扱所  
 橫濱市山下町十七番  
 神戶市京町八十一番  
 長崎市大浦七番(代理店)  
 門司市(代理店) 三井物産會社支店

天洋丸 二一、六五〇噸  
 地洋丸 二一、六五〇噸  
 春洋丸 二一、〇〇〇噸  
 日本丸 二一、〇〇〇噸

北米航路(香港、ホノルル、橫濱、神戶、長崎、上海、香港間)  
 (太平洋上最速最良ノ汽船)



## Linea de Sud-America.

Entre  
 Hongkong, Moji, Kobe, Yokohama, Honolulu, Manzanillo,  
 Salina Cruz, Iquique y Valparaiso.

Unico Servicio Directo y regular del Extremo-Oriente  
 a Mexico y Sud-America,

"Kyo Maru"..... 17,200 Toneladas  
 "Buyo Maru"..... 10,500 "  
 "Hong Kong Maru"..... 11,000 "

Oficina Principal..... No 1 Itchome, yurakucho Kojimachiku, Tokio

Sucursales..... { No 17 Yamashitacho, yokohama.  
 No 81 Kyomachi Kobe.

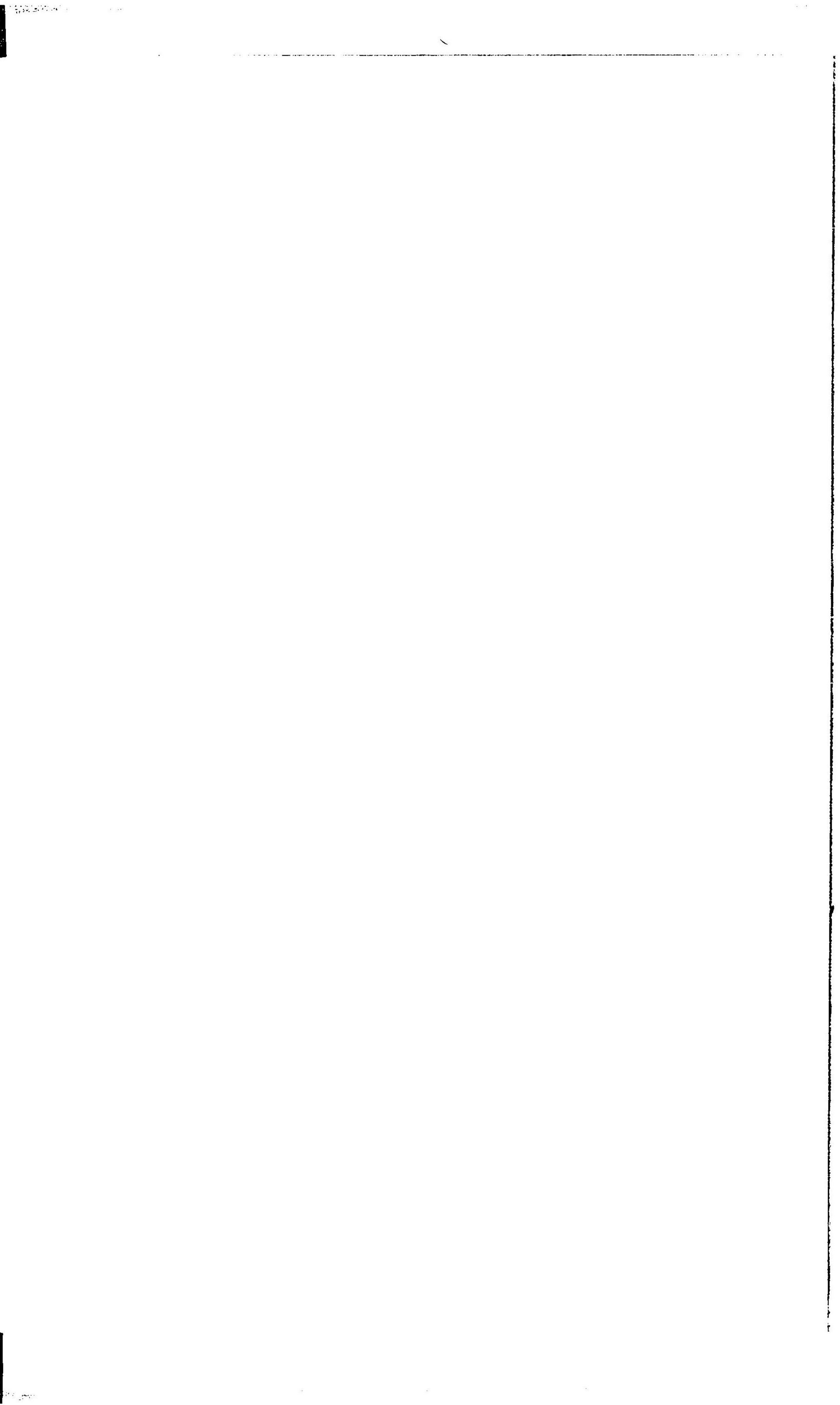
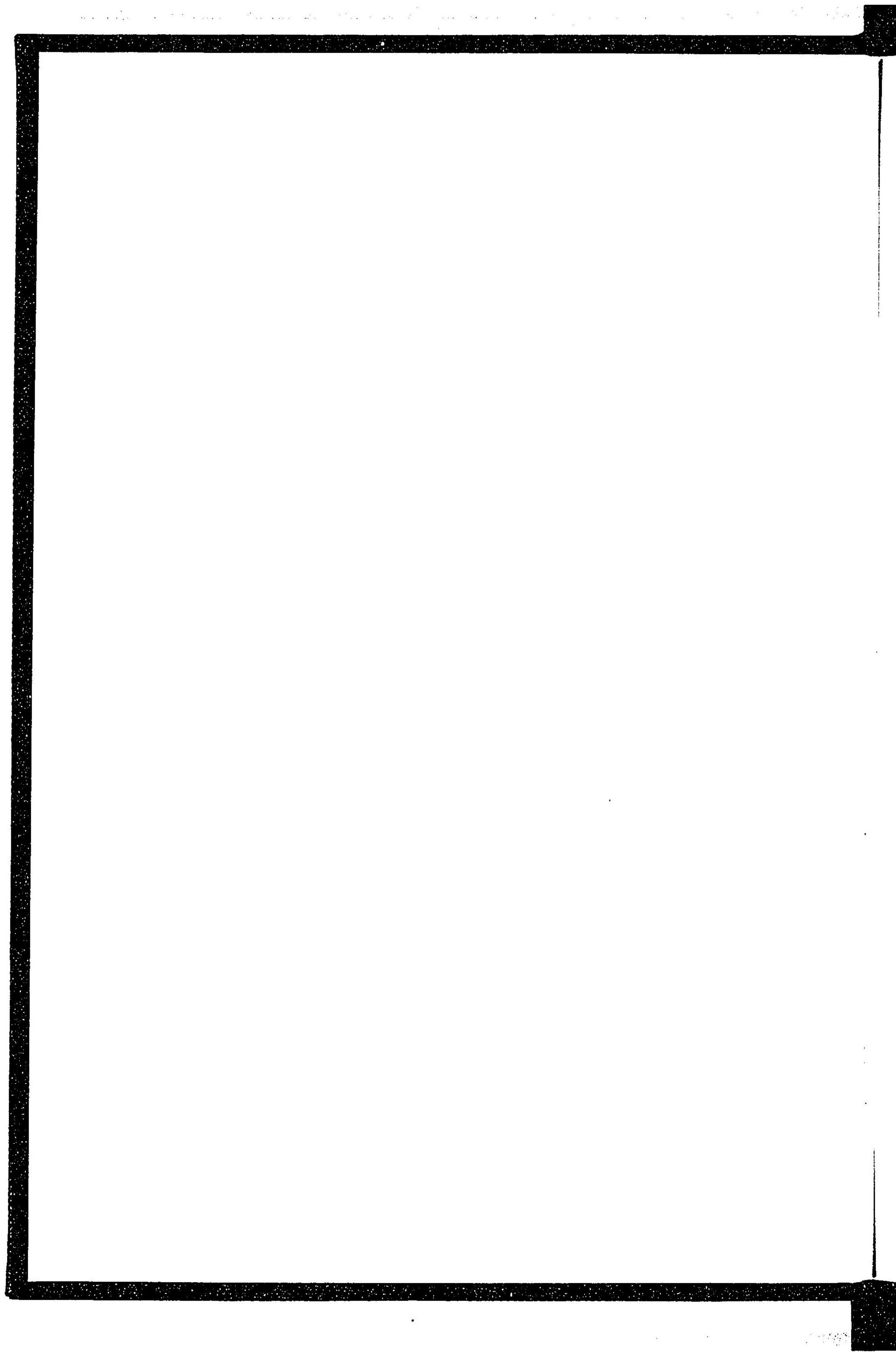
Agentes: en todos los puertos mencionados.



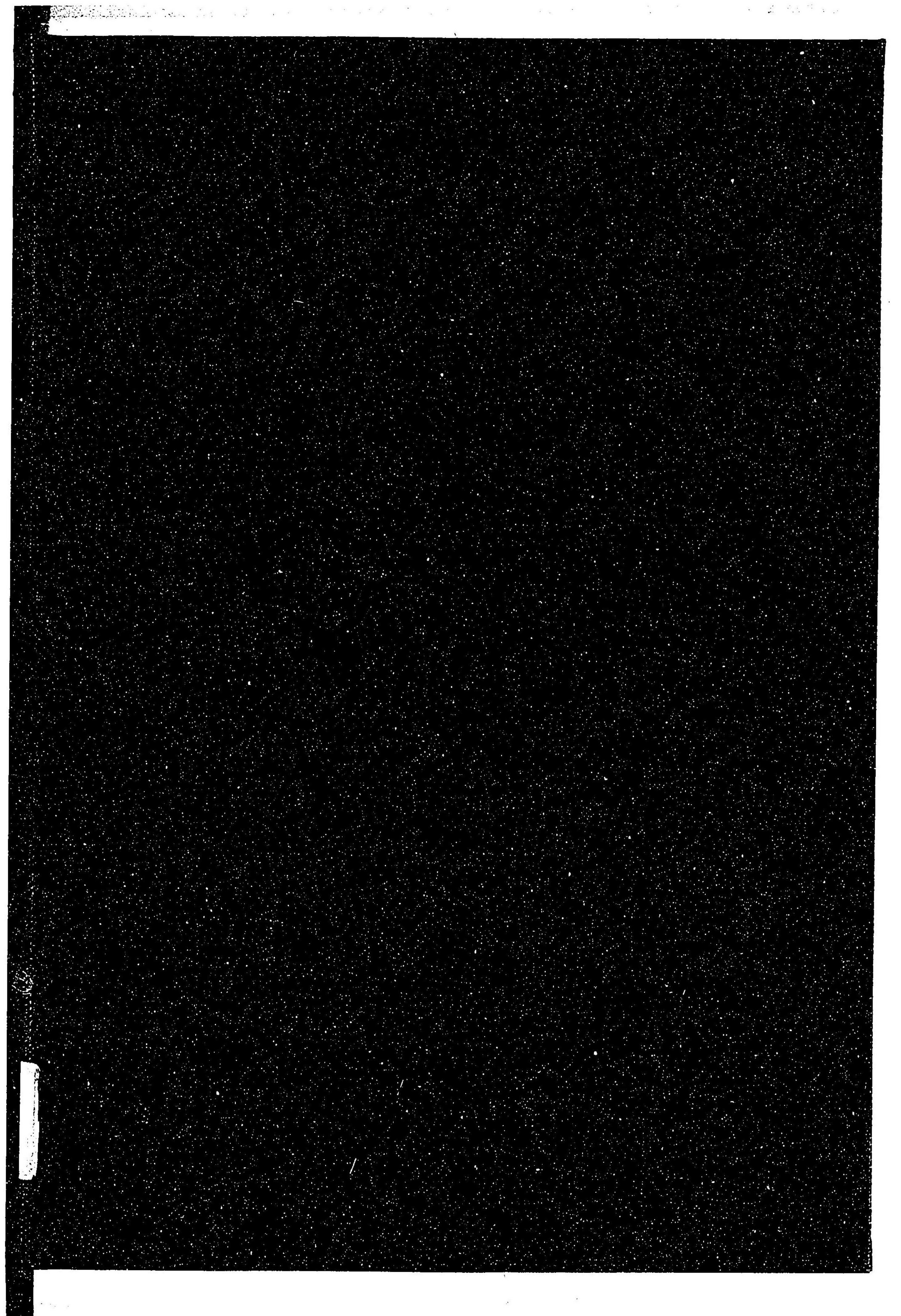


•











337

80



